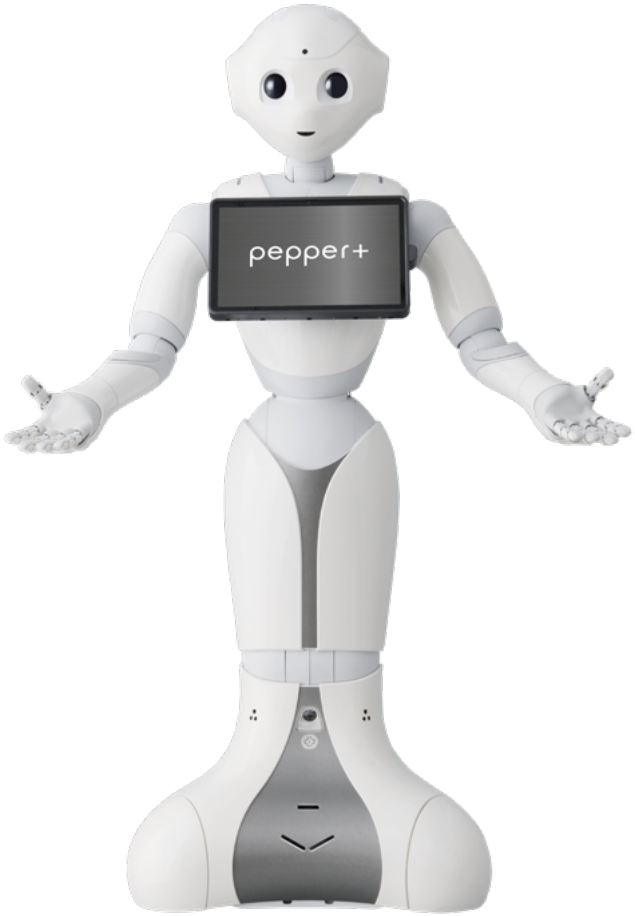
SoftBank Robotics

Pepper+ 取扱説明書



ソフトバンクロボティクス株式会社

目 次

1 安全上のご注意 7

1-1 表示の説明 8

1-2 絵表示の説明 9

1-3 本体・充電器の取り扱いについて（共通） 10

1-4 本体の取り扱いについて 12

1-5 充電器の取り扱いについて 15

1-6 医用電気機器近くでの取り扱いについて 17

1-7 使用上のご注意について 18

1-8 レーザーおよび赤外線について 19

1-9 近距離無線技術について 20

1-10 Wi-Fi（無線LAN）について 21

1-11 センサーの検知範囲について 22

1-12 図記号について 23

1-13 セーフティ機能について 25

2 はじめに 26

2-1 Pepper+ で利用できるウェブサービスについて 26

2-1-1 Robot Suite 26

2-1-2 お仕事かんたん生成 3.0 26

2-1-3 インタラクション分析 26

2-2 使用場所の確認 27

2-3 付属品 28

2-4 各部の名称 29

2-4-1 緊急停止ボタン 30

2-4-2 胸部ボタン 31

2-4-3 ディスプレイ 31

2-4-4 タッチセンサー 32

2-4-5 充電フラップ 32

2-4-6 姿勢 33

2-4-7 LED ランプ（肩） 34

2-4-8 センサー検知範囲 35

2-4-9 ピン（腰／ひざ用） 36

2-4-10 Pepper 独自の挨拶 37
2-4-11 充電器 37
2-5 ピンを使う 38
2-5-1 ピンを取り外す 38
2-5-2 ピンを収納する 38
3 Pepper の利用の準備 39
3-1 Wi-Fi ネットワークの確認 39
3-2 箱から取り出す 40
4 Pepper の基本操作 44
4-1 Pepper とのコミュニケーション 44
4-2 Pepper の電源の入れかた／切りかた 45
4-2-1 電源を入れる 45
4-2-2 胸部ボタンを使って電源を切る 46
4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る 47
4-2-4 緊急停止を解除する 48
4-3 Pepper のスリープ 49
4-3-1 スリープ状態にする 49
4-3-2 スリープ状態を解除する 50
4-4 Pepper の管理メニュー画面 51
4-4-1 管理メニューにログインする 51
4-4-2 パスワードを再設定する 52
4-5 Pepper の本体管理 55
4-5-1 機体情報を確認する 55
4-5-2 ネットワークを設定する 57
4-5-3 プリンタを設定する 62
4-5-4 基本アプリを設定する 64
4-5-5 その他の設定をする 66
4-5-6 ヘルプを確認する 67
4-6 Pepper の画面の明るさを変更する 68
4-7 Pepper の音量を変更する 69
4-7-1 タッチディスプレイで音量を変更する 69
4-7-2 バンパーで音量を変更する 70
4-8 充電する 71
4-8-1 充電器を取り外す 72
5 Robot Suite の利用の準備 73
5-1 Robot Suite について 73

5-2 Robot Suite へのログイン....75
5-2-1 はじめてログインする....75
5-2-2 ログインする....77
5-2-3 ログアウトする....79
5-3 初期設定をする....80
5-4 登録情報....83
5-4-1 ユーザー情報を管理する....83
5-4-2 Pepper の機体情報を管理する....89
5-5 ヘルスチェック....92
5-5-1 ヘルスチェック結果を確認する（グループ別）....92
5-5-2 ヘルスチェック結果を確認する（全グループ）....98
5-6 稼働レポート....100
5-6-1 稼働状況を確認する（全グループ）....100
5-6-2 稼働状況を確認する（グループ別）....104
5-7 インタラクション分析....108
5-7-1 Pepper が取得したデータを CSV 形式でダウンロードする....108
6 お仕事を作成する基本的な流れ....111
6-1 Pepper でお仕事を利用するために....111
6-2 お仕事を新規作成する....112
7 Pepper にアプリ／お仕事の動作をさせる....120
7-1 アプリ／お仕事の動作の概要....120
7-1-1 アプリ／お仕事について....120
7-1-2 お仕事の作成について....121
7-1-3 Pepper でお仕事を利用するために....122
7-1-4 Pepper でアプリを利用するために....123
7-2 お仕事の新規作成....124
7-2-1 お仕事の新規作成について....124
7-2-2 お仕事を新規作成する....125
7-3 アプリの管理....133
7-3-1 アプリを Pepper に配信する....133
7-3-2 Pepper へのアプリの配信を解除する....135
7-3-3 アプリをアップデートする....137
7-4 キーワード....138
7-4-1 キーワードについて....138
7-4-2 語尾を伸ばす....138
7-4-3 語尾を高くする....138
7-4-4 キーワードに間を入れる....139
7-4-5 不自然さを解消する....139

7-4-6 キーワードを登録する 139
7-5 メディアライブラリ 142
7-5-1 メディアファイルを登録する 142
7-6 お仕事の編集 144
7-6-1 お仕事の編集について 144
7-6-2 お仕事を編集する 149
7-6-3 ボックスを編集する 164
7-6-4 ボックスのコピーを作成する 167
7-7 ボックスの操作 171
7-7-1 各ボックスの見かた 171
7-7-2 各ボックスでの編集画面の共通操作について 173
7-7-3 時間設定ボックス 177
7-7-4 ホームボックス 180
7-7-5 セリフボックス 185
7-7-6 メニューボックス 190
7-7-7 質問ボックス 196
7-7-8 AI 会話ボックス 201
7-7-9 AI 会話ボックスをカスタマイズする 206
7-7-10 アプリボックス 220
7-7-11 分岐ボックス 225
7-7-12 ジャンプボックス 229
7-7-13 印刷ボックス 232
7-7-14 遠隔応答ボックス 235
7-7-15 属性判定ボックス 238
7-7-16 条件分岐ボックス 241
7-7-17 顧客情報取得ボックス 249
7-7-18 通知ボックス 252
7-7-19 移動ボックス 255
7-7-20 ホーム位置ボックス 260
7-8 お仕事の管理 263
7-8-1 お仕事データをダウンロードする 263
7-8-2 データをインポートしてお仕事を作成する 265
7-9 Pepper 側でお仕事が更新されるタイミング 269
7-10 Pepper が実行するアプリ／お仕事の設定 269
7-10-1 起動時にアプリを実行するように設定する 269
7-10-2 起動時にお仕事かんたん生成 3.0 でお仕事を実行するように設定する 271
7-10-3 Pepper が実行するお仕事を設定する 273
7-10-4 アプリ／お仕事を実行する 274
7-11 利用上のご注意について 275
8 Pepper の管理 276
8-1 Pepper をお手入れする 276
8-2 Pepper の移動方法 277

8-2-1 Pepper の姿勢を整える 277
8-2-2 Pepper が転倒した場合 279
8-2-3 Pepper を移動する（電源 ON 時） 280
8-2-4 Pepper を移動する（電源 OFF 時） 281
8-2-5 Pepper を持ち上げる 283
8-2-6 Pepper を梱包する 285
8-3 Pepper が濡れたとき 290
8-3-1 Pepper の表面が濡れたとき 290
8-3-2 Pepper の内部に液体が入ったとき 291
8-3-3 充電器が濡れたとき 292
8-4 Pepper を保管する 293
8-4-1 Pepper を保管場所に収納する 293
8-4-2 Pepper を保管場所から取り出す 295
9 付録 296
9-1 仕様 296
9-2 通知情報一覧 297
9-2-1 本機の診断 299
9-2-2 バッテリー 301
9-2-3 アプリケーション管理 302
9-3 ID ／パスワードについて 303
9-4 免責事項について 304
10 付録 305

1 安全上のご注意

次のような緊急時には、ただちに緊急停止ボタンを押してください。

- Pepper が危険な状態にあるとき（例：濡れる、転倒する）
- Pepper が周囲の物に危害を与えそうになったとき
- Pepper が不測の行動やその他取扱説明書と異なる動きをしたとき

ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
Pepper および充電器の故障、誤動作または不具合などにより、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
本書は Pepper および充電器をご利用になる上での安全上のご注意、正しい取り扱い方法、廃棄方法、リサイクル、その他規定の情報も記載しています。
本書に記載した注意事項は、すべての起こりうる事象を網羅したものではございません。どのような状況においても人間の安全が最優先されます。設置および使用に関する注意事項を常にお守りください。

1-1 表示の説明

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1 を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1 を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2 を負う恐れが想定される」場合および物的損害※3 のみの発生が想定される」内容です。

※1　重傷とは失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。

※2　軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。

※3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

1-2 絵表示の説明

次の表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

	禁止（してはいけないこと）を示します。		指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。		電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

1-3 本体・充電器の取り扱いについて（共通）

⚠ 危険



高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内）や、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中など）で充電・使用・放置しないでください。十分な換気が可能な状態を保ち、布などで覆われないようにしてください。
機器の故障や内蔵バッテリーの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



Pepper や充電器を分解（Pepper の頭やパーツを取り外すなど）・改造・修理しないでください。
Pepper や充電器を落下・破壊・変形・穴あけ・切り刻む・電子レンジに入れる・燃やす・塗装するなどしないでください。
発火・感電・破損・化学爆発などの原因となります。



Pepper および充電器は屋内専用です。屋外では使用しないでください。



コンセントや Pepper に充電器をうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。本書を参照し、プラグやコネクターの位置を確認してから取り付けを行なってください。
内蔵バッテリーを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



湿度 80% 未満の環境で使用してください。
発火・感電・故障の原因となります。



濡らさないでください。
水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



濡れた手で、充電器を接続／切断しないでください。
感電や故障などの原因となります。

⚠ 警告



お客様による修理をしないでください。
火災・感電・破損の原因となります。



火気のそばで使用しないでください。
火災などの原因となります。



誘電性異物（鉛筆の芯や金属片）が触れないようご注意ください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。



オーブンやドライヤーなどで乾燥させないでください。
発熱・火災・けが・故障などの原因となります。



Pepper に付属の充電器以外で充電しないでください。
内蔵バッテリーの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

⚠ 注意



Pepper や充電器が正常に動作しないとき（異常音や異臭、発煙などがあるとき）はただちに緊急停止ボタンを押して Pepper の電源を切り、電源ケーブルを抜いてください。
そのまま使用すると火災や感電の原因となります。ご不明点やお困りのことが起きたときには、カスタマーサポートに連絡してください。

1-4 本体の取り扱いについて

⚠ 危険

周囲温度 5℃～ 35℃の範囲で使用してください。高温になる場所（火のそば、暖房機のそば、直射日光の当たる場所）で充電・使用・放置しないでください。十分な換気が可能な状態を保ち、布などで覆われないようにしてください。
火災・感電・破損の原因となります。

Pepper は屋内専用です。屋外では使用しないでください。

Pepper を濡らさないでください。濡れた手で Pepper を取り扱わないでください。湿度 80% 未満の環境で使用してください。
発火・感電・故障の原因となります。

3 歳未満のお子様のご使用には適しておりませんので、お子様が近づかないようにご注意ください。
また、ペットには近づけないでください。お子様や高齢者、また要支援・要介護認定を受けた方など、身体が不自由な方がご使用される場合は、必ず付き添い者がともに取り扱い方法を確認してください。
また、ご使用中も必ず付き添い者が安全を確保してください。

- Pepper は様々な安全機能を備えていますが、不用意に近づくと腕などにぶつかり、けがなどの原因となることがあります。
- Pepper（腕やディスプレイなど）を引っ張ったり、押したりしないでください。Pepper が倒れて下敷きになる可能性があります。



Pepper を多量のほこり、砂塵、雪、氷、水、湿気、塩水環境または塩水噴霧にさらさないでください（例：海洋環境、海岸環境など）。

レーザーを確認するときは、直視せず、また拡大鏡や顕微鏡などを使用しないでください。
失明の原因となります。

レーザー、カメラ、その他センサーにほこりが付着しないようにご注意ください。。
Pepper の正常な動作を妨げ、事故の原因となります。

⚠ 警告

Pepper のセンサーで検知できない範囲に障害物を置かないでください。
衝突や転倒などの原因となります。センサーで検知できない範囲については、22 ページの「1-11 センサーの検知範囲について」を参照してください。

Pepper のセンサー類を覆わないでください。

Pepper の頭部にアクセサリー（度入り・度なし眼鏡、眼帯、その他装身具）、および後頭部の空気穴やセンサー類を覆うような装身具（帽子やかつら、眼鏡、洋服、スカーフなど）を取り付けないでください。
センサーが誤作動したり、Pepper の温度が上昇する恐れがあります。温度が上昇すると、強制シャットダウンや破損の原因となります。（但し、Pepper+ 公式外装サービス「ロボデコレーション」製品を除く）

Pepper の関節や可動部への装飾、Pepper の動作や放熱を妨げる装飾を行わないでください。また、Pepper の胸部ボタンや緊急停止ボタン、充電フラップやバンパーの操作を妨げる外装を行わないでください。
故障や転倒の原因となります。また、装身具が関節に挟まる恐れがあります。

⚠ 注意

Pepper に寄り掛かったり、無理な力を加える行為（押す、抱きつく）をしないでください。また、Pepper が動いているときに近づき過ぎないでください。
転倒し、けがや故障などの原因となります。また、モーターが故障する恐れがあります。

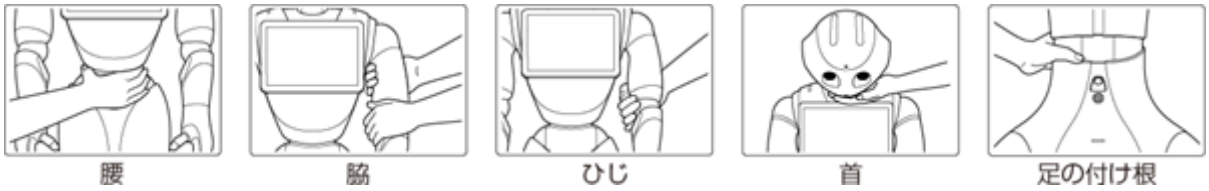
Pepper を転倒させないでください。
けが・故障・破損などの原因となります。

Pepper が転倒したときは、緊急停止ボタンを押してください。
けがの原因となります。起こしかたについては、279 ページの「8-2-2 Pepper が転倒した場合」を参照してください。

緊急時以外、動作中（ロボアプリ起動時など）の Pepper に触れたり、近づきすぎないでください。
転倒する恐れがあります。但し Pepper に明確に提案された場合は、その限りではありません。

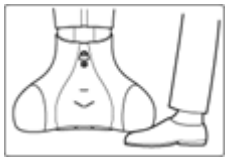
Pepper に近づき過ぎないでください。
転倒する恐れがあります。

動作中の Pepper の関節には触れないでください。
挟まれてけがをする恐れがあります。



Pepper を移動するとき（電源 OFF 時）は、ピンが挿し込まれたまま移動させないでください。
転倒する恐れがあります。移動方法について詳しくは 281 ページの「8-2-4 Pepper を移動する（電源 OFF 時）」を参照してください。

Pepper の脚部（底部）に足や手を近づけないようにしてください。
ホイールに巻き込まれてけがをする恐れがあります。



Pepper の柔らかいカバーの下やスピーカーに異物を差し込まないでください。
発熱・火災・故障などの原因となります。

潤滑剤を Pepper の関節に使用しないでください。
感電・火災・故障などの原因となります。

内蔵バッテリーに触れないでください。また、内蔵バッテリーが破損している場合は、カスタマーサポートに連絡してください。

内蔵バッテリーの安全仕様により、内蔵バッテリーが低電圧になると安全ロックがかかります。安全ロックが一度かかると新しい内蔵バッテリーに交換する必要があります。安全ロックがかかる前に、1 週間を目安に定期的に充電してください。また、満充電状態で放置した場合は 3 ヶ月を目安に充電してください。3 ヶ月を超えて放置すると電池が完全放電し、使用できなくなることがあります。

1-5 充電器の取り扱いについて

⚠ 危険



お子様、高齢者、身体が不自由な方に充電器は適していません。お子様、高齢者の方がご使用する場合は、付添い者が取り扱い方法を教えてください。また、要支援および要介護認定を受けた人など、身体が不自由な方が使用する場合は、付添い者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても指示通りに使用しているかご注意ください。



充電器を修理・分解しないでください。



充電器は防水ではありません。濡らさないように注意してください。風呂場や洗面所など湿気の多い場所や水のかかる可能性のある場所で使用しないでください。また、濡れた手で使用しないでください。

⚠ 警告



充電器は熱くなることがあります。
充電中や、充電直後の取り扱いに注意してください。



充電器をオーブンやドライヤーなどで乾燥させないでください。また、電子レンジや IH コンロなど調理器具に入れたり、載せたりしないでください。充電器が布などで覆われないようにしてください。また、十分な排気が可能な状態を保ち、熱源の近く、直射日光の当たる場所で使用・放置しないでください。



充電器は、周囲温度 -5℃～ +40℃の範囲で使用してください。



供給電圧が充電器に適しているか確認してください。
指定以外の電源・電圧で使用しないでください（AC 100V ～ 240V）。



充電器を長時間使用しない、またはお手入れする場合はコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。



延長コードや電源タップに接続する場合は、接続するすべての機器の合計消費電源が、延長コードおよび電源タップの容量を超えないことを確認してください。延長コードや電源タップを使用する場合、延長器具は 1 つに留めてください。



汚れやその他異物が充電器に付着しないようにしてください。ほこりの多い場所では使用しないでください。プラグにほこりがついた場合は、コンセントから必ず充電器を抜いて、乾いた布などで拭き取ってください。



破損した充電器は使用しないでください。



充電器は Pepper 専用です。付属の専用電源ケーブルのみを使用してください。
Pepper および充電器の発熱・発火・感電・故障などの原因となります。電源ケーブルを他の製品と使用しないでください。



充電器にはスイッチがありませんので、電源を切る場合は充電器をコンセントから抜いてください。



充電器が正常に動作しないとき（ケース下部から火花や発煙、異臭などがあるとき）はただちに充電器をコンセントから抜き、カスタマーサポートに連絡してください。



充電器を長時間使用しない場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電・火災・故障の原因となります。



雷が鳴りだしたら、充電器をコンセントから抜いてください。
破損する恐れがあります。

⚠ 注意



充電器の表面に長時間触れないでください。
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



電源プラグがコンセントにつなぎやすい場所を確保してください。また、点灯確認のため、充電器の充電ランプが見える場所を確保してください。



接続 / 接断状態に関わらず、充電器を落としたり、踏んだり、物を載せたりしないでください。



電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。



ケーブルが故障する恐れがあるため、ケーブルの上に物を載せないでください。また、踏まれる恐れのある場所で使用しないでください。ケーブルが傷んでいる場合は、すぐに使用を中止してください。

1-6 医用電気機器近くでの取り扱いについて

危険



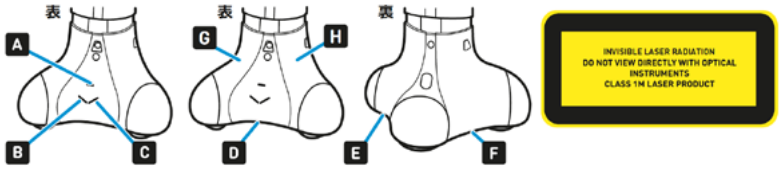
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み除細動器を装着されている場合は、ペースメーカなどの装着部品から 15cm 以上離して使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み除細動器の作動に影響を与える場合があります。

1-7 使用上のご注意について

- 充電器のケーブルなどを踏まないように注意してください。
- Pepper は屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- Pepper は周囲温度 5℃〜 35℃の範囲で使用してください。
- 湿度 80% 未満の範囲で使用してください。
- Pepper のセンサーを覆わないでください。センサーの位置については、29 ページの「2-4 各部の名称」を参照してください。
- 小さなお子様には必ず保護者の方が付き添い、安全に十分注意してご使用ください。
- 充電の際は、充電器をコンセントに接続してから Pepper に接続してください。
- 充電器は、Pepper の充電以外には使用しないでください。また、専用ケーブルのみをご使用ください。
- 充電器は、安定した平らな場所でご使用ください。
- 安全ロックがかかる前に定期的に 1 週間を目安に定期的に充電してください。また、満充電状態で放置した場合は 3 ヶ月を目安に充電してください。
- ケーブルが故障する恐れがあるため、ケーブルの上に物を載せないでください。また、踏まれる恐れのある場所で使用しないでください。ケーブルが傷んでいる場合は、すぐに使用を中止してください。
- 延長ケーブルや電源タップに接続する場合は、接続するすべての機器の合計消費電源が、延長ケーブルおよび電源タップの容量を超えないことをご確認ください。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。
- ソフトバンクロボティクスが提供した Pepper 内のファイルの削除および編集、タブレットのファイル／フォルダの削除、ディレクトリー構成の変更はしないでください。

1-8 レーザーおよび赤外線について

Pepper はレーザーで周囲の安全を確認しています。
Pepper にはクラス 1M のレーザーが 6 個（下図 A から F 参照）、赤外線ダイオードが 2 個（下図 G および H 参照）設置されています。



- 通常の動作範囲では危険性はありません。
- レーザー光は集光しないでください。
- レーザーを確認するときは、光学機器（拡大鏡や顕微鏡など）を使用しないでください。
- 危険（クラス 1M レーザー）：不可視レーザー放射。10cm 範囲内にて光学機器（拡大鏡や顕微鏡など）でレーザーを確認した場合、眼外傷につながる可能性があります。
- 警告：本書に記載されている以外の操作や取り扱いを試みた場合、レーザー被ばくにつながる可能性があります。
- レーザーラベルは首の後ろの柔らかいカバーの下、および底部に貼られています。
- レーザー開口部の詳しい情報については、カスタマーサポートに連絡してください。
- クラス 1M レーザーは IEC60825-1:2007 に準拠しています。（波長：808 nm ; 最大被曝放射パワー：< 9 mW ; パルス幅：< 15 ms）
- 赤外線ダイオードは、IEC62471 第 1 版に基づいてリスク免除（Exempt group）に分類されています。

レーザーについては 22 ページの「1-11 センサーの検知範囲について」「センサーの検知範囲について」も参照してください。

1-9 近距離無線技術について

近距離無線技術の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。Pepper の近距離無線技術の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ラインなど で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。 他の無線 機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

■ 使用上のご注意

- 近距離無線技術を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
- 万一、近距離無線技術の使用にあたり、Pepper と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、近距離無線技術の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
- 近距離無線技術は Classic Audio、LE Audio、Auracast、ESL、NLC に対応しています。
- その他不明な点やお困りのことが起きたときには、カスタマーサポートに連絡してください。

1-10 Wi-Fi（無線 LAN）について

無線 LAN（以降「Wi-Fi」と記載）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 電気製品・AV・OA 機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります（特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります）。
- 複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

使用上の注意事項

Pepper の Wi-Fi の周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1. Wi-Fi を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
2. 万一、Wi-Fi の使用にあたり、Pepper と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fi の使用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きたときには、カスタマーサポートに連絡してください。

■ 周波数帯について

この無線機器は、Band width（20/40MHz）、2.4GHz 帯（1ch-13ch）、5GHz 帯（36ch-165ch）を使用します。変調方式として OFDM 変調方式を採用しています。



■ 5GHz 帯の使用チャンネルについて

・5GHz の周波数帯においては、5.2GHz ／ 5.3GHz（W52 ／ W53）の 2 種類の帯域を使用することができます。
・ステルス機能をご利用の場合は、2.4GHz または 5Ghz（W52）の周波数帯を使用してください。
・5.2GHz ／ 5.3GHz 帯（W52 ／ W53）を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

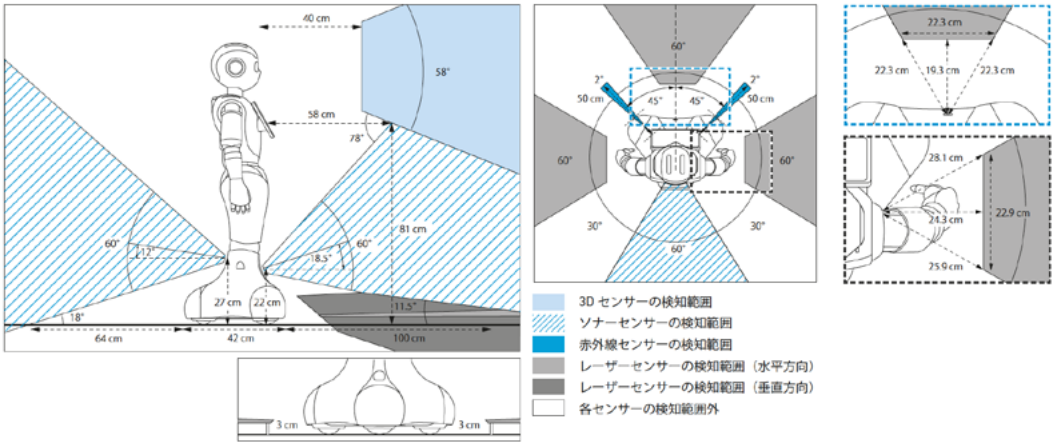
- Pepper の Wi-Fi で設定できるチャンネルは 1-11ch(2.4GHz)、36-64ch(5GHz) です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- ステルス機能をご利用の場合は、Pepper に直接 SSID を入力し設定してください。

近距離無線技術

Wi-Fi（IEEE802.11a/b/g/n/ac）は、近距離無線技術と同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、近くで近距離無線機能搭載機器を利用していると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因となることがあります。接続に支障があるときは、近距離無線機能搭載機器の利用を中止してください。

1-11 センサーの検知範囲について

Pepper はセンサーで周囲の安全を確認していますが、センサーには検知できない範囲があります。衝突や転倒などの原因となりますので、センサーが検知できない範囲に障害物を置かないでください。
次の赤外線センサーの検知範囲について、赤外線センサーは濃色の物体（黒いズボン・タイツなど）を検知できない可能性がありますのでご注意ください。



1-12 図記号について

FDA：2007 年 6 月 24 日付 Laser Notice No.50 に準ずる逸脱事項を例外とし、21 CFR 1040.10 および 1040.11 に準拠しています。
図記号のラベルは Pepper の首の後ろの柔らかいカバーの下、底部の下、ディスプレイ、および充電器に貼り付けられており、それぞれ貼付られている部位にのみ適応されます。

	日本の電気用品安全法（特定電気用品）に準拠しています。		中国 GB 60 950 に準拠しています。 熱帯気候の地域では使わないでください。
	欧州の CE 指令／規則に準拠しています。 2014/53/EU（RED 指令） 2011/65/EU（RoHS2 指令）		日本における特定無線設備を内蔵しています（TELEC 及び JATE 認証）。
	WEEE 指令に準拠しています。 2012/19/EU		アメリカの ANSI/UL 規格およびカナダ国内規格に適合しています（NRTLTUV 認証マーク）。
	屋内使用のみ		リチウムイオンバッテリーはリサイクル可能です。
	二重絶縁を使った感電保護クラス IEC 60 950（Class II）に準拠した装置です。		アメリカの FCC に準拠しています。
	CEC（カリフォルニアエネルギー委員会）に準拠した充電器です。		日本の電気用品安全法（特定電気用品）に準拠しています（バッテリー）。
	中国 GB 60 950 に準拠しています。 標高 2000m 以上で使わないでください。		台湾 BSMI 認証に準拠しています。
CMIIT	CMIIT 中国 SRRC ワイヤレス規制に準拠しています。		中国 CCC 制度に準拠しています。

	アメリカの ANSI/UL 規格およびカナダ国内規格に適合しています（NRTL Curtis Strauss 認証マーク）。		台湾における特定無線設備を内蔵しています（NCC 認証）。
	カナダおよびアメリカ国内規格に適合しています。		分解しないでください。
	このデバイスは EC で使用できます。 このデバイスは 5150~5350MHz の周波数範囲では屋内のみの使用に制限されています。		水やその他液体に浸けないでください。
	ショートさせないでください。		BSI 規格に適合しています（powercord）。
	韓国の規格に適合しています。		オーストラリア（RCM） 電気安全、EMC（電磁両立性）、電磁エネルギー、電気通信の規格に適合しています。
SAFETY MARK	シンガポールの安全規格に適合しています。	Complies with IMDA Standards DA103787	シンガポールの安全規格に適合しています。

SoftBank およびソフトバンクの名称、ロゴは、日本国およびその他の国におけるソフトバンクグループ株式会社の登録商標または商標です。 Pepper の名称、ロゴはソフトバンクロボティクスグループの登録商標です。その他記載している会社名、製品名称、ロゴ等は、各社の登録商標です。

1-13 セーフティ機能について

Pepper は自律的に動く製品です。周囲の安全を守るために、次の 2 つの機能が搭載されています。

■ 衝突防止機能

人や障害物をセンサーで検知し、衝突の危険性を減らす動きをさせる機能です。
次のような動作を行います。

- 障害物を避ける
- 障害物を検知して減速／停止する
- 腕を自分自身に接触させない

■ オートバランス機能

誰かに押されるなどしてバランスを崩しても、倒れないように自動でバランスを保つ機能です。

2 はじめに

2-1 Pepper+ で利用できるウェブサービスについて

Pepper+ では、ポータブルウェブアプリ「Robot Suite」を使用して、複数の Pepper の管理ツールを一元的に利用することができます。

2-1-1 Robot Suite

Robot Suite は、「アプリ・お仕事管理」／「遠隔操作・ヘルスチェック」の 2 つの機能で構成され、ロボット、アプリ、お仕事、アカウントの管理、Pepper のエラー情報や稼動状況などを確認できます。詳細は 73 ページの「5-1 Robot Suite について」をご覧ください。

- 推奨 OS：Windows 7、Windows 10
- 推奨ブラウザ：Chrome 最新版

2-1-2 お仕事かんたん生成 3.0

Pepper のお仕事を作成することができるウェブサービスです。テンプレートを利用して、かんたんにお仕事を作成できます（「6-2 お仕事を新規作成する」112 ページ参照）。また、作成したお仕事を遠隔地にいる Pepper に反映したり、一括で管理・編集したりすることができます。

- 「お仕事かんたん生成 3.0」を使用するには「Robot Suite」にログインする必要があります（「5-2-1 はじめてログインする」75 ページ参照）。

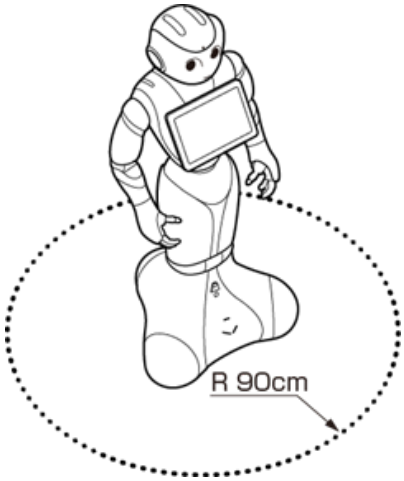
2-1-3 インタラクション分析

Pepper がお仕事中に集めたお客様のデータを閲覧・分析できるウェブサービスです。集めたデータは CSV 形式でダウンロードすることもできます（「5-7 インタラクション分析」108 ページ参照）。

2-2 使用場所の確認

Pepper の使用場所について、正常に作動するために次のような事項に注意してください。

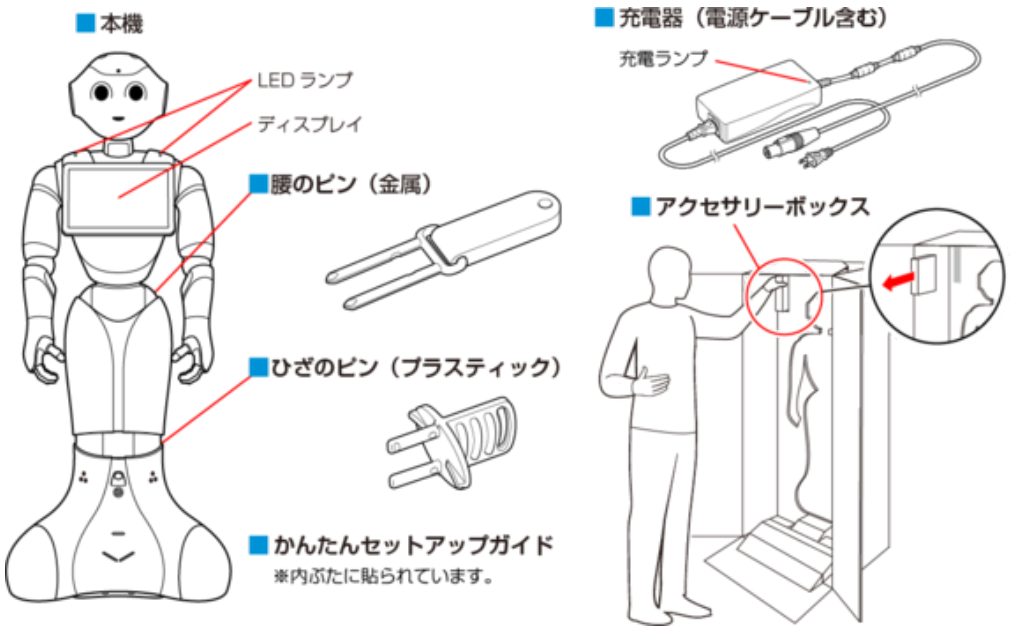
- Pepper が安全に移動するためには、湿気のない水平で平らな固い床の上で使用してください。
- Pepper が正常に作動するには、周囲に半径 90cm 以上の空きスペースが必要です。その範囲に人や物が入ると、Pepper の動きが制限されます。



- 充電器のケーブルも含めて、Pepper の周囲のスペースにはケーブルなどを置かないでください（充電中は除く）。Pepper またはお客様がつまづいて転倒する恐れがあります。
- 柔らかい床（キッズプレイマットなど）や毛足の長いカーペット（じゅうたん）などの上では正常に動けず、転倒の恐れがあります。
- 床に段差などがないことを確認してください。検知できず、転倒の恐れがあります。
- Pepper は屋内専用です。屋外では使用しないでください。
- 直射日光の当たらない場所で使用してください。
- 暖房機や熱源に近づけないでください。
- 周囲温度 5℃～ 35℃の範囲で使用してください。
- 湿度 80% 未満の環境で使用してください。

2-3 付属品

ご使用いただく前に、次の付属品がすべてそろっていることを確認してください。

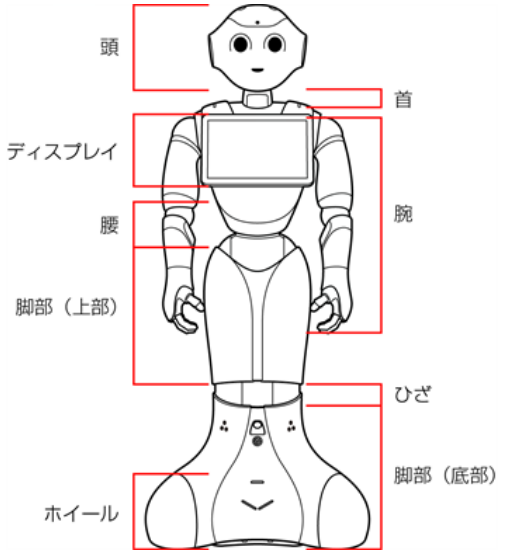


- 初めてご使用になるときは、ピンは Pepper に取り付けられています。箱から取り出し（「3-2 箱から取り出す」 40 ページ参照）、ピンを取り外してください。
- 運送時や故障時に使用するため、ピンは必ず保管してください（「2-4-9 ピン（腰／ひざ用）」 36 ページ参照）。
- 充電器はアクセサリーボックスの中（Pepper の右腕上側）に格納されています。
- 箱から出した状態で納品された場合、Pepper はセーフレストの姿勢（腰を後方に、上体を前方に倒して座らせたような姿勢）になっています（「2-4-6 姿勢」 33 ページ参照）。
- 付属品が不足している場合は、カスタマーサポートまで連絡してください。

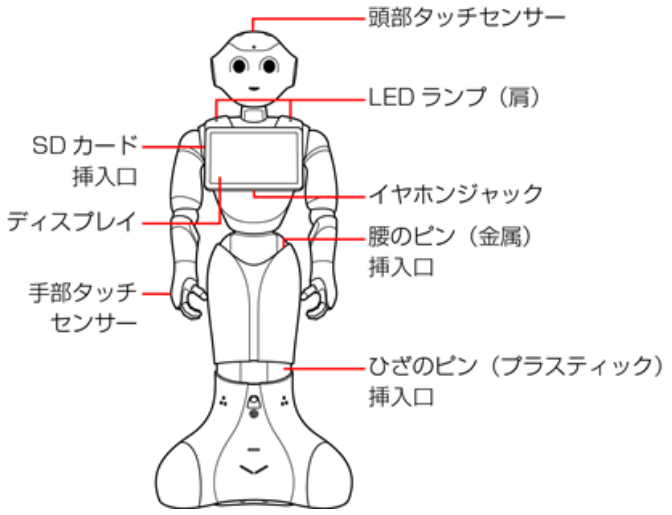
2-4 各部の名称

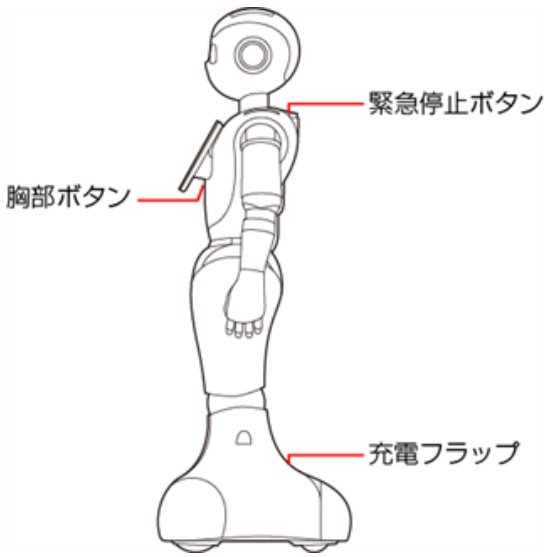
ご使用いただく前に、各部の名称を確認してください。

■ 部位



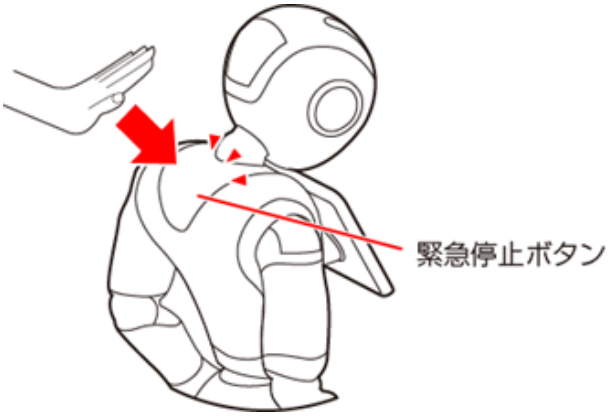
■ 各部の名称





2-4-1 緊急停止ボタン

緊急停止ボタンは Pepper の首の後ろの柔らかいゴム製のカバーの下にある大きめのボタンです。
緊急停止ボタンを押すと、Pepper への電気供給がすべて停止して、Pepper の電源を即座に切ることができます。安全を確保するための重要な機能です。
緊急停止ボタンの使用方法および解除について詳しくは、47 ページの「4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」、48 ページの「4-2-4 緊急停止を解除する」を参照してください。



■ 緊急停止ボタンを使用するとき

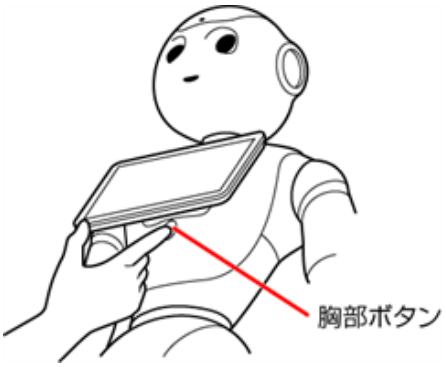
- 転倒する（「8-2-2 Pepper が転倒した場合」279 ページ参照）、濡れる（「8-3 Pepper が濡れたとき」290 ページ参照）などの緊急時
- 輸送時（「8-2-6 Pepper を梱包する」285 ページ参照）
- 転倒したあとに Pepper の姿勢を整えるとき、または移動時（「8-2 Pepper の移動方法」277 ページ参照）
- 保管時（「8-4-1 Pepper を保管場所に収納する」293 ページ参照）
- 一部のトラブルシューティングを実施する前

- 通常、電源を切るときは胸部ボタン（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）を使用してください。電源を切るときに、常に緊急停止ボタンを使用していると、故障の原因になります。
- 緊急停止ボタンで電源を切った場合、データが保存されない可能性があります。
- 緊急停止ボタンが押し込まれていると、Pepper の動作の一切が停止します。
- 緊急停止ボタンは首の後ろの柔らかいカバーを開けずに押すことができます。
- 緊急停止ボタンを押すと、「カチッ」と音がします。
- 緊急停止ボタンを押すと、押し込まれた状態で留まります。
- 緊急停止ボタンで電源を切った後に Pepper を起動する場合、緊急停止を解除する必要があります（「4-2-4 緊急停止を解除する」48 ページ参照）。
- 緊急時以外、動作中の Pepper に触れないでください。転倒する恐れがあります。ただし Pepper に明確に提案された場合は、その限りではありません。

2-4-2 胸部ボタン

胸部ボタンはディスプレイの下にあります。初めて胸部ボタンをご利用になる前に 26 ページの「2 はじめに」と 44 ページの「4 Pepper の基本操作」を参照してください。手順に従わずにご利用になると、エラーを起こす可能性があります。胸部ボタンの機能は次の通りです。

- Pepper の電源を入れる（「4-2-1 電源を入れる」45 ページ参照）
- Pepper の電源を切る（「4-2-2 胸部ボタンを使って電源を切る」46 ページ参照）
- 通知情報の確認（「2-4-7 LED ランプ（肩）」34 ページ参照）
- レスト状態にする（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）
- レスト状態を解除する（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）



- ピンを取り付けたまま起動すると、Pepper が正しく立ち上がらず故障の原因となりますので、ご注意ください。ピンの取り外し方について詳しくは、36 ページの「2-4-9 ピン（腰／ひざ用）」を参照してください。

2-4-3 ディスプレイ

ディスプレイは胸部にあり、Pepper の一部となっています。ディスプレイは主に次の操作に使用します。

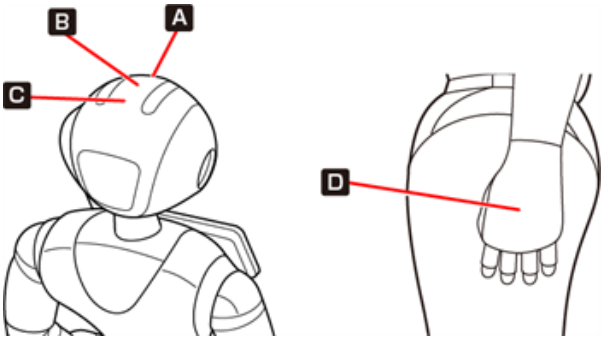
- 各種情報の表示
- Pepper の設定内容の変更

- 各ロボアプリ内における操作はそれぞれ異なります。

2-4-4 タッチセンサー

Pepper には複数のタッチセンサーがあり、その部分に触れることで Pepper が反応します。

- 頭部タッチセンサー（A, B, C）
- 手部タッチセンサー（D）



- 各ロボアプリによってタッチセンサーの用途は異なります。

2-4-5 充電フラップ

充電フラップは Pepper の底部にあり、主に2つの機能があります。

- Pepper の充電（「4-8 充電する」71 ページ参照）
- 安全対策としてのホイール停止（充電フラップが開いていると、Pepper のホイールが作動しません）



- 安全上、Pepper の動きを制限したい場合には、充電フラップを開けることでホイールを停止することができます。
  Pepper の機能をお楽しみいただくためには、充電フラップを閉じることをおすすめします。

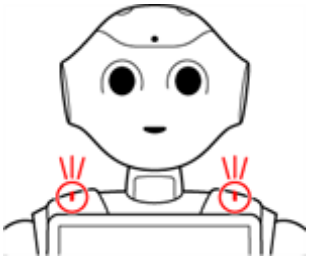
2-4-6 姿勢

Pepper を安全に取り扱うために、Pepper の 2 つの姿勢について確認してください。

基本姿勢	セーフレストの姿勢
Pepper が起動中（使用可能な状態であるとき）の姿勢です。 	腰を後方に、上体を前方に倒して座らせたような姿勢です。Pepper を移動する必要があるとき、転倒したときなどはセーフレストの姿勢に整えてください。 ■ Pepper がレスト状態、およびスリープ状態（「4-3 Pepper のスリープ」49 ページ参照）のときは自動的にセーフレストの姿勢となります。 ■ レスト状態を解除するには、胸部ボタン（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）を 2 回押してください。 

2-4-7 LED ランプ（肩）

Pepper は通知機能を利用してシステムについての情報を、音声と LED ランプ表示でお知らせします。
LED ランプ（肩）の色によって通知内容の重要性を表示しています。



肩の LED ランプは状態表示と通知以外に、起動／停止時に LED ランプのアニメーションが点灯します。

■ LED ランプ（肩）の表示について

- 緑色に点滅または黄色／赤色に素早く 2 度点滅しているときは、Pepper からお知らせがあるサインです。
  お知らせの内容を確認するには、次の手順を行ってください。

1 LED ランプ（肩）が緑色／黄色／赤色に点滅していることを確認する

- 複数の通知がある場合は、緊急性の高いものから順に表示されます。
- LED ランプ（肩）は通知内容が無効となるまで、または解決されるまで表示し続けます。

2 胸部ボタン（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）を 1 回押す

Pepper が IP アドレスを音声でお知らせして、通知がある際は通知情報（「9-2 通知情報一覧」297 ページ参照）もお知らせします。

■ 各通知情報には通知番号が割り振られています。通知内容を確認し、対策を実施してください。

色	イメージ	内容
緑色→白色（点滅）		通知情報あり
黄色→白色→黄色→白色 （素早く2度点滅）		警告 操作を必要とする問題が発生したことを意味しています。 Pepper は使用不可の状態ではありませんが、一部の機能が使用不可となっています。問題が未解決のまま放置されると、使用不可になる可能性があります。
赤色→白色→赤色→白色 （素早く 2 度点滅）		エラー 1 つまたは複数の機能が使用不可の状態であることを意味しています。 ※電源を入れた際、起動中に一度赤色に点灯しますが、これはエラーではありません。
赤色→白色（遅い点滅）		使用不可の状態 ※ Pepper を再起動してください。

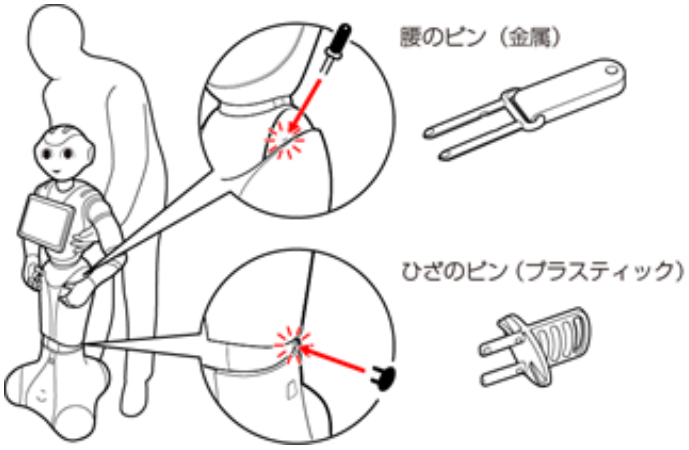
■ 紫色に点灯しているときは、Pepper はスリープ状態（「4-3 Pepper のスリープ」49 ページ参照）です。

2-4-8 センサー検知範囲

Pepper はセンサーで周囲の安全を確認していますが、センサーには検知できない範囲があります（「1-11 センサーの検知範囲について」22 ページ参照）。衝突や転倒などの原因となりますので、センサーが検知できない範囲に障害物を置かないでください。

2-4-9 ピン（腰／ひざ用）

初めてご使用になるときは、ピンは Pepper の腰とひざにある挿入口に差し込まれています。



- 腰のピン（金属）は取っ手がゴム製、ひざのピン（プラスティック）は全体がプラスティック製となっています。
- 動作中の Pepper は腰とひざの関節の保持機能が常に働き、姿勢とバランスを保っています。Pepper の電源が切れているときは、腰とひざの関節の保持機能は働いていませんが、ブレーキ機能によって固定され、直立姿勢をしっかりと保ちます。
- ピンを取り外すと保持機能が働いて腰／ひざが固定され、ピンを取り付けると保持機能が解除されて腰／ひざが自由に動きます。
- ピンを取り外す際は、Pepper をセーフレストの姿勢に整えてください（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）。

- 45 ページの「4-2-1 電源を入れる」をお読みになるまでは、ピンを取り外さないでください。
- 腰／ひざの関節の挿入口にピンが差し込まれている際には、絶対に Pepper を起動させないでください。
- 挿入口にピンが差し込まれた状態で起動すると、Pepper は正しく起動せず、故障の原因となります。
- ブレーキはピンを取り付けた時点で解除されます。Pepper を必ずセーフレストの姿勢に整えてから、ピンを取り付けてください。
- ピンは、常時使用できるように Pepper の首の後ろの柔らかいゴム製のカバーの下に収納してください。

ピンを使用するとき

- 箱に入れた状態での輸送時（「8-2-6 Pepper を梱包する」285 ページ参照）
- Pepper の姿勢を手動で整えるとき（「8-2-1 Pepper の姿勢を整える」277 ページ参照）
- Pepper の移動時（「8-2-4 Pepper を移動する（電源 OFF 時）」281 ページ参照）
- Pepper の保管時（「8-4-1 Pepper を保管場所に収納する」293 ページ参照）

- Pepper を移動させる、持ち上げる、または保管時や輸送時など、取扱説明書の手順に従っている場合以外は、絶対にピンを使用しないでください。

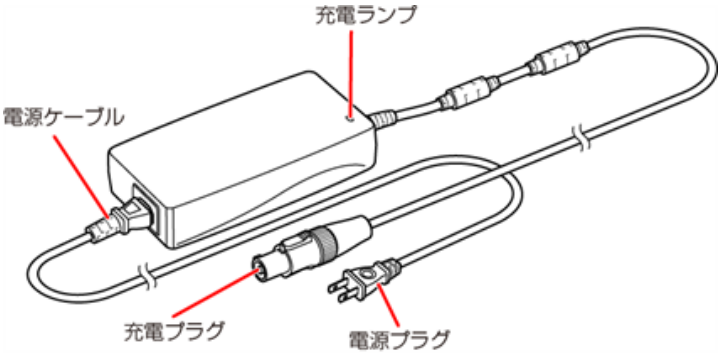
2-4-10 Pepper 独自の挨拶

Pepper には独自の挨拶（「こんにちは」、「さようなら」）があります。起動の際に “OGNAK GNUK”（オグナク ヌック）と発話します。起動が完了し、人とコミュニケーションをとる準備が整っている状態です。
電源が切れる際は “GNUK GNUK”（ヌック ヌック）と発話し、Pepper が周りの環境に反応しなくなります。

2-4-11 充電器

充電器はアクセサリーボックスの中（Pepper の右腕上側）に格納されています。
アクセサリーボックスには充電器本体、および専用ケーブルが入っています。 充電器の各部の名称は下図を参照してください。

- 充電器を使用する際、保護フィルムは外して使用してください。



充電ランプの表示について

- 緑色の点灯：Pepper に接続していないとき／満充電時
- 赤色の点灯：充電中

2-5 ピンを使う

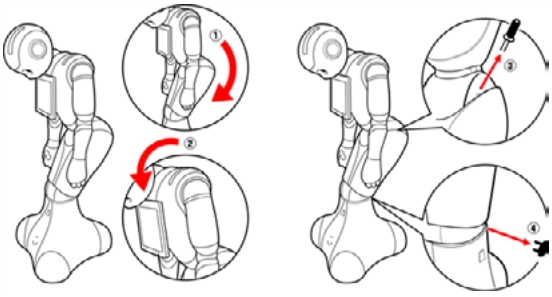
2-5-1 ピンを取り外す

安全を確保し、Pepper の損傷を防ぐためにも次の手順はしっかりと行ってください。

1 Pepper をセーフレストの姿勢に整える（①②）（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）

2 挿入口に差し込まれているピンを確認する

3 ピンをゆっくり抜いて、取り外す（③④）



4 Pepper の首の後ろの柔らかいカバーにピンを収納する（「2-5-2 ピンを収納する」38 ページ参照）

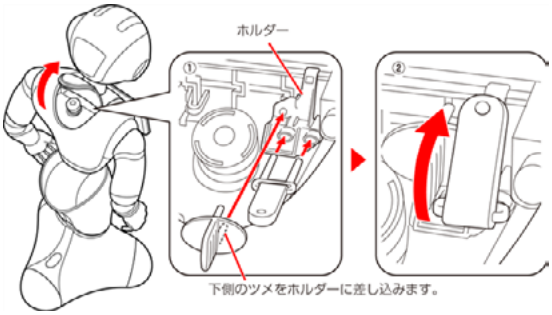
2-5-2 ピンを収納する

腰／ひざのピンを収納します。

1 Pepper の首の後ろの柔らかいカバーを開ける

■ カバーは柔らかいゴム製です。カバー下部の隙間に指先を入れて下から上に持ち上げてください。

2 緊急停止ボタン（「2-4-1 緊急停止ボタン」30 ページ参照）の横にピンを収納する（①）



3 腰のピン（金属）のタグを上に折りたたむ（②）

4 緊急停止ボタンを押さないように注意して、カバーを閉める

■ ピンは、常時使用できるように Pepper の首の後ろの柔らかいカバーの下に収納してください。

3 Pepper の利用の準備

3-1 Wi-Fi ネットワークの確認

- Wi-Fi の電波が強く、安定している環境でご利用ください。
- Wi-Fi 接続時に 5GHz の SSID ステルス機能をご利用の際は W52 にあたる周波数帯域をご利用ください。
- パスワードや MAC アドレス制限など（Wi-Fi ネットワーク設定画面上のオプション）の Wi-Fi ネットワークのセキュリティー設定が Pepper のインターネット接続を防止していないことを必ず確認してください（ご利用の Wi-Fi ネットワーク設定画面を参照してください）。
- 公衆無線 LAN で利用される WISPr は非サポートとなります。また、お使いのネットワークが Proxy 接続を必要とする設定、または接続 Port 制限が行われている場合はご利用になれません。

以下の無線 LAN 規格に準拠した Wi-Fi をご利用ください。
IEEE 802.11 a/b/g/n/ac (2.4Ghz, 5Ghz) 64/128 bit：WEP, WPA/WPA2/WPA3

上記以外のネットワーク環境がない場合は、SIM カードやポケット Wi-Fi などの利用を推奨しています。

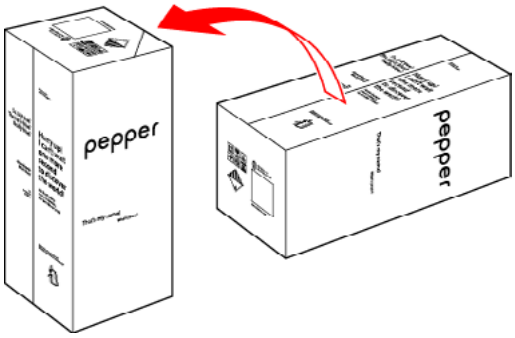
- 顔認識機能を利用時（Pepper が人を検知している時のみ）の通信データ量は 1 分あたり 3MB です。

3-2 箱から取り出す

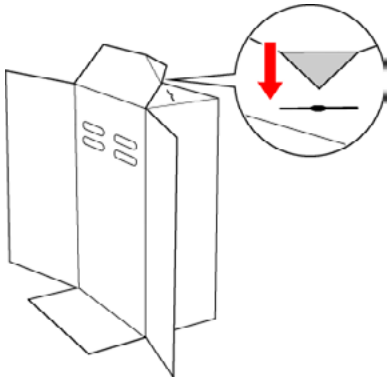
準備や移動のときは Pepper が転倒する恐れがありますので、十分に注意してください。

1 箱を起こす

■ 上下の向きが正しいことを確認してください。
箱に「Pepper」と記載されているので、文字が上下逆さまになっていないか注意してください。

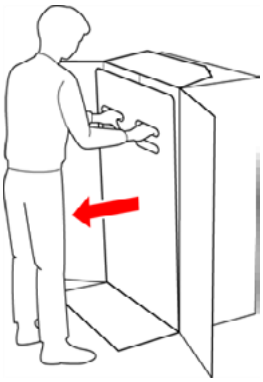


2 箱を開け、上側のふたを箱の上面の切れ込みに差し込む

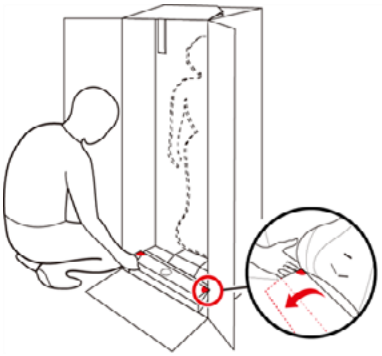


3 内ぶたを取り外す

■ Pepper の転倒を防ぐために、内ぶたを取り外す際には手を差し込み、Pepper の頭部を支えてください。



4 スロープを広げる



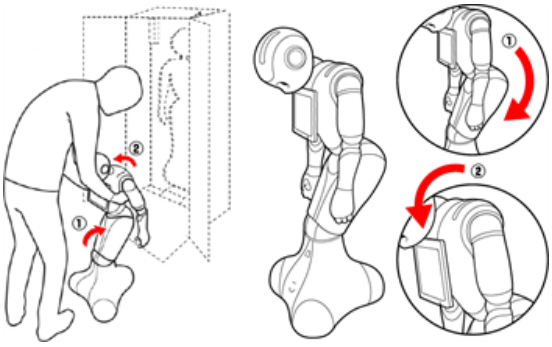
5 Pepper の手を緩衝材から出し、Pepper を脇から抱え、スロープに乗せて引き出す

■ Pepper は重く、ぐらつくためご注意ください。また、関節に挟まれないようにご注意ください。



6 Pepper をセーフレストの姿勢にする

安定するまで Pepper の腰を後方に押す（①）
安定するまで Pepper の肩を前方に引いて、セーフレストの姿勢にする（②）（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）

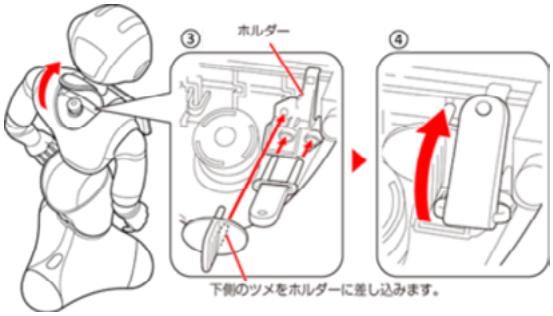


7 腰／ひざからピンを取り外す

腰／ひざが固定され、安定します。

8 Pepper の首の後ろの柔らかいカバーを開け、腰 / ひざのピンを収納する

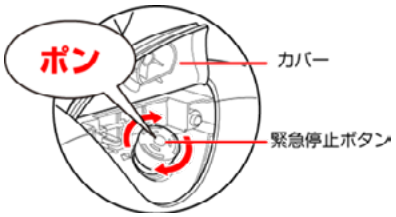
- カバーは柔らかいゴム製です。柔らかいカバー株の隙間に指先を入れて、下から上に持ち上げてください。ピンをホルダーにしっかりと差し込み（③）、腰のピン（金属）のタグを上に折りたたんでください。（④）



9 27 ページの「2-2 使用場所の確認」を参照してから Pepper を移動する（「8-2-4 Pepper を移動する（電源 OFF 時）」281 ページ参照）

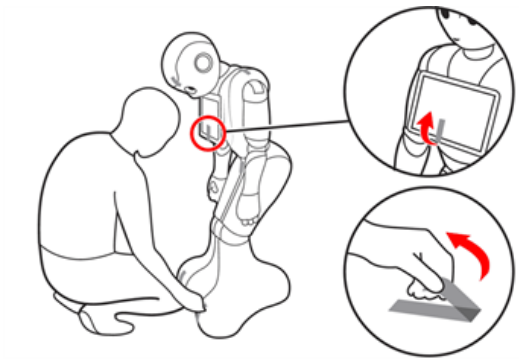
10 緊急停止ボタンを軽く右に回し、ボタンが「ポン」と浮くことを確認する（「4-2-4 緊急停止を解除する」48 ページ参照）

- 緊急停止ボタンを左に回してしまうと、破損する可能性があります。右へ軽く回してください。
- 解除した上体では左右に回転しません。
- 無理に回すと故障の原因となります。



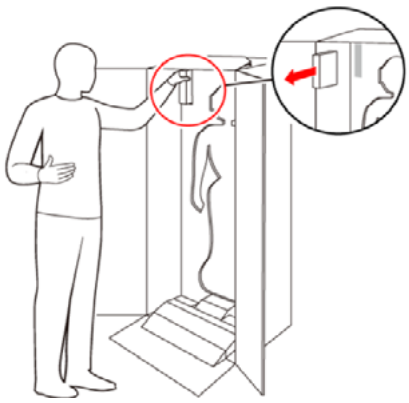
11 緊急停止ボタン（「2-4-1 緊急停止ボタン」30 ページ参照）を押さないように注意して、首の後ろの柔らかいカバーを閉める

12 テープおよび緩衝材が貼り付いている場合は、はがす



13 箱の左上に収納されているアクセサリーボックスを取り出す

■ アクセサリーボックスの中には充電器が入っています。
Pepper のセットアップに必要となりますので、アクセサリーボックスを含めて保管してください。



■ Pepper を移動する必要があるときは、277 ページの「8-2 Pepper の移動方法」を参照してください。
■ 腰 / ひざには姿勢を保持するための仕組みが備わっています。
■ ピンを取り付けた状態では、腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがあります。また、ピンを取り付けたまま起動すると、Pepper が正しく立ち上がらず故障の原因となります。
■ 使用するときは、Pepper を座らせたような姿勢（セーフレスト）（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）にしてからピンを取り外してください。
■ ピンを取り外した状態であっても、Pepper に無理な力を加えると転倒の可能性がありますのでご注意ください。
■ 輸送時や緊急時に使用するため、ピンは必ず保管してください。

4 Pepper の基本操作

4-1 Pepper とのコミュニケーション

Pepper に話しかけたり、ロボアプリを起動することで、Pepper とコミュニケーションを取ることができます。
Pepper があなたの話を聞いている状態は、タッチディスプレイに表示されます。

4-2 Pepper の電源の入れかた／切りかた

4-2-1 電源を入れる

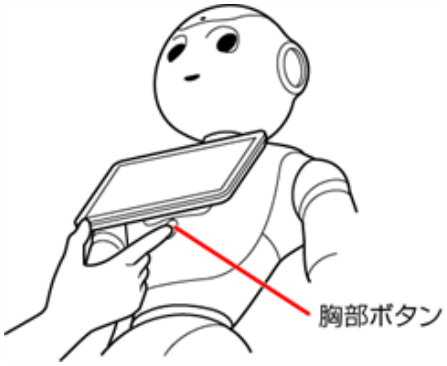
電源を入れる前に、必ず次のチェック項目を確認してください。

☐ 本機を水平で平らな固い床の上に配置した
☐ 本機の周囲に十分なスペースを確保した
☐ 腰／ひざのピンを取り外した（「2-5-1 ピンを取り外す」38 ページ参照）
☐ 緊急停止ボタンを解除した（「4-2-4 緊急停止を解除する」48 ページ参照）
☐ 充電フラップ（「2-4-5 充電フラップ」32 ページ参照）を閉めた

1 胸部ボタン（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）を 1 回押す

目、耳、肩の LED ランプが光り、数分後に、"OGNAK GNOUK（オグナク ヌック）" という音声のあと、Pepper が起動します。

■ 起動時は胸部ボタンを長押ししないでください。4 秒より長く押すとリセット起動になり、起動に数十分かかる場合があります。



■ 電源を入れても LED ランプが点灯しない場合は、充電してから使用してください。

4-2-2 胸部ボタンを使って電源を切る

1 胸部ボタン（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）を 3 秒間押す

“GNUK GNUK”（ヌック ヌック）という音声のあと Pepper の電源が切れます。

■ 胸部ボタンを 4 秒より長く押すと強制シャットダウンとなり、データが保存されないことがありますのでご注意ください。

■ Pepper が動作中に転倒した場合（「8-2-2 Pepper が転倒した場合」279 ページ参照）など、緊急時にはカバーの上から緊急停止ボタンを押して電源を切ってください（「4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」47 ページ参照）。ただし、電源を切るときに常に緊急停止ボタンを使用していると、故障の原因になります。

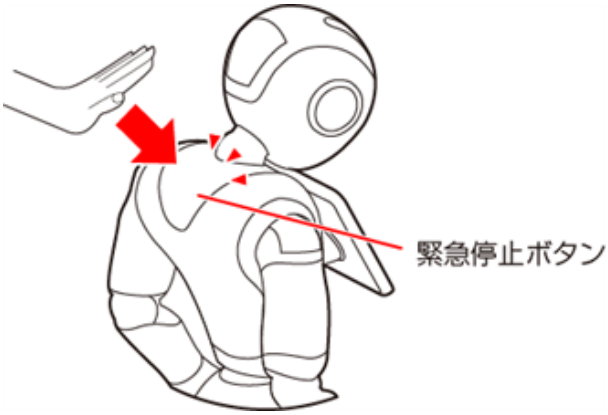
4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る

緊急時には、緊急停止ボタン（「2-4-1 緊急停止ボタン」30 ページ参照）を押して電源を切ってください。

1 Pepper の首の後ろの柔らかいカバーを手のひらで押す

「カチッ」と音がします。

■ 緊急停止ボタンはカバーの下にあります。カバーを開けずに上から押してください。



■ 通常、電源を切るときは胸部ボタンを使用してください（「4-2-2 胸部ボタンを使って電源を切る」46 ページ参照）。電源を切るときに、常に緊急停止ボタンを使用していると故障の原因になります。

■ 緊急時以外、動作中の Pepper に触れないでください。転倒する恐れがあります。ただし、Pepper に明確に提案された場合は、その限りではありません。

■ 再度 Pepper を起動させるには、緊急停止を解除してから（「4-2-4 緊急停止を解除する」48 ページ参照）、電源を入れる（「4-2-1 電源を入れる」45 ページ参照）に従って操作してください。

4-2-4 緊急停止を解除する

1 Pepper の頭を前に倒す

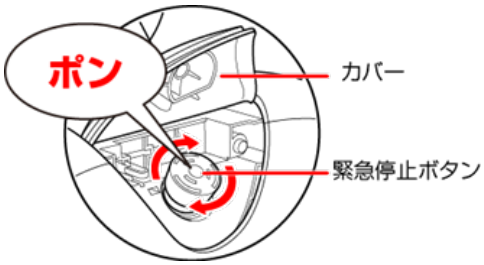
2 Pepper の首の後ろの柔らかいカバー下部の隙間に指先を入れて下から上に開く



3 緊急停止ボタン（「2-4-1 緊急停止ボタン」30 ページ参照）を軽く右に回し、ボタンが「ポン」と浮くことを確認する

緊急停止が解除されます。

- 緊急停止ボタンを左に回してしまうと、破損する可能性があります。必ず右へ軽く回してください。
- 緊急停止を解除した状態では、ボタンは左右に回転しません。
- 無理に回すと故障の原因となります。



4 緊急停止ボタンを押さないように注意して、柔らかいカバーを閉める

- 破損などでカバーが閉まらないときは、カスタマーサポートに連絡してください。

5 Pepper の頭を起こす

4-3 Pepper のスリープ

4-3-1 スリープ状態にする

Pepper を利用しないときに、スリープ状態にすることで電池の消費を抑えられます。頭部が倒れた状態となり、周りの環境に反応しなくなりますが、一部の Autonomous Life の機能が継続します。

1 カメラ（額）を隠しながら、前頭部の一番手前の頭部タッチセンサー（「2-4-4 タッチセンサー」32 ページ参照）を 3 秒以上タッチ

LED ランプ（肩）が紫色に点灯し、Pepper がセーフレストの姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）になります。



4-3-2 スリープ状態を解除する

1 前頭部の一番手前の頭部タッチセンサー（「2-4-4 タッチセンサー」32 ページ参照）をタッチ

スリープ状態が解除され、Pepper が基本姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）に戻ります。

4-4 Pepper の管理メニュー画面

4-4-1 管理メニューにログインする

1 Pepper のディスプレイで、画面左上を3秒以上タッチ

管理メニューパスワード入力画面が表示されます。

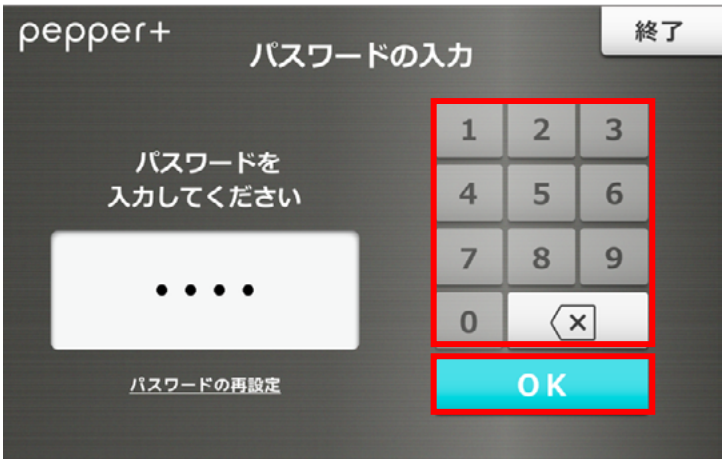
■ お仕事の START 画面を例に説明しています。
一部画面を除き、その他の画面でも管理メニューパスワード入力画面を表示させることができます。



2 管理メニューパスワードを入力し、「OK」をタッチ

管理メニュー画面が表示されます。

■ 管理メニューパスワードの初期値は「9999」です。



4-4-2 パスワードを再設定する

Pepper の管理メニューにログインするためのパスワードを再設定します。

1 Pepper のディスプレイで、画面左上を3秒以上タッチ

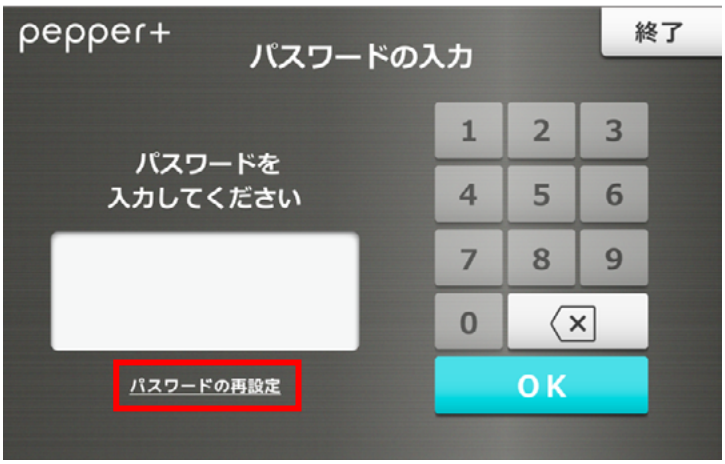
管理メニューパスワード入力画面が表示されます。

■ お仕事の START 画面を例に説明しています。
一部画面を除き、その他の画面でも管理メニューパスワード入力画面を表示させることができます。



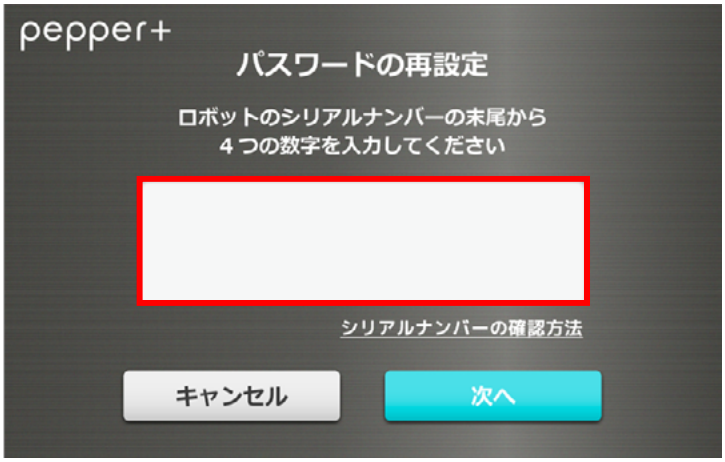
2 「パスワードの再設定」をタッチ

パスワード再設定画面が表示されます。

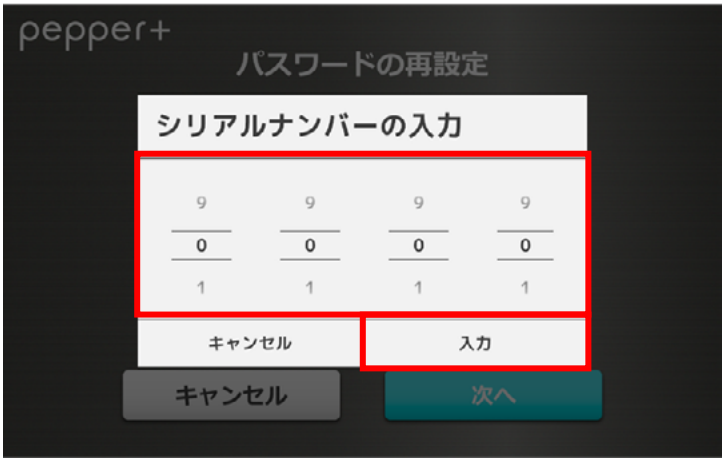


3 シリアルナンバーの入力欄をタッチ

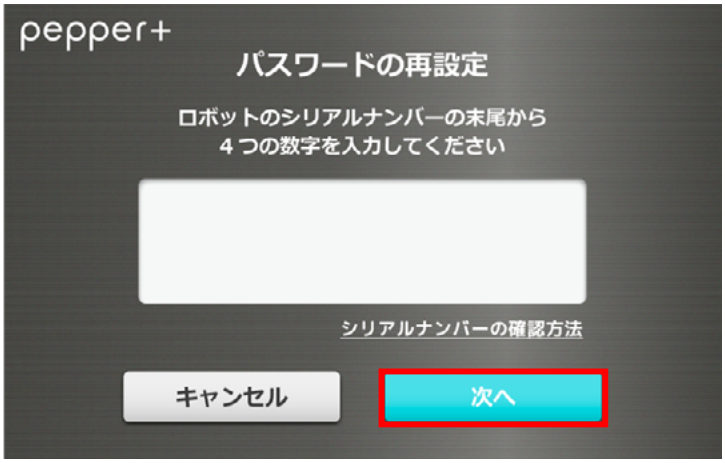
- シリアルナンバーの表示方法は 55 ページの「4-5-1 機体情報を確認する」をご確認ください。
- Pepper のディスプレイでも確認することができます。Pepper のディスプレイで「シリアルナンバーの確認方法」をタッチしてご確認ください。



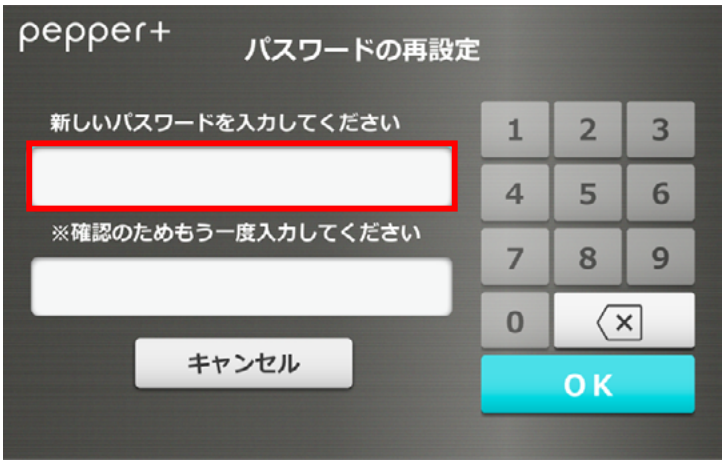
4 シリアルナンバーの先頭から 4 つの英数字を入力し、「入力」をタッチ



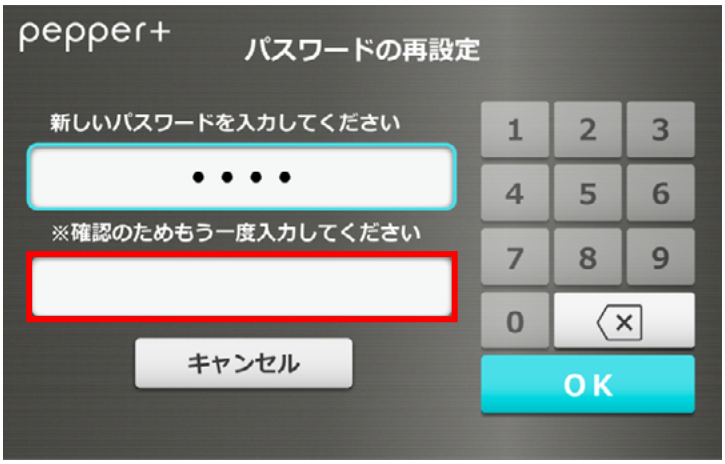
5 「次へ」をタッチ



6 新しいパスワードを入力

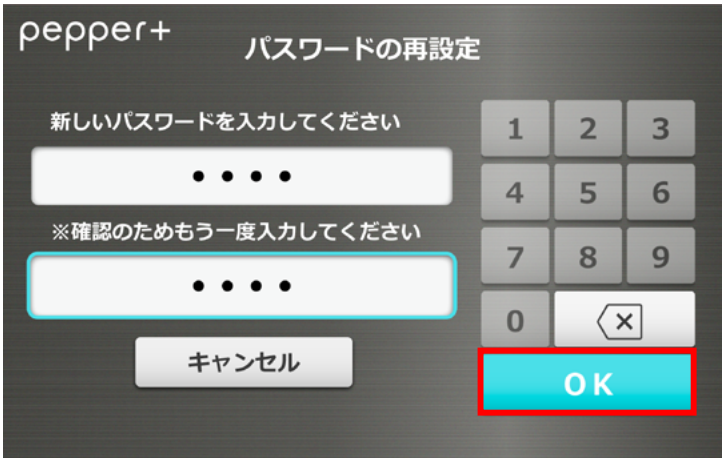


7 確認のため、再度パスワードを入力



8 「OK」をクリック

パスワードの再設定が完了します。



4-5 Pepper の本体管理

4-5-1 機体情報を確認する

ディスプレイで Pepper の機体情報を確認することができます。確認できるのは以下の項目です。

- バッテリー残量
- 利用ライセンス情報

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「設定」をタッチ

設定メニュー画面が表示されます。

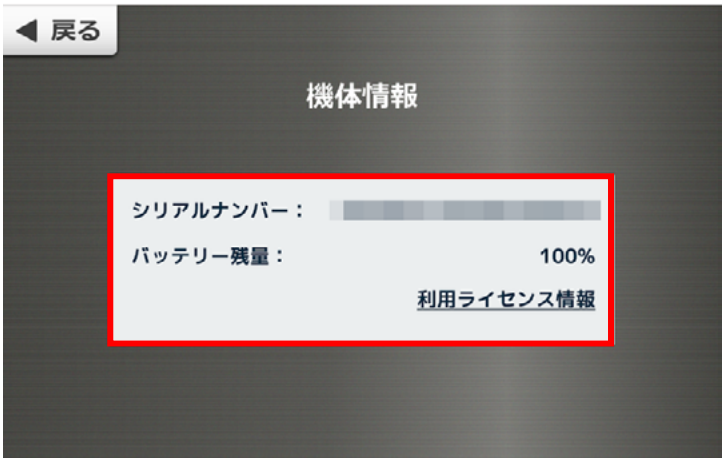


2 「機体情報」をタッチ

機体情報画面が表示されます。



3 各項目を確認



- ロボット名は、Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）のインタラクション分析での表示名となります。

4-5-2 ネットワークを設定する

■ 本機のネットーワーク接続にあたり、Wi-Fi による通信設定を推奨しています。
ただし、Wi-Fi の利用が難しい場合は SIM カードを使用して通信することもできます。SIM カードを使用する場合は、59 ページの「SIM カードを使用して通信の設定する」を参照し、必要な設定を行ってください。

■ Wi-Fi（無線 LAN）の設定する

Wi-Fi（無線 LAN）を利用して、Pepper をネットワークに接続します。

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「設定」をタッチ

設定メニュー画面が表示されます。

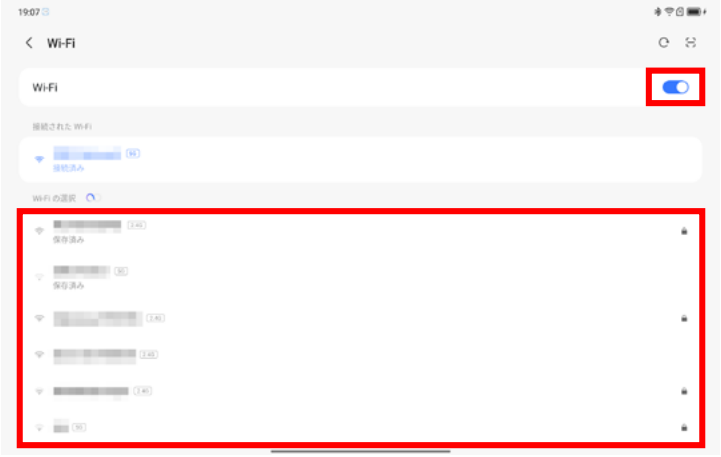


2 「WiFi 設定」をタッチ

Wi-Fi 設定画面が表示されます。



3 Wi-Fi を ON に設定し、アクセスポイントをタッチ



4 パスワードを入力し、「接続」をタッチ

接続が完了します。

- パスワードについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
- セキュリティで保護されていない Wi-Fi ネットワークのときは、パスワードを入力する必要はありません。

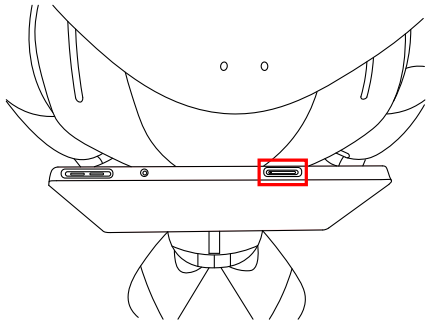
- Pepper は、WEP、WPA、WPA2、WPA3 を利用できます。
- アプリ／お仕事の利用時は、Pepper をネットワークに接続した状態で利用してください。

■ SIM カードを使用して通信の設定する

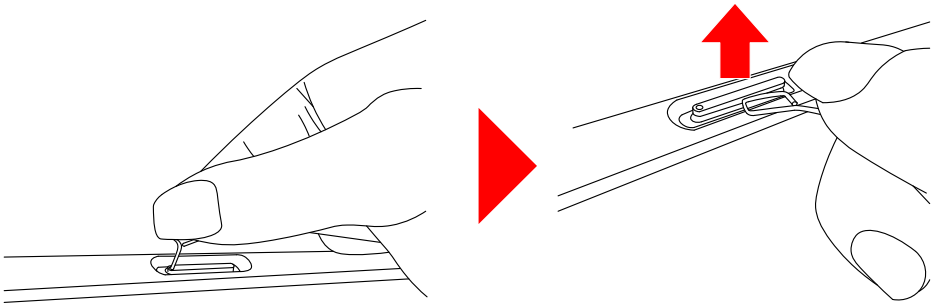
- SIM カードはお客様ご自身でご用意ください。
- SIM カードの抜き差しの際は、SIM カードの落下にご注意ください。抜き差しによるトラブル発生時は、問合せ窓口までお問い合わせください。
- Pepper 返却の際は、SIM カードは必ずお客様にて抜いた状態でご返却ください。SIM カードのご返却は致しかねます。

1 ご契約の SIM カード（nano SIM）と SIM ピンを準備する

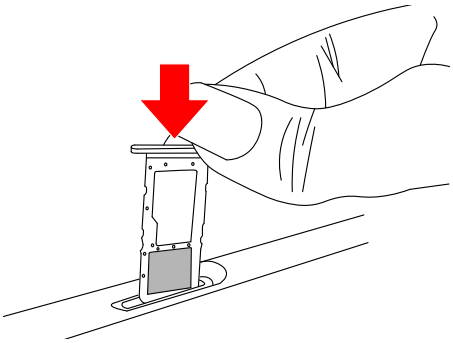
2 タッチディスプレイのケースの上部にある SIM トレーの位置を確認する



3 SIM ピンを穴に差し込み、SIM トレーを取り出す



4 SIM カードを装着し、SIM トレーをタブレットに取り付ける



5 管理メニューにログインする（「4-4-1 管理メニューにログインする」51 ページ参照）

6 Pepper 本体の管理メニュー画面で「設定」をタッチ

設定メニュー画面が表示されます。



7 「その他設定」をタッチ

その他設定画面が表示されます。



8 設定画面で「モバイルネットワーク」をタッチ



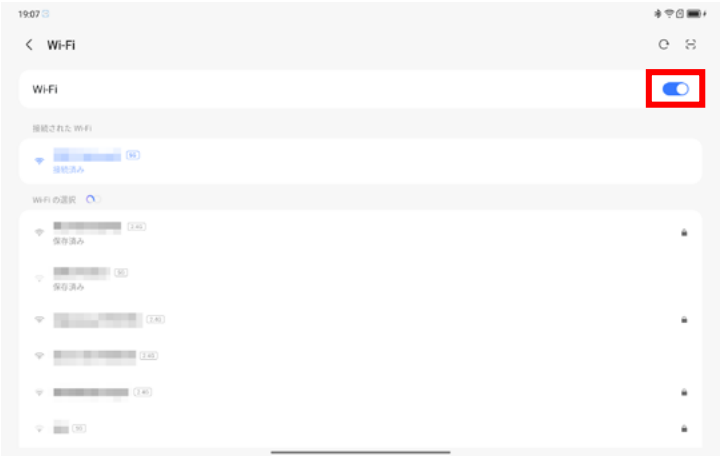
9 ご契約の SIM の SSID を選択し、ネットワークを設定する



10 設定画面に戻り「Wi-Fi」をタッチ



11 Wi-Fi を OFF に設定する



4-5-3 プリンタを設定する

Pepper が使用するプリンタを設定します。

■ 利用するプリンタを Pepper と同じネットワークに接続してください。

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「設定」をタッチ

設定メニュー画面が表示されます。



2 「プリンタ設定」をタッチ

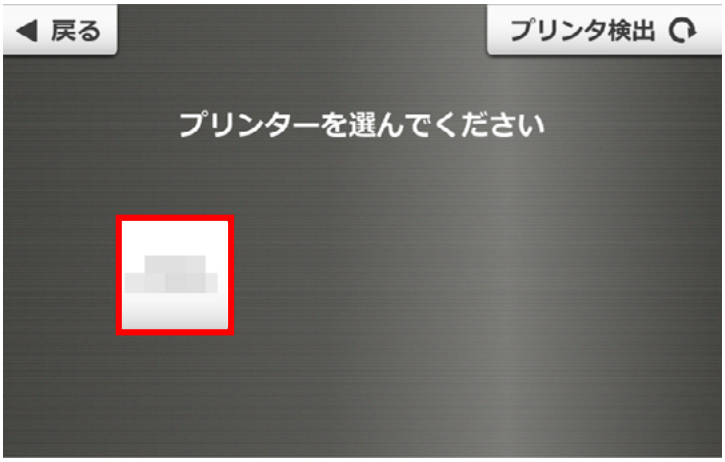
プリンタ設定画面が表示されます。



3 使用するプリンタをタッチ

プリンタとの接続が完了します。

- 選択中のプリンタに「レ点」が表示されます。
  プリンタが表示されない場合は「プリンタ検出」をタッチしてプリンタを検出してください。
- 接続が完了するとプリンタでテスト印刷をすることができます。画面の指示に従って操作してください。



4-5-4 基本アプリを設定する

アプリボックス（「7-7-10 アプリボックス」220 ページ参照）で設定した基本アプリを使用するためにアカウント連携などの設定をします。設定内容は使用する基本アプリにより異なります。

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「設定」をタッチ

設定メニュー画面が表示されます。



2 「基本アプリ設定」をタッチ

基本アプリ設定画面が表示されます。



3 対象の基本アプリをタッチ

■ 以降は画面の指示に従って操作してください。



4-5-5 その他の設定をする

SIM の接続状況、データ通信量の確認をします。
※ SIM カードによる通信をご利用の場合のみ操作してください。

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「設定」をタッチ

設定メニュー画面が表示されます。



2 「その他設定」をタッチ

その他設定画面が表示されます。



3 各項目を設定

■ 設定の詳細は、59 ページの「SIM カードを使用して通信の設定する」を参照してください。

4-5-6 ヘルプを確認する

Pepper に関するヘルプを表示します。

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「設定」をタッチ

設定メニュー画面が表示されます。



2 「ヘルプ」をタッチ

お仕事かんたん生成 3.0 のサポートページが表示されます。



4-6 Pepper の画面の明るさを変更する

タッチディスプレイの明るさを調節します。

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「画面の明るさ」の をドラッグ

バーから指を離すと、明るさが設定されます。



4-7 Pepper の音量を変更する

タッチディスプレイ／バンパーを使用して、Pepper の音量を調節します。

4-7-1 タッチディスプレイで音量を変更する

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「音量」の をドラッグ

バーから指を離すと、音量が設定されます。



■ 音量を確認する場合は、 をタッチしてください。設定した音量で Pepper が発話します。

4-7-2 バンパーで音量を変更する

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「バンパー音量変更モード」を ON ( ) に設定する



2 足先／手で Pepper のバンパーを押して音量を変更できるか確認する

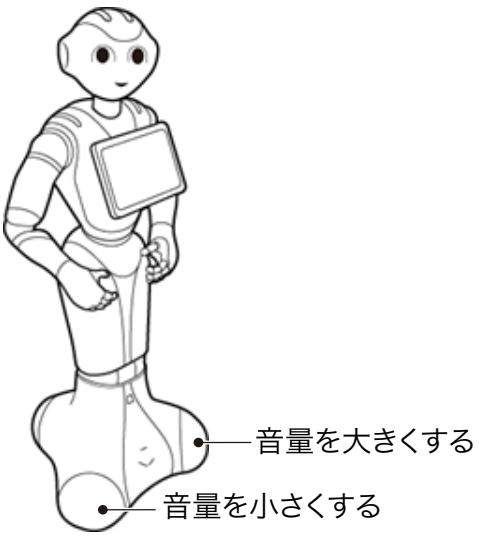
■ アプリボックスや起動アプリ設定から立ち上げた外部アプリ、設定画面、「Pepper for Promotion 遠隔応答」を実行している間は、バンパーを使用した音量変更はできません。

※音量変更はお仕事実行中の画面にて操作する必要があります

Pepper の正面から右のバンパーを押すと音が大きく、左を押すと小さくなります

【足先で押す場合】
Pepper が倒れないように、肩に手を添えながら「カチッ」と音が鳴るまで足先でバンパーを押してください。

【手で押す場合】
Pepper が倒れないように、片方の手を腰に添えながら「カチッ」と音が鳴るまでもう一方の手でバンパーを押してください。



4-8 充電する

Pepper をはじめて使用する際は、付属の充電器で充電してから使用してください。セットアップ中に内蔵バッテリーが少なくなると、正常にセットアップが完了できなくなる可能性があります。充電器の各部の名称は37 ページの「2-4-11 充電器」を参照してください。

■ あらかじめ、充電器の保護フィルムをはがしてください。

■ 充電器を接続する

1 充電器本体に電源ケーブルを差し込む

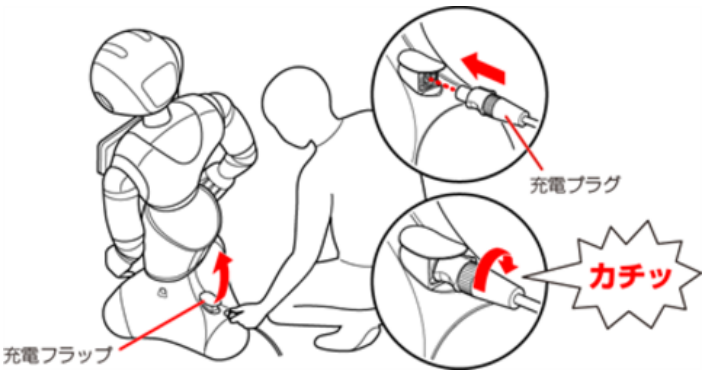
2 電源ケーブルの電源プラグをコンセントに差し込む

正しく接続できると、充電器の充電ランプが緑色に点灯します。

3 Pepper に充電プラグを差し込む

Pepper の充電フラップを開け、充電器の充電プラグを溝の形状に合わせて差し込んで、「カチッ」と音がするまで右に回す。
正しく接続できると、充電器の充電ランプが赤く点灯します。

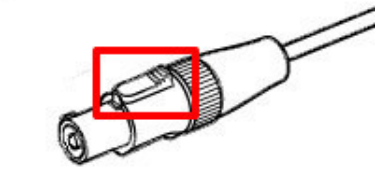
■ 充電器の充電ランプが緑色に点灯したら充電完了です。



4-8-1 充電器を取り外す

1 充電プラグの先端を引きながら左に回し、Pepper から充電プラグを取り外す

■ 充電が完了したら、充電プラグの先端を引きながら左に回して充電プラグを取り外してください。

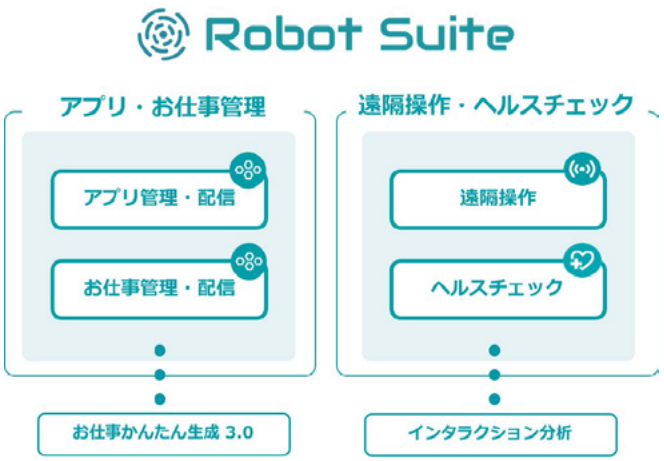


■ 充電器にはスイッチがありません。電源を切る場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。
■ 充電器は熱くなることがあります。充電中や充電直後の取り扱いに注意してください（「1-5 充電器の取り扱いについて」 15 ページ参照）。
■ 充電中も Pepper と会話をすることができます。
■ 充電フラップが開いているとホイールが動かないため、Pepper が転倒しないように注意してください。充電フラップが開いているとホイールが停止するため、Pepper の動きが制限されます。

5 Robot Suite の利用の準備

5-1 Robot Suite について

Robot Suite は、「アプリ・お仕事管理」／「遠隔操作・ヘルスチェック」の 2 つの機能で構成されています。



■ Robot Suite（アプリ・お仕事管理）の主な機能

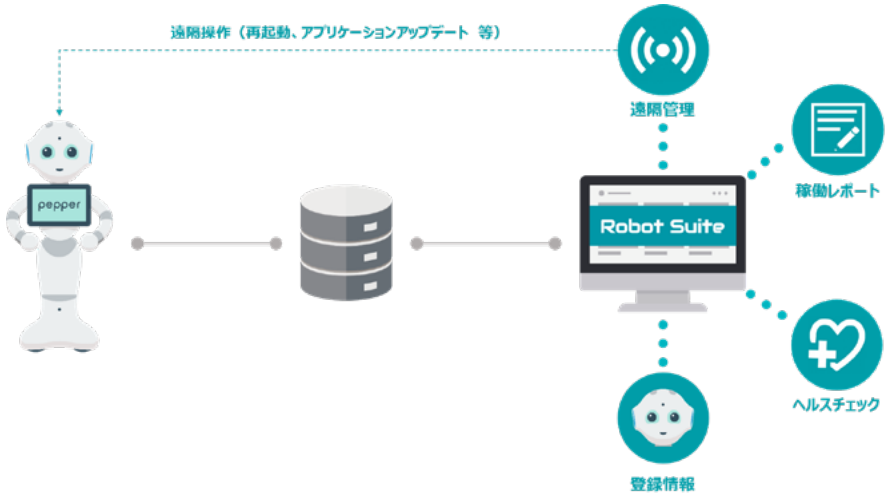
「お仕事かんたん生成 3.0」を利用すると Pepper にお仕事をさせることができ、その他にもロボット・アプリ・お仕事・アカウントの管理など、複数のサービスを Robot Suite を介して操作する ことができます。

■ 「Robot Suite（アプリ・お仕事管理）」はお仕事かんたん生成 3.0 をご利用の方のみ使用できる機能です。

機能	説明	参照
ロボットの管理	各ロボット（Pepper）の情報を編集します。	89 ページの「5-4-2 Pepper の機体情報を管理する」
アプリ／お仕事の管理	Pepper で利用するアプリを管理できます。また、「お仕事かんたん生成 3.0」を利用すると Pepper にお仕事をさせることができ、その他にもロボット・アプリ・お仕事・アカウントの管理など、複数のサービスを Robot Suite を介して操作することができます。	133 ページの「7-3-1 アプリを Pepper に配信する」

■ Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）の主な機能

Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）では、マーケットに展開しているロボットを遠隔で監視し、ロボットのエラー情報や稼働状況などを把握することができます。



機能	説明	参照
稼働レポート	Pepper の稼働状況（月次／日次）や、平均稼働時間、インタラクション時間を全グループ、またはグループ別に確認することができます。稼働状況は CSV ファイルでダウンロードすることもできます。	（「5-6 稼働レポート」100 ページ参照）
ヘルスチェック	Pepper の現在の健康状態を全グループ、またはグループ別に確認することができます。過去に発生したエラー症状やエラー箇所、発生後のアドバイスなど対処方法も確認できます。	（「5-5 ヘルスチェック」92 ページ参照）

- 毎日夜間（23:00 から翌朝 5:00）にメンテナンスを実施します。
- 画面は仕様変更などの理由により予告なく変更される場合があります。
- 「Robot Suite（アプリ・お仕事管理）」はお仕事かんたん生成 3.0 をご利用の方のみ使用できる機能です。
- お使いの NAOqi バージョンによって各機能で表示されるデータが異なるためご注意ください。

5-2 Robot Suite へのログイン

5-2-1 はじめてログインする

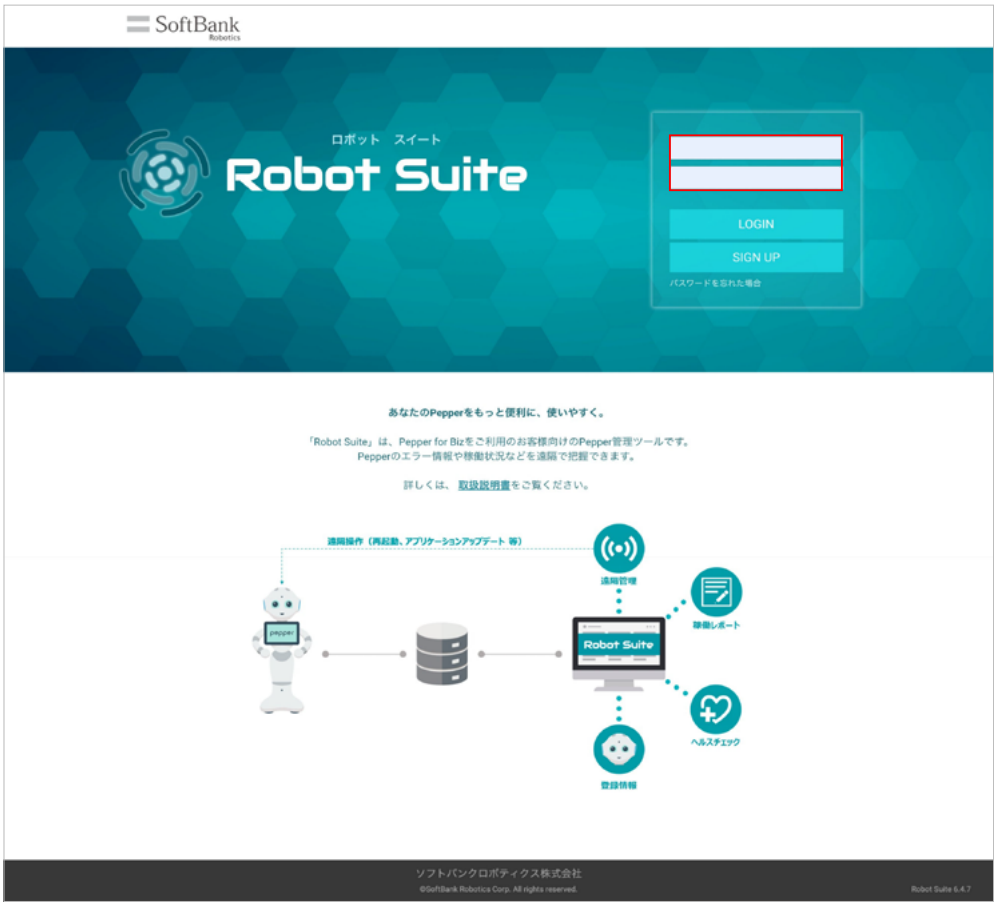
Robot Suite にはじめてログインします。メールアドレスとパスワードを入力したら、必ず初期設定（「5-3 初期設定をする」80 ページ参照）を行ってください。

1 ブラウザで Robot Suite (https://ros.robot.softbank.jp) にアクセス

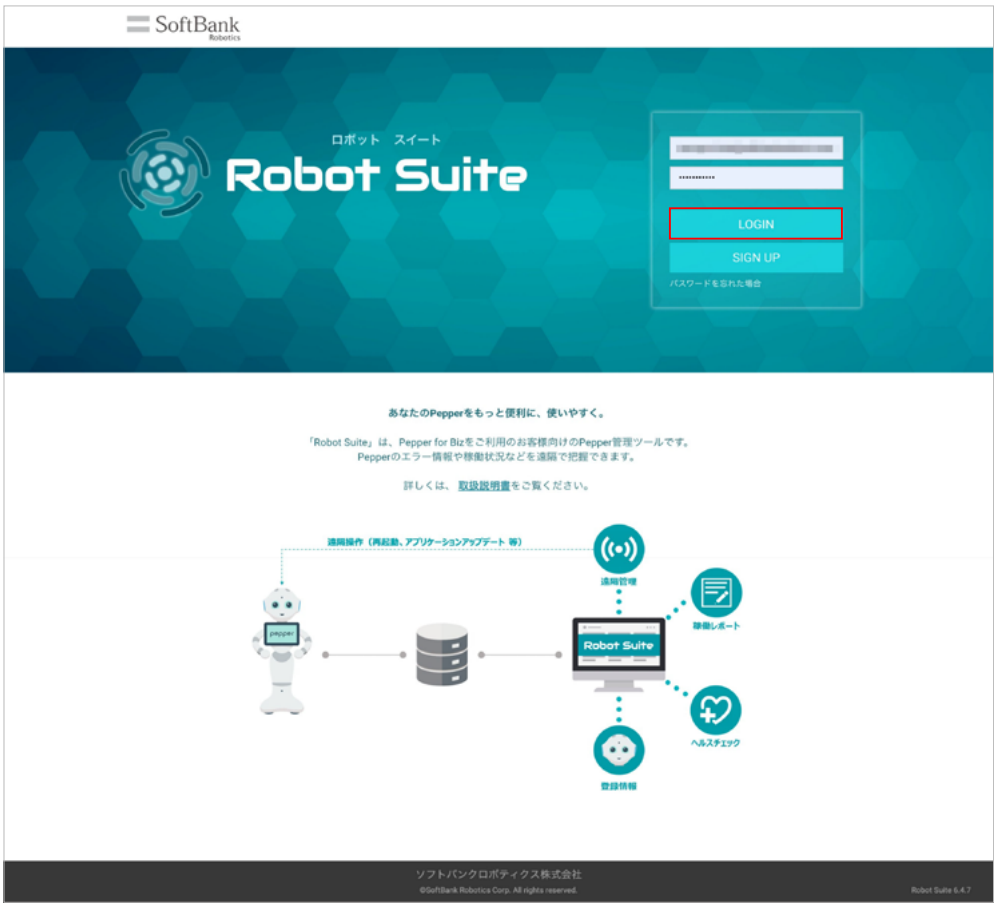
Robot Suite のホーム画面が表示されます。

2 メールアドレスとパスワードを入力

- Robot Suite アカウント取得時に登録したメールアドレスとパスワードを入力してください。
- パスワードを忘れてしまった場合は、「パスワードを忘れてしまった場合」をクリックし、画面の指示に従って Robot Suite アカウントを取得し直してください。



3 「LOGIN」をクリック



■ メールアドレスとパスワードを入力したら、133 ページの「7-3-1 アプリを Pepper に配信する」に進んでください。

5-2-2 ログインする

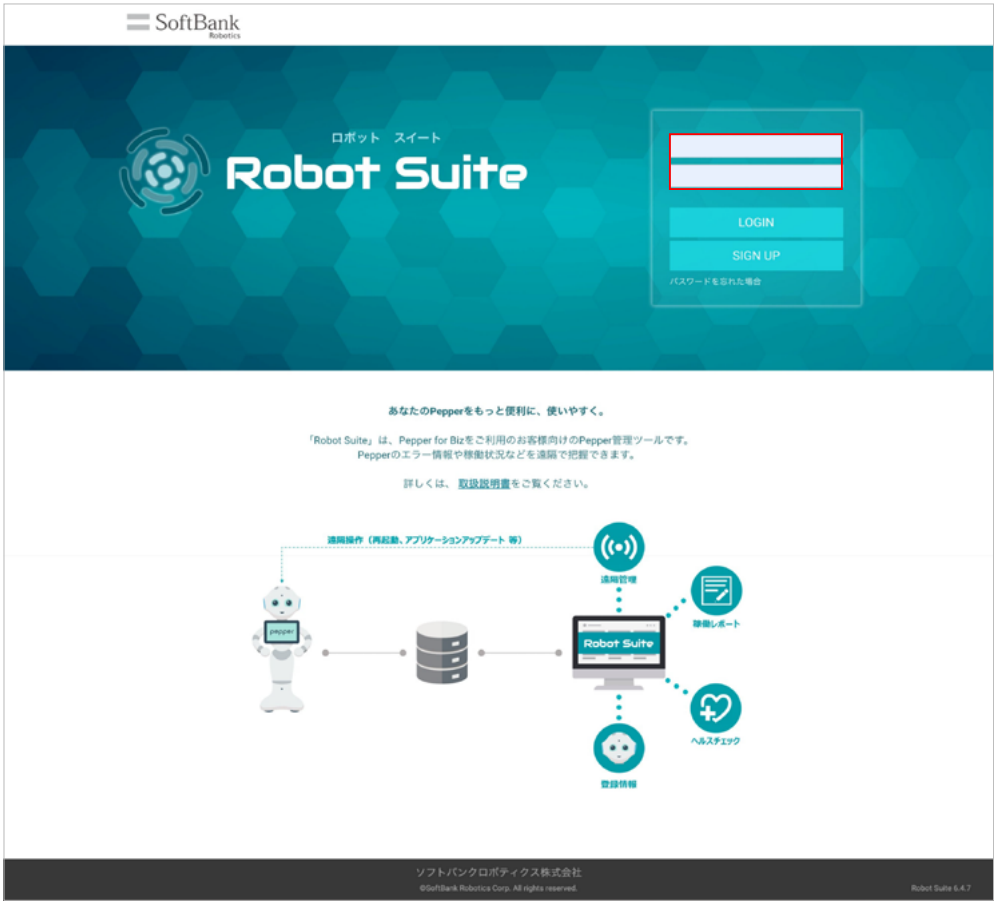
Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）にログインします。

1 ブラウザで Robot Suite（https://ros.robot.softbank.jp）にアクセス

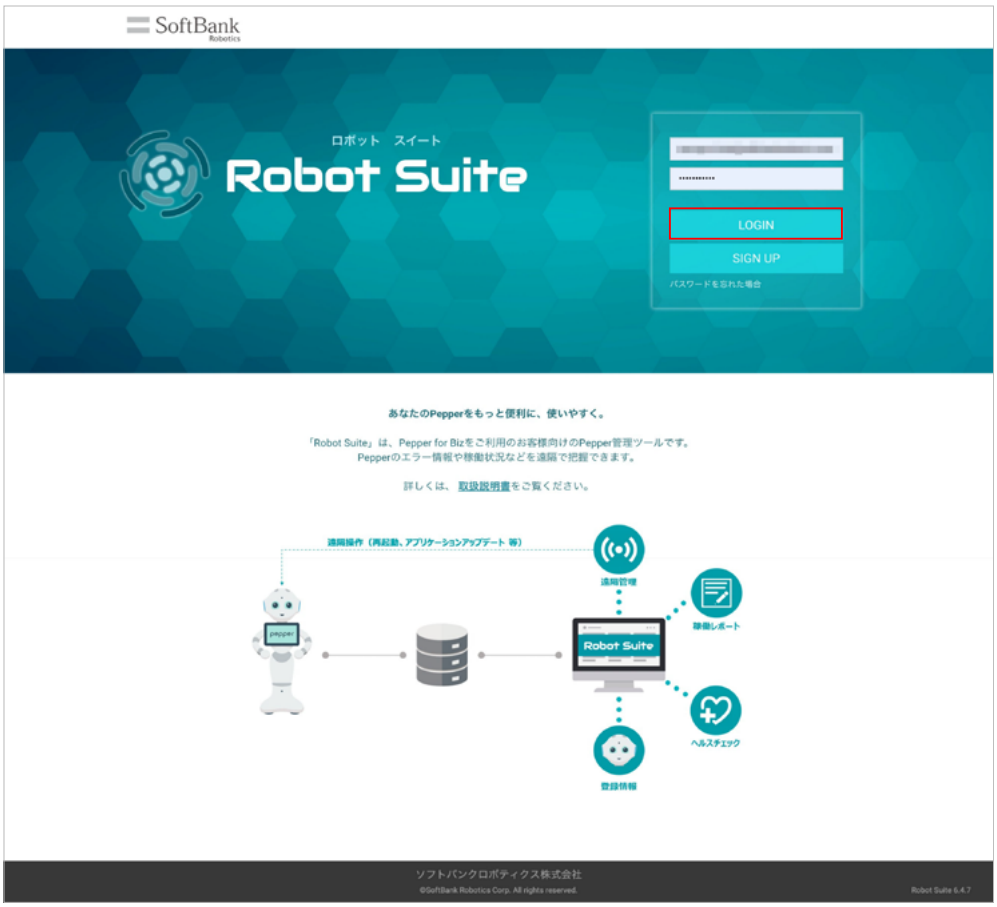
Robot Suite のホーム画面が表示されます。

2 メールアドレスとパスワードを入力

- Robot Suite アカウント取得時に登録したメールアドレスとパスワードを入力してください。



3 「LOGIN」をクリック



5-2-3 ログアウトする

Robot Suite からログアウトします。

1 アカウントをクリック



2 「ログアウト」をクリック

ログアウトが完了します。



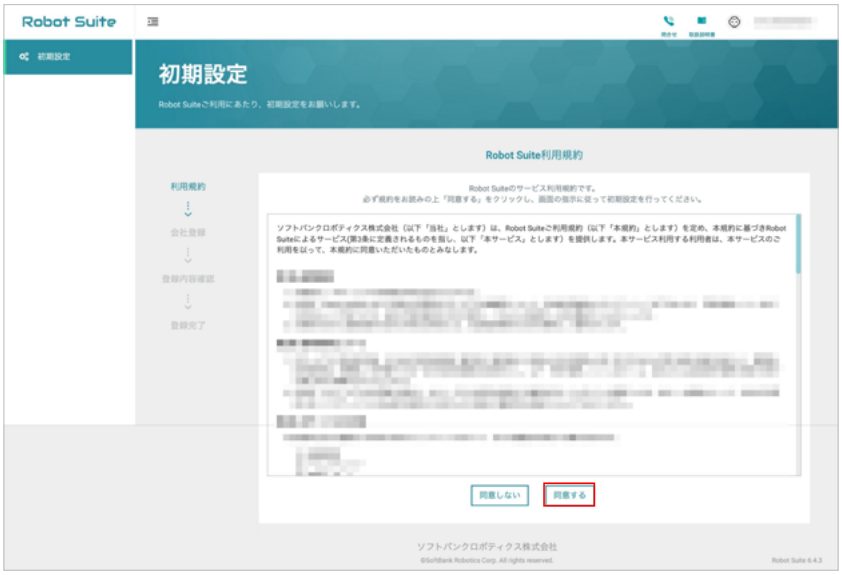
5-3 初期設定をする

Robot Suite をはじめて利用するときは、初期設定を行ってください。初期設定で登録する内容は、あとから登録情報（「5-4 登録情報」83 ページ参照）で変更できます。

1 ブラウザで Robot Suite にログインする（「5-2-1 はじめてログインする」75 ページ参照）

2 規約内容を確認し、「同意する」をクリック

■ 利用規約に同意されない場合は Robot Suite のサービスは利用できません。



3 「会社登録画面」で会社名を入力

■ Robot Suite で表示する会社名を入力してください。



4 会社名（英語）を入力



5 業種カテゴリーを選択



6 業種を選択



7 「次へ」をクリック



8 登録内容を確認し、「登録」をクリック

初期設定が完了します。



9 「Robot Suite を開く」をクリック

登録情報画面（「5-4 登録情報」83 ページ参照）が表示されます。



5-4 登録情報

ユーザー情報やロボット情報を登録・編集します。

5-4-1 ユーザー情報を管理する

■ ユーザー情報を編集する

初期設定（「5-3 初期設定をする」80 ページ参照）で登録したユーザー情報（会社名、業種）を編集します。

1 登録情報画面で「ユーザー」をクリック

ユーザー情報が表示されます。



2 会社名（日本語／英語）を編集をクリック



3 「業種カテゴリー」と「業種」を選択

ユーザー情報が表示されます。



4 「更新」をクリック

ユーザー情報の編集が完了します。



■ グループ情報を追加する

グループ情報を新規登録します。

1 登録情報画面で「ロボット」をクリック



2 グループ名とグループ名（カナ）を入力



3 「登録」をクリック

グループ情報の登録が完了します。



■ グループ情報を編集／削除する

あらかじめ登録したグループ情報の編集をします。

1 登録情報画面で「ロボット」をクリック



2 登録情報を編集したいグループの「グループ名変更」をクリック

■ グループを削除する場合は「グループ削除」をクリックしてください。削除したロボットは「グループなし」に表示されます。



3 グループ名とグループ名（カナ）を編集する



4 「登録」をクリック

グループ情報の編集が完了します。



5-4-2 Pepper の機体情報を管理する

登録されているロボットのロボット名やグループ名、オーナー番号を編集します。

1 登録情報画面で「ロボット」をクリック

ロボット情報画面が表示されます。



2 編集したいロボットの をクリック



3 ロボット名やオーナー番号を編集



ロボット情報画面

番号	説明
①	ロボットのグループ名です。あらかじめ登録したグループ名から選択できます。
②	ロボット名です。
③	ロボット情報を CSV ファイルでダウンロードします。
④	ロボットの最終稼働日時です。
⑤	ロボットの Head ID です。
⑥	ロボットの Body ID です。
⑦	オーナー番号です。
⑧	ロボット情報の編集ボタンです。

■ グループの変更、ロボット名とオーナー番号のみ編集できます。

4 **をクリック**

編集が完了します。



5-5 ヘルスチェック

ロボットの健康状態を全グループまたはグループ別に確認したり、過去に発生したエラー症状やエラー箇所、エラー発生後のアドバイスなどの対処方法を確認します。

5-5-1 ヘルスチェック結果を確認する（グループ別）

グループ別にロボットの健康状態を確認します。健康状態はヘルスチェック結果として緑色・黄色・赤色のステータスで表示され、エラーが発生している場合は、エラーを解消するための対処方法も表示されます。また、過去のエラー内容やアドバイス（対処方法）発生件数なども確認できます（「 エラー履歴を確認する」96 ページ参照）。

- ヘルスチェック結果を表示する際、グループ名を選択する場合（「 グループ名を選択する場合」92 ページ参照）と、Body ID を選択する場合（「 Body ID を選択する場合」94 ページ参照）でヘルスチェック結果の表示内容が異なるためご注意ください。
- 登録されているロボットの数が多い場合、データ取得に時間がかかります。

■ グループ名を選択する場合

1 ヘルスチェック画面のグループ別で「グループ名」を選択



2 ヘルスチェック結果を確認する

■ 全てのステータスのロボットを表示させたい場合は、Body ID を選択してください。



ヘルスチェック結果画面

番号	説明
①	ヘルスチェックしたグループ名です。Body ID で検索した場合は、ロボットの Body ID が表示されます。
②	エラーを検知した件数です。
③	ヘルスチェック結果の内容です。 ■ エラーが発生した場合：赤色と黄色の信号が表示されます。 ■ エラーが発生していない場合：「ロボットは全て健康です。」と表示されます。

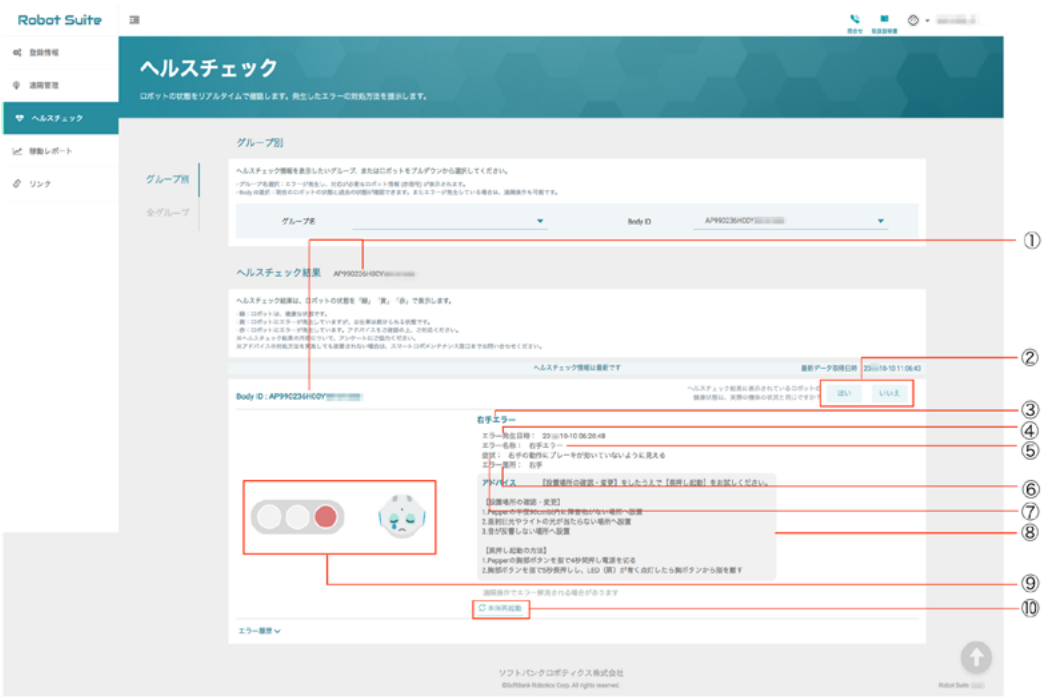
■ Body ID を選択する場合

1 ヘルスチェック画面のグループ別で Body ID を選択する



2 ヘルスチェック結果を確認する

- 緑色や黄色も含め全てのステータスのロボットが表示されます。
- ヘルスチェックの結果は 1 週間前まで履歴で確認できます。



ヘルスチェック結果画面

番号	説明
①	ヘルスチェックしたロボットの Body ID です。
②	アンケートの回答ボタンです。ヘルスチェック結果の内容と実際のロボットの健康状態が同じか確認し、回答してください。

③	発生したエラーの名称です。
④	エラーが発生した日時です。
⑤	発生したエラーの名称です。
⑥	エラーが発生した箇所（部位）です。
⑦	エラーの症状です。
⑧	エラーを解消するためのアドバイス（対処方法）です。対処方法はエラー内容により異なります。
⑨	ヘルスチェック結果のステータスです。ステータスは緑色・黄色・赤色の３段階で表示されます。 ■ 緑色：良好（ロボットは健康な状態です。）  ■ 黄色：注意（ロボットに一時的なエラーが発生していますが、お仕事は継続できる状態です。）  ■ 赤色：警告（ロボットにエラーが発生しています。解決方法をお試しください。） 
⑩	遠隔操作の実行ボタンです。必要に応じて遠隔操作を実行してください。 ※遠隔操作の実行ボタンの表示は発生したエラー内容により異なります。

■ エラー履歴を確認する

1 ヘルスチェック画面のグループ別で「Body ID」を選択する

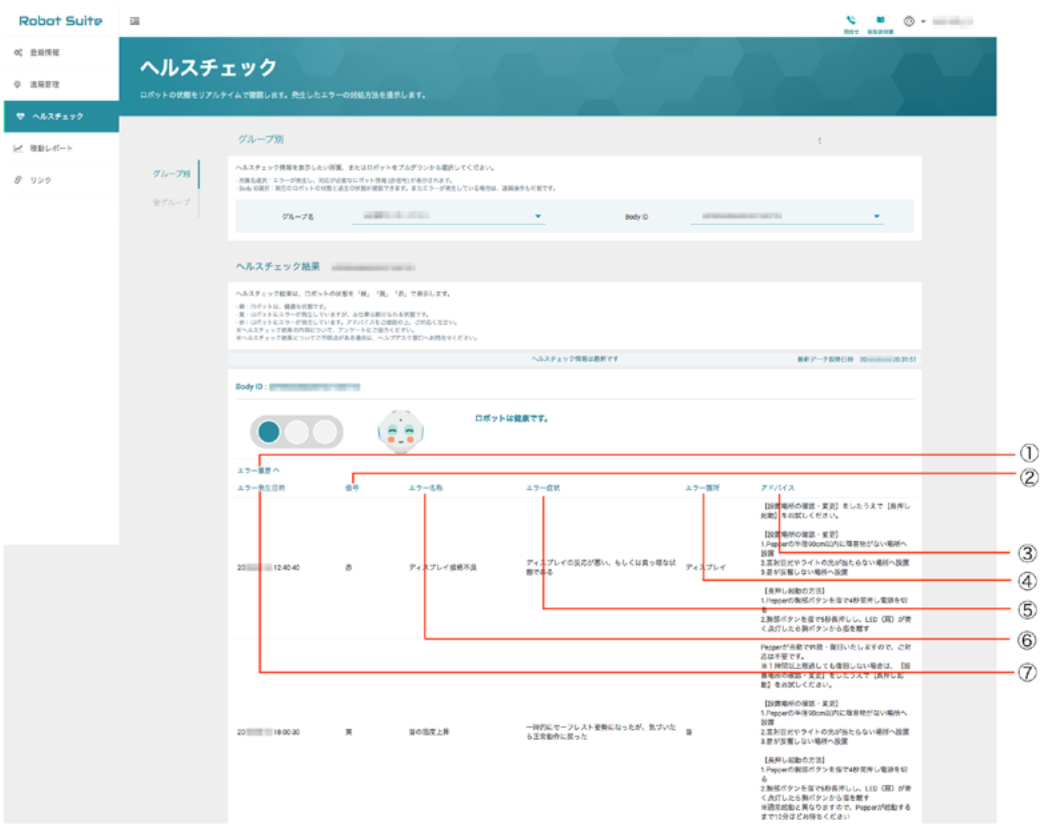


2 「エラー履歴」をクリック

エラー履歴一覧が表示されます。



3 エラー履歴を確認する



エラー履歴画面

番号	説明
①	ヘルスチェックしたロボットの Body ID です。
②	アンケートの回答ボタンです。ヘルスチェック結果の内容と実際のロボットの健康状態が同じか確認し、回答してください。
③	発生したエラーの名称です。
④	エラーが発生した日時です。
⑤	発生したエラーの名称です。
⑥	エラーが発生した箇所（部位）です。
⑦	エラーの症状です。

5-5-2 ヘルスチェック結果を確認する（全グループ）

全グループのロボットの健康状態（稼働状況や稼働台数、エラーの発生件数など）を確認します。

1 ヘルスチェック画面で「全グループ」をクリック



2 全グループのヘルスチェック結果を確認する



ヘルスチェック結果画面

番号	説明
①	ロボットのグループ名です。
②	各グループに登録されているロボットの台数です。
③	1 時間以内に稼働していたロボットの台数です。
④	ソート機能です。昇順／降順に並べ替えて表示します。
⑤	発生しているエラーに対して対応が必要な台数です。
⑥	直近 1 週間のエラー履歴のうち、エラーが解決した件数です。
⑦	②、③、⑤、⑥のそれぞれの合計数です。

5-6 稼働レポート

5-6-1 稼働状況を確認する（全グループ）

全グループのロボットの月次稼働状況（「 Pepper の稼働状況（月次）を確認する」 100 ページ参照）と、日次稼働状況（「 Pepper の稼働状況（日次）を確認する」 102 ページ参照）を確認します。
15 分毎に稼働を確認するため、総可動時間は 15 分刻みで表示されます。

■ Pepper の稼働状況（月次）を確認する

ログイン時（当月を含む）から 3 ヶ月前までの稼動状況を確認できます。

1 稼働レポート画面で「全グループ」をクリック

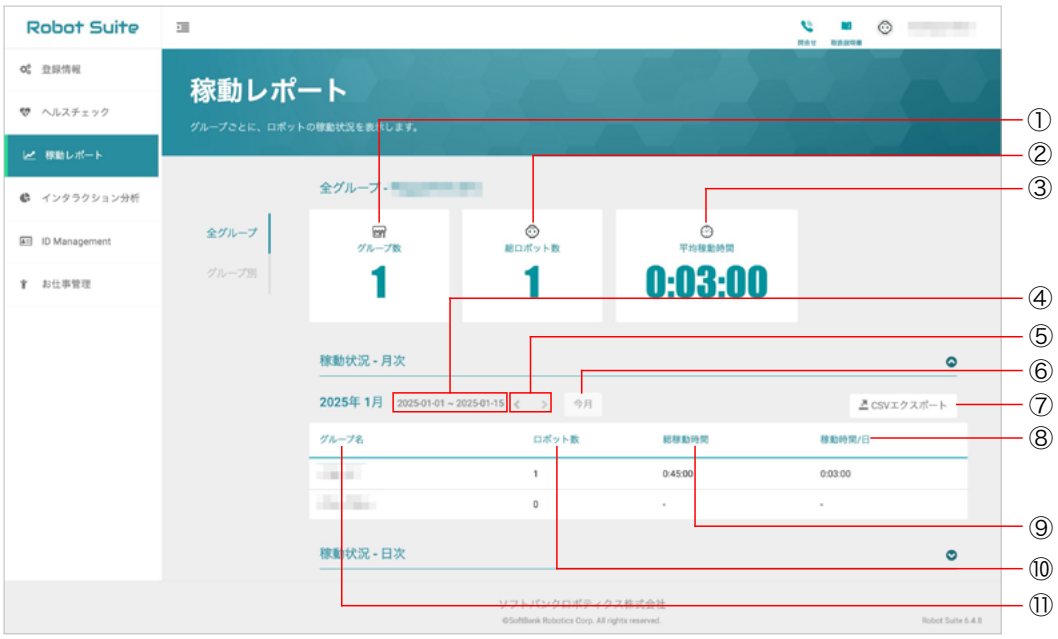


2 稼働レポート画面で「稼働状況 - 月次」をクリック

月次の稼働状況が表示されます。



3 稼働状況を確認する



稼働レポート（月次）画面

番号	説明
①	Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）に登録されているグループの総数です。
②	Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）に登録されているロボットの総数です。
③	月次の平均稼働時間です。
④	稼働状況を確認する期間です。
⑤	前月または翌月の稼働期間を設定します。
⑥	今月の稼働状況（月次）を表示します。
⑦	月次の稼働レポートを CSV ファイルでダウンロードします。
⑧	1 日あたりの平均稼働時間です。
⑨	各グループのロボットの総稼働時間数です。
⑩	各グループのロボットの台数です。
⑪	Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）に登録されている各グループのグループ名です。

■ Pepper の稼働状況（日次）を確認する

ログイン時（当月を含む）から 3 ヶ月前までの稼動状況を確認できます。

1 稼働レポート画面で「稼働状況 - 日次」をクリック

日次の稼働状況が表示されます。



2 稼働状況を確認する



稼働レポート（日次）画面

番号	説明
①	稼働状況を確認する開始日です。
②	稼働状況を確認する開始日を変更します。 ※ 初期表示は 6 日前～本日の稼働状況が表示されています。
③	日次の稼働レポートを CSV ファイルでダウンロードします。
④	Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）に登録されている全てのグループ名です。
⑤	ロボットの稼働日です。7 日間表示されます。
⑥	日次の稼働時間数です。

5-6-2 稼働状況を確認する（グループ別）

グループ別にロボットの月次稼働状況（「 Pepper の稼働状況（月次）を確認する」 104 ページ参照）と、日次稼働状況（「 Pepper の稼働状況（日次）を確認する」 106 ページ参照）を確認します。

■ Pepper の稼働状況（月次）を確認する

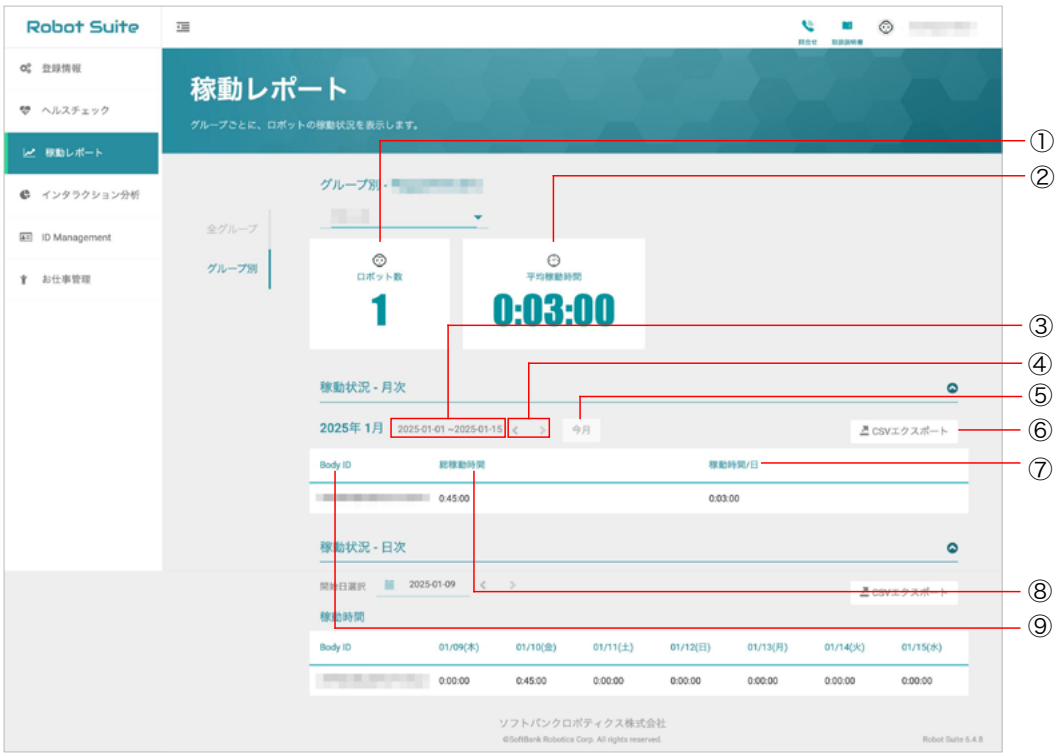
1 稼働レポート画面で「グループ別」をクリック



2 Pepper の稼働状況を確認したいグループを選択



3 稼働状況を確認する



稼働レポート（月次）画面

番号	説明
①	選択したグループのロボットの台数です。
②	選択したグループのロボットの平均稼働時間です。
③	稼働状況を確認する期間です。
④	前月または翌月の稼働期間を設定します。
⑤	今月の稼働状況（月次）を表示します。
⑥	表示された稼働状況（月次）を CSV ファイルでダウンロードします。
⑦	選択したグループのロボットごとの総稼働時間を月の日数で割った、1 日あたりの時間です。
⑧	選択したグループのロボットごとの総稼働時間です。
⑨	選択したグループのロボットごとの Body ID です。

■ Pepper の稼働状況（日次）を確認する

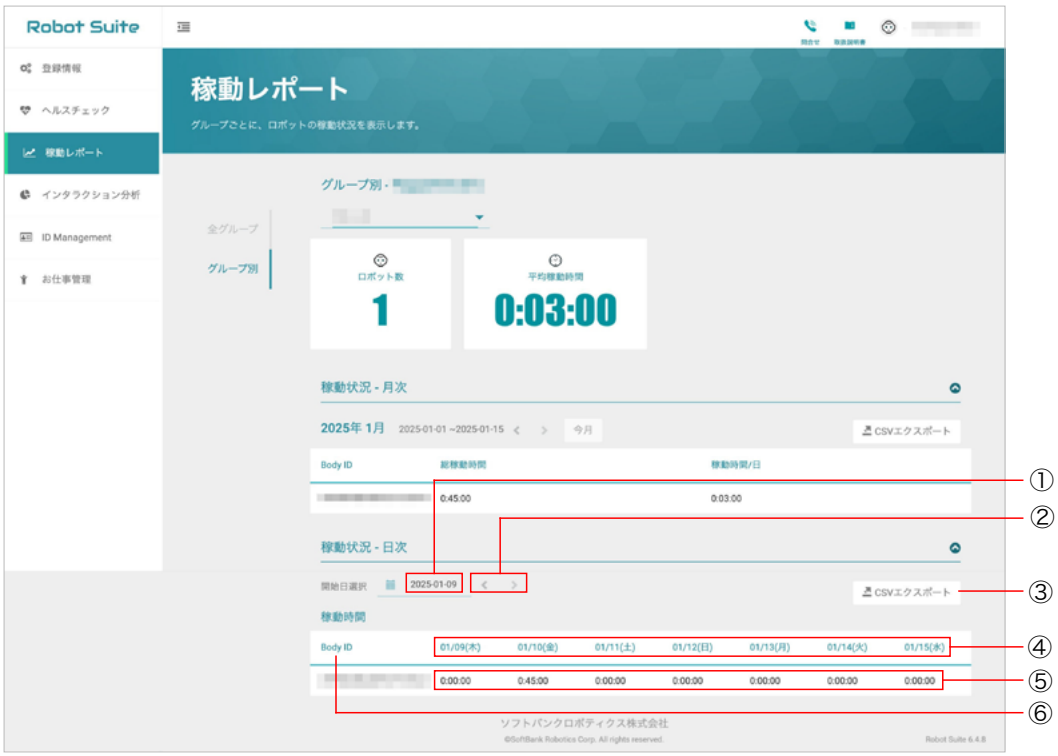
1 稼働レポート画面で「グループ別」をクリック



2 Pepper の稼働状況を確認したいグループを選択



3 稼働状況を確認する



稼働レポート（日次）画面

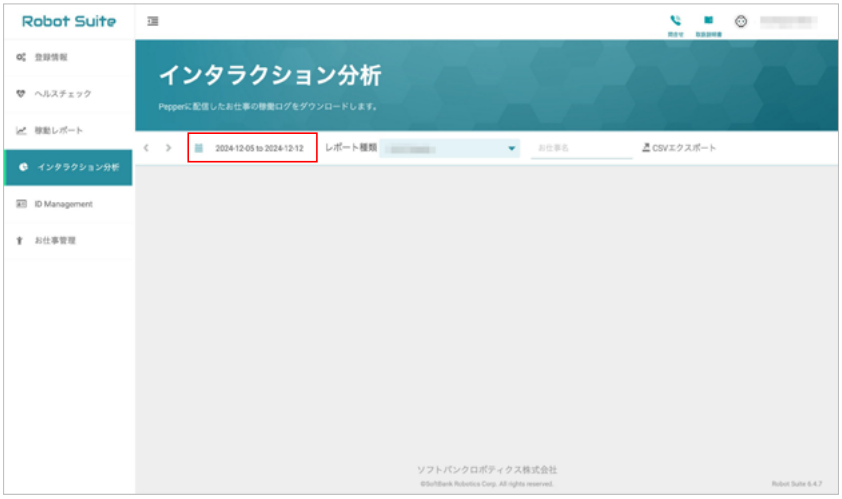
番号	説明
①	稼働状況を確認する開始日です。
②	前月または翌月の稼働期間を設定します。
③	表示された稼働状況（月次）を CSV ファイルでダウンロードします。
④	稼働状況を確認する日付です。7 日間表示されます。
⑤	日次の稼働時間です。
⑥	選択したグループのロボットごとの Body ID です。

5-7 インタラクション分析

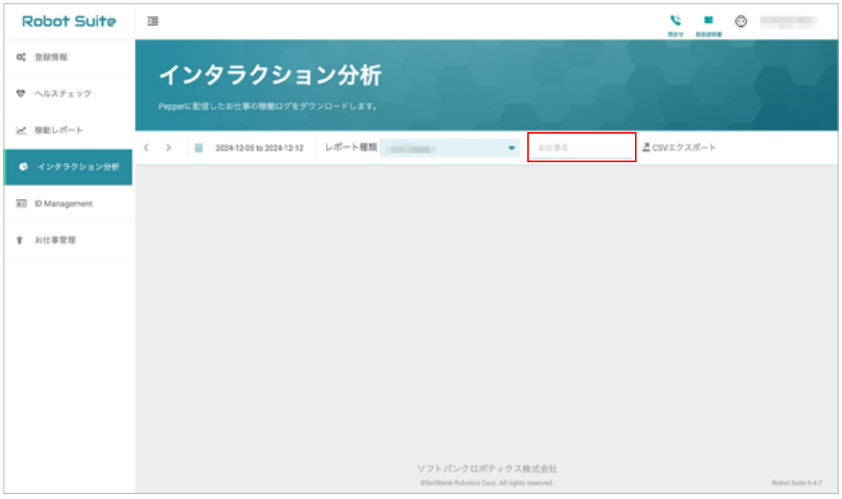
Robot Suite アカウントに紐付く Pepper が取得したデータを、CSV 形式でダウンロードします。取得できるデータは、ログイン時から 3 ヶ月前までです。取得できるデータの内容は 109 ページの「取得できるデータ」を参照してください。

5-7-1 Pepper が取得したデータを CSV 形式でダウンロードする

1 インタラクション分析画面でデータの取得期間を指定する

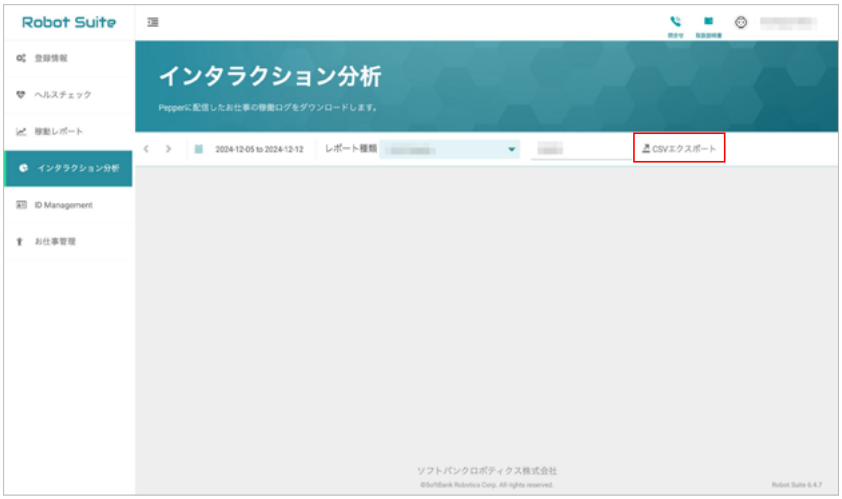


2 Pepper で実施したお仕事名の一部／全てをお仕事名に入力する



3 「CSV エクスポート」をクリック

CSV 形式のファイルがダウンロードされます。



■ 一度に出力できるログは 4 万行程度です。多くのログを出力したい場合は、日付を区切り、複数回に分けてダウンロードする必要があります。

■ 取得できるデータ

項目	説明
シリアルナンバー	ロボットのシリアルナンバーです。
テンプレート ID	そのお仕事の作成時に使用したテンプレートを識別する ID です。
お仕事 ID	そのお仕事を識別する ID です。
お仕事名	そのお仕事につけられた名前です。
開始日時	その回のお仕事を開始した時間です。
終了日時	その回のお仕事が終了した時間です。
性別	お仕事開始時に Pepper が推定したお客様の性別です。 （1：女性、2：男性、3：不明）
年齢	お仕事開始時に Pepper が推定したお客様の年齢です。 （0 以外：推定した年齢、0：不明）
ボックス名	実施したボックスに設定された名前です。
ボックス ID	実施したボックスを識別する ID です。

ボックスタイプ	実施したボックスの種類です。 【ボックスの種類一覧】 1. ホームボックス 2. セリフボックス 3. 印刷ボックス 4. 質問ボックス 5. メニューボックス 6. 分岐ボックス（性別・年齢） 7. ジャンプボックス 8. 分岐ボックス（ランダム） 9. AI 会話ボックス 10. 遠隔応答ボックス 11. アプリボックス 12. アプリボックス 13. 通知ボックス 14. 条件分岐ボックス 15. 属性判定ボックス 16. 顧客情報取得ボックス 17. ホーム位置ボックス 18. 移動ボックス
コンテンツ	実施したボックスによっては詳細情報が記載されます。 【コンテンツに格納される情報一覧】 ■ メニューボックス、質問ボックス blanch：お客様に選ばれた選択肢名 face：顔認識の状況（true：お仕事の冒頭と同じ結果、false：異なる結果） ■ アプリボックス package_name：起動したアプリのパッケージ名 activity_name：アプリが起動したときのアクティビティ名 launch_param：アプリが起動するときに渡される場合がある追加情報や設定 return_value：アプリや特定の機能が完了した後に返される場合がある値 ■ AI 会話ボックス dialogflow_session：会話のセッション ID
コンバージョン	そのお仕事で到達したコンバージョンポイントのボックス ID のリストです。

6 お仕事を作成する基本的な流れ

6-1 Pepper でお仕事を利用するために

お仕事の作成方法は 112 ページの「6-2 お仕事を新規作成する」をご覧ください。

Robot Suite
（ポータブルウェブアプリ）

お仕事の作成･配信を行います。



1 お仕事を作成
2 Pepperにお仕事を配信

お仕事かんたん生成3.0
（Pepper本体のディスプレイ）

お仕事の選択を行います。



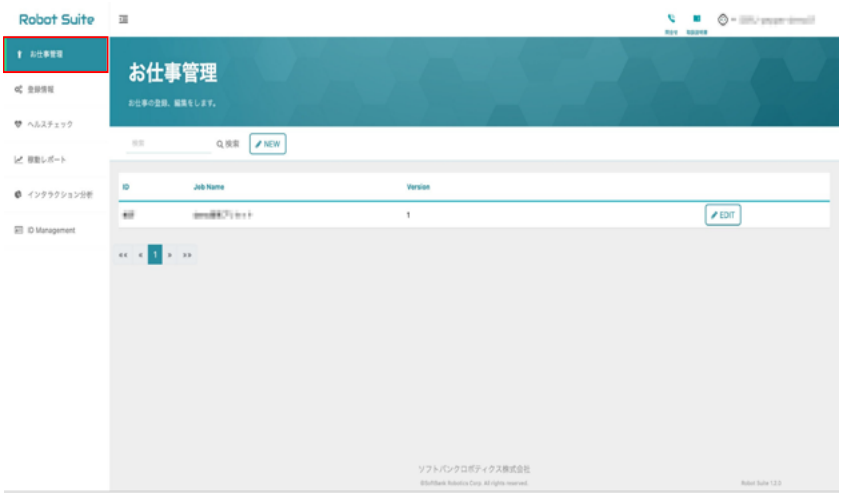
1 起動時のお仕事を選択

6-2 お仕事を新規作成する

お仕事を作成する手順から、お仕事配信後の Pepper 本体の設定までの一連の操作は以下の手順を参照してください。

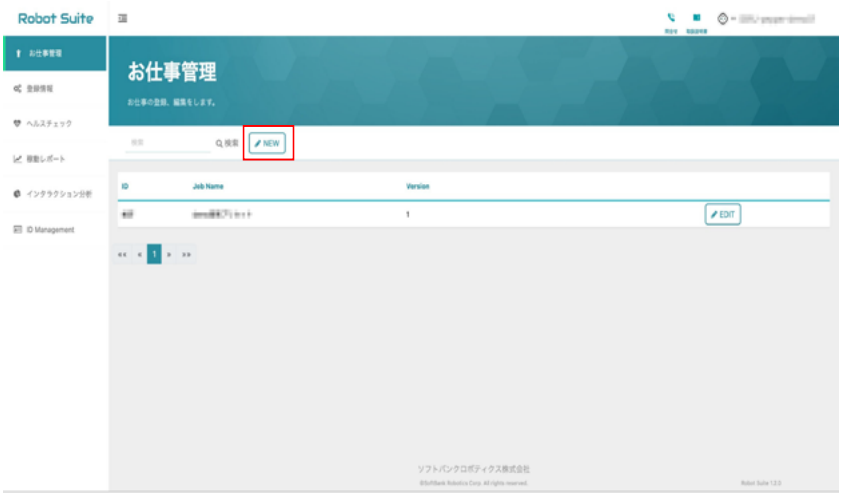
1 Robot Suite で「お仕事管理」をクリック

お仕事管理画面が表示されます。

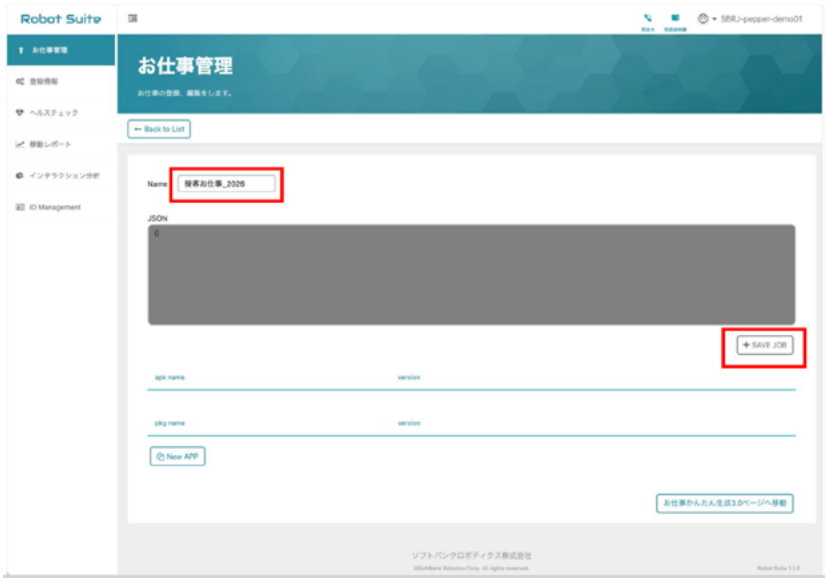


2 「NEW」をクリック

お仕事作成画面が表示されます。



3 Name にお仕事名を入力し、「SAVE JOB」をクリック



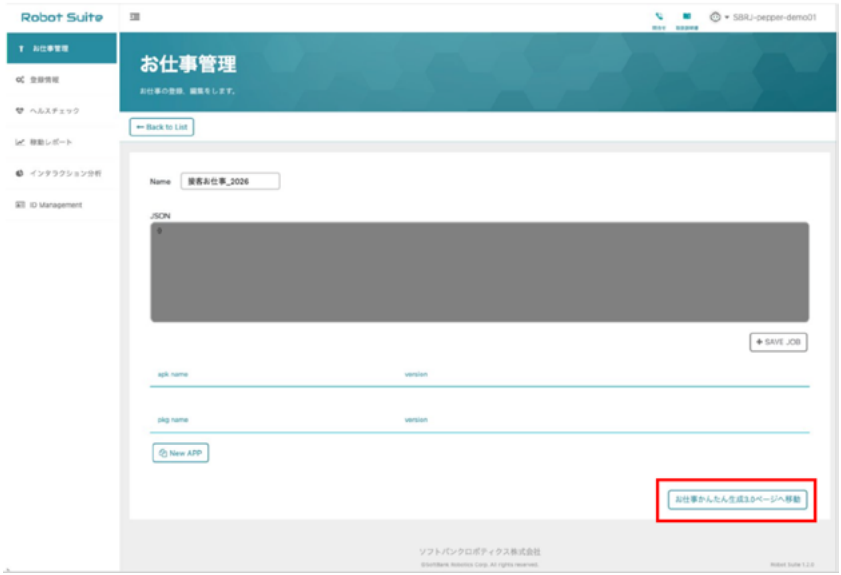
4 「OK」をクリック

お仕事一覧が表示されます。



5 「お仕事かんたん生成 3.0 ページへ移動」をクリック

お仕事かんたん作成 3.0 のトップページが表示されます。



6 「テンプレートから選んでつくる」をクリック

テンプレート選択画面が表示されます。



7 利用したいテンプレートをクリック

テンプレート詳細情報画面が表示されます。

■ 業務・利用用途を選択し、「検索する」をクリックするとテンプレートを絞り込むことができます。



8 テンプレートの詳細を確認し、「このテンプレートでつくる」をクリック

お仕事の初期設定画面が表示されます。

- 「お気に入り」をクリックすると、テンプレートをお気に入りに登録できます。お気に入りに登録されると、テンプレート選択画面の上部に表示されるようになります。
- アプリが必要な場合は、▶ の付いたリンク先からアプリの入手や Robot Suite への登録を行ってください。
- 「画像テンプレート」は、Pepper のディスプレイに設定する画像作成のための外部ツールへのリンクです。
- 「サンプルをみる」をクリックすると、テンプレートのサンプルページに移動します。サンプルページでそのまま編集することもできます。サンプルページから編集する場合は（「7-6-2 お仕事を編集する」149 ページ参照）を参照してください。



9 「保存する」をクリック

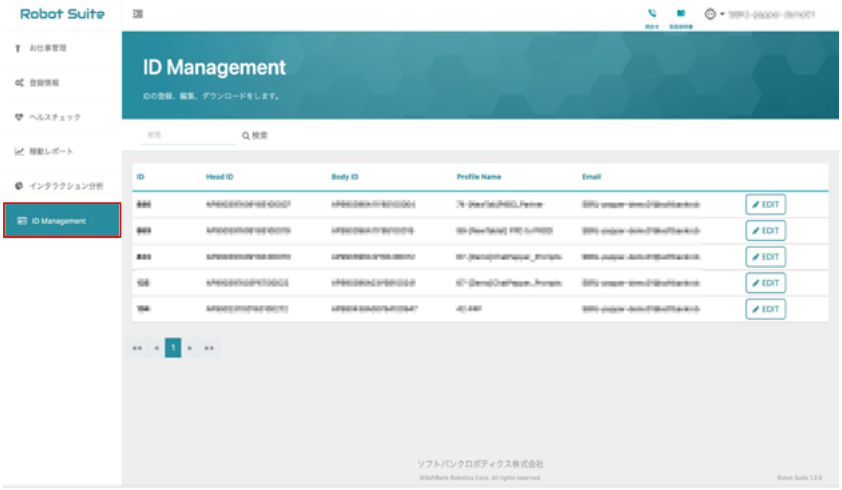
作成したお仕事が保存され、Pepper にお仕事を配信できるようになります。

- 一度お仕事が保存されると、次回の操作では編集操作から再開できます。
- 編集を中断する場合は「編集を一時中断する」をクリックしてください。
  ※編集を中断した場合は、お仕事が保存されていないため Pepper にお仕事を配信できません。お仕事を配信するには、「保存する」をクリックしてください。

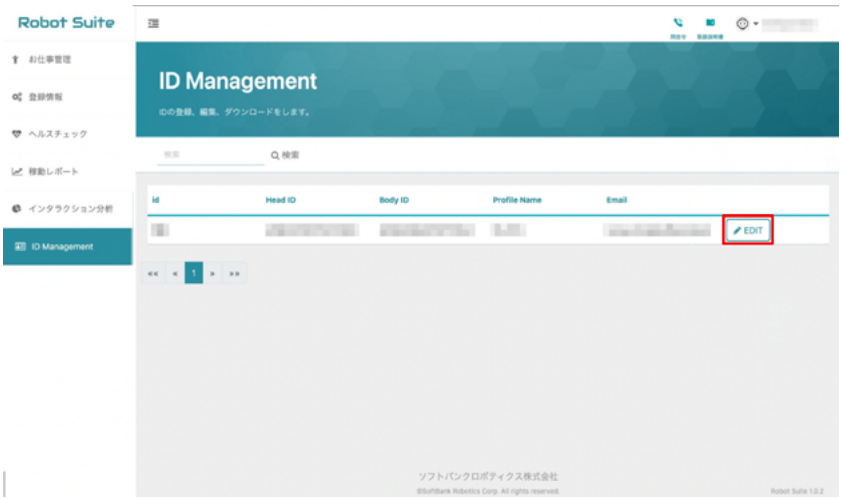


10 Robot Suite で「ID Management」をクリック

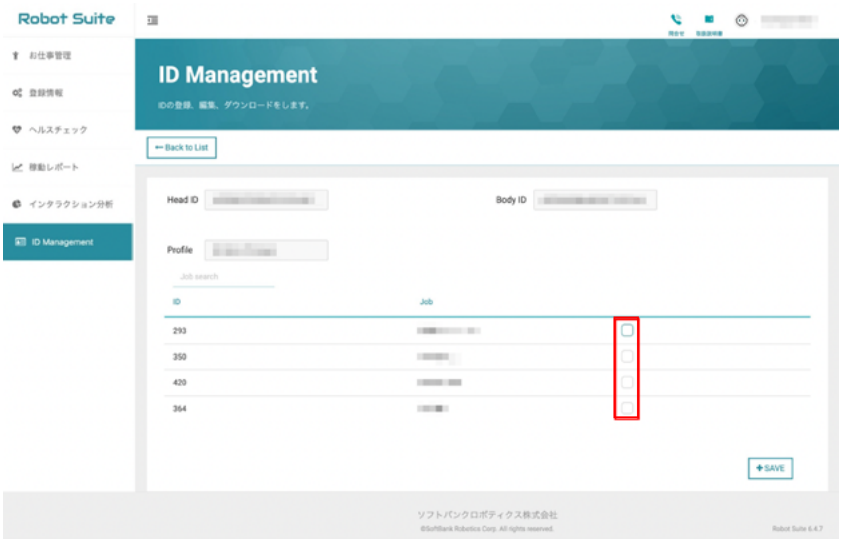
ロボット一覧が表示されます。



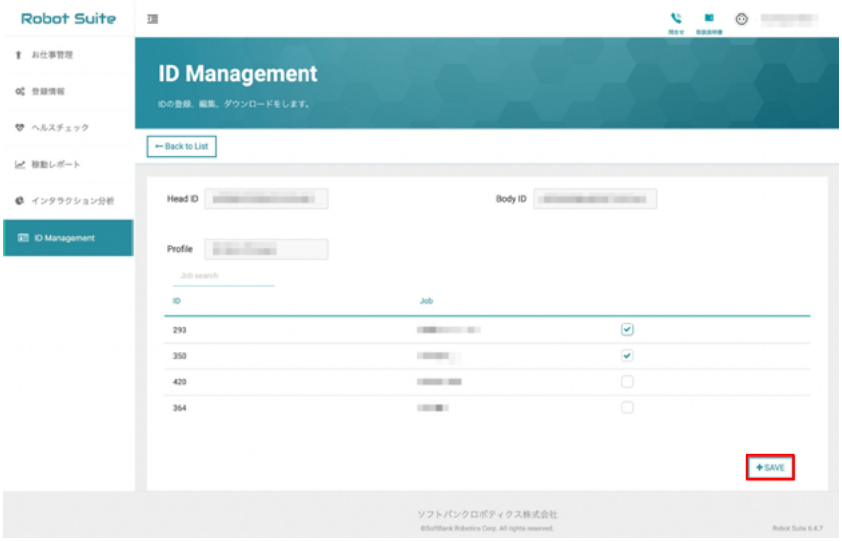
11 お仕事を配信するロボットの「EDIT」をクリック



12 配信するお仕事に ✔ を入れる



13 「SAVE」をクリック



14 お仕事の配信が完了したら、Pepper 本体の管理メニュー画面で「お仕事選択」をタッチ

お仕事リスト設定画面が表示されます。



15 使用したいお仕事をタッチ

お仕事が設定されます。



■ 続けてお仕事を実行する場合は 274 ページの「7-10-4 アプリ／お仕事を実行する」を参照してください。

7 Pepper にアプリ／お仕事の動作をさせる

7-1 アプリ／お仕事の動作の概要

7-1-1 アプリ／お仕事について

アプリやお仕事を Pepper に追加することで、Pepper にさまざまな動作をさせることができるようになります。

■ アプリ

アプリを Pepper で実行して、アプリと連動した動作を Pepper にさせることができます。また、お仕事にアプリを組み込むこともできます。

■ お仕事

Pepper が行う業務全体を「お仕事」と呼びます。お仕事の内容をカスタマイズし、Pepper に接客業務などをさせることができます。お仕事をさせるには、あらかじめ Robot Suite でお仕事を作成し、作成したお仕事を Pepper に追加します。

7-1-2 お仕事の作成について

- アプリの開発経験がない方でも、業務シーンに合わせて Pepper で使用したいお仕事をカスタマイズできます。
- テンプレートを使ってお仕事をカスタマイズできるので、業務に合わせた Pepper のお仕事をかんたんに作成することができます。
- 複数の Pepper のお仕事を一括で管理編集することができます。離れた場所にある Pepper でも、Robot Suite を使ってお仕事を追加できます。

  - お仕事を作成できるようになるタイミングは、Robot Suite のアカウントメールを受信した直後からです。
  - 複数の PC またはブラウザのタブから 1 つの Robot Suite アカウントで Robot Suite にログインし、同一のお仕事を編集しないでください。お仕事の編集権限は、後にログインした PC またはブラウザが取得する仕様のため、先にログインしていた PC またはブラウザで編集したお仕事は反映できなくなります。お仕事を反映できなかった場合は、すべての PC またはブラウザからログアウトしてから、再度編集を行ってください。
  - Robot Suite 利用時は、Pepper をネットワークに接続した状態で利用してください。

テンプレートについて

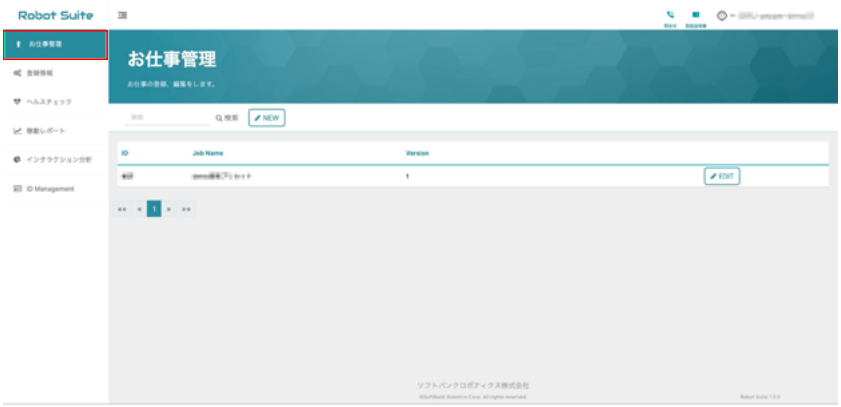
Robot Suite ではテンプレートを使って簡単にお仕事を作成できます。また、各種業務に最適化された機能・フローが組み込まれたさまざまなテンプレートが用意されています。
テンプレートは業務や利用シーンから選んだり、条件で絞り込んで選んだりすることができます。選んだテンプレートは編集してカスタマイズし、より思い通りの動きに作り変えることもできます。

7-1-3 Pepper でお仕事を利用するために

Pepper でお仕事を利用するには以下の流れで操作を行います。各操作について詳しくは参照先をご確認ください。

RobotSuiteで、「アプリ／お仕事管理」からお仕事を作成

（「7-2-2 お仕事を新規作成する」125 ページ参照）



Pepper本体で、「お仕事選択」から起動時のお仕事を選択

（「7-10-2 起動時にお仕事かんたん生成 3.0 でお仕事を実行するように設定する」271 ページ参照）

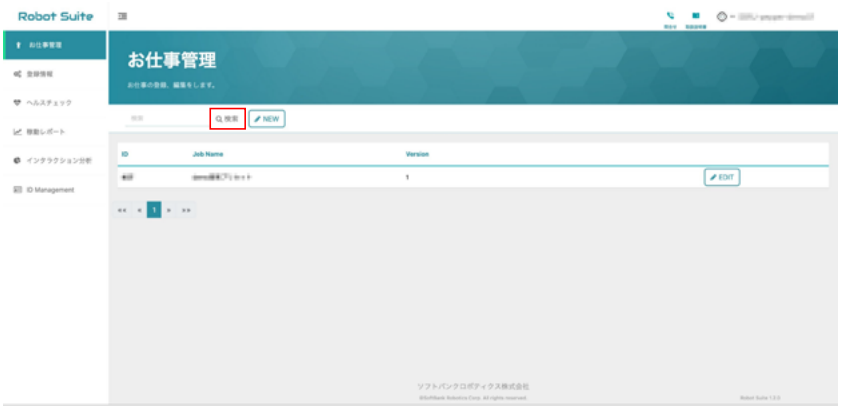


7-1-4 Pepper でアプリを利用するために

任意のアプリを起動時のアプリとして設定する場合は以下の流れで操作を行います。各操作について詳しくは参照先をご確認ください。

RobotSuiteで、「アプリ／お仕事管理」からお仕事を作成

（「7-3-1 アプリを Pepper に配信する」 133 ページ参照）



Pepper本体で、「お仕事選択」から起動時のアプリを設定

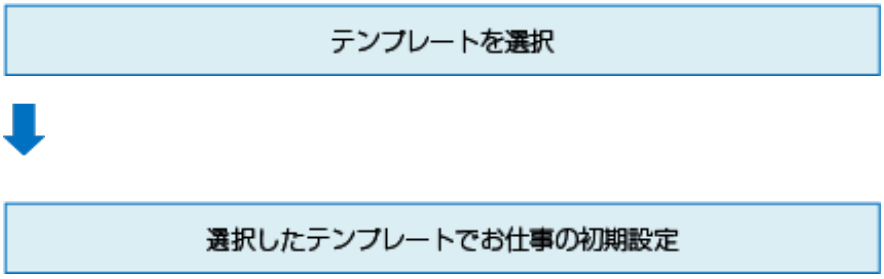
（「7-10-1 起動時にアプリを実行するように設定する」 269 ページ参照）



7-2 お仕事の新規作成

7-2-1 お仕事の新規作成について

新しくお仕事を作成する場合は、はじめにテンプレートを選択し、そのお仕事の初期設定を行います。初期設定では、Pepper の行う行動（ボックス）の設定を行います。



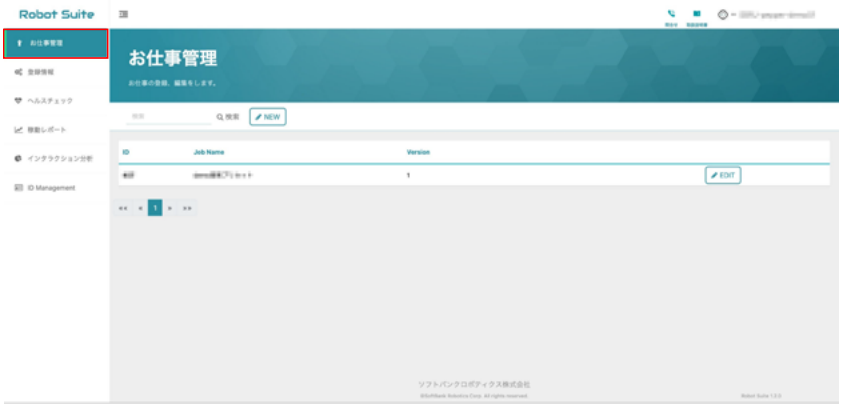
- Robot Suite でお仕事などの編集中にブラウザの「戻る」ボタンを使用しないでください。
- お仕事の作成中に、1 時間以上ブラウザ上で画面遷移しないとログインが無効となり、お仕事が保存されませんのでご注意ください。

7-2-2 お仕事を新規作成する

業務や利用シーンを絞ることで、複数あるテンプレートから最適なテンプレートを選択してお仕事を作成することができます。

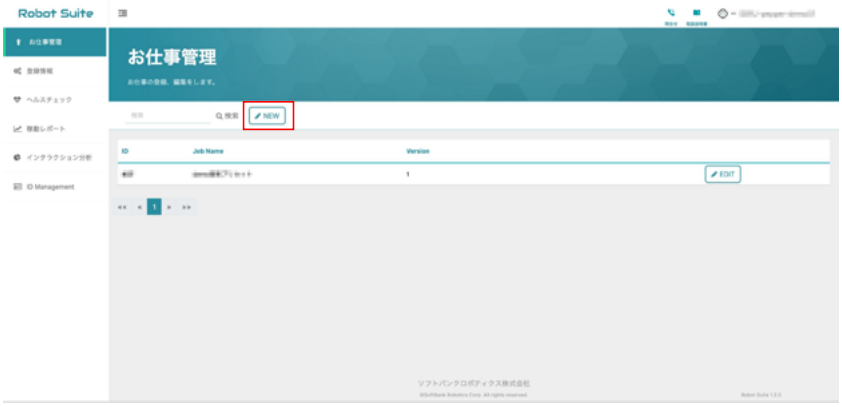
1 Robot Suite で「お仕事管理」をクリック

お仕事管理画面が表示されます。

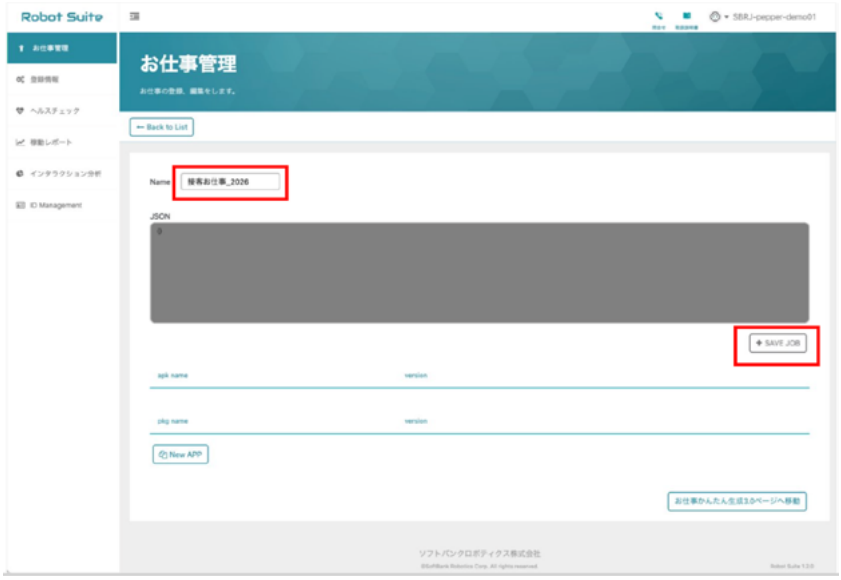


2 「NEW」をクリック

お仕事作成画面が表示されます。



3 Name にお仕事名を入力し、「SAVE JOB」をクリック



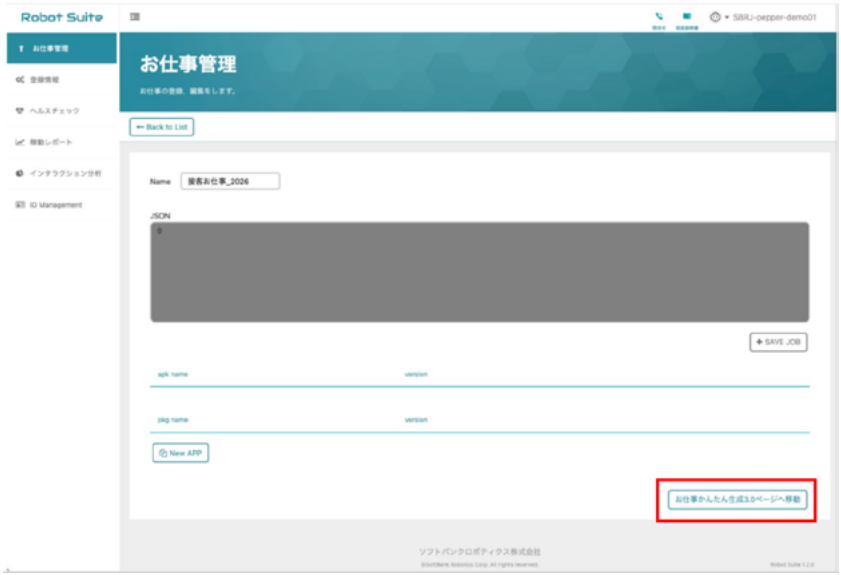
4 確認画面で「OK」をクリック

お仕事一覧が表示されます。



5 「お仕事かんたん生成 3.0 ページへ移動」をクリック

お仕事かんたん作成 3.0 のトップページが表示されます。



6 「テンプレートから選んでつくる」をクリック

テンプレート選択画面が表示されます。



7 利用したいテンプレートをクリック

テンプレート詳細情報画面が表示されます。

■ 業務・利用用途を選択し、「検索する」をクリックするとテンプレートを絞り込むことができます。



8 テンプレートの詳細を確認し、「このテンプレートでつくる」をクリック

お仕事の初期設定画面が表示されます。

- 「お気に入り」をクリックすると、テンプレートをお気に入りに登録できます。お気に入りに登録されると、テンプレート選択画面の上部に表示されるようになります。
- アプリが必要な場合は、▶ の付いたリンク先からアプリの入手や Robot Suite への登録を行ってください。
- 「画像テンプレート」は、Pepper のディスプレイに設定する画像作成のための外部ツールへのリンクです。
- 「サンプルをみる」をクリックすると、テンプレートのサンプルページに移動します。サンプルページでそのまま編集することもできます。サンプルページから編集する場合は 149 ページの「7-6-2 お仕事を編集する」を参照してください。



9 「保存する」をクリック

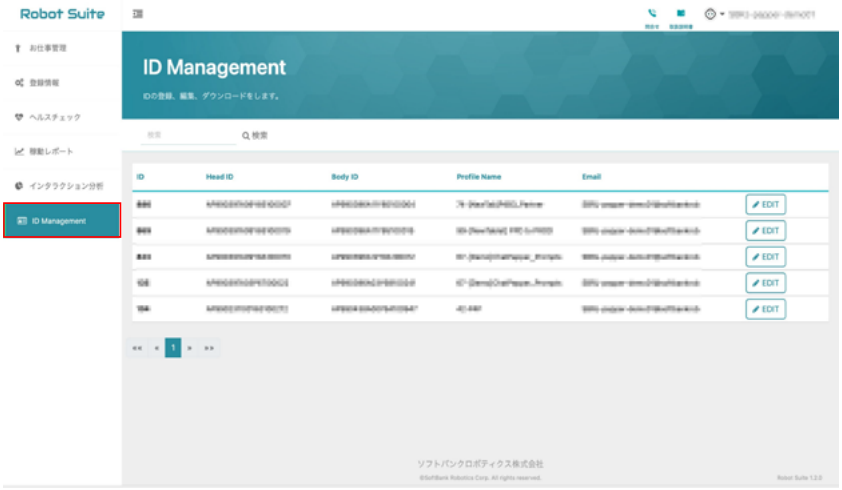
作成したお仕事が保存され、Pepper にお仕事を配信できるようになります。

- 一度お仕事が保存されると、次回操作では編集操作から再開できます。
- 編集を中断する場合は「編集を一時中断する」をクリックしてください。
  ※編集を中断した場合は、お仕事が保存されていないため Pepper にお仕事を配信できません。お仕事を配信するには、「保存する」をクリックしてください。



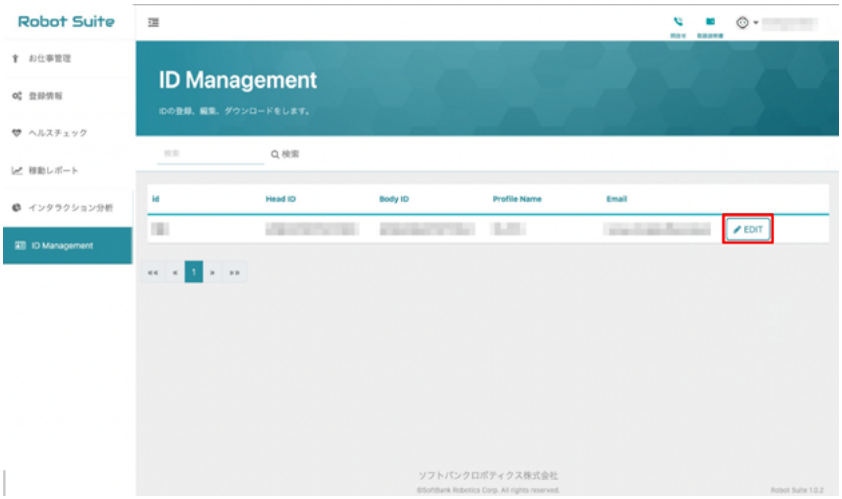
10 Robot Suite で「ID Management」をクリック

ロボット一覧が表示されます。

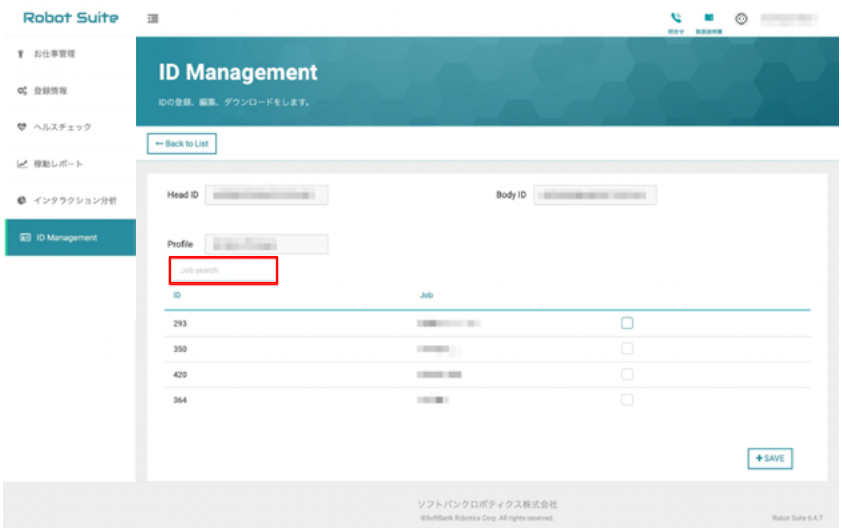


11 お仕事を配信する Pepper の「EDIT」をクリック

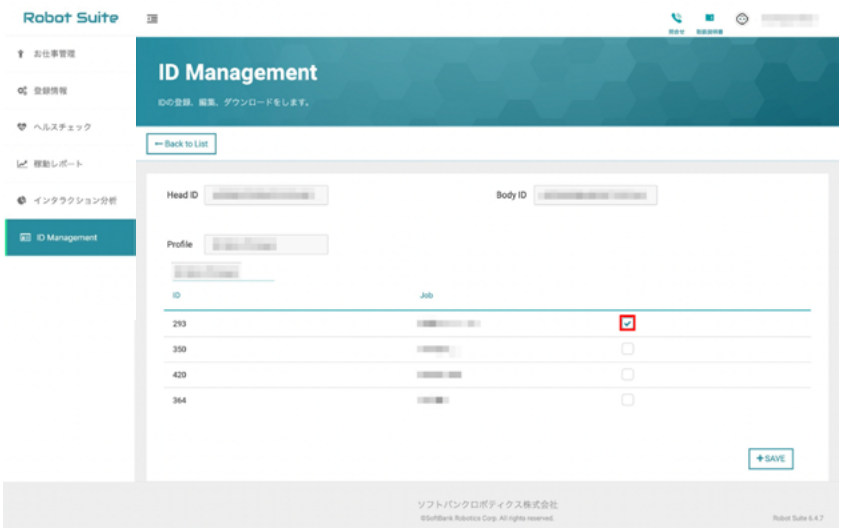
お仕事編集画面が表示されます。



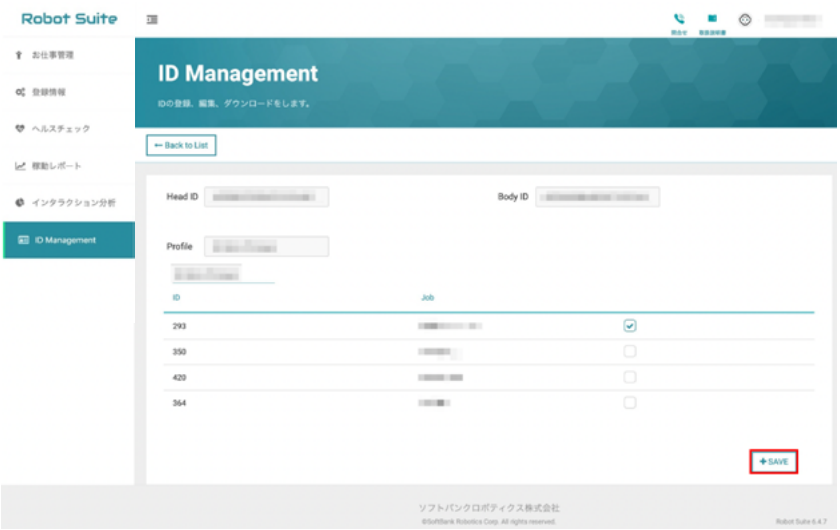
12 job search に作成したお仕事名を入力



13 お仕事にチェックを入れる



14 「SAVE」をクリック



15 確認画面で「OK」をクリック

7-3 アプリの管理

7-3-1 アプリを Pepper に配信する

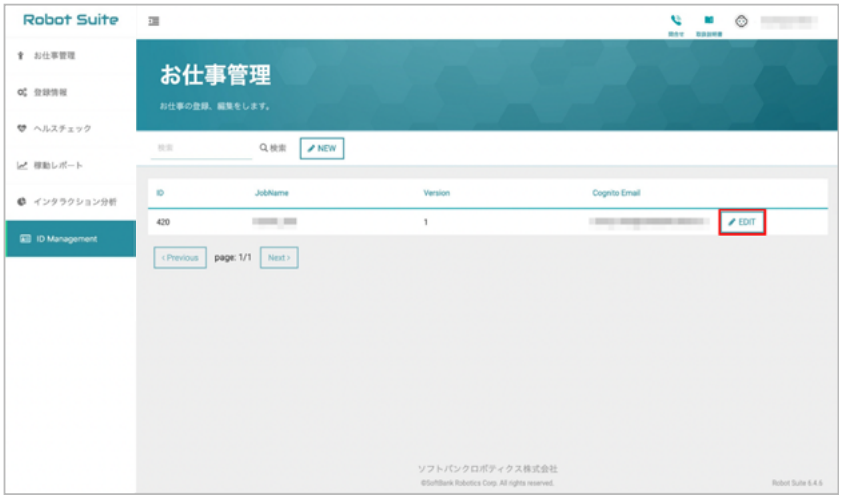
アプリを Pepper に配信して、Pepper で利用できるようにします。

- あらかじめお仕事を Pepper に紐づけてください（「7-2 お仕事の新規作成」 124 ページ参照）。
- アップロードする apk ファイルは、ファイル名の末尾が「-x.x.x.apk」となるように設定してください。
  ※ x.x.x はバージョン番号です。
  （例）「com.app.name-x.x.x.apk」

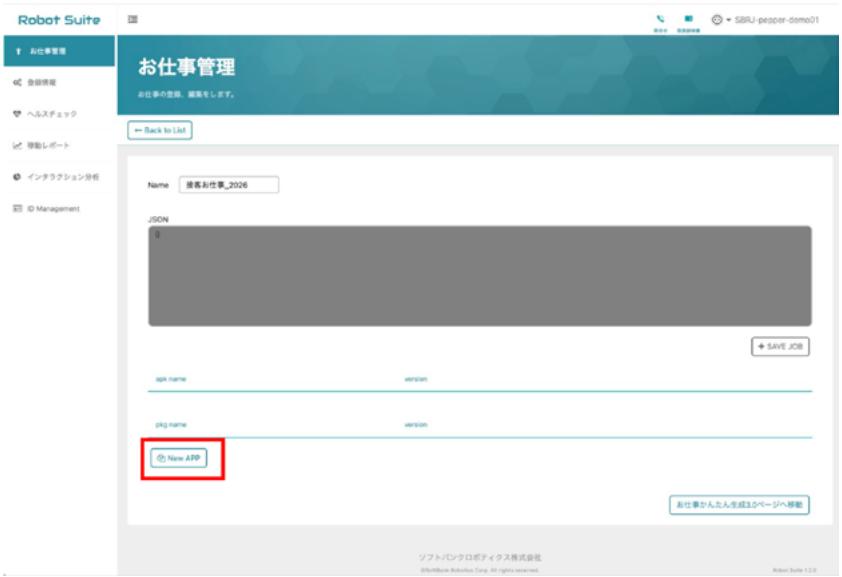
■ お仕事管理画面から配信する

1 お仕事管理画面で編集するお仕事の「EDIT」をクリック

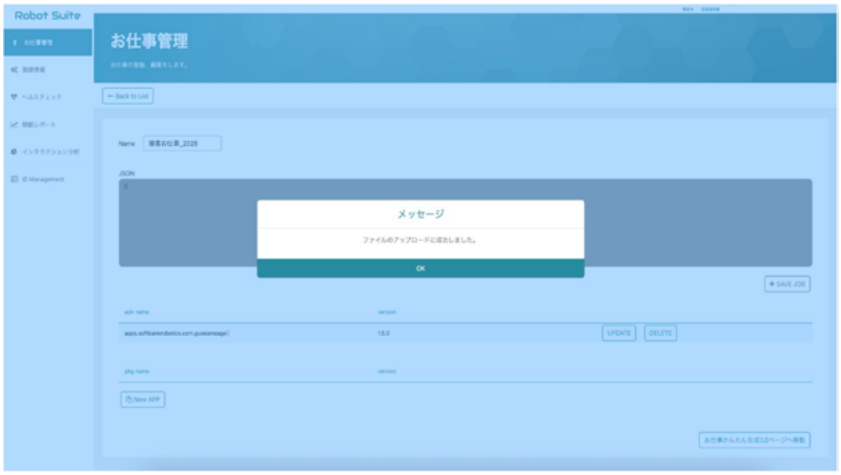
お仕事編集画面が表示されます。



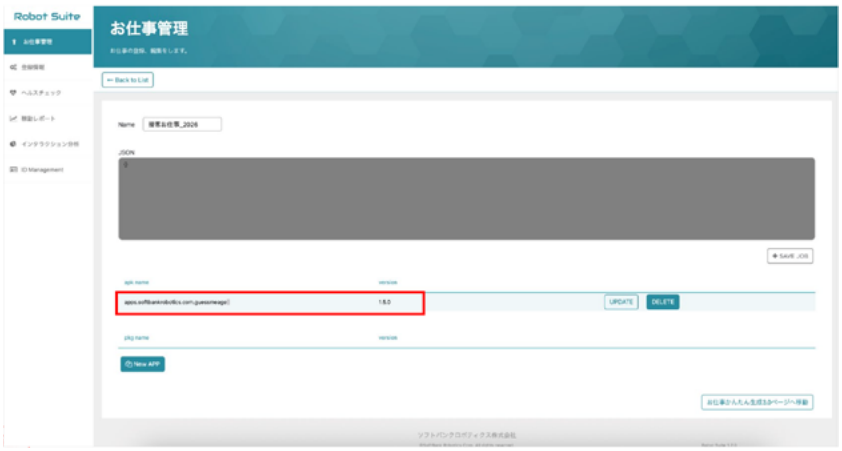
2 「New APP」をクリックし、アプリを選択する



3 「OK」をクリック



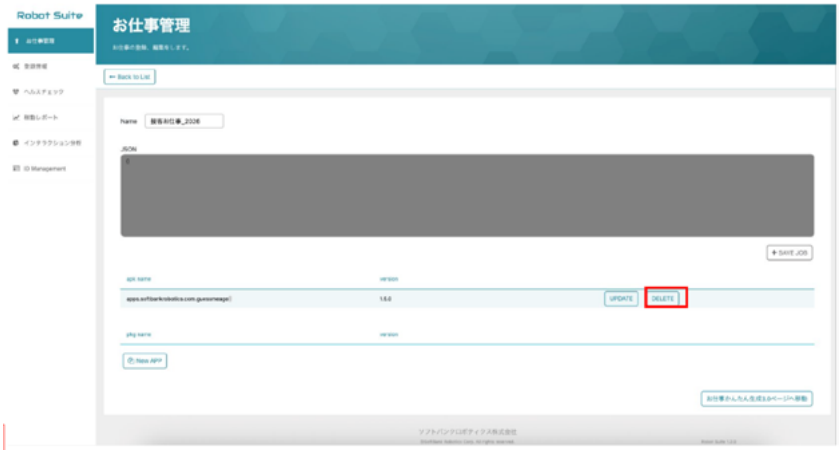
4 お仕事編集画面でアプリが追加されたか確認する



7-3-2 Pepper へのアプリの配信を解除する

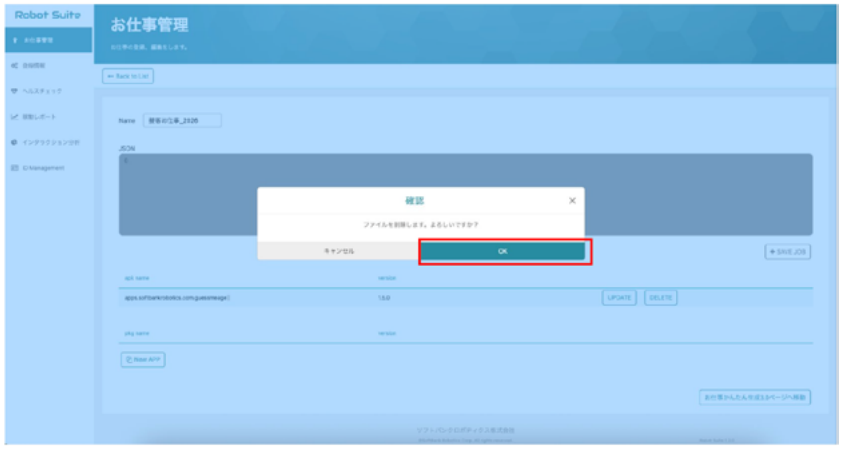
Pepper へのアプリの配信を解除して、アプリを利用できないようにします。

1 お仕事編集画面で「DELETE」をクリック

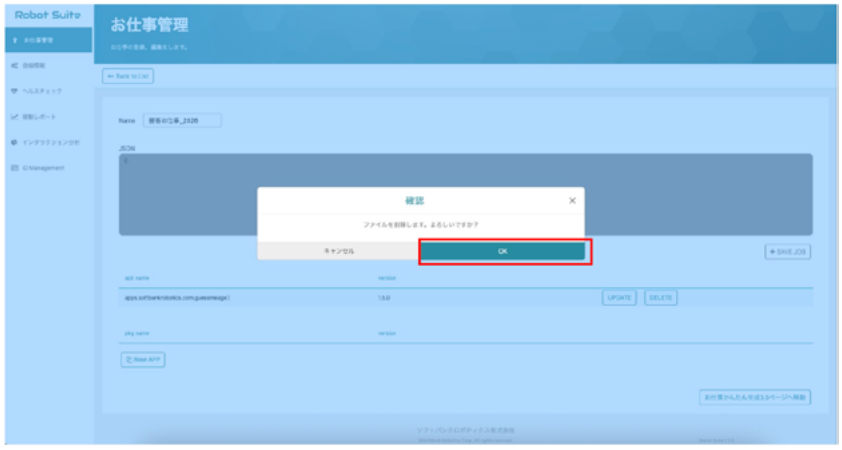


2 確認画面で「OK」をクリック

Pepper へのアプリの配信が解除されます。



3 「OK」をクリックする



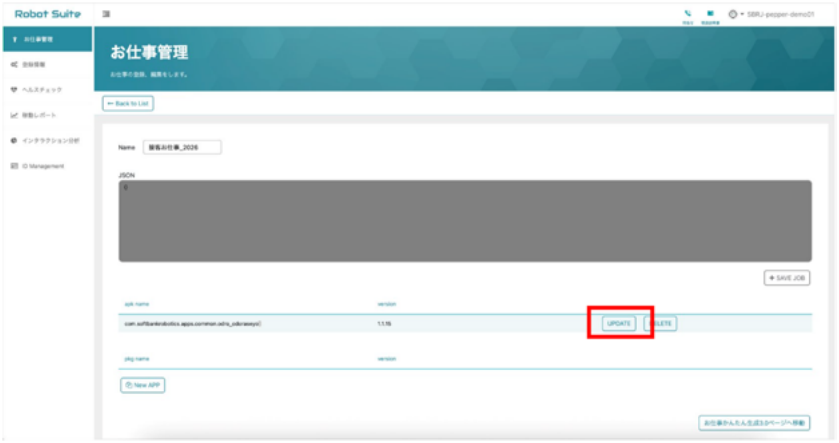
3 「OK」をクリックする



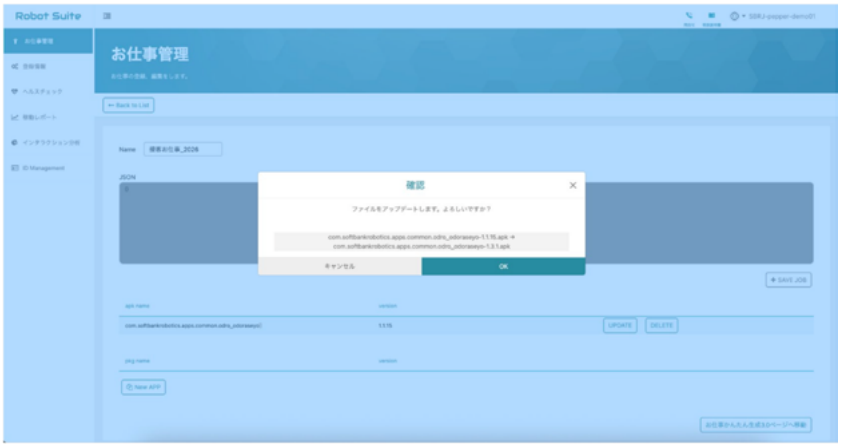
7-3-3 アプリをアップデートする

Robot Suite でアプリをアップデートします。

1 お仕事管理画面でバージョンアップするアプリの右横にある「UPDATE」をクリックする



2 「OK」をクリックする



3 ロボット（Pepper）を再起動する

アプリのアップデートが完了します。

7-4 キーワード

7-4-1 キーワードについて

キーワードは、Pepper にセリフを設定するときに活用します。キーワードとセリフについては次の表を参照してください。

キーワード	セリフ作成時の定型文です。キーワード登録画面で登録できます。キーワードは細かなイントネーションの調整ができます。
セリフ	Pepper が実際に話す内容です。直接文字を入力してセリフを設定したり、キーワードを活用してセリフを設定したりすることができます。

キーワード、セリフを作る際は、ここで書かれている内容をお読みになり作成にお役立てください。

■ 「〜」、「ー」、「’」、「,」、「<」、「>」などの一部文字は発話されません。「再生」を行って発話を確認してください。

7-4-2 語尾を伸ばす

語尾を伸ばす場合は語尾に次の文字を入れてください。

・ー

・ぁあ

・ぃい

・ぅう

・ぇえ

・ぉお

■ 例：

・Pepper ですーーー

・話しかけてくださいねぇぇぇ

7-4-3 語尾を高くする

語尾を高くする場合は語尾に次の文字を入れてください。

・？

・っ

・ッ

■ 例：

・話しかけてくださいね？

・Pepper ですッッッ

7-4-4 キーワードに間を入れる

間を入れるにはキーワード／セリフの間に次の文字を入れてください。

・つ。つ。つ。つ。

・ツ。ツ。ツ。ツ。

・ツ、ツ、ツ、ツ、

■ 例：

・こんにちはー。っ。っ。っ。っ。ペッパーですーッツ。

・こんにちはー。ッ。ッ。ッ。ッ。ペッパーですーッツ。

7-4-5 不自然さを解消する

Pepper が発話した単語や文章が不自然だった場合は、調整をすれば思い通りに発話させることができます。

■ 不自然に途切れる場合

句読点を別のものに変えてみてください。

■ 例：

×：巷で話題の、Pepper ですよォォッツ。

○：巷で話題の。Pepper ですよォォッツ。

■ 単語のつながりで発音がおかしくなる場合

全角縦棒「｜」を入れてみてください。

■ 例：

×：どーやってこられたんですかぁ？

○：どーやって ｜ こられたんですかぁ？

7-4-6 キーワードを登録する

ボックス（「7-7 ボックスの操作」171 ページ参照）の設定時、キーワードはキーワード登録画面から登録します。登録したキーワードはセリフ入力時に定型文として活用できます。

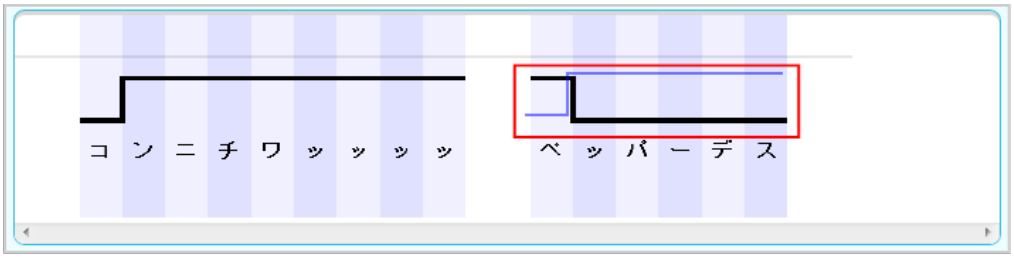
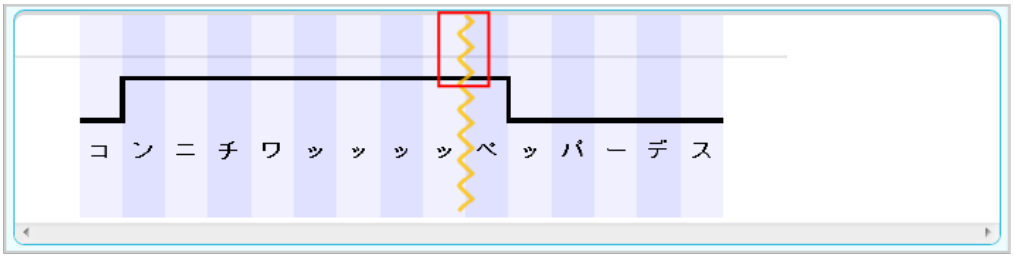
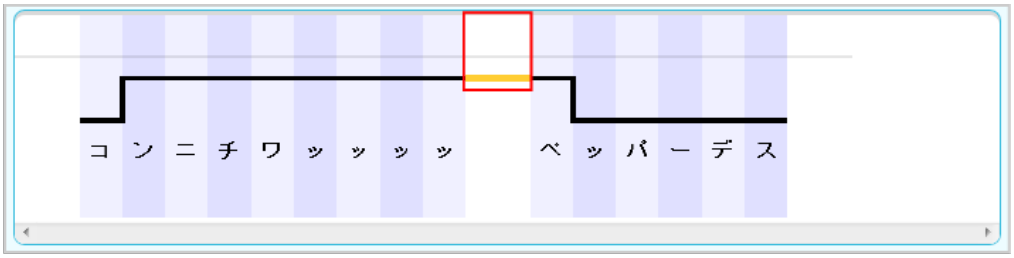
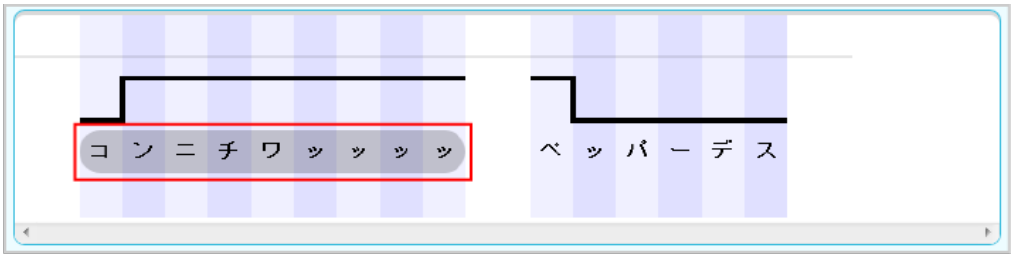
■ キーワードは 1,000 件まで登録できます。

■ キーワード登録画面が表示されたら、次の図を参照して内容を設定してください。



キーワード登録画面

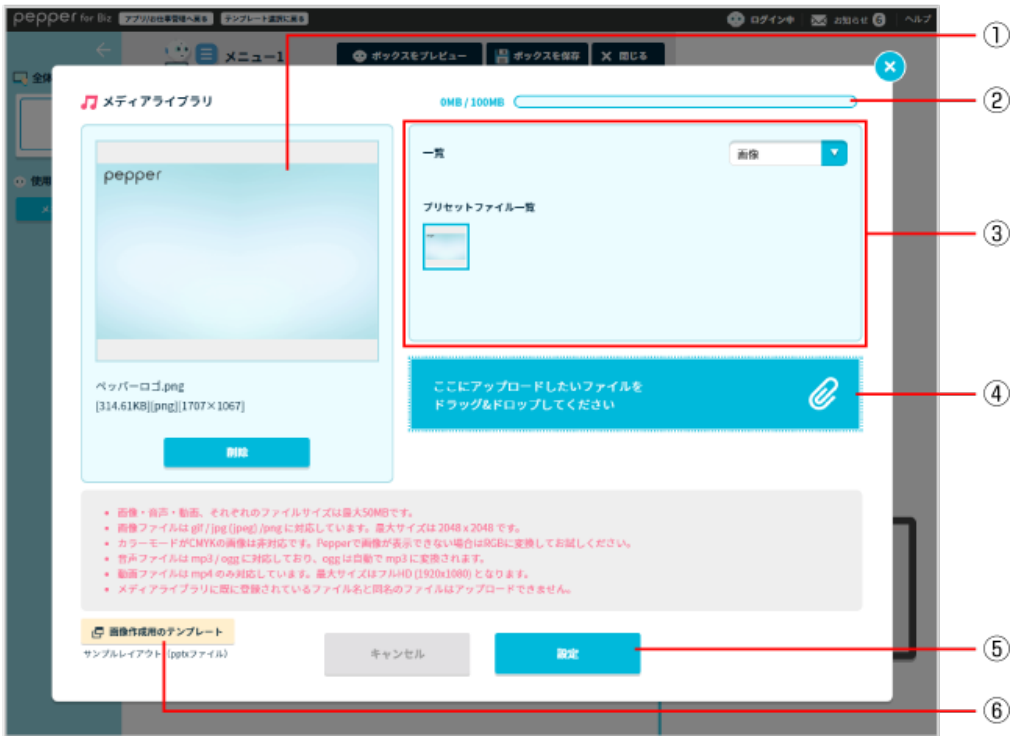
番号	説明
①	登録するキーワードを入力します。「読み・アクセントを自動反映」をクリックすると、入力内容が「登録するキーワードー読み」に反映されます。
②	登録するキーワードの「読み」を入力します。
③	ヘルプを表示します。

④	アクセントの編集をします。 ■ 文字上部のグラフをクリックすると、音程の高低を変更できます。  ■ 文字間をクリックすると、文字間に間が開き、区切り文言単位に音程の高低を変更できます。  ■ 文字の区切りをクリックすると、文字間の間が閉じます。  ■ 文字をクリックすると「読み」を編集することができます。 
⑤	登録したキーワードを音声で確認します。「再生」をクリックすると音声が流れます。 ウェブサービス上での発話と、実際の Pepper の発話は異なる場合があります。
⑥	再生している音声を停止します。
⑦	設定が完了したら「登録」をクリックし、設定内容を保存します。

7-5 メディアライブラリ

7-5-1 メディアファイルを登録する

ボックス（「7-7 ボックスの操作」 171 ページ参照）の設定時、画像や動画、音声のメディアファイルはメディアライブラリ画面から登録します。Pepper でメディアファイルを利用するには、メディアライブラリにファイルを登録しておく必要があります。
メディアライブラリ画面が表示されたら、次の図を参照して内容を設定してください。



メディアライブラリ画面

番号	説明
①	選択したファイルのプレビューを表示します。 プレビューに表示された「削除」で一覧からファイルを削除できます。プリセットファイルは削除できません。
②	選択したファイルの容量を表示します。1 つのお仕事内に、1 ファイルあたり最大 50MB、全体で最大 100MB のファイルを使用できます。
③	ファイルを選択します。一覧に表示されるファイルを、選択した種類に絞り込むことができます。
④	ファイルをドラッグしてファイルを追加できます。クリックしてもファイルを追加できます。 画像のファイル名に半角スペースが含まれる場合、メディアライブラリに追加することができません。
⑤	メディアライブラリの内容を反映します。
⑥	画像作成のための外部ツールへのリンクです。

- 機体により、画像ファイルのカラーモデルを RGB 形式に変更するか、拡張子を jpeg から png に変更する必要があります。
- 設定した動画の音量が小さい場合、Pepper 本体で音量を調節するか（「4-7 Pepper の音量を変更する」69 ページ参照）、動画自体の音量を上げてからアップロードしてください。

■ 対応するフォーマット

メディアライブラリで対応するメディアのフォーマットは次のとおりです。

種別	形式	サイズなど	容量
画像	gif ／ jpg（jpeg）／ png	2048×2048px	50MB まで
音声	mp3 ／ ogg（mp3 に自動変換）	―	50MB まで
動画	mp4	フル HD（1920×1080 ドット）	50MB まで

※カラーモードが CMYK の画像は非対応です。Pepper で画像が表示できない場合は RGB に変換してください。
※全角半角スペースや記号を名前に含むファイルはアップロードできません。
※すでに登録されているファイル名と同名のファイルはアップロードできません。
※全体のファイル容量は 100MB までです。
※ファイル名は 100 文字までです。

■ 動画ファイルの推奨出力設定

出力設定項目	推奨
ビデオコーデック	H.264 AVC
フレームレート	～ 30 fps
プロファイル	Baseline ／ Main
ビデオビットレート	～ 10 Mbps
オーディオコーデック	AAC-LC
オーディオビットレート	～ 320kbps

7-6 お仕事の編集

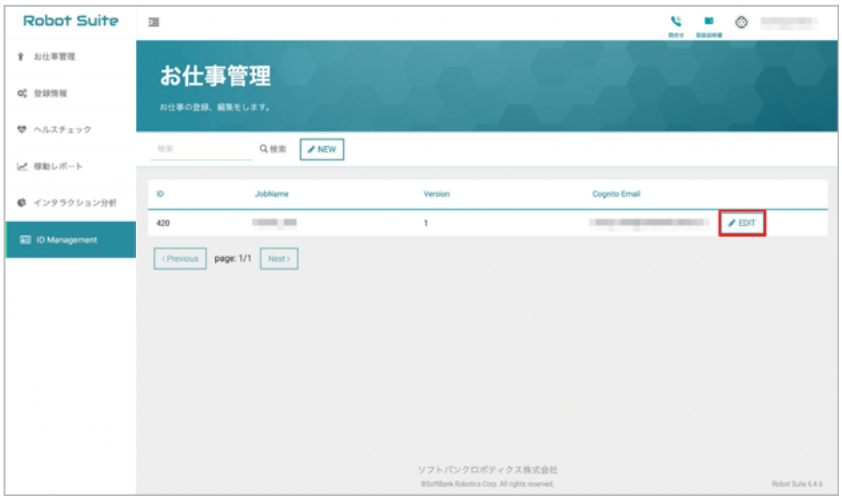
7-6-1 お仕事の編集について

テンプレートの初期設定（「7-2-2 お仕事を新規作成する」125 ページ参照）で設定したテンプレートの内容や、Pepper の動きを変えたい場合などにお仕事編集画面で編集を行います。お仕事編集画面ではプレビューも見ることができます。

- アカウントは、1 つのアカウントにつき 1 ユーザーでのみご使用ください。複数人で同時に使用した場合など、お仕事を正しく編集できなかったり、保存できなかったりする場合があります。
- Robot Suite でお仕事などの編集中にブラウザの「戻る」ボタンを使用しないでください。
- お仕事の作成中に、3 時間以上ブラウザ上で画面遷移しないとログインが無効となり、お仕事が保存されませんのでご注意ください。
- お仕事の編集は、編集できる権限でログインして行ってください。
- 編集不可のテンプレートから作成したお仕事は編集できません。お仕事を確認することはできます。

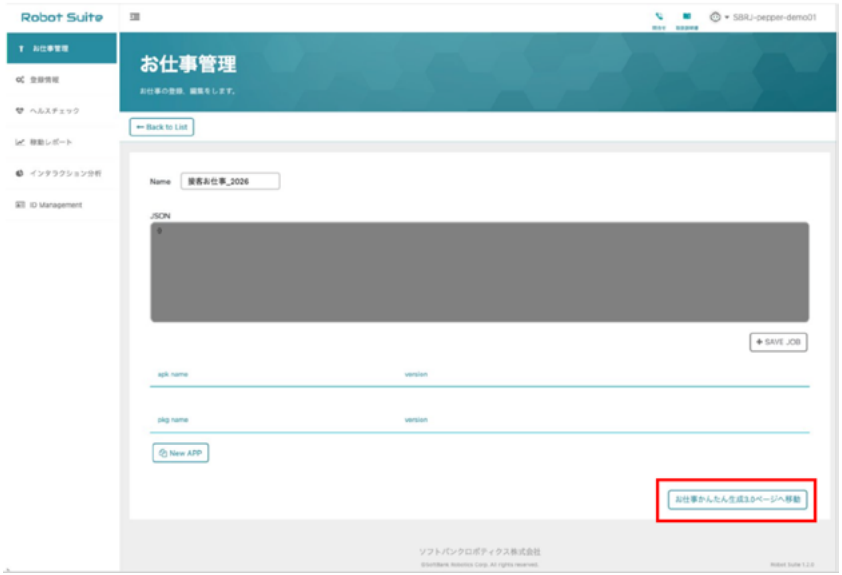
1 お仕事管理画面で編集するお仕事の「EDIT」をクリック

お仕事編集画面が表示されます。

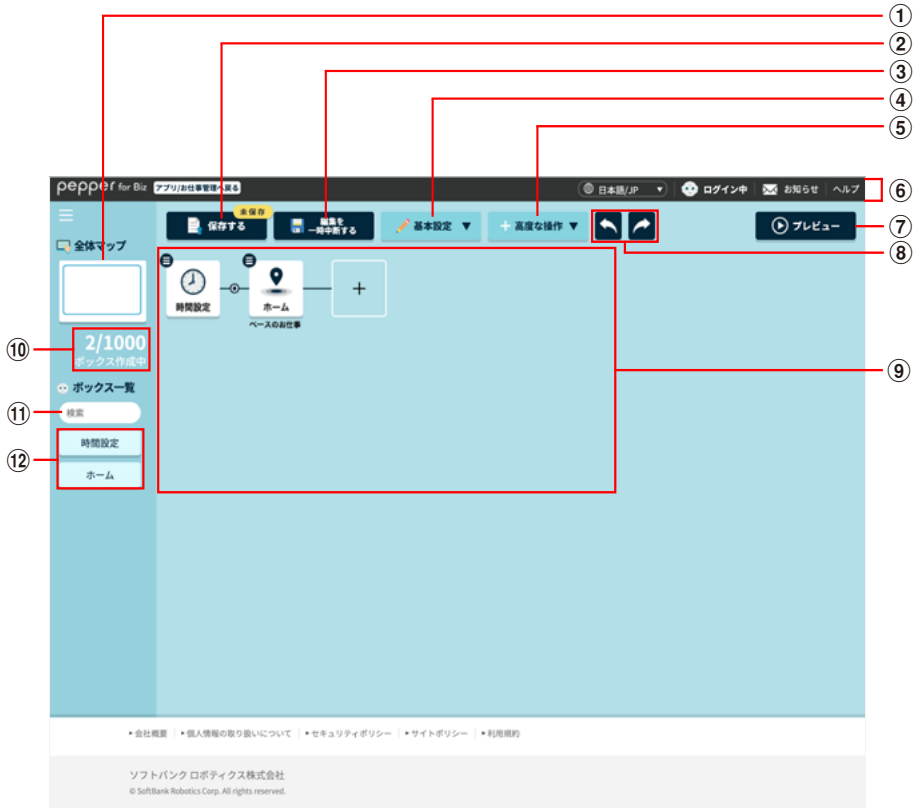


2 「お仕事かんたん生成 3.0 ページへ移動」をクリック

お仕事かんたん生成 3.0 のトップページが表示されます。



3 お仕事編集画面でお仕事を編集する



お仕事編集画面

番号	説明
①	マップの表示されている部分が枠で表示されます。全体マップ内をドラッグすると、マップの表示位置を変更します。マップ自体をドラッグしても表示位置を変更できます。
②	設定した内容を上書き保存します。
③	編集中のお仕事を一時的に中断し保存します。
④	ディスプレイの基本設定を確認／編集したり（「 ディスプレイの基本設定を確認／編集する」150 ページ参照）、お仕事で利用するメディアファイルを登録します（「 メディアライブラリでメディアファイルを追加する」154 ページ参照）。 また、お仕事で利用するキーワードを確認／編集／登録／削除したり（「 キーワードを登録する」152 ページ参照）、ニックネームを取得できていない場合に、ニックネームの代わりに話すセリフも設定できます（「 セリフの追加・編集画面の見かた」174 ページ参照）。
⑤	お仕事データをダウンロードしたり、ボックスをグループにまとめたり、ボックスを一括削除します（「 ボックスを一括削除する」157 ページ参照）。 また、コンバージョンポイントを一括設定することもできます。

⑥	お仕事編集画面での共通部分です。 ■ アプリ／お仕事管理へ戻る お仕事の編集を終了して、アプリ／お仕事管理画面へ戻ります。 ■ 言語（日本語／ English ／中文） お仕事編集画面で表示する言語（日本語／英語／中国語）を変更します。 ■ 編集中のお仕事を保存してから変更してください。 ■ ログイン状態 お仕事かんたん生成 3.0 へのログイン状態が表示されます。 ■ お知らせ お仕事かんたん生成 3.0 に関するお知らせを表示します。 ■ ヘルプ お仕事かんたん生成 3.0 に関するヘルプを表示します。
⑦	プレビューエリアを表示します。
⑧	操作の取り消し・やり直しをします。操作を取り消す場合は  やり直す場合は  をクリックしてください。
⑨	お仕事のボックスが「マップ」として表示されます。Pepper はマップの左側の内容から順番に動きます。 動きを変えたい場合は、ボックスを編集してください。各ボックスの編集については、164 ページの「7-6-3 ボックスを編集する」を参照してください。
⑩	作成したボックスの数を確認します。
⑪	使用中のボックスを検索します。
⑫	使用中のボックスを表示します。クリックするとボックスの編集ができます（「7-6-3 ボックスを編集する」164 ページ参照）。

4 「保存する」をクリック



5 「配信設定ページへ」をクリック

配信設定ページへ移動して、ロボットへお仕事の配信を行います。



7-6-2 お仕事を編集する

ここではお仕事編集画面での編集方法について説明します。

■ ボックスを追加する

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」 144 ページ参照）で、追加したい場所の+／ をクリック

ボックス一覧画面が表示されます。



2 ボックスを選択する

ボックスが追加されます。

■ ボックスグループを利用する場合は、あらかじめボックスグループを登録してください。



■ ボックスグループを削除する場合は、手順 2 でボックスグループ一覧のボックスの をクリックし、画面の指示に従って操作してください。

■ ディスプレイの基本設定を確認／編集する

ディスプレイの基本設定を確認／編集します。

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」 144 ページ参照）で「基本設定」をクリック

メニューが表示されます。



2 「ディスプレイ設定」をクリック

ディスプレイ設定画面が表示されます。



3 ディスプレイ設定を確認／編集する



ディスプレイ設定画面

番号	説明
①	プレビューが表示されます。
②	メディアライブラリから背景画像を設定します（「7-5-1 メディアファイルを登録する」142 ページ参照）。
③	背景色を設定します。

- すべてのボックスで同じ背景を設定する場合、ディスプレイ設定で設定した背景が各ボックスに反映されます。
- 基本設定画面で設定した背景よりも、各ボックスで設定した背景が優先されます。

4 「基本設定を保存」をクリック

■ キーワードを登録する

お仕事で利用するキーワードを登録します。

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」 144 ページ参照）で「基本設定」をクリック

メニューが表示されます。



2 「キーワード一覧」をクリック

キーワード一覧画面が表示されます。



3 「+」をクリック

キーワード登録画面が表示されます。

- をクリックすると、登録済みのキーワードを編集できます。
- をクリックすると、登録済みのキーワードを削除できます。



4 キーワードを登録する（「 キーワードを登録する」 152 ページ参照）

■ メディアライブラリでメディアファイルを追加する

お仕事で利用する画像や動画などの、メディアファイルを登録します。

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」 144 ページ参照）で「基本設定」をクリック

メニューが表示されます。



2 「メディアライブラリ」をクリック

メディアライブラリ画面が表示されます。



3 メディアライブラリでメディアファイルを追加する（「7-5-1 メディアファイルを登録する」 142 ページ参照）

- お仕事編集画面でメディアライブラリを登録する場合は、「設定」ボタンは表示されません。登録が完了したら「キャンセル」をクリックしてください。

■ ニックネーム未取得時の呼び名を登録する

お客様のニックネームが取得できていない場合に、ニックネームの代わりに発話するセリフを登録します。
ニックネームについては、「顧客情報取得ボックス」を参照してください。

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」 144 ページ参照）で「基本設定」をクリック

メニューが表示されます。



2 「ニックネーム未取得時の呼び名」をクリック

ニックネーム未収得時の呼び名画面が表示されます。



3 日本語／英語／中国語の「ニックネーム・原文」に登録するニックネームを入力する

- 英語と中国語のニックネームは、必要に応じて入力してください。
- 日本語は読み・アクセントの設定ができます。設定方法について詳しくは、152 ページの「キーワードを登録する」を参照してください。



4 「設定を保存」をクリック



■ ボックスを一括削除する

作成したボックスを一括で削除します。

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」 144 ページ参照）で「高度な操作」をクリック

メニューが表示されます。



2 「ボックス一括削除」をクリック

ボックス選択画面が表示されます。



3 対象のボックスを選択する

■ 複数のボックスを選択できます。



■ ボックスは必ず 1 つ以上選択してください。
■ 選択できるボックス数の上限は、同一お仕事内のすべてのボックス数です。
■ 時間設定ボックス、ホームボックスは選択対象外です。
■ ボックスをクリックすると、クリックしたボックス配下のすべてのボックスが選択されます。
■ 選択されたボックスをクリックすると、クリックしたボックスよりも前のボックスが選択解除されます。
■ 選択されたボックスと分岐でつながっていないボックスをクリックすると、選択されていたボックスはすべて選択解除され、クリックしたボックス配下のボックスがすべて選択されます。
■ 選択された先頭のボックスをクリックすると、すべてのボックスが選択解除されます。

4 「一括削除」をクリック

選択されたボックスが一括削除されます。

■ 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。



■ ボックスグループにまとめる

ボックスをグループ化します。ボックスのグループは複数登録でき、登録済みのグループ化したボックスは、すべてのお仕事で利用できます。

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」 144 ページ参照）で「高度な操作」をクリック

メニューが表示されます。



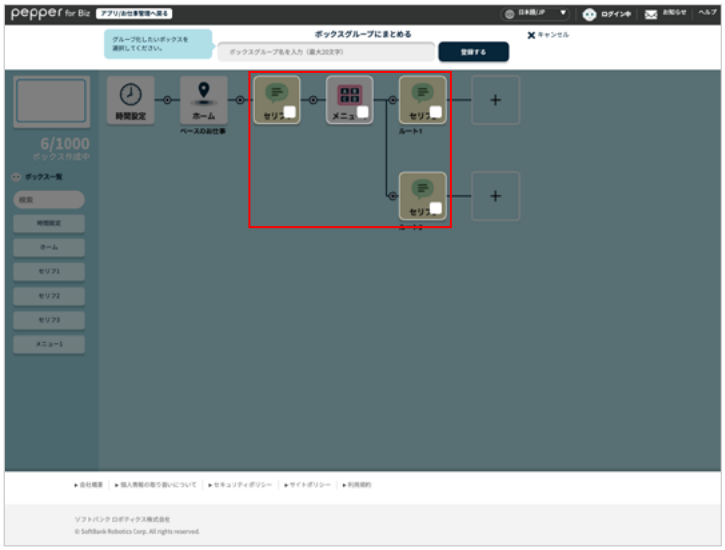
2 「ボックスグループにまとめる」をクリック

ボックス選択画面が表示されます。



3 グループ化するボックスにチェックを入れる

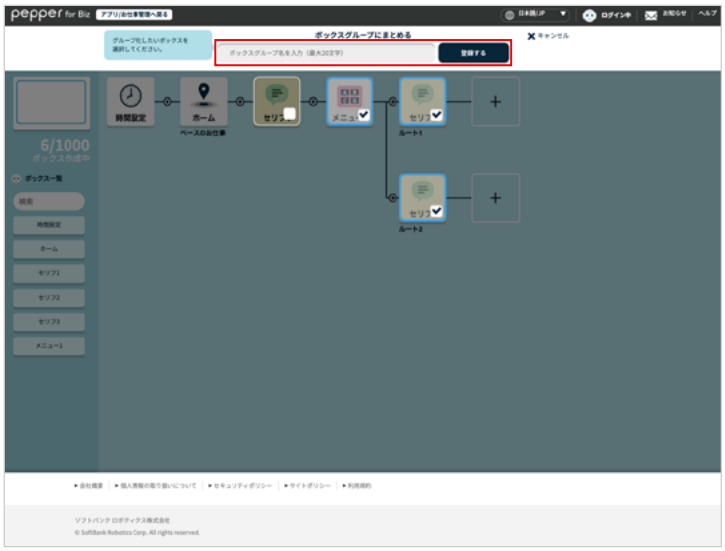
■ 複数のボックスにチェックを入れることができます。



- ■ ボックスは必ず 1 つ以上チェックしてください。
- ■ チェックできるボックスは、相互につながっている一連のボックスのみです。
- ■ チェックできるボックス数の上限は、同一お仕事内のすべてのボックス数です。
- ■ 時間設定ボックス、ホームボックスは選択対象外です。
- ■ ボックスをクリックすると、クリックしたボックス配下すべてのボックスがチェックされます。
- ■ チェックされたボックスをクリックすると、クリックしたボックス配下すべてのボックスのチェックが解除されます。
- ■ チェックされたボックスと分岐でつながっていないボックスをクリックすると、チェックされていたボックスはすべてチェックが解除され、クリックしたボックス配下のボックスがすべてチェックされます。
- ■ チェックされた先頭のボックスをクリックすると、すべてのボックスのチェックが解除されます。

4 ボックスグループ名を入力して「登録する」をクリック

チェックを入れたボックスがグループ化されます。



- ボックスグループ名は 20 文字以下で必ず設定してください。
- すでに使用済みのボックスグループ名は設定できません。
- ボックスグループは 100 件まで登録できます。
- グループ作成後、作成元のボックスやお仕事を編集しても、ボックスグループには反映されません。
- 登録されたボックスグループはすべてのお仕事で利用できます。
- お仕事全体をボックスグループに登録しても、お仕事全体の背景画像は登録されません。

■ コンバージョンポイントを一括で設定する

ボックスに一括でコンバージョンポイント（「 コンバージョンポイントの設定について」 167 ページ参照）を設定します。

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」 144 ページ参照）で「高度な操作」をクリック

メニューが表示されます。



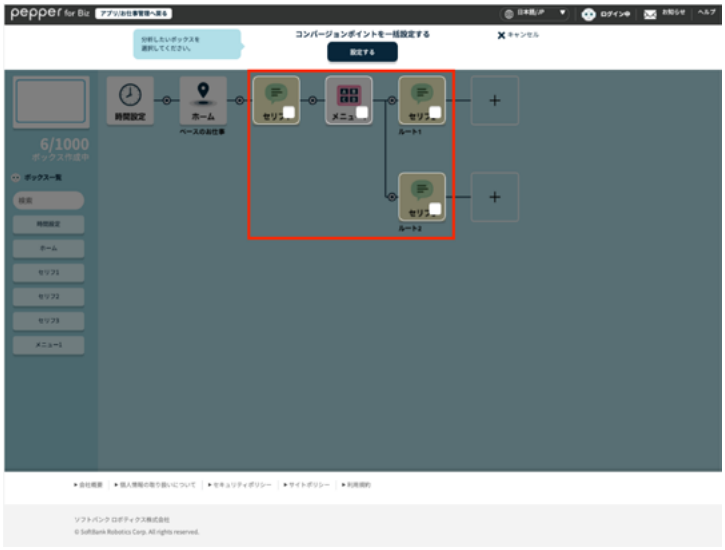
2 「コンバージョンポイントの一括設定」をクリック

ボックス選択画面が表示されます。



3 コンバージョンポイントを設定するボックスを選択する

■ 複数のボックスにチェックを入れることができます。



■ ボックスは必ず 1 つ以上選択してください。
■ 選択できるボックス数の上限は、同一お仕事内のすべてのボックス数です。
■ 時間設定ボックス、ホームボックスは選択対象外です。
■ ボックスをクリックすると、クリックしたボックス配下のすべてのボックスが選択されます。
■ 選択されたボックスをクリックすると、クリックしたボックスよりも前のボックスが選択解除されます。
■ 選択されたボックスと分岐でつながっていないボックスをクリックすると、選択されていたボックスはすべて選択解除され、クリックしたボックス配下のボックスがすべて選択されます。
■ 選択された先頭のボックスをクリックすると、すべてのボックスが選択解除されます。

4 「設定する」をクリック

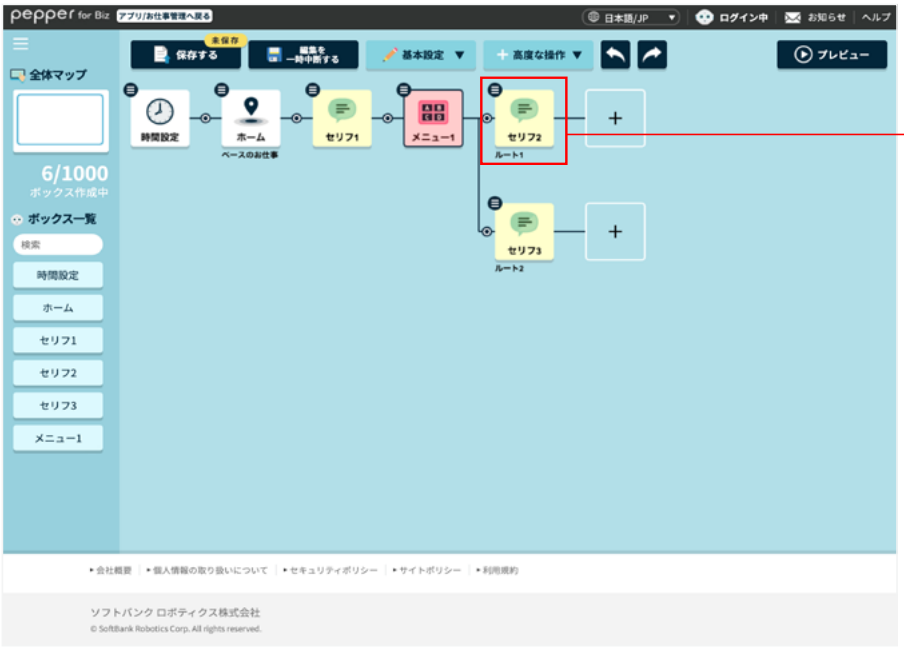
選択されたボックスにコンバージョンポイントが設定されます。

■ 確認画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。



7-6-3 ボックスを編集する

Pepper が行う行動の単位をボックスと言い、お仕事のマップはボックスで構成されています。Pepper はお仕事編集画面のマップ左側の内容から順番に動きます。お仕事をカスタマイズするには、ボックスを設定して Pepper の動作を組み立てていきます。



■ ボックスをメニューから編集する

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」144 ページ参照）で対象のボックスの をクリック



2 「ボックスを編集」をクリック

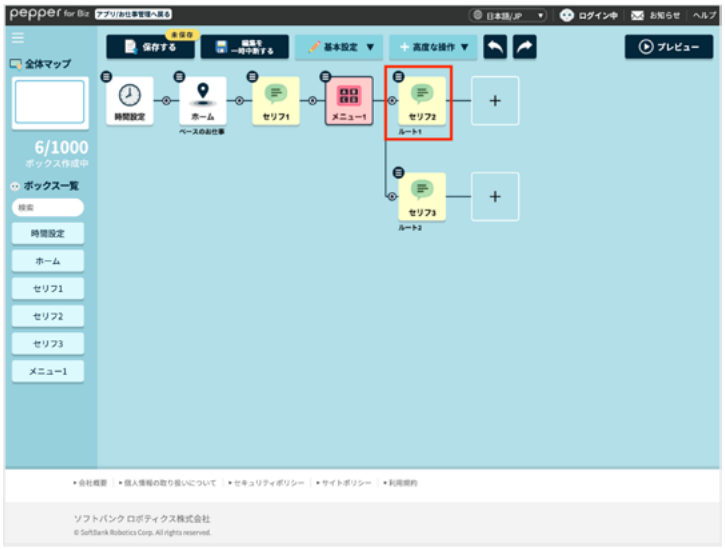
ボックスの編集画面が表示されます（「7-7-2 各ボックスでの編集画面の共通操作について」173 ページ参照）。



■ ボックスをダブルクリックして編集する

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」144 ページ参照）で対象のボックスをダブルクリック

ボックスの編集画面が表示されます（「7-7-2 各ボックスでの編集画面の共通操作について」173 ページ参照）。



■ ボックスを「使用中のボックス一覧」から編集する

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」144 ページ参照）で、「使用中のボックス一覧」にある対象のボックスをクリック

ボックスの編集画面が表示されます（「7-7-2 各ボックスでの編集画面の共通操作について」173 ページ参照）。



■ ボックスのメニューについて

ボックスを操作する際に、☰ をクリックしてメニューを利用することができます。メニューを利用することで、ボックスのプレビューを見たり、編集などの操作ができます。

メニュー項目	説明
ここからプレビュー	選択したボックスからプレビューを開始します。
ボックス名の変更	ボックスの名前を変更します。 ■ 「①」などの特殊文字は使用できません。
ボックスを編集	ボックスを編集します（「7-7-2 各ボックスでの編集画面の共通操作について」173 ページ参照）。
ボックスを削除	ボックスを削除します。 ■ 通常は削除したボックスの位置に、すぐ後ろのボックスが移動してきます。 ■ 分岐するボックスを削除した場合は、分岐のいちばん上のルートが残ります。
コンバージョンポイントの設定	コンバージョンポイントを設定します。 Pepper のお仕事におけるコンバージョンとは、お仕事を通じてユーザーに行って欲しい行動目標のことです。 コンバージョンポイントの設定はお仕事作成時に設定できます。コンバージョン数は Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）のインタラクション分析で確認してください。

■ コンバージョンポイントの設定について

コンバージョンポイント（ユーザーに行って欲しい行動目標）を設定することができます。コンバージョンポイントに設定したボックスが目標となり、「そのボックスに至った数」＝「コンバージョン数」として記録されます。コンバージョン数は、Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）のインタラクション分析で確認することができます。

■ コンバージョンポイントの設定方法は、以下をご覧ください。
【お仕事かんたん生成 3. 0 コンバージョンポイントの設定】
https://www.youtube.com/watch?v=DbKr02tQojQ
※画面は仕様変更などの理由により予告なく変更される場合があります。

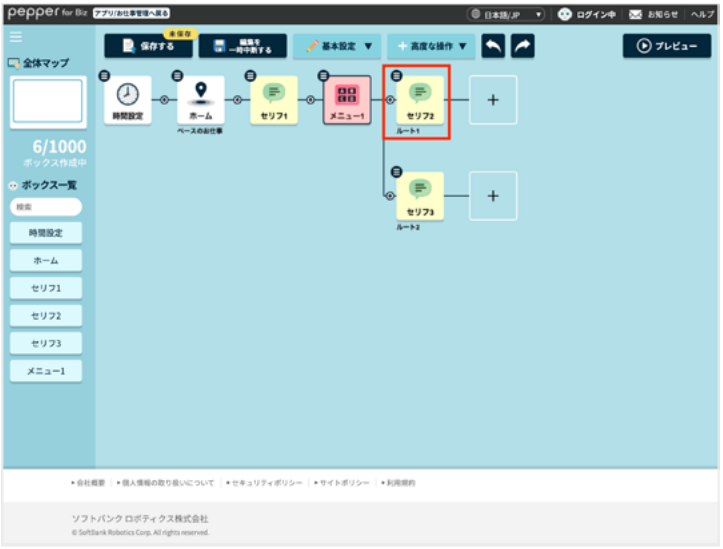
7-6-4 ボックスのコピーを作成する

既存のボックスを 1 個ずつ、または複数個コピーし、ボックスを作成します。

■ コピーできるボックスは、ホームボックスとスケジュールボックス以外です。

■ ボックスを 1 個ずつコピーする

1 コピーするボックスの上で右クリック



2 「ボックスをコピー」をクリック

- 以下のショートカットキーを使用してコピーすることもできます。
  Windows をご利用の場合：Ctrl+C ／ MAC をご利用の場合：command+C



3 ボックスを貼り付けたい場所で右クリックし、「ボックスを貼り付け」をクリック

コピーしたボックスが作成されます。

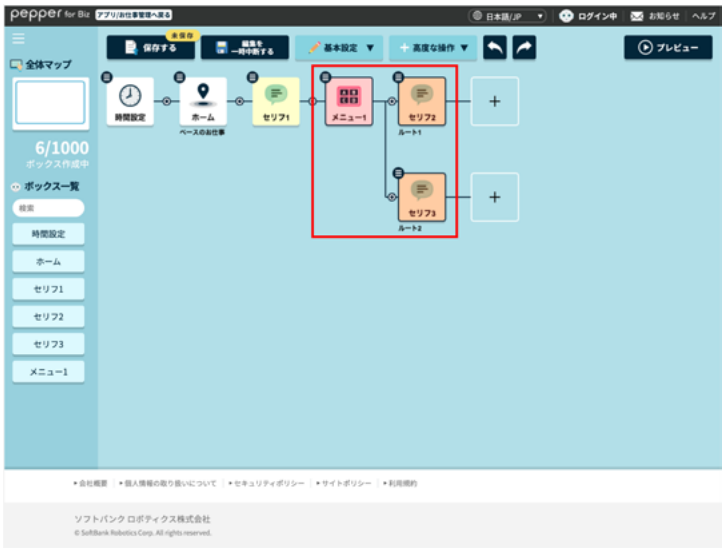
- ボックスを貼り付ける場所は、選択したボックスの上や「＋」の外枠をクリックするか、矢印キーで指定します。
  貼り付ける場所が指定されると、該当箇所のボックスが赤色に変わります。
- 選択したボックスの上に貼り付けると、選択したボックスの前にボックスが追加されます。
- 手順 2 でショートカットキーを使用してボックスをコピーした場合は、以下のショートカットキーを使用して貼り付けてください。
  Windows をご利用の場合：Ctrl+V ／ MAC をご利用の場合：command+V



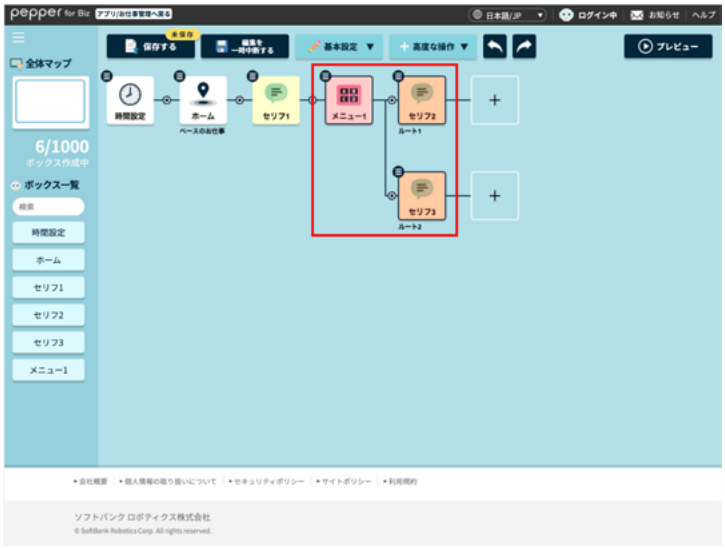
■ ボックスを複数個コピーする

1 コピーするボックスの範囲を選択する

- 以下のショートカットキーを使用して、コピーするボックスの範囲を選択することもできます。
  Windows をご利用の場合：Shift または Ctrl + 複数選択／ MAC をご利用の場合：shift または control + 複数選択
- 分岐後のボックスが分岐元のボックスを含まずに複数選択されている場合は、先頭の分岐先で選択されたボックスのみが選択状態となります。



2 コピーするボックスの範囲を右クリック



3 「ボックスをコピー」をクリック

- 以下のショートカットキーを使用してコピーすることもできます。
  Windows をご利用の場合：Ctrl+C ／ MAC をご利用の場合：command+C



4 ボックスを貼り付けたい場所で右クリックし、「ボックスを貼り付け」をクリック

コピーしたボックスが作成されます。

- ボックスを貼り付ける場所は、選択したボックスの上や「＋」の外枠をクリックするか、矢印キーで指定します。
  貼り付ける場所が指定されると、該当箇所のボックスが赤色に変わります。
- 選択したボックスの上に貼り付けると、選択したボックスの前にボックスが追加されます。
- 手順 2 でショートカットキーを使用してボックスをコピーした場合は、以下のショートカットキーを使用して貼り付けてください。
  Windows をご利用の場合：Ctrl+V ／ MAC をご利用の場合：command+V



7-7 ボックスの操作

7-7-1 各ボックスの見かた

お仕事は、さまざまなボックスを設定して作成します。ボックスは選択したテンプレートにより異なり、複数設定します。

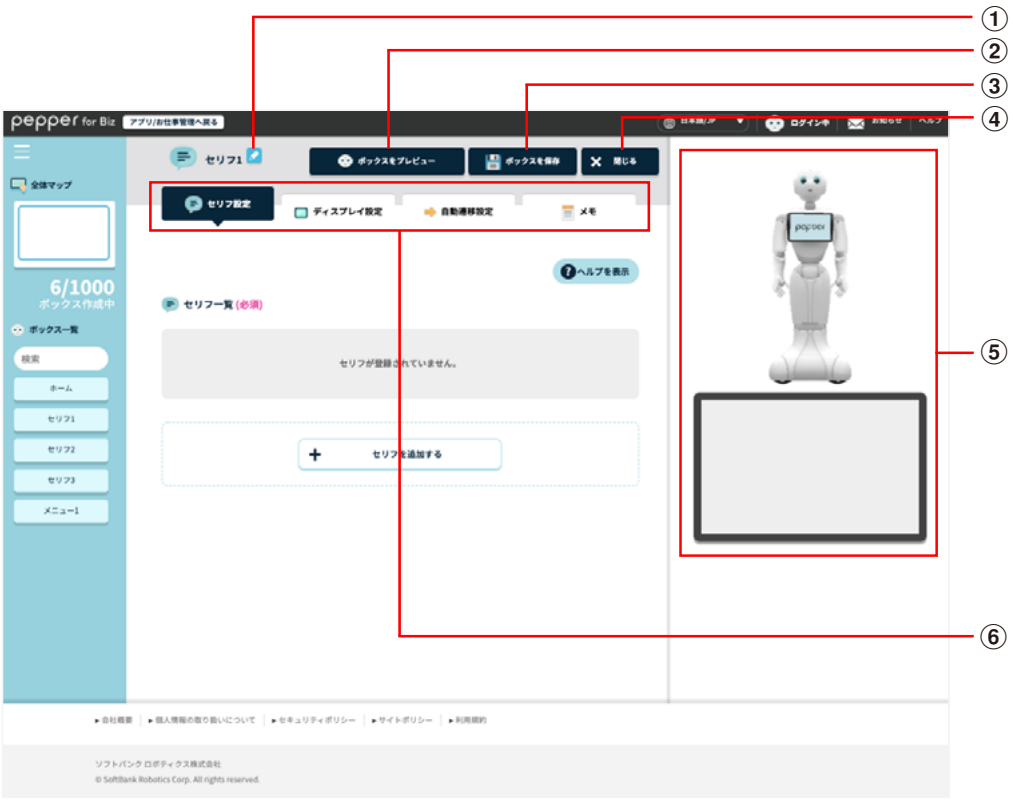
■ 作成できるボックス数は最大 1000 個です。
※利用環境により少なくなる場合があります

ボックス名	説明	ページ
時間設定	お仕事の先頭に配置されるボックスです。時間を指定して、動作を分岐させるための設定をします。 時間設定ボックスは位置を移動させることはできません。	(「7-7-3 時間設定ボックス」177 ページ参照)
ホーム	時間設定ボックスの次に配置されるボックスです。 Pepper が人を検知していないとき、検知したときの動作を分岐させるための設定をします。時間設定ボックスで分岐した数だけホームボックスも設定が必要になります。 ホームボックスは位置を移動させることはできません。	(「7-7-4 ホームボックス」180 ページ参照)
セリフ	Pepper からお客様へ話すセリフや、その時のディスプレイの表示などを設定します。 商品紹介の説明をする場合などに利用できます。	(「7-7-5 セリフボックス」185 ページ参照)
AI 会話	お客様が Pepper に話しかけたときに、Pepper が自動で話す内容を設定します。話した内容はインタラクション分析でログを確認することができます。	(「7-7-8 AI 会話ボックス」201 ページ参照)
遠隔応答	遠隔地にいるオペレータが、Pepper を通じてお客様と通話するための設定をします。 お客様の質問が難しいときなど、Pepper では対応できない質問に答える場合などに利用できます。	(「7-7-14 遠隔応答ボックス」235 ページ参照)
分岐	条件を設定することで、Pepper の動作を分岐させるためのボックスです。	(「7-7-11 分岐ボックス」225 ページ参照)
条件分岐	属性判定ボックスで取得した情報で、Pepper の動作を分岐させるためのボックスです。属性判定ボックスと組み合わせて使います。	(「7-7-16 条件分岐ボックス」241 ページ参照)
ジャンプ	マップ上の任意のボックスにジャンプする設定をします。	(「7-7-12 ジャンプボックス」229 ページ参照)

メニュー	選択肢を表示して、動作を分岐させるための設定をします。	（「7-7-6 メニューボックス」190 ページ参照）
質問	お客様に質問をするための動作を設定します。	（「7-7-7 質問ボックス」196 ページ参照）
顧客情報取得	お客様にニックネームをお伺いするための設定をします。取得したニックネームは、顔認識機能で取得した顔情報と紐付けされます。ニックネームは、セリフボックスや質問ボックスなど、各ボックスのセリフで利用できます。	（「7-7-17 顧客情報取得ボックス」249 ページ参照）
属性判定	Pepper がお客様の顔を認識した際に、顔から取得する情報（年齢／性別／来訪回数／当日来訪状況／ニックネーム取得状態／顧客情報取得状態）を設定します。条件分岐ボックスと組み合わせて使います。	（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）
アプリ	アプリを利用するための設定をします。	（「7-7-10 アプリボックス」220 ページ参照）
印刷	画像をプリンタで印刷するための設定をします。	（「7-7-13 印刷ボックス」232 ページ参照）
通知	指定したメールアドレス／携帯電話の番号にあらかじめ設定したメールを送信します。	（「7-7-18 通知ボックス」252 ページ参照）
移動	Pepper をあらかじめ指定した場所に移動させます。	（「7-7-19 移動ボックス」255 ページ参照）
ホーム位置	ホーム位置マーカーからホーム位置までの距離と角度を設定します。	（「7-7-20 ホーム位置ボックス」260 ページ参照）

7-7-2 各ボックスでの編集画面の共通操作について

ボックス編集画面では、上部に表示された各タブを設定してボックスを作っていきます。設定した内容は「ボックスをプレビュー」をクリックすると確認でき、動作は画面右側に表示されます。ボックスの設定が完了したら「ボックスを保存」をクリックして設定内容を保存してください。

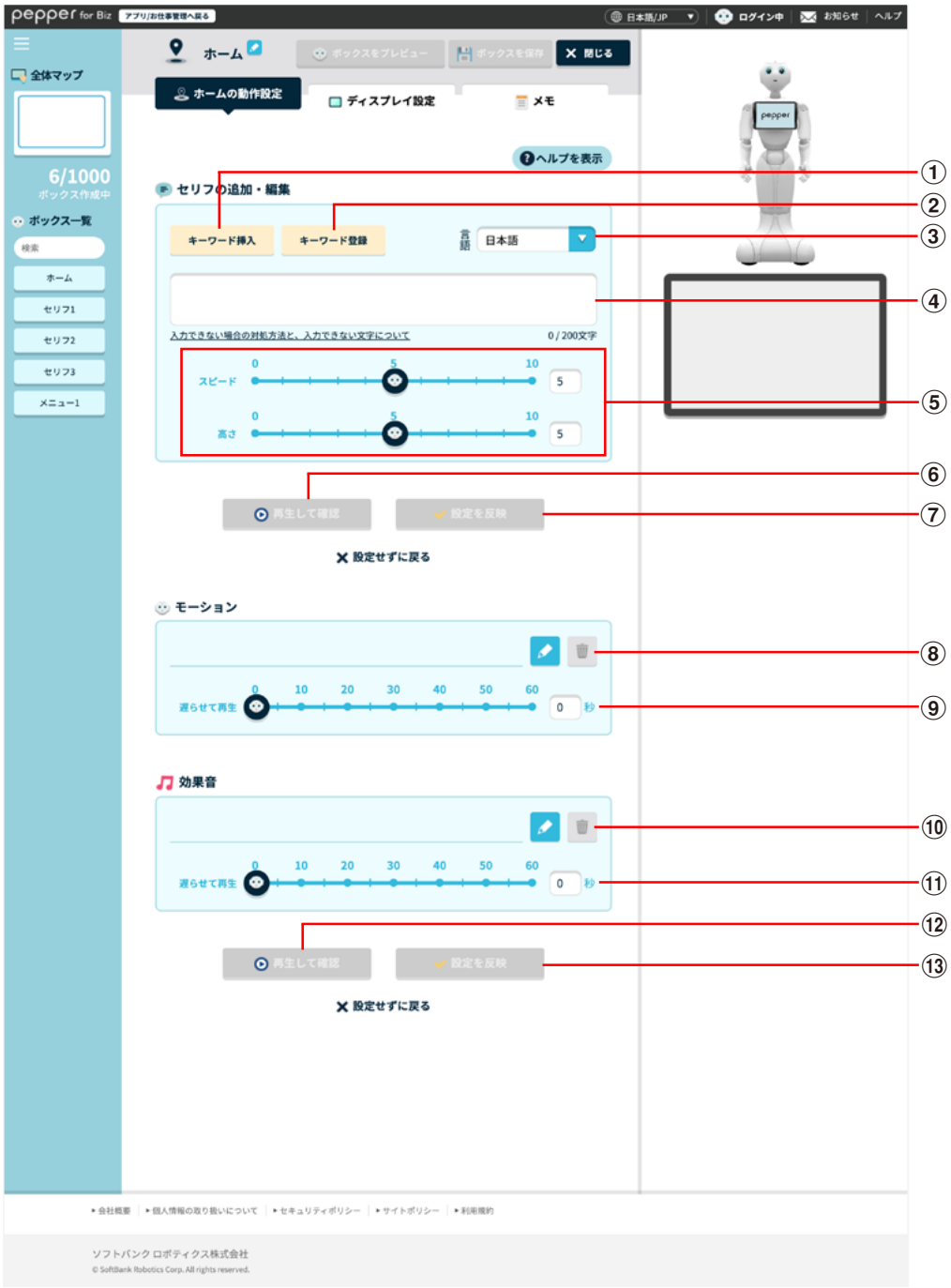


ボックス編集画面

番号	説明
①	ボックスの名前を変更します。
②	ボックスのプレビューを表示します。
③	設定を保存します。
④	ボックス編集画面を閉じます。
⑤	「ボックスをプレビュー」をクリックしたときの Pepper とディスプレイを表示します。 ※プレビュー機能は実際の Pepper の動きと若干異なる場合があります。
⑥	ボックスのタブです。各タブを編集してボックスを設定してください。

■ セリフの追加・編集画面の見かた

■ ホームボックスの画面例



■ セリフボックスの画面例



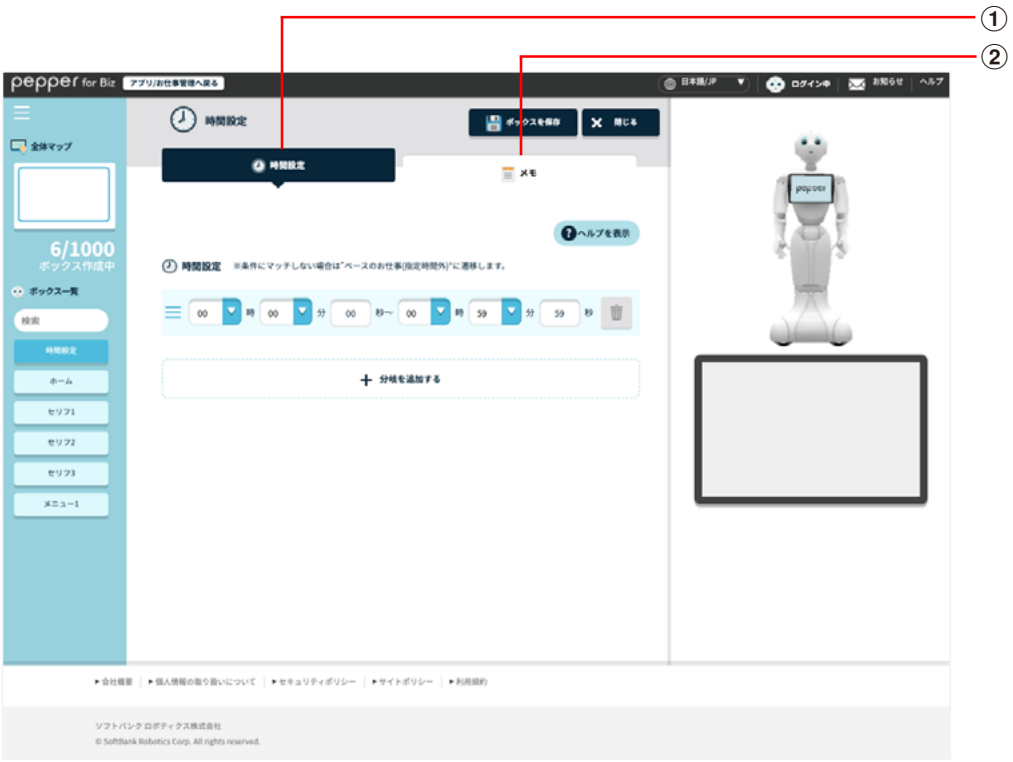
セリフの追加・編集画面

番号	説明
①	「キーワード登録」で登録したキーワードから選択します。
②	キーワードを登録します（「 キーワードを登録する」 152 ページ参照）。
③	言語を選択します。 ※指定された言語以外の文言が設定された場合は、該当部分は発話されません。
④	セリフを入力します。ここで入力したセリフを Pepper が話します。 ※セリフはコピー / 貼り付けせず、手入力してください。
⑤	セリフのスピード、高さを設定します。 ■ 標準的なスピード：5 ～ 8 ※長文はスピードが速すぎると機械的に聞こえることがあります。 ■ 標準的な高さ：6 ～ 8
⑥	音声のプレビューを聞くことができます。
⑦	設定が完了したら「設定を反映」をクリックし、設定内容を保存します。
⑧	でセリフを話したときのモーションを設定したり、プレビューを再生します。 をクリックするとモーションを削除します。
⑨	セリフを発した何秒後にモーションするかを設定します。
⑩	でセリフを話したときの効果音を設定します。 をクリックすると効果音を削除します。
⑪	セリフを発した何秒後に効果音を出すか設定します。
⑫	音声のプレビューを聞くことができます。
⑬	設定が完了したら「設定」をクリックし、設定内容を保存します。
⑭	顧客情報取得ボックスで取得したニックネームを話すように設定します。 ※セリフボックス／質問ボックス／メニューボックスでのみ設定できます。

⑮	ニックネームを取得できていない場合に、ニックネームの代わりに話すセリフを設定します。 ※セリフボックス／質問ボックス／メニューボックスでのみ設定できます。

7-7-3 時間設定ボックス

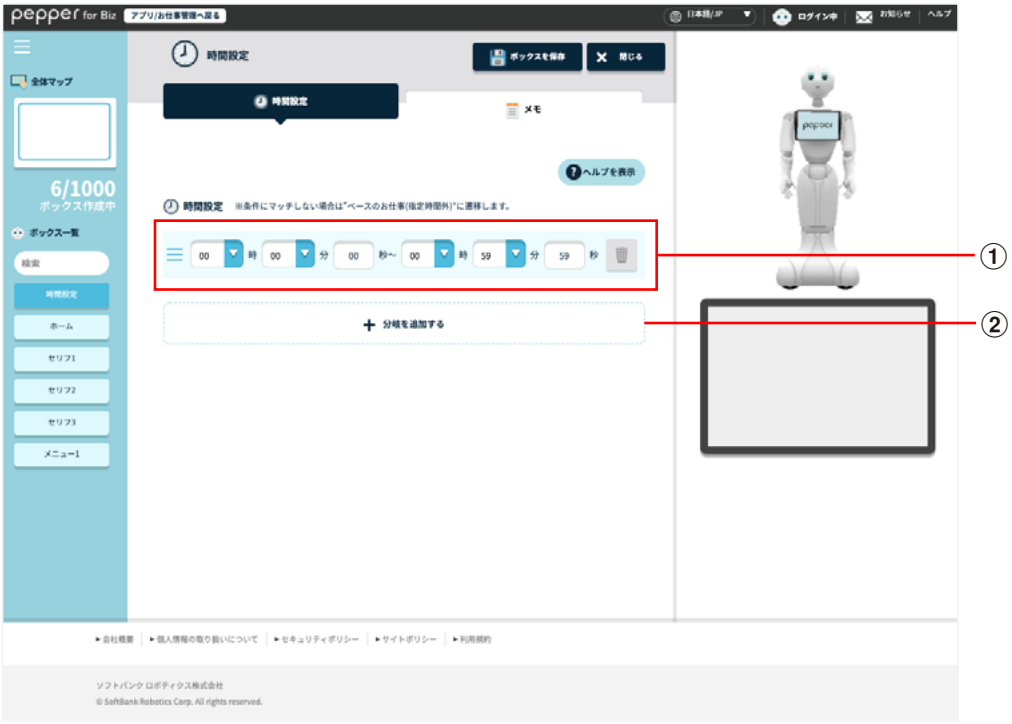
お仕事の先頭に配置されるボックスです。時間を指定して、動作を分岐させるための設定をします。時間設定ボックスは位置を移動させることはできません。



時間設定ボックス

番号	説明
①	時間設定を行います（「 時間設定画面の見かた」 178 ページ参照）。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」 179 ページ参照）。

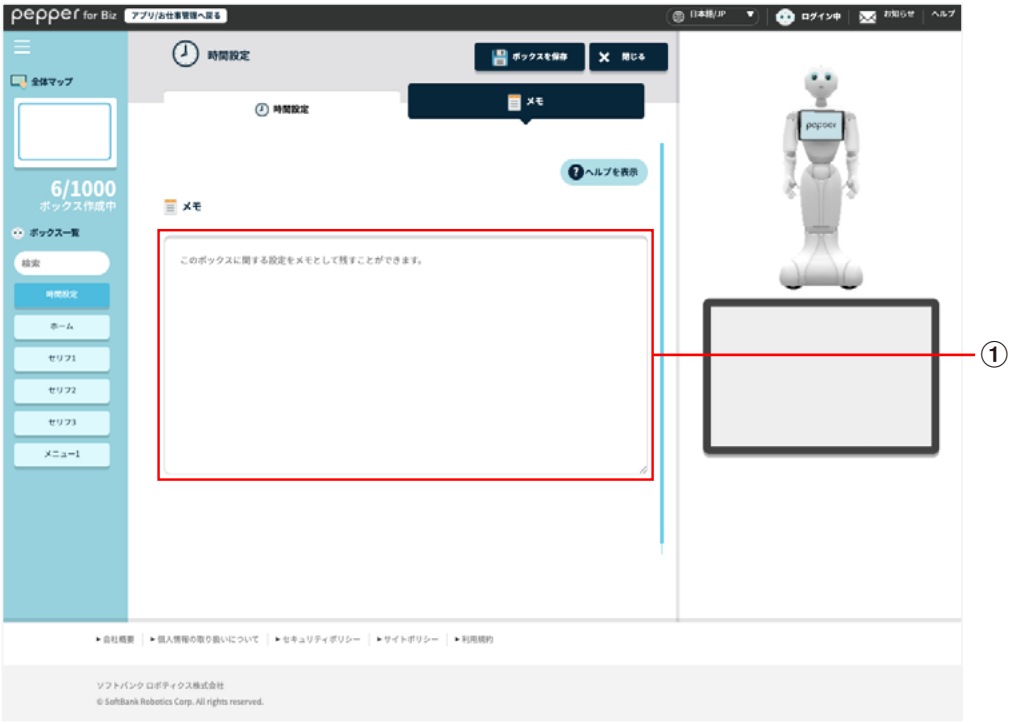
■ 時間設定画面の見かた



時間設定画面

番号	説明
①	分岐の条件を設定します。 をクリックすると分岐条件を削除します。 をドラッグすると、位置を移動して順序を変更することができます。
②	分岐条件を追加します。

■ メモ画面の見かた

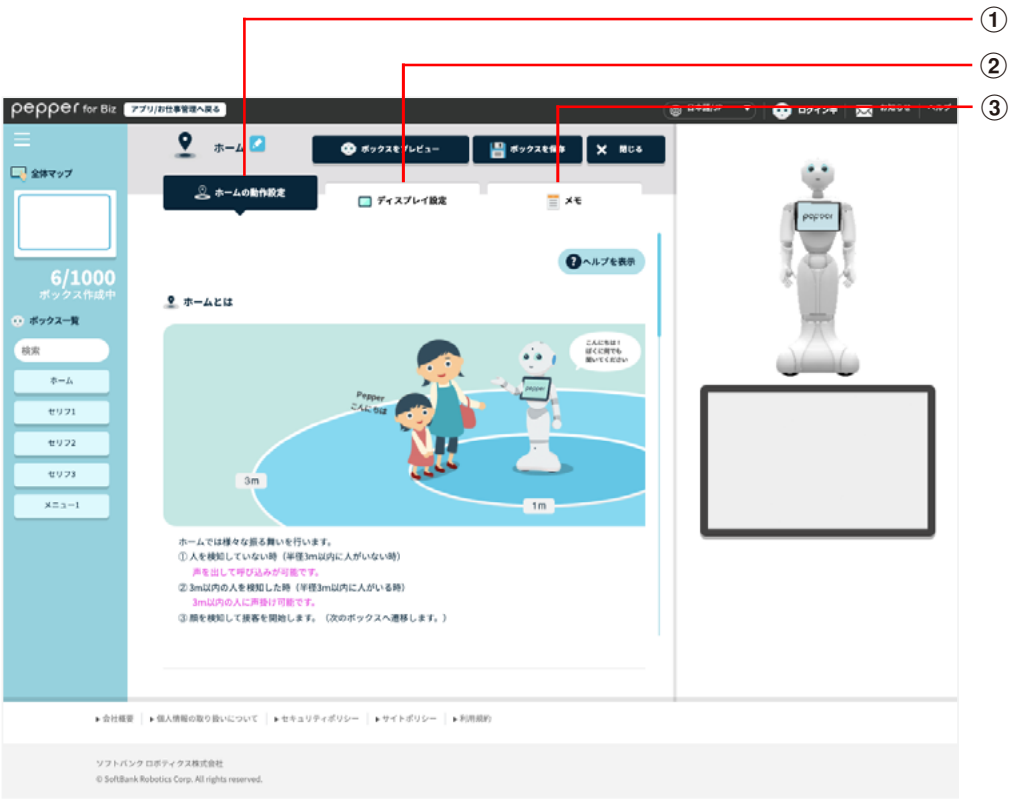


メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-4 ホームボックス

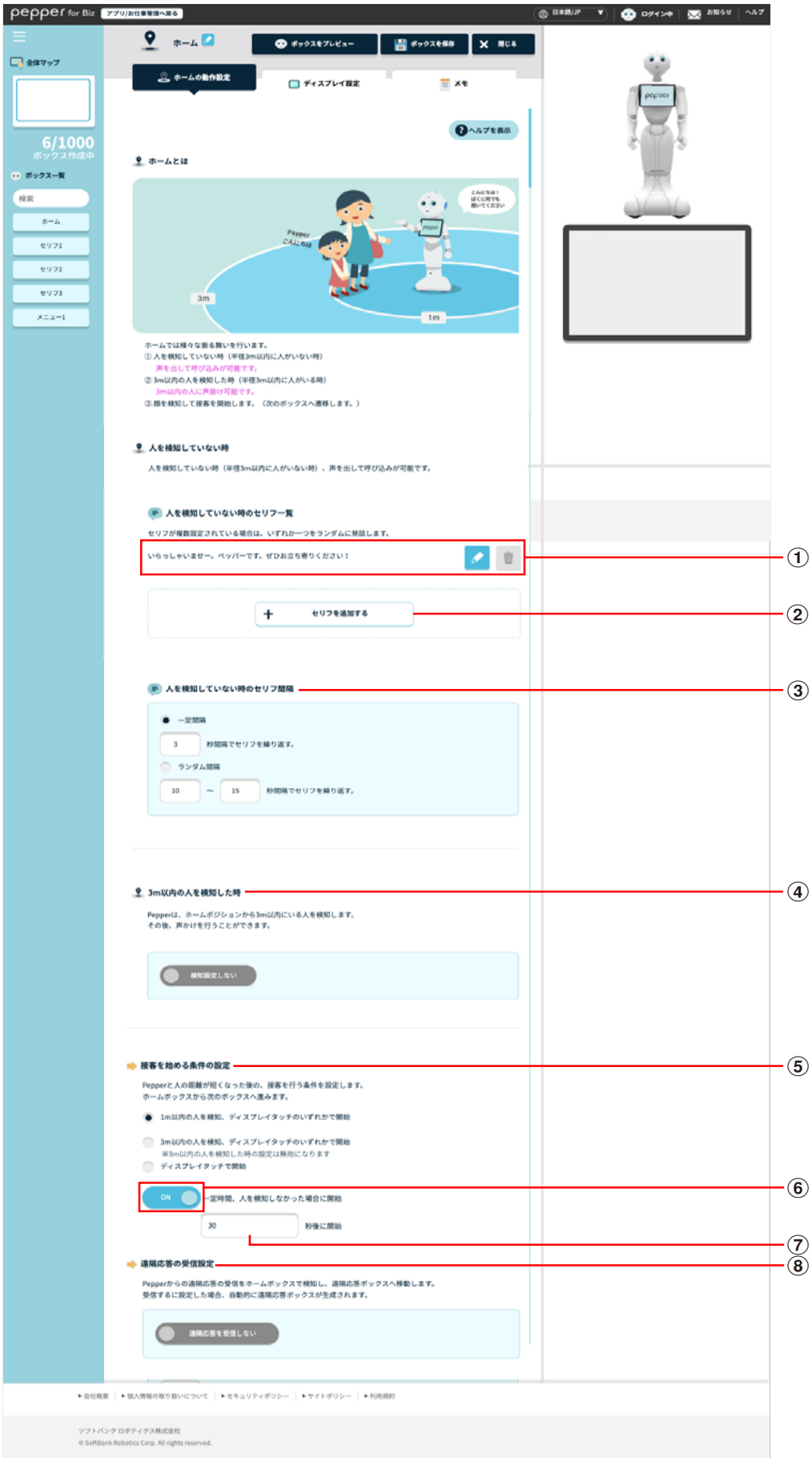
時間設定ボックスの次に配置されるボックスです。Pepper が人を検知していないとき、検知したときの動作を分岐させるための設定や、接客を始めるための条件の設定、「Pepper for Biz 遠隔応答」で応対するための設定をします。時間設定ボックスで分岐した数だけホームボックスも設定が必要になります。ホームボックスは位置を移動させることはできません。



ホームボックス画面

番号	説明
①	セリフの設定を行います（「 ホームの動作設定画面の見かた」 181 ページ参照）。
②	ディスプレイの設定を行います（「 ディスプレイ設定画面の見かた」 183 ページ参照）。
③	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」 184 ページ参照）。

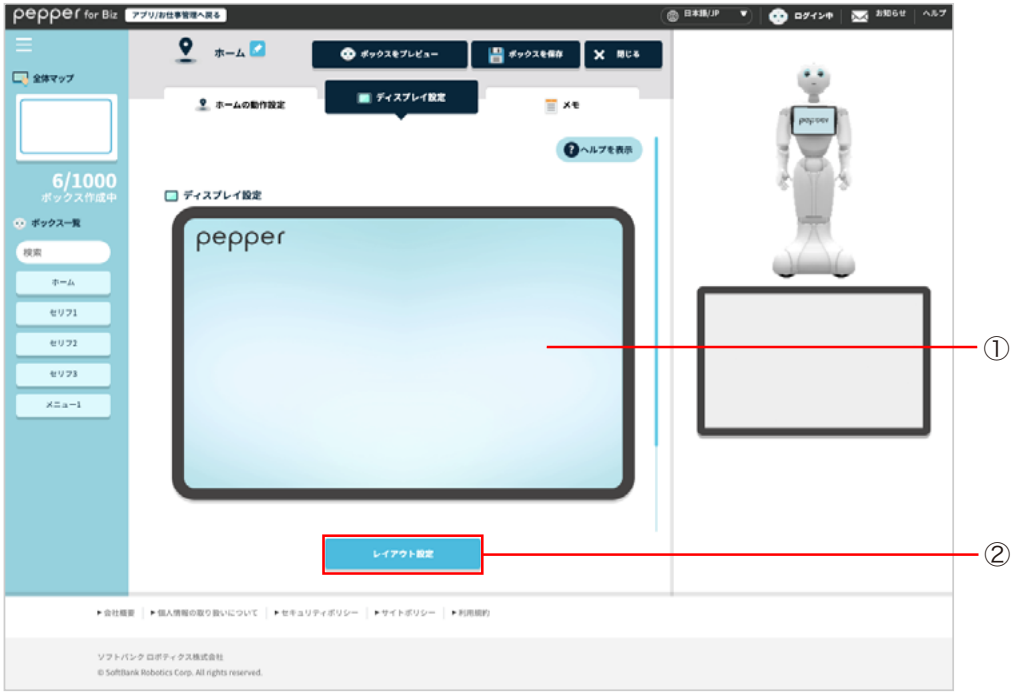
■ ホームの動作設定画面の見かた



ホームの動作設定画面

番号	説明
①	セリフの一覧が表示されます。 をクリックすると編集できます。 をクリックするとセリフ、セリフ間隔を削除します。
②	セリフを追加します（「 セリフの追加・編集画面の見かた」 174 ページ参照）。
③	セリフを話す間隔を設定します。
④	人を検知したときに発話するセリフを設定するかどうかを設定します。 「する」にした場合、人を検知した時に発話するセリフ、セリフ間隔を設定できます。 ※顔を認識する距離の目安：Pepper から 1 ～ 2m 前後範囲内 ※人を検知する距離の目安：Pepper から 3m 前後（人の可能性があると認識した時）
⑤	Pepper が接客を始めるための条件を設定します。
⑥	一定時間経過後に移動を開始するための設定をします。
⑦	接客を始めるまでの秒数を設定します。
⑧	「Pepper for Biz 遠隔応答」でオペレーターから Pepper に接続し応対する設定をします。

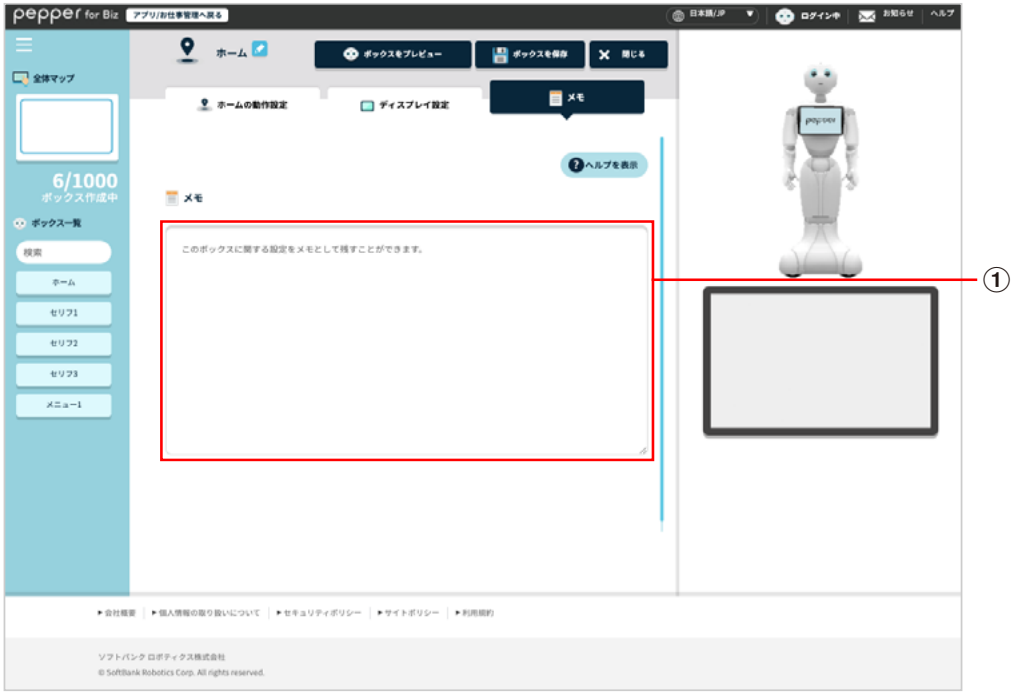
■ ディスプレイ設定画面の見かた



ディスプレイ設定画面

番号	説明
①	プレビューが表示されます。プレビュー画面では、次の操作を行うことができます。 ■ ボタンの「+」をクリックすると、メディアライブラリからボタンとして表示する画像や動画を設定できます（「7-5-1 メディアファイルを登録する」142 ページ参照）。
②	レイアウトを設定します。 ■ 設定できる画像や動画は 1 つです。

■ メモ画面の見かた

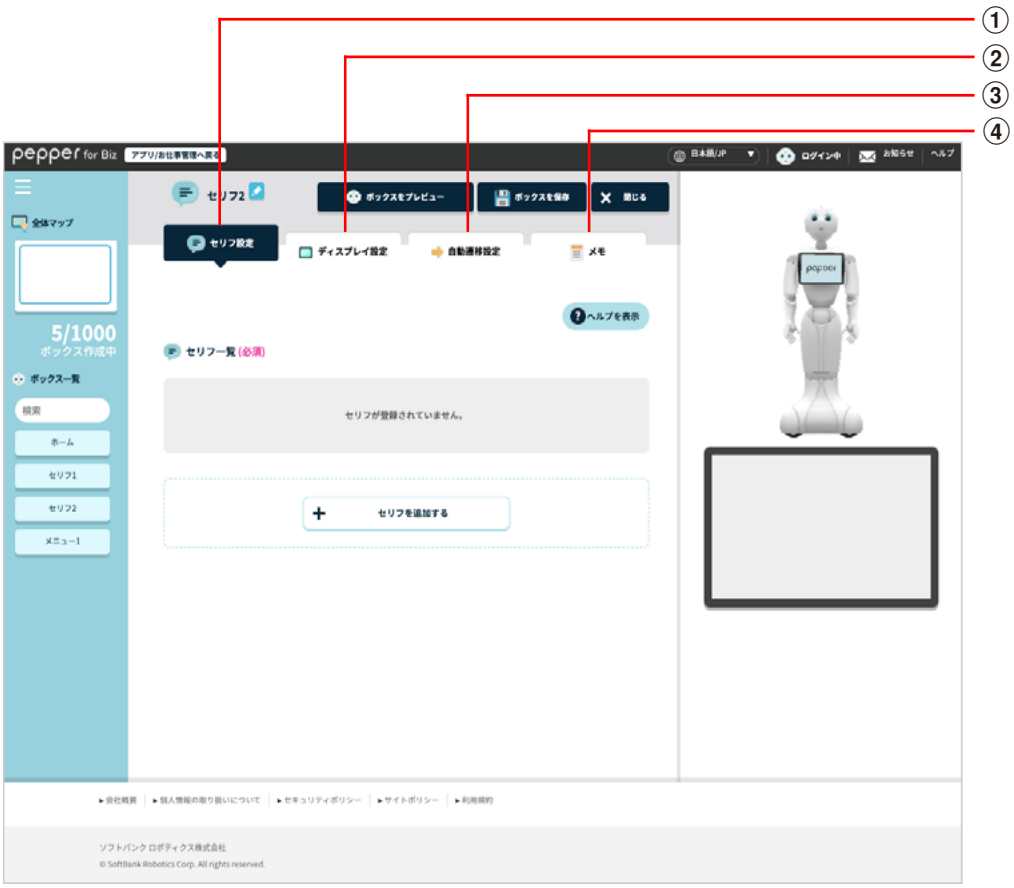


メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-5 セリフボックス

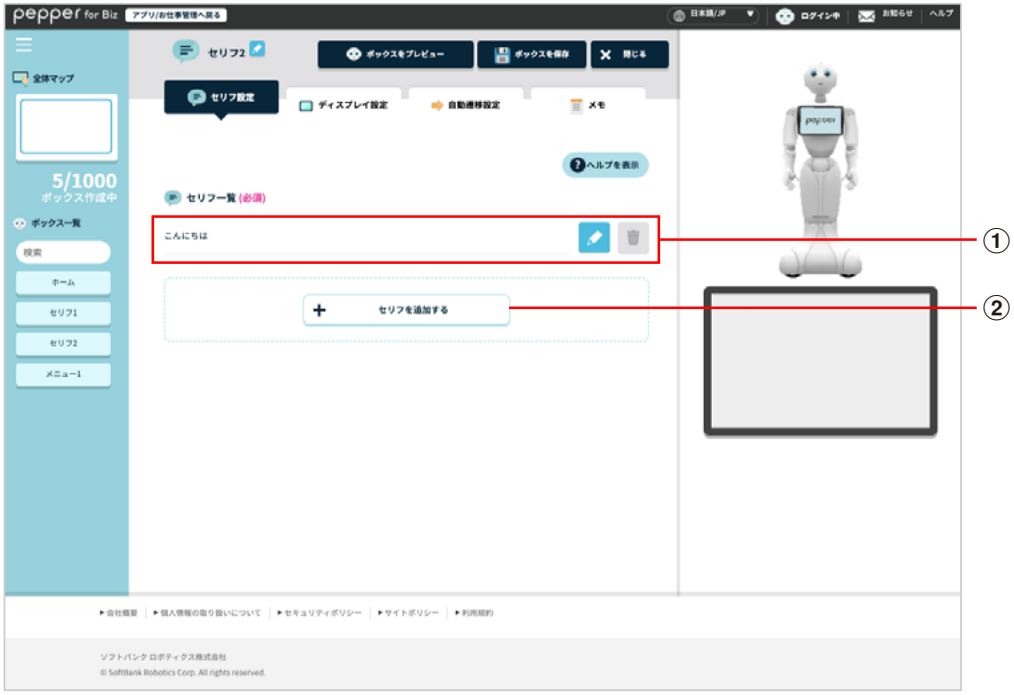
Pepper からお客様へ話すセリフや、その時のディスプレイの表示などを設定します。商品紹介の説明をする場合などに利用できます。



セリフボックス画面

番号	説明
①	セリフの設定を行います（「 セリフ設定画面の見かた」 186 ページ参照）
②	ディスプレイの設定を行います（「 ディスプレイ設定画面の見かた」 187 ページ参照）。
③	自動遷移の設定を行います（「 自動遷移設定画面の見かた」 188 ページ参照）。
④	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」 189 ページ参照）。

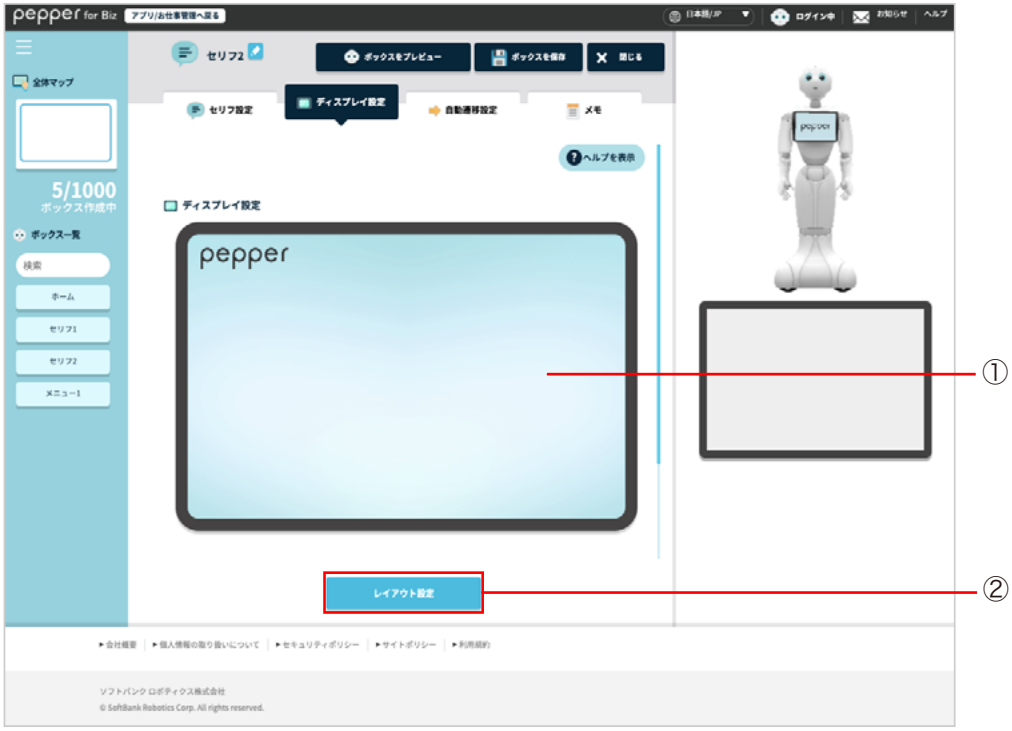
■ セリフ設定画面の見かた



セリフ設定画面

番号	説明
①	セリフの一覧が表示されます。 をクリックすると編集できます。 をクリックするとセリフを削除します。
②	セリフを追加します（「 セリフの追加・編集画面の見かた」 174 ページ参照）。セリフを複数設定すると、設定したセリフをランダムで発話します。

■ ディスプレイ設定画面の見かた

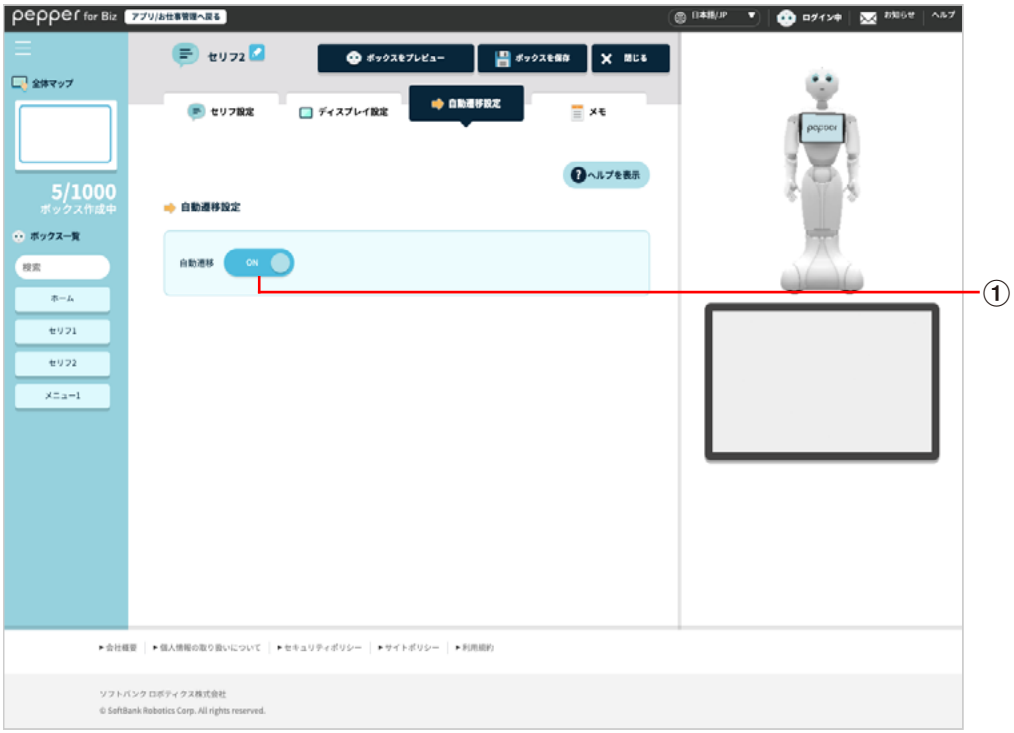


ディスプレイ設定画面

番号	説明
①	プレビューが表示されます。プレビュー画面では、次の操作を行うことができます。 ■ ボタンの「+」をクリックすると、メディアライブラリからボタンとして表示する画像や動画を設定できます（「7-5-1 メディアファイルを登録する」142 ページ参照）。
②	レイアウトを設定します。 ■ 設定できる画像／動画は 1 つです。複数の動画を設定すると処理負荷が高くなり、表示されない場合があります。

■ ディスプレイ設定画面で動画を設定した場合は、次のような動作になります。
・ホーム：ループ再生
・セリフ：一度だけ再生
・質問：ループ再生
・メニュー：ループ再生

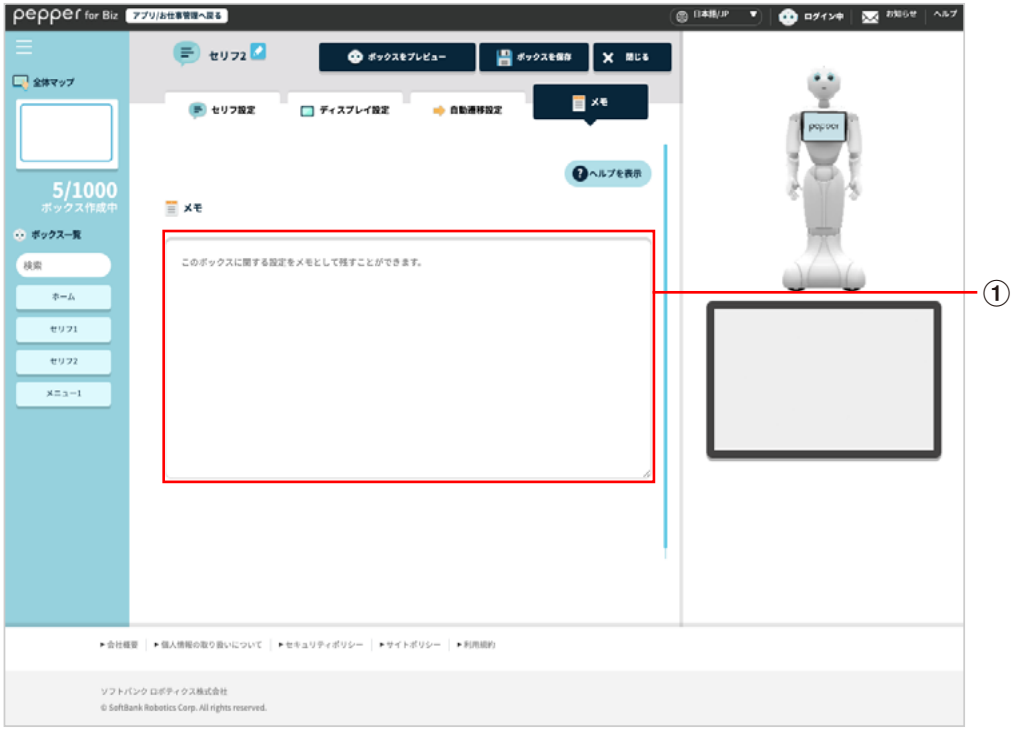
■ 自動遷移設定画面の見かた



自動遷移設定画面

番号	説明
①	トークから次のボックスに自動的に遷移するか設定します。 ※自動遷移設定が OFF の場合でも、30 秒操作されなかった場合は自動でタイムアウトします。

■ メモ画面の見かた

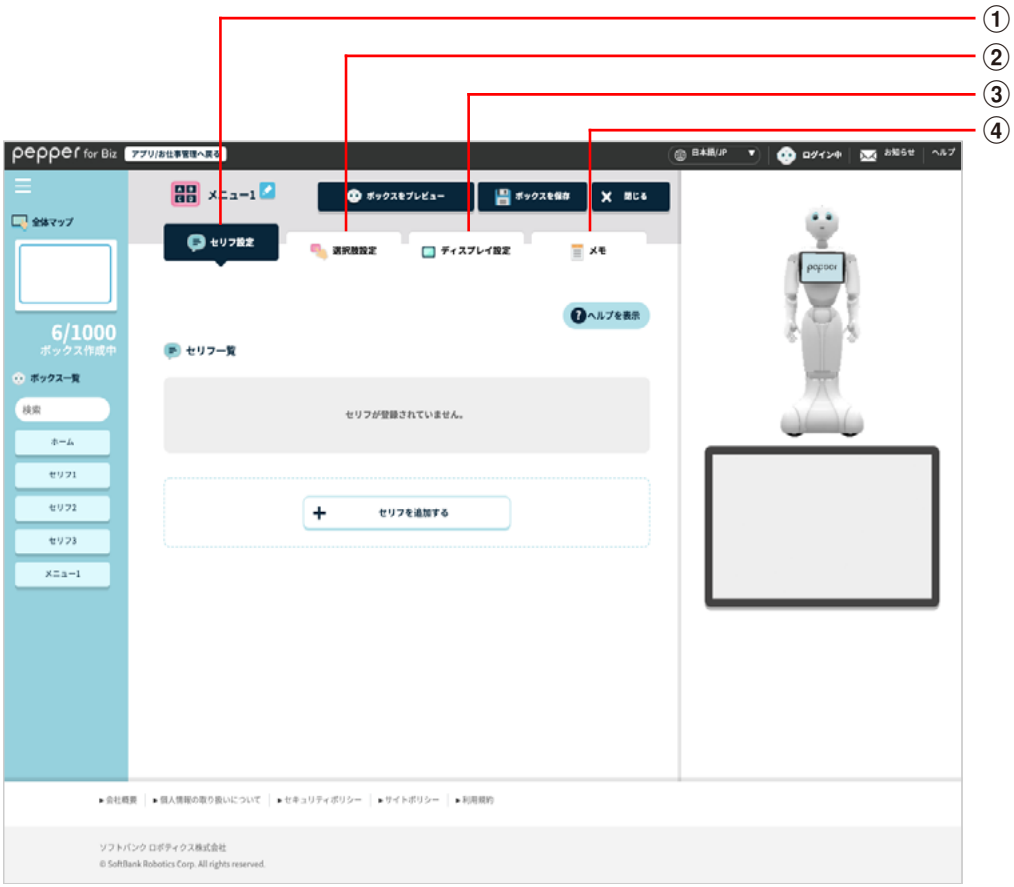


メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-6 メニューボックス

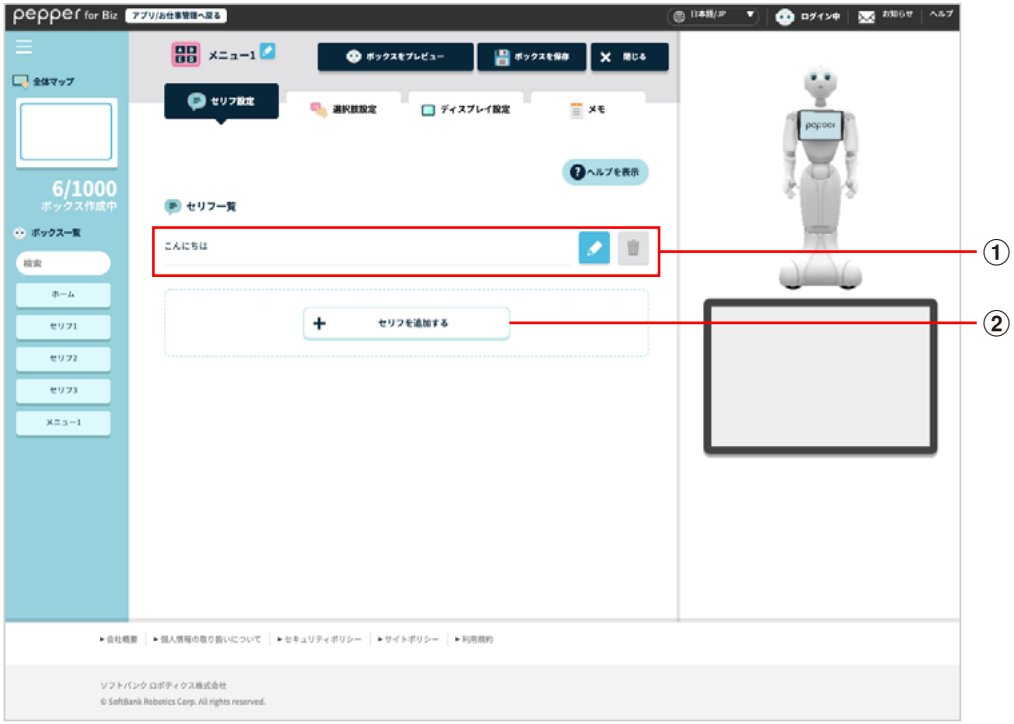
Pepper のディスプレイにメニューを表示して、ルートを分岐させるためのボックスです。



メニューボックス画面

番号	説明
①	セリフの設定を行います（「 セリフ設定画面の見かた」 191 ページ参照）。
②	選択肢を設定します（「 選択肢設定画面の見かた」 192 ページ参照）。
③	ディスプレイの設定を行います（「 ディスプレイ設定画面の見かた」 193 ページ参照）。
④	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」 195 ページ参照）。

■ セリフ設定画面の見かた

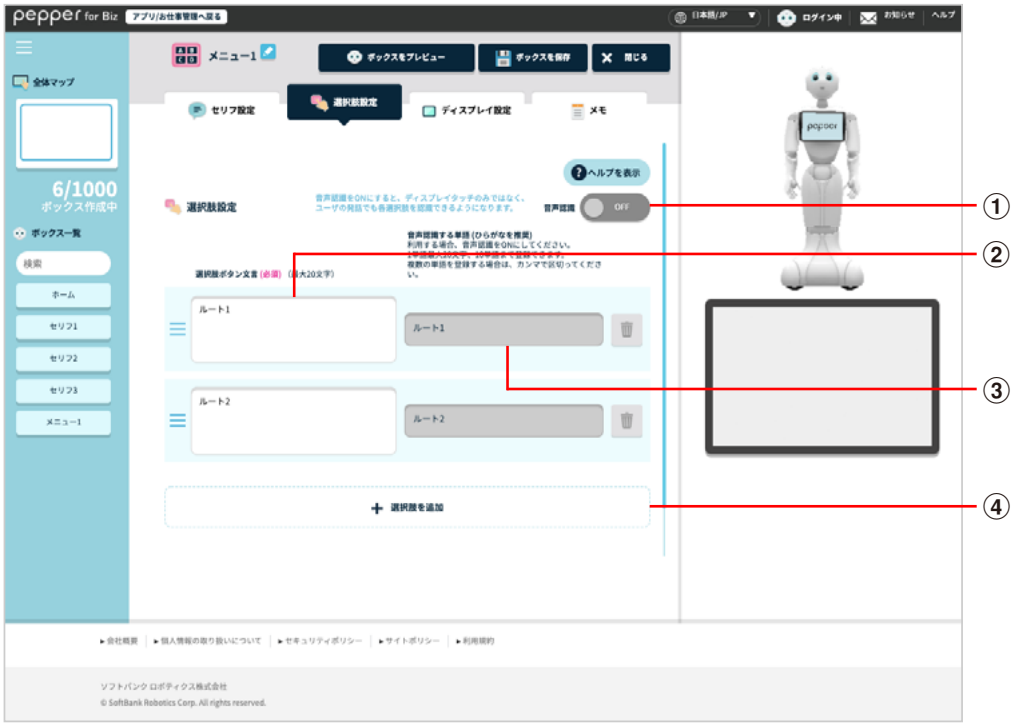


セリフ設定画面

番号	説明
①	セリフの一覧が表示されます。 をクリックすると編集できます。 をクリックするとセリフを削除します。
②	セリフを追加します（「 セリフの追加・編集画面の見かた」 174 ページ参照）。

■ 設定したセリフを Pepper が発話し始めると、45 秒後にタイムアウトしますのでご注意ください。

■ 選択肢設定画面の見かた



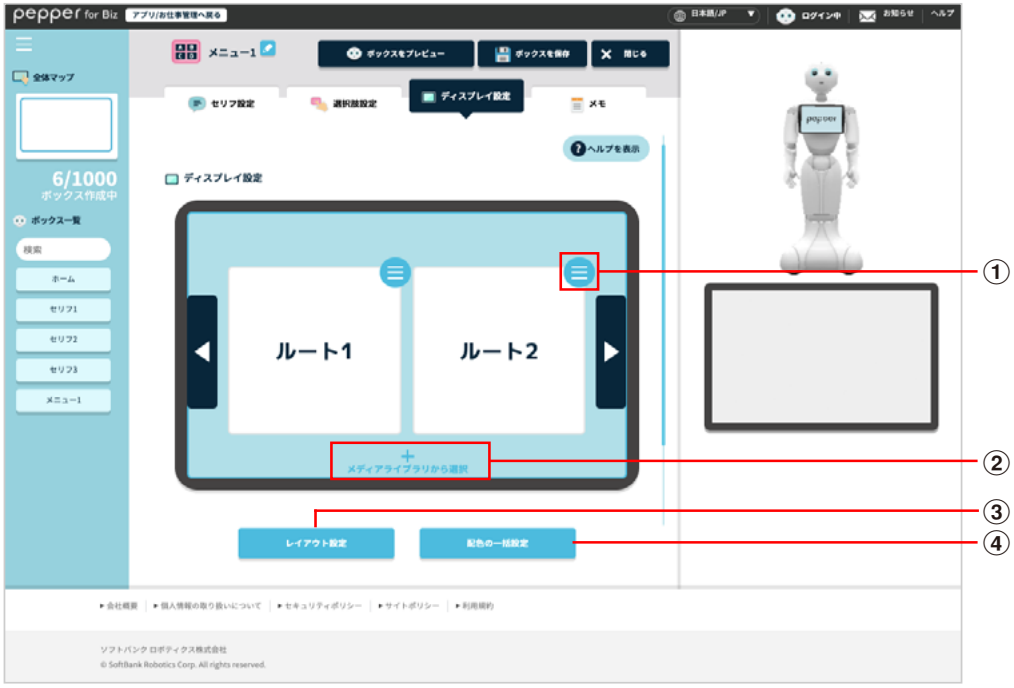
選択肢設定画面

番号	説明
①	メニュー選択時に音声での認識をするかどうかを設定します。ON に設定した場合は、③に単語を入力してください。
②	Pepper のディスプレイで表示される選択肢ボタンを設定します。 をクリックすると選択肢ボタンが削除されます。※1 をドラッグすると、位置を移動して順序を変更することができます。※2 ■ 「Pepper for Biz 遠隔応答」をご利用の場合は、接続先にするグループ名を入力してください。ここに入力したグループ名を「Pepper for Biz 遠隔応答」のオペレーター画面のメニューにある「応答グループ」に入力すると、応対するグループとして設定できます。 接続先を追加する場合は「選択肢を追加」をクリックしてください。
③	音声認識するときの単語を設定します。
④	選択肢を追加します。

■ 「Pepper for Biz 遠隔応答」をご利用の場合は、ボックスを保存してからお仕事編集画面で分岐名が表示されたボックスの ＋ をクリックし、「遠隔応答ボックス」を選択してください。

※ 1 選択肢が 2 つ以上の場合、 が表示されます。
※ 2 選択肢ボタンに設定できる文言は最大 10 文字です。

■ ディスプレイ設定画面の見かた

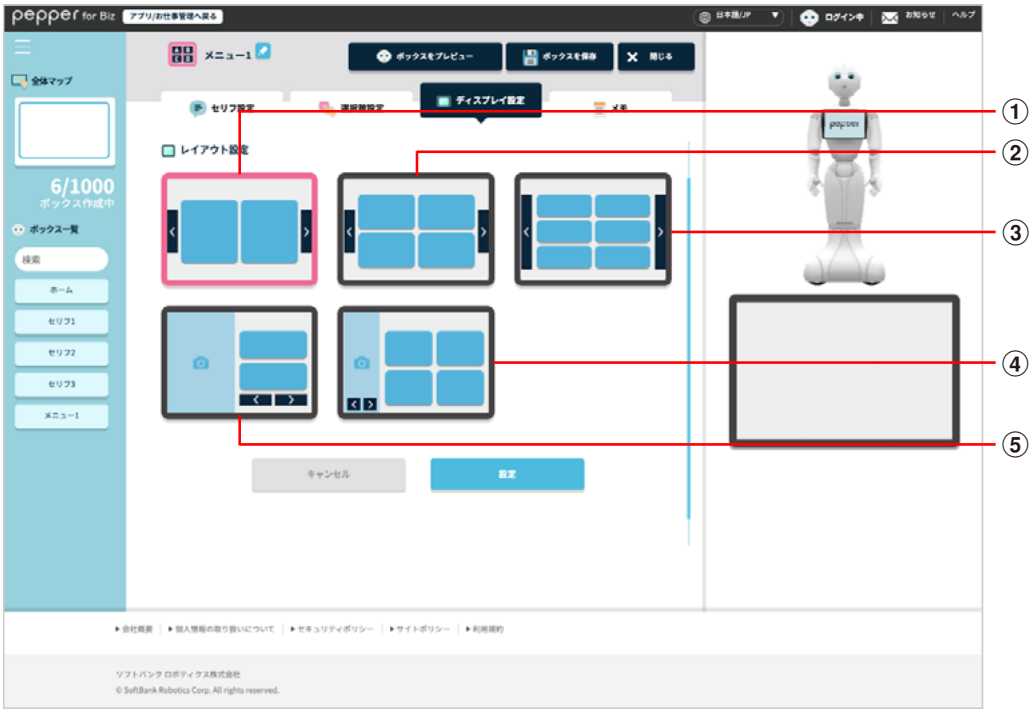


ディスプレイ設定画面

番号	説明
①	選択肢ボタンの画像や背景色、文字色等をそれぞれ設定します。
②	背景画像を設定します。
③	レイアウトを設定します。 ※各レイアウトにより推奨の画像サイズが異なるのでご注意ください。 詳細は 194 ページの「レイアウト設定時の画像サイズについて」を参照してください。
④	選択肢ボタンの背景色や、文字色等を一括で設定します。

- お客様がタッチした選択肢を Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）のインタラクション分析に反映する場合は、ディスプレイに表示する画像の設定は不要です。
- 背景画像やボタン画像素材はサポートサイトからダウンロードすることができます。

■ レイアウト設定時の画像サイズについて

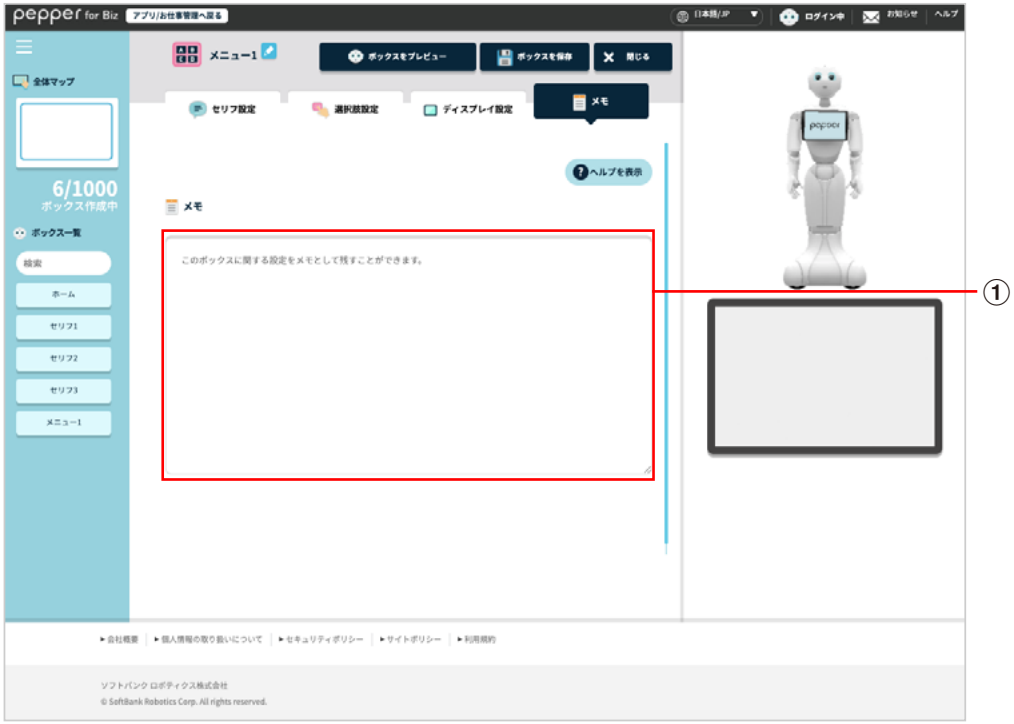


推奨画像サイズ

番号	選択肢ボタン画像サイズ	補足画像サイズ
①	750×750px	—
②	750×420px	—
③	780×270px	—
④	600×420px	480×1200px
⑤	890×420px	900×1200px

※補足画像は の表示された水色の部分です。

■ メモ画面の見かた

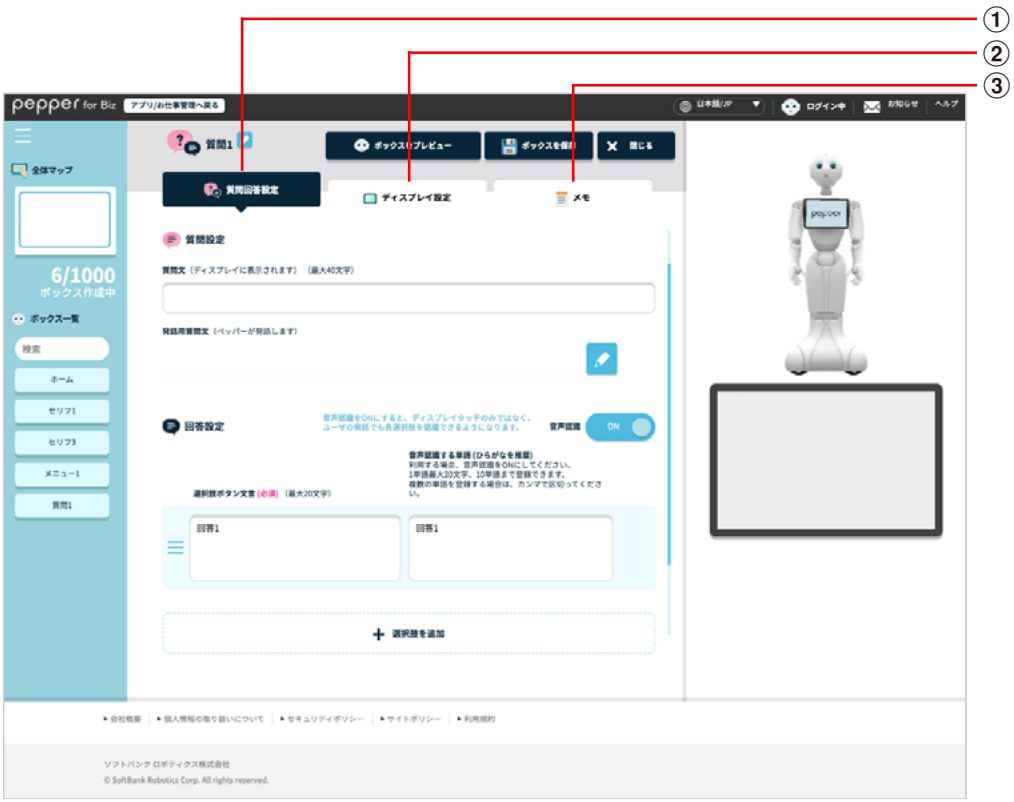


メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-7 質問ボックス

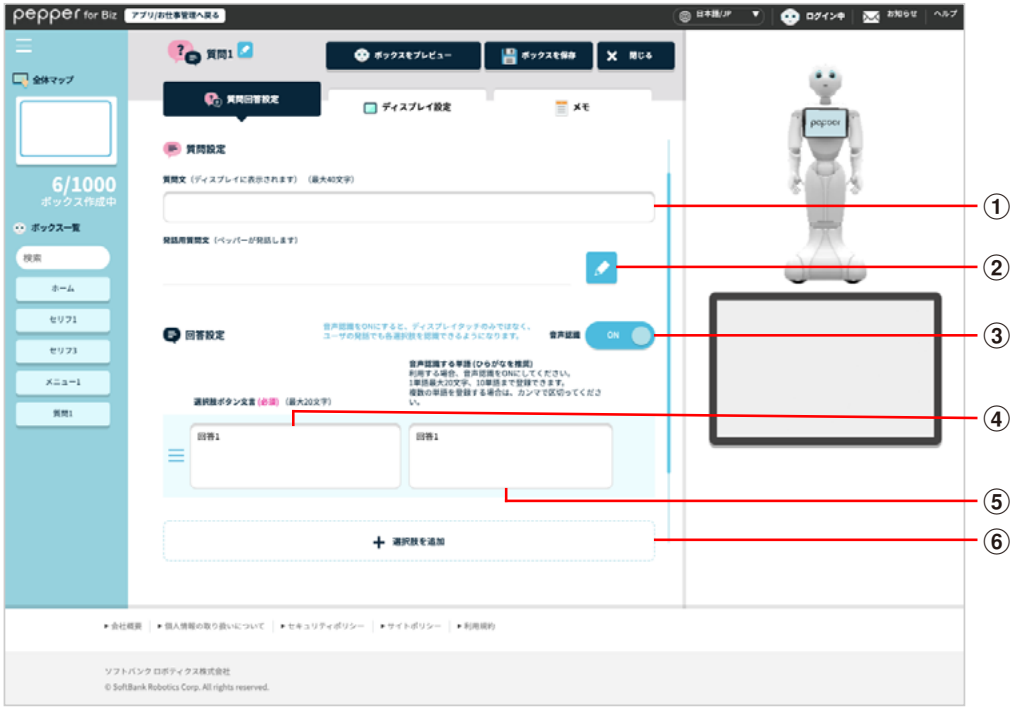
Pepper からお客様に質問をして、回答によってルートを分岐させるためのボックスです。



質問ボックス画面

番号	説明
①	質問の設定を行います（「 質問設定画面の見かた」 197 ページ参照）。
②	ディスプレイの設定を行います（「 ディスプレイ設定画面の見かた」 198 ページ参照）。
③	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」 200 ページ参照）。

■ 質問設定画面の見かた



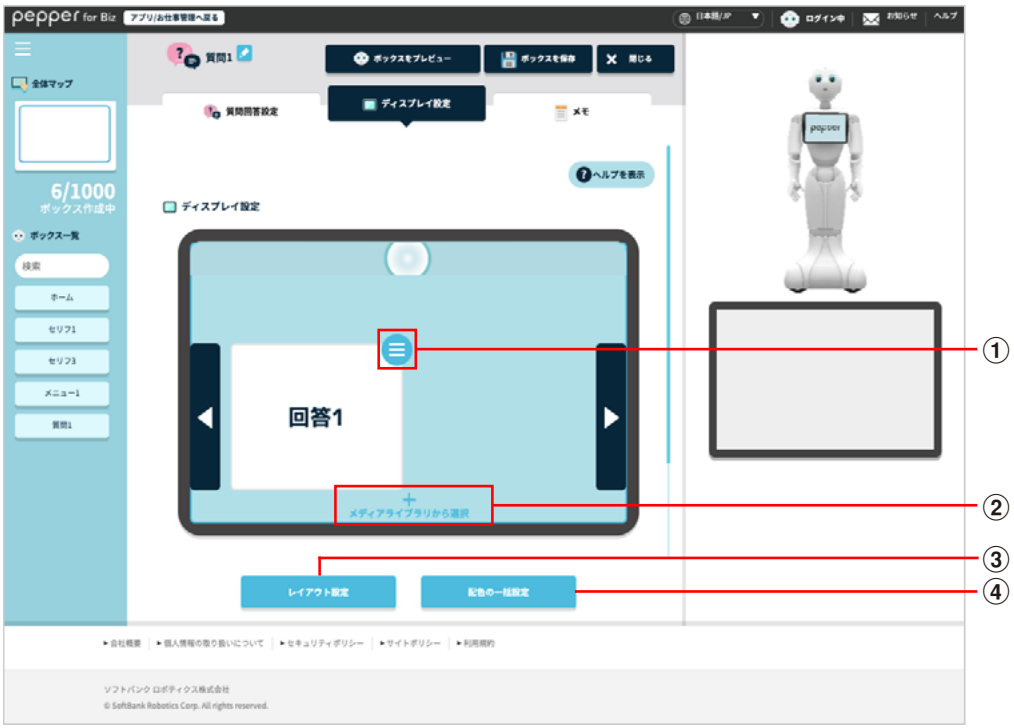
質問設定画面

番号	説明
①	質問文を設定します。
②	発話用質問文を表示します。 をクリックすると、発話内容を変更できます（「 セリフの追加・編集画面の見かた」 174 ページ参照）。
③	質問選択時に音声での認識をするかどうかを設定します。ON に設定した場合は、⑤に単語を入力してください。
④	Pepper のディスプレイで表示される選択肢ボタンを設定します。 をクリックすると選択肢ボタンが削除されます。※ をドラッグすると、位置を移動して順序を変更することができます。 ■ 「Pepper for Biz 遠隔応答」をご利用の場合は、接続先にするグループ名を入力してください。ここに入力したグループ名を「Pepper for Biz 遠隔応答」のオペレーター画面のメニューにある「応答グループ」に入力すると、応対するグループとして設定できます。 接続先を追加する場合は「選択肢を追加」をクリックしてください。
⑤	音声認識するときの単語を設定します。
⑥	選択肢を追加します。選択肢は最大 18 個設定できます。

※選択肢が 2 つ以上の場合、 が表示されます。

- 設定した質問文を Pepper が発話終了後、30 秒後にタイムアウトしますのでご注意ください。
- 「Pepper for Biz 遠隔応答」をご利用の場合は、ボックスを保存してからお仕事編集画面で分岐名が表示されたボックスの ＋ をクリックし、「遠隔応答ボックス」を選択してください。

ディスプレイ設定画面の見かた

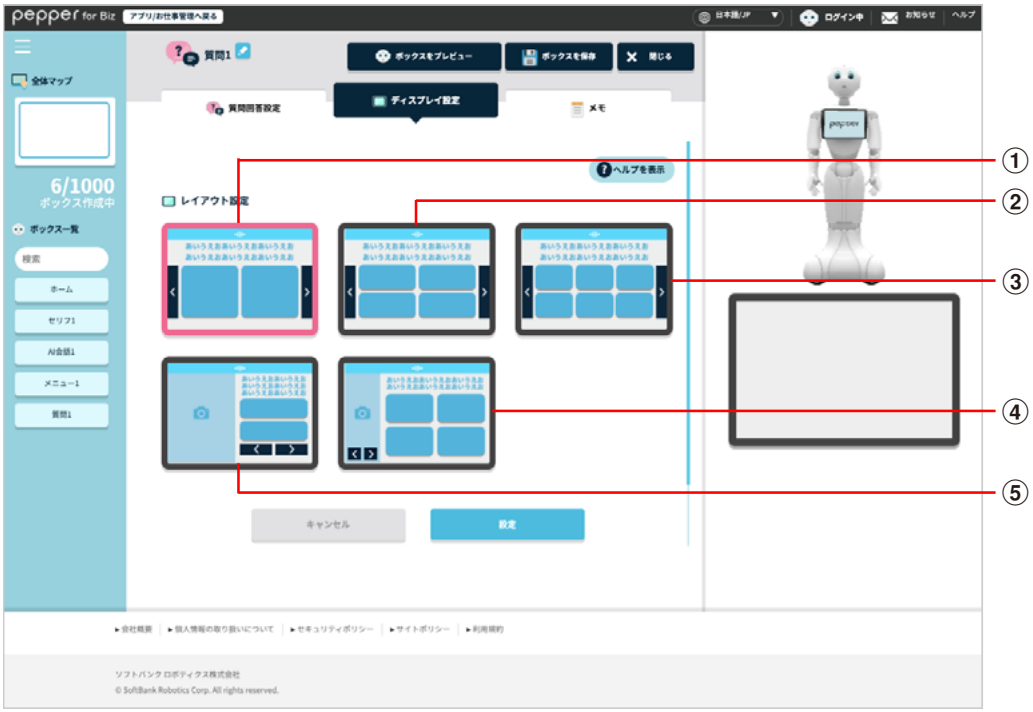


ディスプレイ設定画面

番号	説明
①	選択肢ボタンの画像や背景色、文字色等をそれぞれ設定します。
②	選択肢ボタンの背景画像を設定します。
③	レイアウトを設定します。 ※各レイアウトにより推奨の画像サイズが異なるのでご注意ください。 詳細は 199 ページの「レイアウト設定時の画像サイズについて」を参照してください。
④	選択肢ボタンの背景色や、文字色等を一括で設定します。

- 背景画像やボタン画像素材はサポートサイトからダウンロードすることができます。

■ レイアウト設定時の画像サイズについて

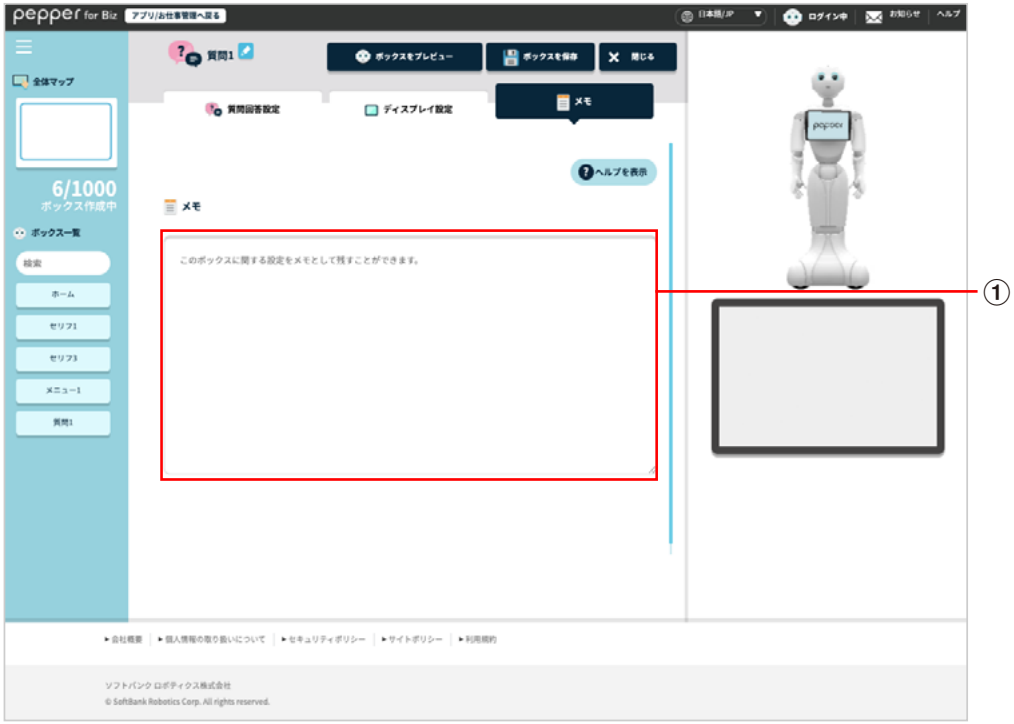


推奨画像サイズ

番号	選択肢ボタン画像サイズ	補足画像サイズ
①	760×630px	—
②	750×320px	—
③	490×290px	—
④	640×350px	480×1200px
⑤	910×240px	900×1200px

※補足画像は の表示された水色の部分です。

■ メモ画面の見かた



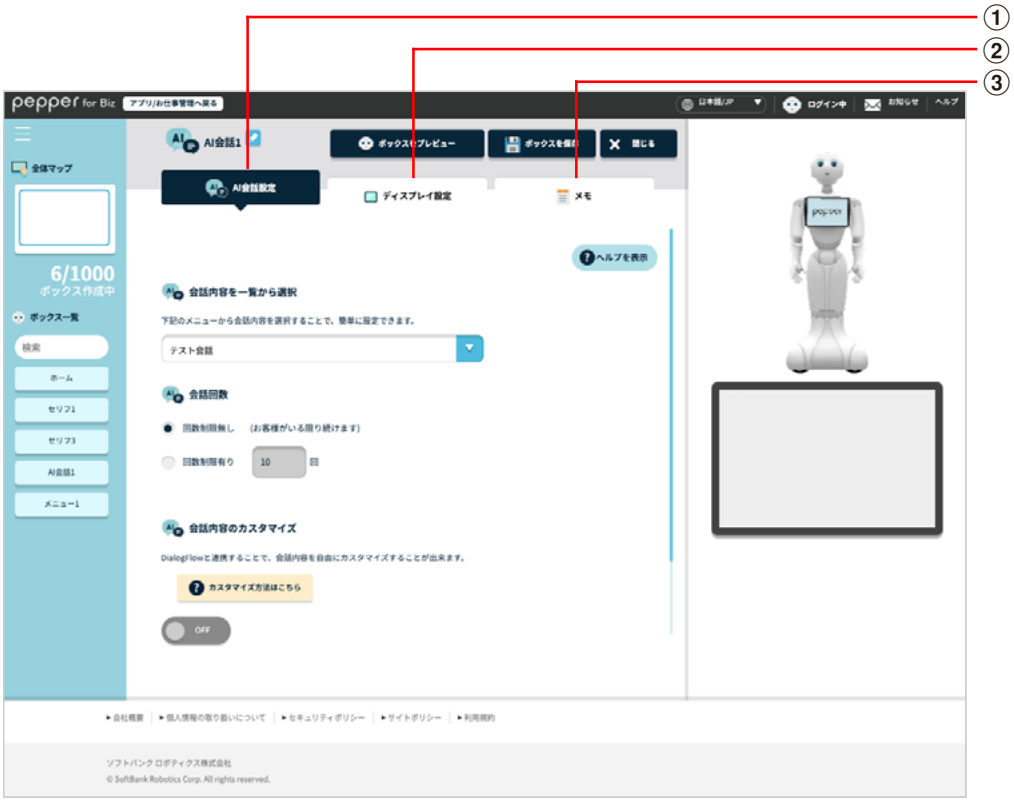
メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-8 AI 会話ボックス

お客様が Pepper に話しかけたときに、Pepper が自動で話す内容を設定します。話した内容はインタラクション分析でログを確認することができます。

■ オープンソースのライセンスは下記の URL を参照してください。
https://jp.softbankrobotics.com/hubfs/Pepper/pdf/p4b3/chatapposs.pdf



AI 会話ボックス画面

番号	説明
①	AI 会話の設定を行います（「 AI 会話設定画面の見かた」203 ページ参照）。
②	ディスプレイの設定を行います（「 ディスプレイ設定画面の見かた」204 ページ参照）。
③	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」205 ページ参照）。

- AI 会話ボックスでは、次の内容は「ボックスプレビュー」では確認できません。実際の動作については Pepper にお仕事を追加してご確認ください。
  ・ディスプレイ上部のスピーチバーの動作
  ・会話中にディスプレイに表示される画像／動画／ボタン
  ・会話のピッチやスピード
  ・英語、中国語の会話
- お仕事の基本設定画面 150 ページの「ディスプレイの基本設定を確認／編集する」で設定した Pepper のディスプレイの表示は、AI 会話ボックスでは表示されません。②の「ディスプレイ設定」で設定してください。
- AI ボックスの機能は、Google 社の Dialogflow Standard Edition によるチャットボットサービスを利用しています。AI ボックスを利用するには、「Google Cloud Terms of Service」（https://cloud.google.com/terms）に同意いただく必要があります。
- AI 会話ボックスでは、ネットワークの接続状況により画面遷移に時間がかかる場合があります。
- AI 会話を実行中に会話を終了するときは、タッチディスプレイで  をタッチしてください。

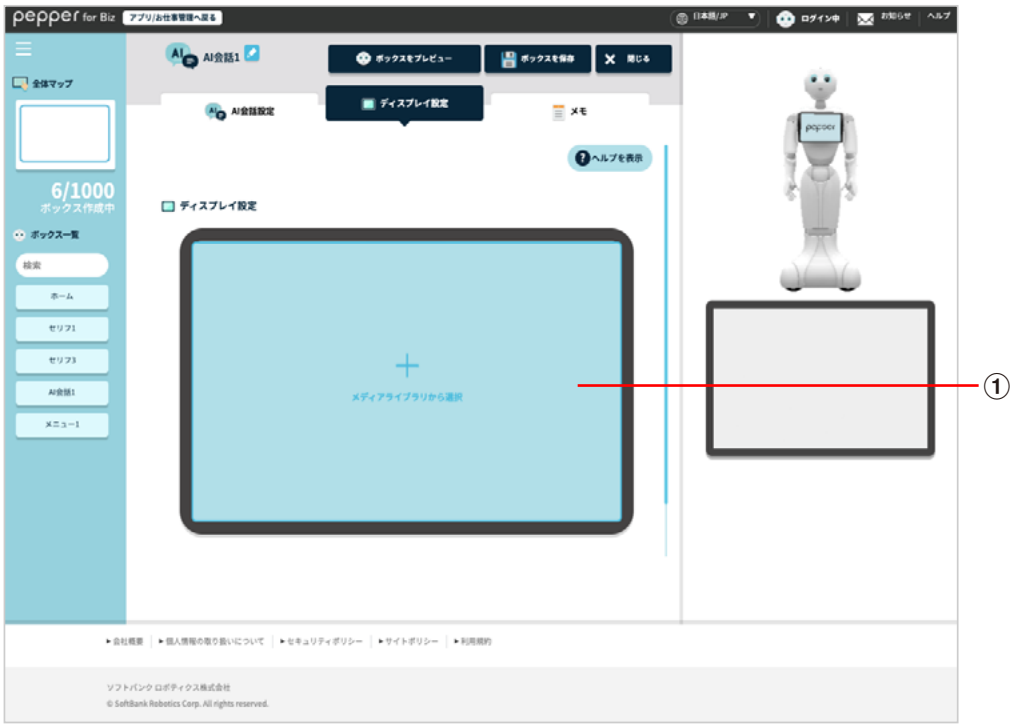
■ AI 会話設定画面の見かた



AI 会話設定画面

番号	説明
①	Pepper が話す会話内容を一覧から選択します。
②	Pepper が 1 人のお客様とやりとりする会話の回数を設定します。会話回数（推奨）は会話内容により異なります。会話の回数制限を超えた場合、後続のイベントは実行されません。 ※回数制限に達した際に Pepper が質問した場合（発話内容とディスプレイに表示するテキストの両方の文末に「?」が含まれる場合）は、会話は終了せず継続します。
③	Dialog Flow と連携して会話内容をカスタマイズするかどうかを設定します。会話内容をカスタマイズすると、お客様との会話における回答を自由に設定することができます。会話中にテキストや画像、動画などを表示することもできます。詳細については 206 ページの「7-7-9 AI 会話ボックスをカスタマイズする」を参照してください。

■ ディスプレイ設定画面の見かた

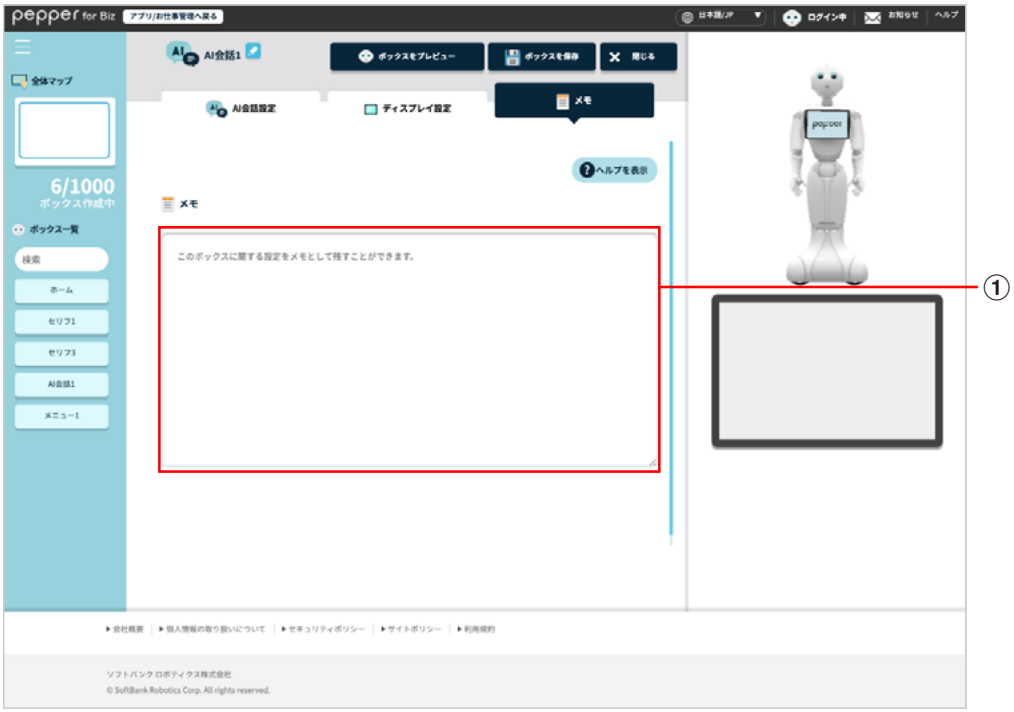


ディスプレイ設定画面

番号	説明
①	プレビューが表示されます。プレビュー画面では、次の操作を行うことができます。 ■ ボタンの「+」をクリックすると、メディアライブラリから背景画像を設定できます（「7-5-1 メディアファイルを登録する」142 ページ参照）。

■ 推奨画像サイズは 1280×626px、ファイル推奨サイズは 100KB 以内です。

■ メモ画面の見かた



メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

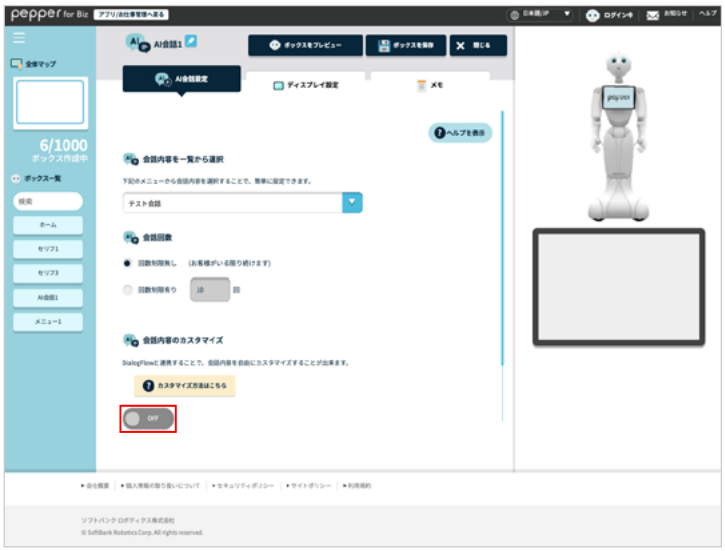
7-7-9 AI 会話ボックスをカスタマイズする

AI 会話ボックスで会話内容をカスタマイズすると、お客様との会話における回答を自由に設定することができます。会話中にテキストや画像、動画などを表示することもできます。

■ Pepper1 台につき、AI 会話ボックスで会話できる上限は 1 日 2000 回程度です。

1 AI 会話設定画面で OFF をクリック

カスタマイズ項目が表示されます。



2 カスタマイズ項目を設定



カスタマイズ項目

番号	説明
①	Dialog Flow の認証 JSON のファイルをアップロードします。 JSON ファイルの作成方法は次のとおりです。 1. JSON ファイルのテンプレート（xlsx 形式）をダウンロードする（「 JSON ファイルのテンプレート（xlsx 形式）をダウンロードする」208 ページ参照） 2. テンプレート（xlsx 形式）を編集する（「 テンプレート（xlsx 形式）を編集する」208 ページ参照） 3. Pepper チャットボックスコンバーターでテンプレート（xlsx 形式）を ZIP 形式に変換する（「 Pepper チャットボックスコンバーターでテンプレート（xlsx 形式）を ZIP 形式に変換する」212 ページ参照） 4. ZIP ファイルを Dialog Flow に登録し、JSON ファイルを取得する（「 ZIP ファイルを Dialog Flow に登録し、Dialog Flow の認証 JSON のファイルを取得する」213 ページ参照）
②	会話内容をカスタマイズした場合の言語を設定します。
③	JSON ファイルで想定した会話以外の発話をユーザーが行った場合に、「会話内容を一覧から選択」で設定した内容で会話をするかどうかを設定します。
④	AI 会話ボックスの動作が始まったときに、最初に発話する内容を設定します。JSON ファイルの event 名を設定してください。 ■ 特定の Dialog Flow の intent から会話を開始する場合は、該当の intent に設定した event 名を指定してください。※ event 名の入力は必須ではありません。 ■ event 名を「,」（カンマ）で区切ると、複数設定することができ、設定された event からランダムでいずれかの event を呼び出します。

■ ON に設定した場合は、Dialog Flow の認証 JSON をアップロードしてください。アップロードしない場合は、ON に設定していても Dialog Flow と連携されません。

■ ON に設定して Dialog Flow の認証 JSON をアップロードしていても、ネットワークに接続していない場合は Dialog Flow と連携されません。このときの Pepper の動作は一問一答の雑談会話となります。

■ JSON ファイルのテンプレート（xlsx 形式）をダウンロードする

1 ブラウザで Pepper チャットボックスコンバーターのサイトにアクセス

- ブラウザで「https://softbankrobotics.com/portal/chatbox/convertDialogFlow/」にアクセスしてください。
- 推奨ブラウザは Chrome 最新版です。

2 用途に合わせたテンプレートを選択し、「ダウンロード」をクリック

- 任意の場所にテンプレートをダウンロードしてください。



■ テンプレート（xlsx 形式）を編集する

1 ダウンロードしたテンプレートを開いて編集する

- 各項目の見かたについては以下の通りです。

項目	説明
インテント名	■ 入力必須の項目です。 ■ 1 つの会話を識別するための名前です。 ■ インテント名の末尾を「_fallback」とすると Fallback Intent となります。Fallback Intent：他のインテントのユーザ発話に該当するものがなかった場合、このインテントが使用されます。
イベント名	■ Pepper から会話を始めたいとき、お仕事の作成時に「AI 会話ボックス」の「event 名」へ入力します（「 カスタマイズ項目」207 ページ参照）。 ■ ボタンを表示させたいとき、テンプレート内の「ボタン発行イベント」に入力します。 ■ 連続で Pepper に発話させたいとき、テンプレート内の「発行イベント」に入力します。
コンテキスト	■ シナリオ会話を作る場合に利用します。 例） Intent2 から Intent3 に繋げたい場合、Intent2 の「出力」と Intent3 の「入力」で同じコンテキストを記入します。

ユーザ発話	■ Pepper が聞き取るユーザ発話を入力します。 ■ 1 つのインテントにつき 20 種類まで入力可能です。
Pepper 発話○※	■ Pepper の発話内容を入力します。 ■ Pepper 発話は 9 種類まで設定できます。複数種類を設定した場合は、ランダムに 1 つ発話します。
	< アクションタイプ > ■ 入力必須の項目です。 ■ Pepper の発話方法を、テキスト、画像、動画、ボタンから選択します。 ■ アクションタイプで「ー」が選択されている会話までを実施します。 例） Intent4 でアクションタイプが「ー」となっている場合は、Intent3 までの発話を実行します。Intent5 以降に発話する設定になっている場合でも Pepper は発話しません。

Pepper 発話○※

< スピーチ >

■ 入力必須の項目です。

■ Pepper の発話を全角 470 字・半角 940 字以内で入力します。入力するテキストには、「〜」や「–」などの特殊文字は使用しないでください。

■ Pepper の発音は、セリフに発話タグを使用することで声の高さ／声のスピード／ウェイト (間) ／声のボリュームを調整できます。
セリフ集の「あいさつ用」、「業務設定用」に記載されている発話タグをコピーして利用してください。ひらがな・片仮名・漢字を工夫することで自然な発話ができます。

例）
・おやすみなさい
\rspd=110\\vct=145\ お矢スミナサーーーぃ

・うまく聞き取れなかったみたいです
\rspd=110\\vct=125\ うまく聞き取れなかったミタイです

・メリークリスマス
\rspd=105\\vct=160\ 目理ぃぃ \vct=155\ 栗すマーーーす

内容	発話タグ（デフォルト値）	設定値（範囲）
声の高さ	\vct=135\	50 〜 200
声のスピード	\rspd=110\	50 〜 400
ウェイト（間）	\pau=1000\	1000=1 秒
声のボリューム	\vol=50\	0 〜 100

< テキスト >

■ ディスプレイに表示するテキストを全角 80 字／半角 160 字以内で入力します。
※文字数に応じて縮小表示されます。必要に応じて改行し、調整してください。

< 画像 >

■ Google Drive などの任意の共有フォルダにアップロードした画像ファイルの URL を入力することで、ディスプレイに画像を表示します。

■ Google Drive に画像をアップロードした後に生成された URL をテンプレートに入力する場合は、URL の一部を以下のように変更してください。

変更前：https://drive.google.com/open?id=< ファイル ID>
変更後：https://drive.google.com/uc?id=< ファイル ID>

※ URL が誤っている場合は、ディスプレイに正しく表示されませんのでご注意ください。

Pepper 発話〇※	< 動画 > Google Drive などの任意の共有フォルダにアップロードした動画ファイルの URL を入力することで、ディスプレイに動画を表示します。 ※ URL が誤っている場合は、ディスプレイに正しく表示されませんのでご注意ください。
	< タイトル > ■ ボタンを表示するときの質問文を全角 40 字／半角 80 字以内で入力します。
	< ボタン〇ラベル※ > ■ ボタンのラベルを全角 20 字／半角 40 字以内で入力します。 ■ 最大 6 個までボタンを表示できます。
	< ボタン〇発行イベント※ > ■ ボタンを押したときに、どのインテントを起動するかを「イベント名」で指定します。
	< 会話終了 > ■ Pepper が発話をした後に AI 会話ボックスが終了します。
	< モーションカテゴリ > ■ 発話時に Pepper に特定の動きを付けたい場合に使用します。 ■ 何もモーションを選択しない場合、自動で自然な動きをします。
	< モーション > ■ 「モーションカテゴリ」を選択した後に「モーション」を選択します。

※〇には数字が入ります。

- 推奨画像サイズは 1280×626px、ファイル推奨サイズは 100KB 以内です。
- 登録できる画像のファイル形式は GIF（アニメーション GIF 含む）、JPG、JPEG、PNG です。
- 登録できる動画のファイル形式は MP4 です。

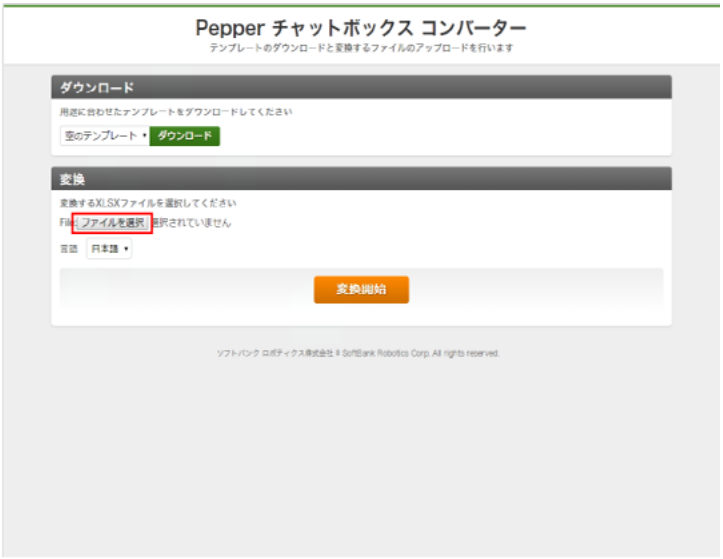
■ Pepper チャットボックスコンバーターでテンプレート（xlsx 形式）を ZIP 形式に変換する

1 ブラウザで Pepper チャットボックスコンバーターのサイトにアクセス

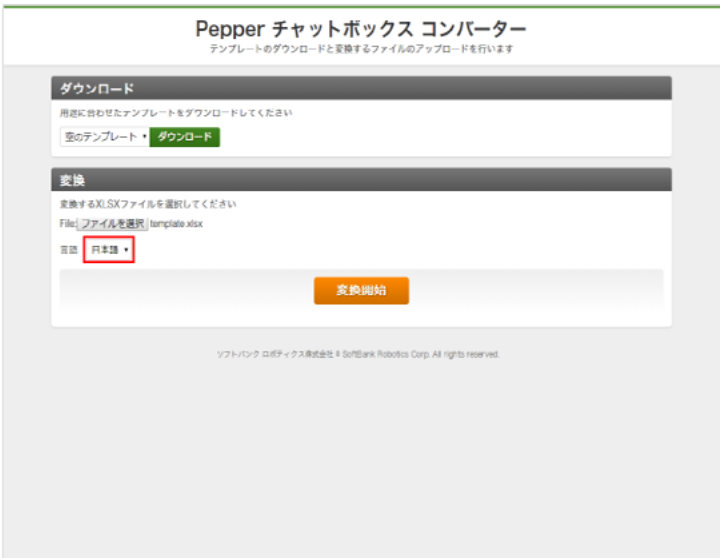
■ ブラウザで「https://softbankrobotics.com/portal/chatbox/convertDialogFlow/」にアクセスしてください。

2 「ファイルを選択」をクリック

ファイル選択画面が表示されます。



3 言語を選択



4 「変換開始」をクリック

■ テンプレートが ZIP 形式で作成されますので、任意の場所に保存してください。



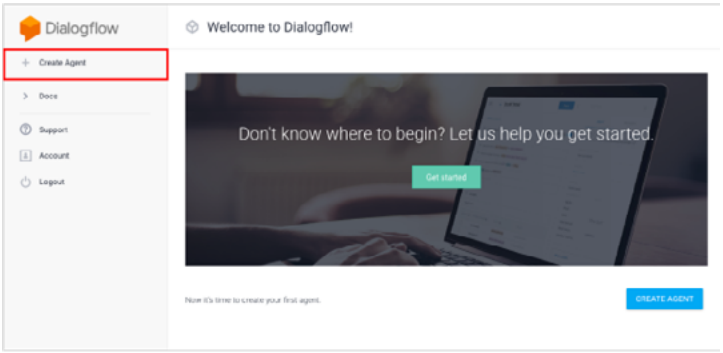
■ ZIP ファイルを Dialog Flow に登録し、Dialog Flow の認証 JSON のファイルを取得する

1 ブラウザで DialogFlow のサイトにアクセス

■ ブラウザで「https://dialogflow.cloud.google.com/#/login」にアクセスしてください。

2 画面に従って DialogFlow にログインする

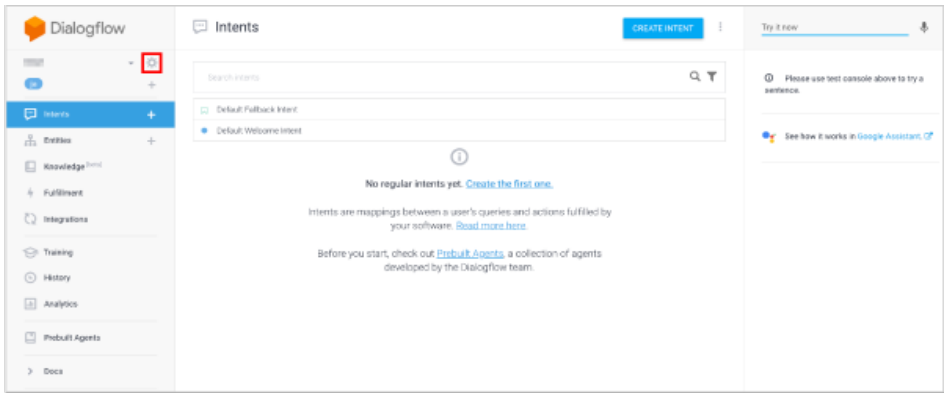
3 「Create Agent」をクリック



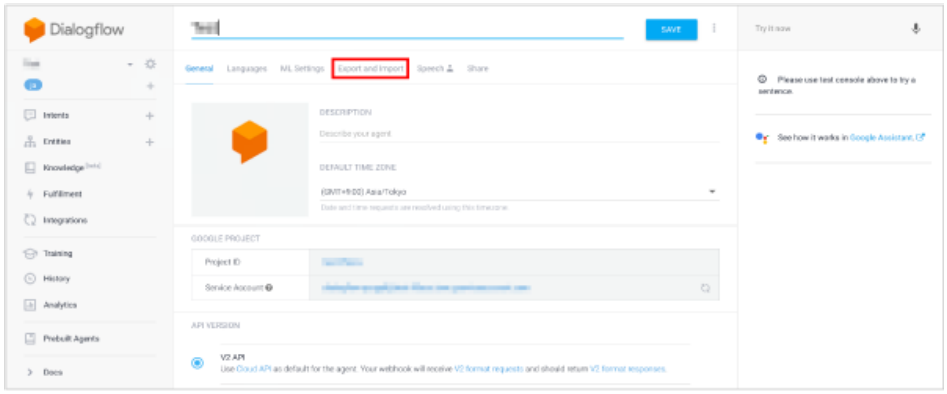
4 言語を設定し、「CREATE」をクリック



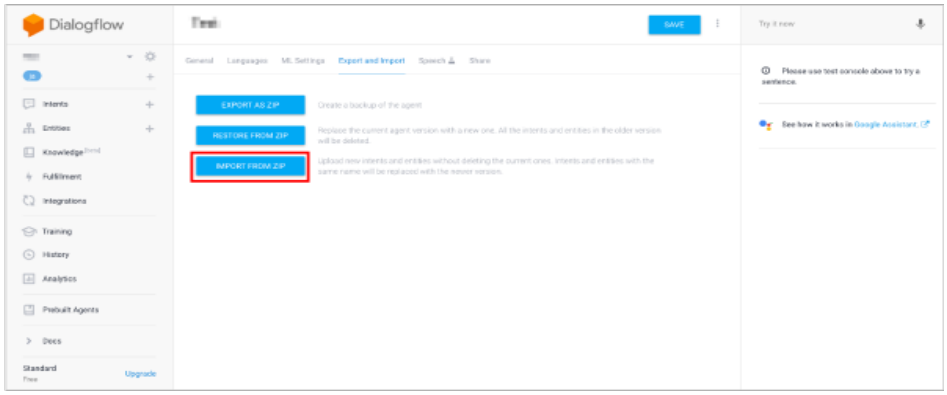
5 をクリック



6 「Export and Import」をクリック

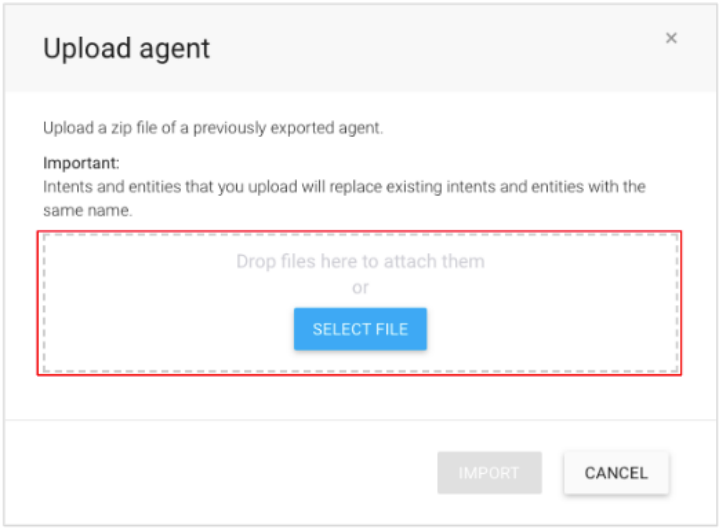


7 「IMPORT FROM ZIP」をクリック

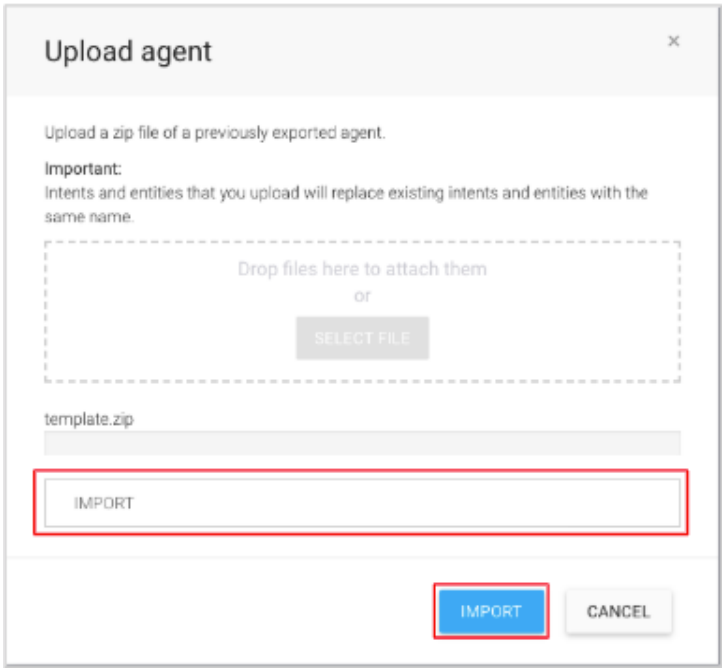


8 「Pepper チャットボックスコンバーターでテンプレート（xlsx 形式）を ZIP 形式に変換する」で作成した ZIP ファイルをドラッグ

■ 「SELECT FILE」をクリックして、ZIP ファイルを選択することもできます。

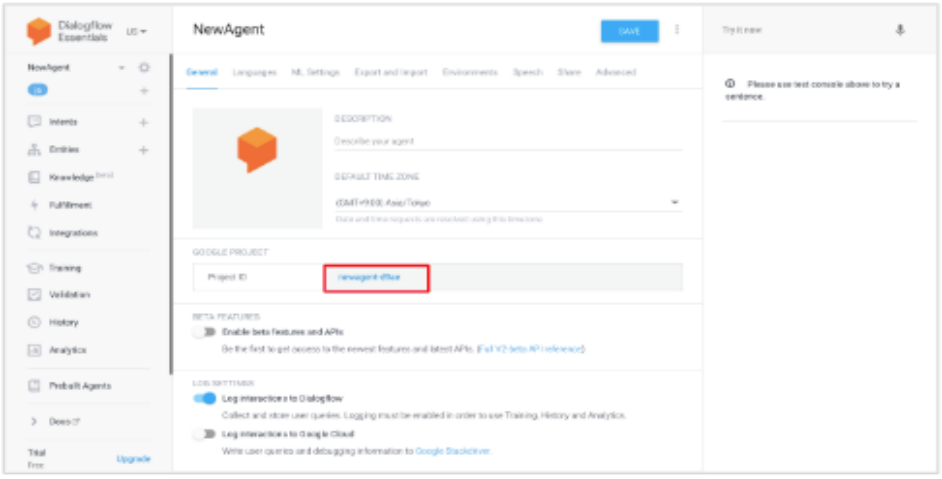


9 テキストボックスに「IMPORT」と入力し、「IMPORT」をクリック



10 Project ID をクリック

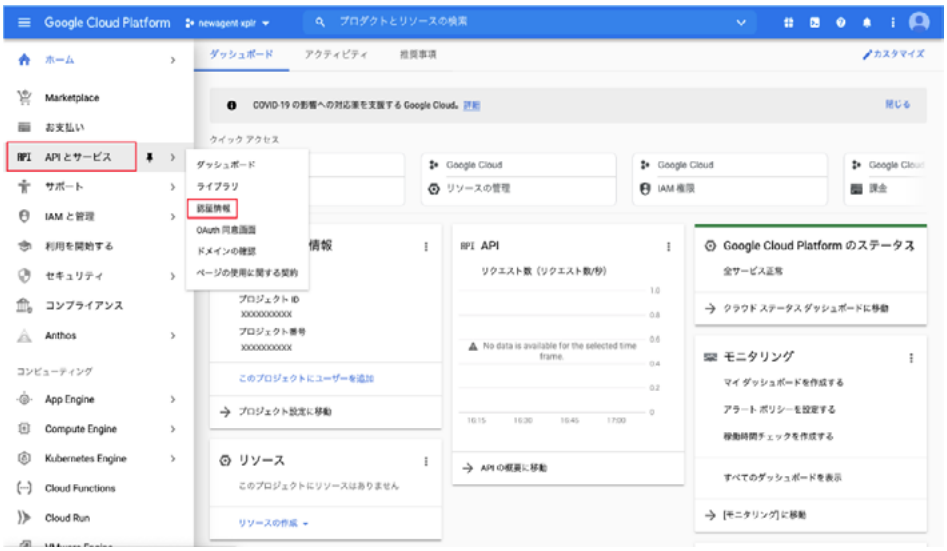
■ エラー画面が表示された場合は、Dialog flow にログインしたときのアカウントと、Google Cloud Platform にログインしたときのアカウントが同一アカウントであるかどうかをご確認ください。



11 利用規約にチェックを入れ、「同意して続行」をクリック



12 「API とサービス」にカーソルを合わせ、「認証情報」をクリック



13 「サービスアカウントを管理」をクリック



14 「サービスアカウントを作成」をクリック



15 サービスアカウント名を入力し、「作成」をクリック



16 ロールで「Dialogflow API クライアント」を選択し、「完了」をクリック



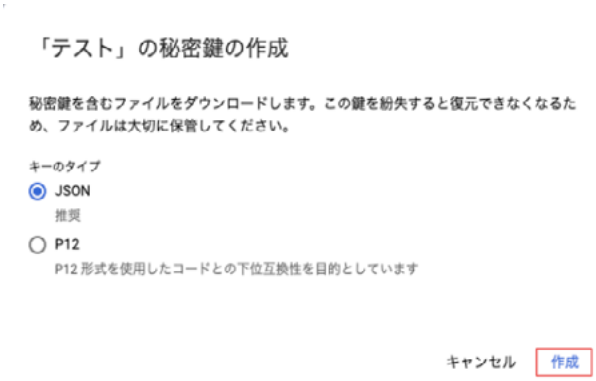
17 サービスアカウント ID をクリック



18 「キー」タブをクリックし「鍵を追加」のプルダウンメニューから「新しい鍵を作成」を選択する



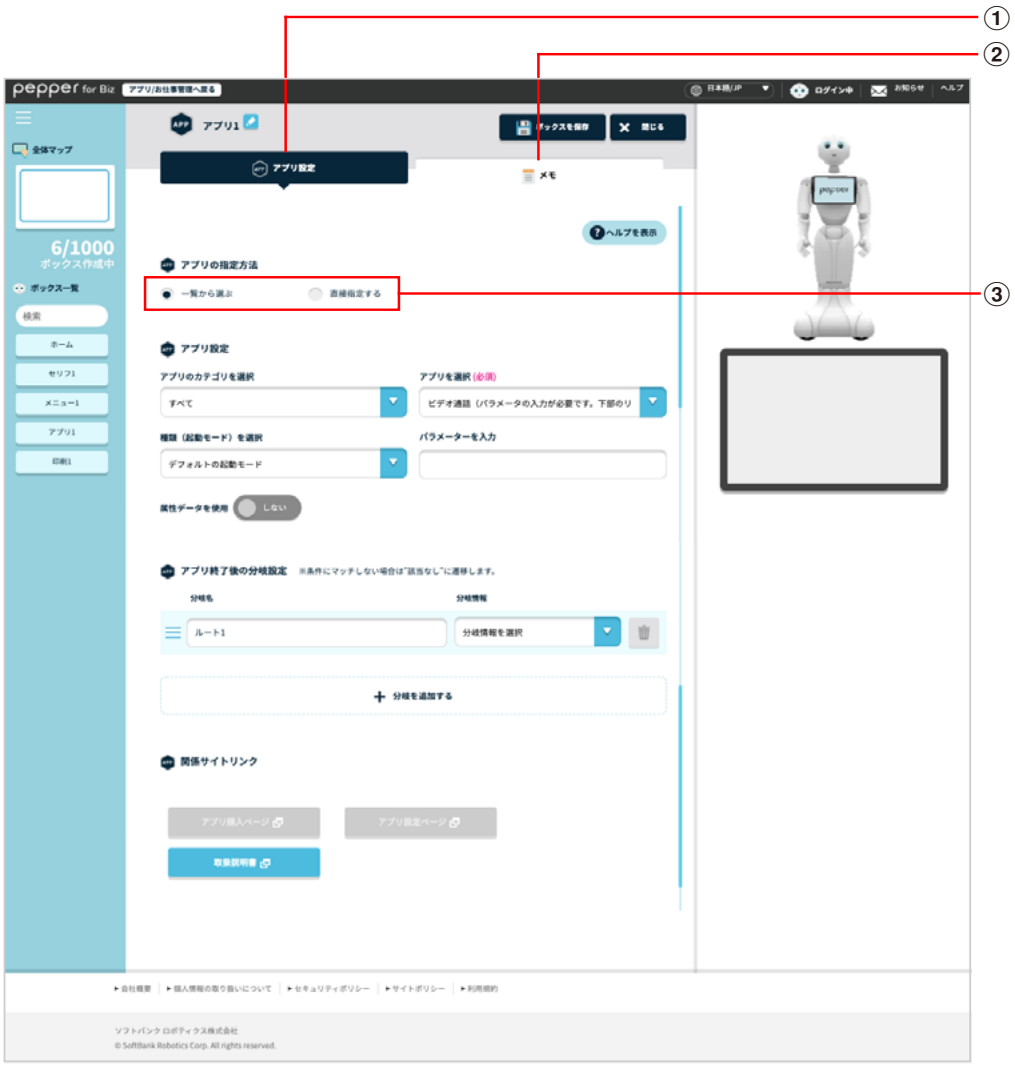
19 キーのタイプを選択し、「作成」をクリック



7-7-10 アプリボックス

Robot Suite へ登録したアプリをお仕事に組み込んで、Pepper で起動させるためのボックスです。

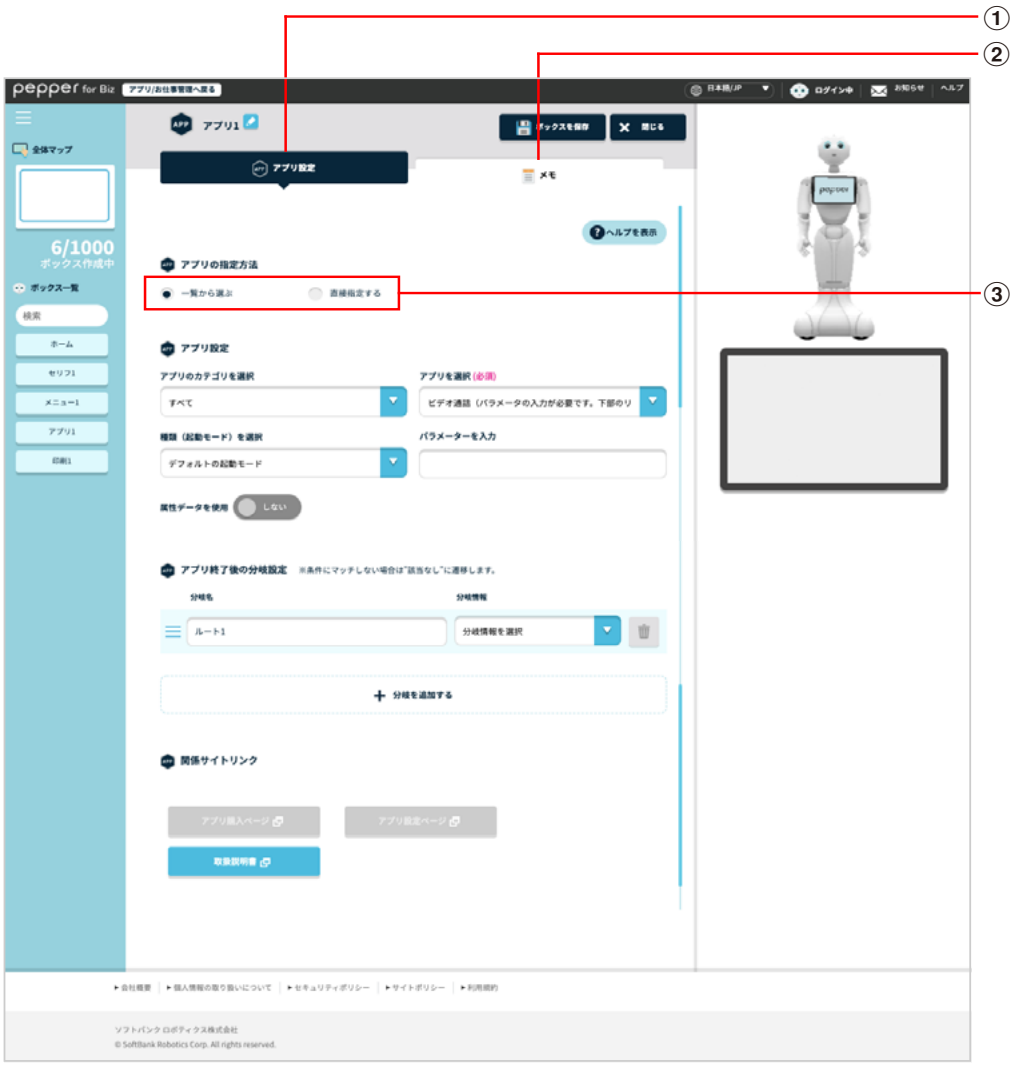
- アプリはあらかじめ Robot Suite へ登録しておいてください（「7-3-1 アプリを Pepper に配信する」133 ページ参照）。



アプリボックス画面

番号	説明
①	アプリの設定を行います。③でアプリの指定方法を選択してから設定してください。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」224 ページ参照）
③	アプリの指定方法を設定します。一覧から選ぶか（「 アプリ設定画面の見かた（一覧から選ぶ場合）」221 ページ参照）、直接指定するか（「 アプリ設定画面の見かた（直接指定する場合）」223 ページ参照）を選択します。 ■ 一覧から選ぶ Robot Suite へ登録したアプリを一覧から選択して設定します。 ■ 直接指定する アプリのアクティビティなどを入力して設定します。

■ アプリ設定画面の見かた（一覧から選ぶ場合）



アプリ設定画面（一覧から選ぶ場合）

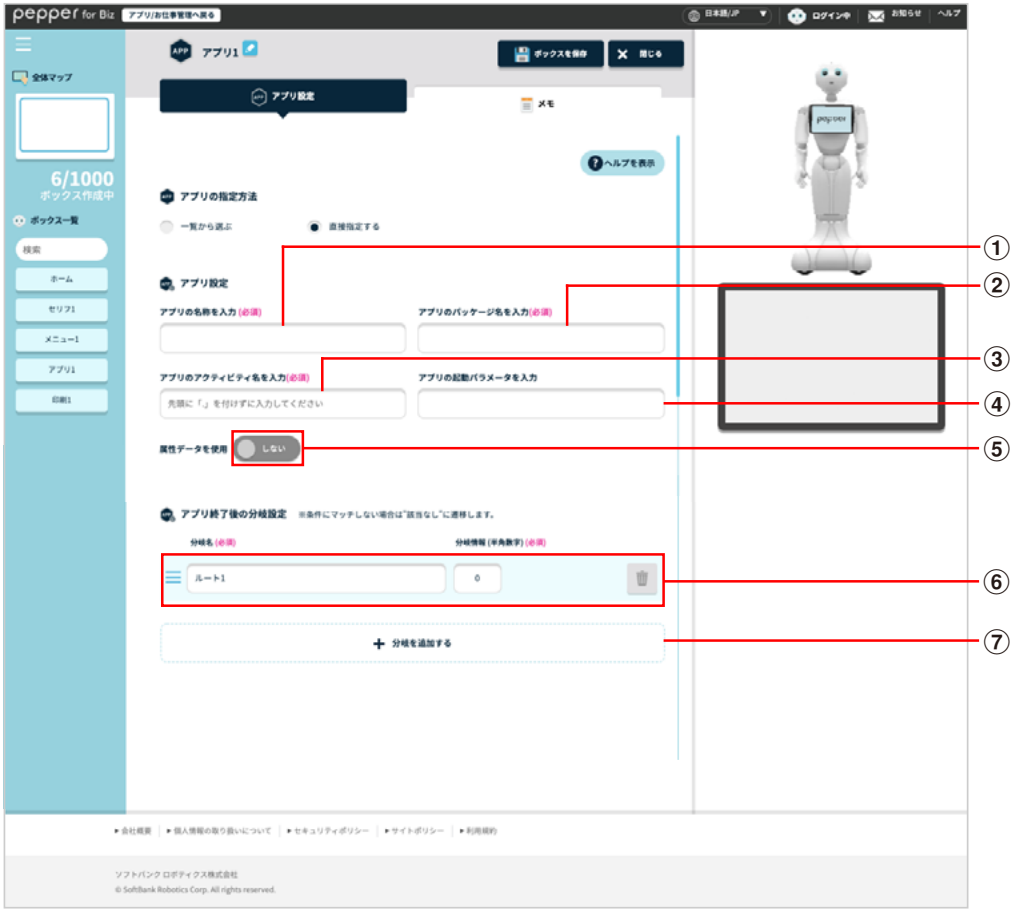
番号	説明
①	アプリのカテゴリを設定します。
②	利用するアプリを設定します。※1 ※ 踊ろう踊らせようアプリを使用する場合は、「踊ろう踊らせようアプリ」を選択してください。 踊ろう踊らせようアプリの操作方法は以下を参照してください。 https://jp.softbankrobotics.com/hubfs/Pepper/pdf/letmedance.pdf
③※2	種類（起動モード）を選択します。
④※2	パラメーターを設定します。パラメーター入力例を参考に入力してください。
⑤	お仕事かんたん生成アプリが取得した顧客属性情報（年齢／性別など）を、アプリボックスで指定したアプリが利用できるようになります。なお、「属性データを使用」を利用する場合は、アプリボックスの直前に属性判定ボックスを配置し、利用する顧客属性情報を指定する必要があります（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）。

⑥※2	アプリ終了時の分岐条件を設定します。 をクリックすると分岐条件を削除します。 をドラッグすると、位置を移動して順序を変更することができます。
⑦	分岐条件を追加します。
⑧	アプリを利用するための外部ページへのリンクです。リンク先でアプリの入手、Robot Suite への登録を行ってください。

※1 選択肢にないアプリは「直接指定する」から利用設定できます（「 アプリ設定画面の見かた（直接指定する場合）」223 ページ参照）。

※2 ③④⑥の設定は、「アプリを選択」で設定したアプリにより異なります。設定したアプリの取扱説明書を参照いただき、必要に応じて入力してください。

■ アプリ設定画面の見かた（直接指定する場合）



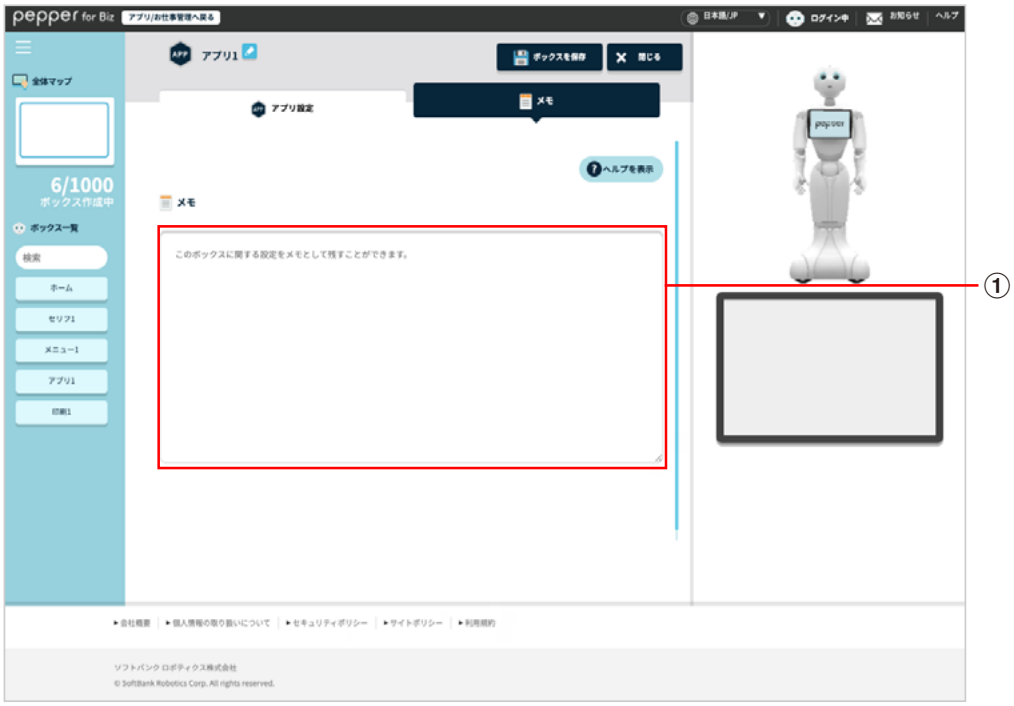
アプリ設定画面（直接指定する場合）

番号	説明
①	アプリの名称を設定します。
②	アプリのパッケージ名を設定します。
③	アプリのアクティビティ名※1 を設定します。「.」をアクティビティ名の先頭に付けることはできません。
④※2	アプリの起動パラメータを設定します。
⑤	お仕事かんたん生成アプリが取得した顧客属性情報（年齢／性別など）を、アプリボックスで指定したアプリが利用できるようになります。なお、「属性データを使用」を利用する場合は、アプリボックスの直前に属性判定ボックスを配置し、利用する顧客属性情報を指定する必要があります（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）。
⑥※2	アプリ終了時の分岐条件を設定します。 をクリックすると分岐条件を削除します。 をドラッグすると、位置を移動して順序を変更することができます。
⑦	分岐条件を追加します。

※ 1 アクティビティ名はアプリ開発者によって設定されます。 詳細は各アプリ開発者へお問い合わせください。

※ 2 ④⑥の設定は、設定するアプリにより異なります。詳細は各アプリ開発者にご確認いただき、必要に応じて入力してください。

■ メモ画面の見かた

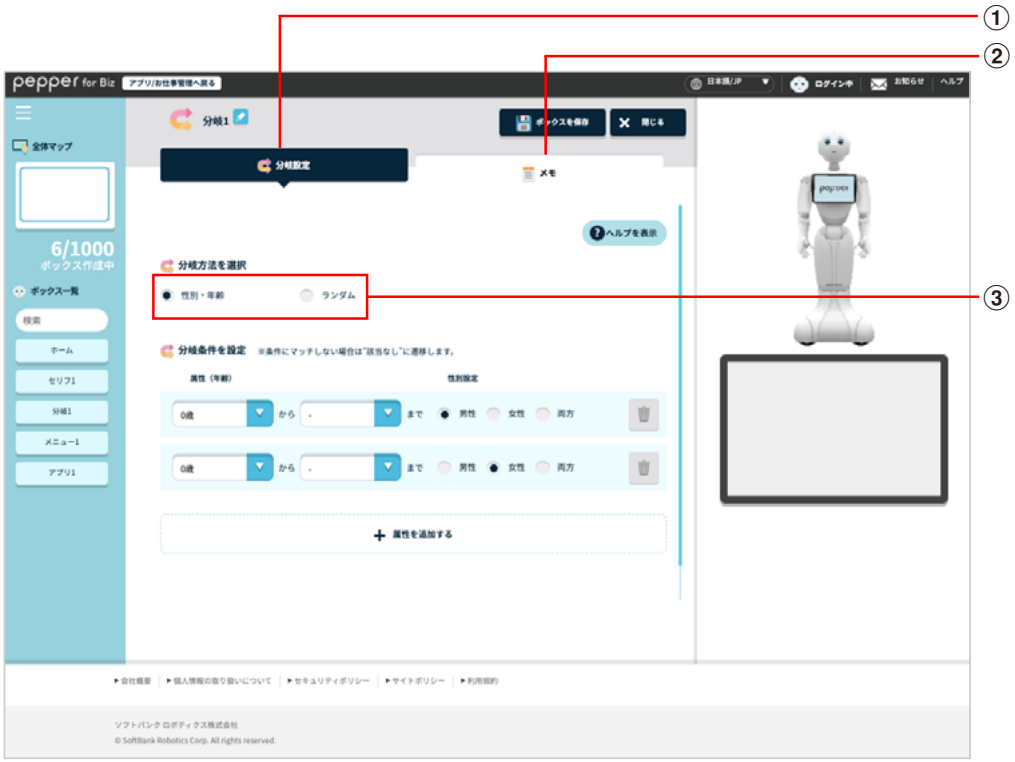


メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-11 分岐ボックス

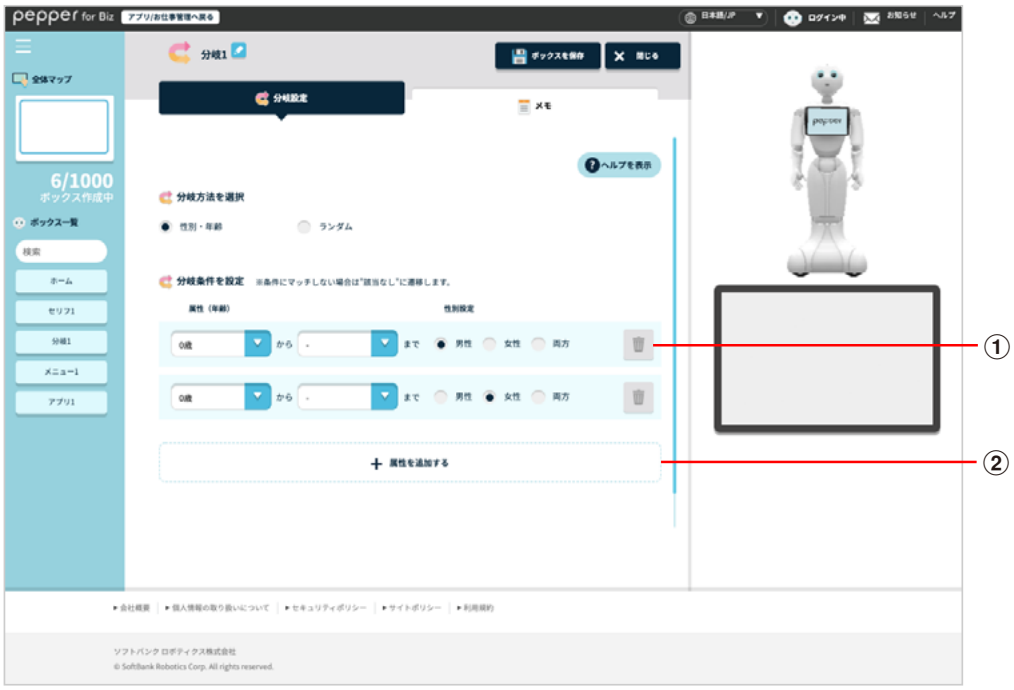
条件を設定することで、Pepper の動作を分岐させるためのボックスです。



分岐ボックス画面

番号	説明
①	属性による分岐設定を行います。③で動作の分岐方法を選択してから設定してください。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」228 ページ参照）。
③	動作の分岐方法を設定します。性別･年齢で分岐させるか（「 分岐設定画面の見かた（性別･年齢の場合）」226 ページ参照）、ランダムで分岐させるか（「 分岐設定画面の見かた（ランダムの場合）」227 ページ参照）を選択します。 ■ 性別・年齢 Pepper がお客様の年齢や性別を判別して、動作を分岐させるための設定を行います。 ■ ランダム 任意の確率を設定し、ランダムに動作を分岐させるための設定を行います。

■ 分岐設定画面の見かた（性別・年齢の場合）



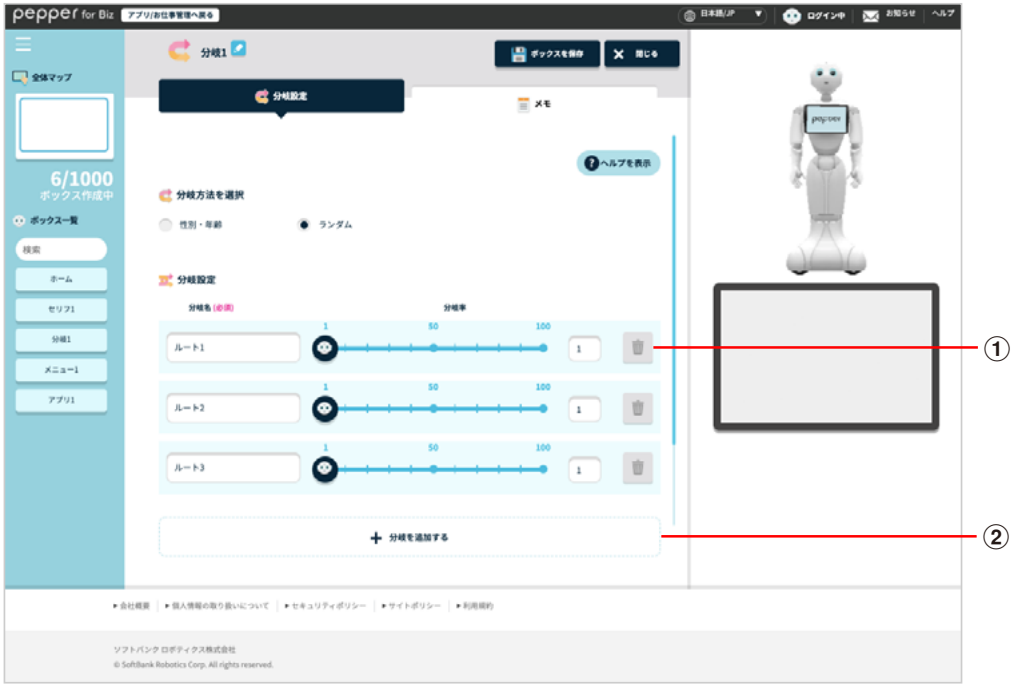
分岐設定画面（性別・年齢の場合）

番号	説明
①	分岐条件を年齢と性別で設定します。 🗑 をクリックすると分岐条件を削除します。※
②	分岐条件を追加します。

※分岐条件が 2 つ以上の場合に 🗑 が表示されます。

■ 認識する属性は、実際とは異なる場合があります。あらかじめご了承ください。

■ 分岐設定画面の見かた（ランダムの場合）

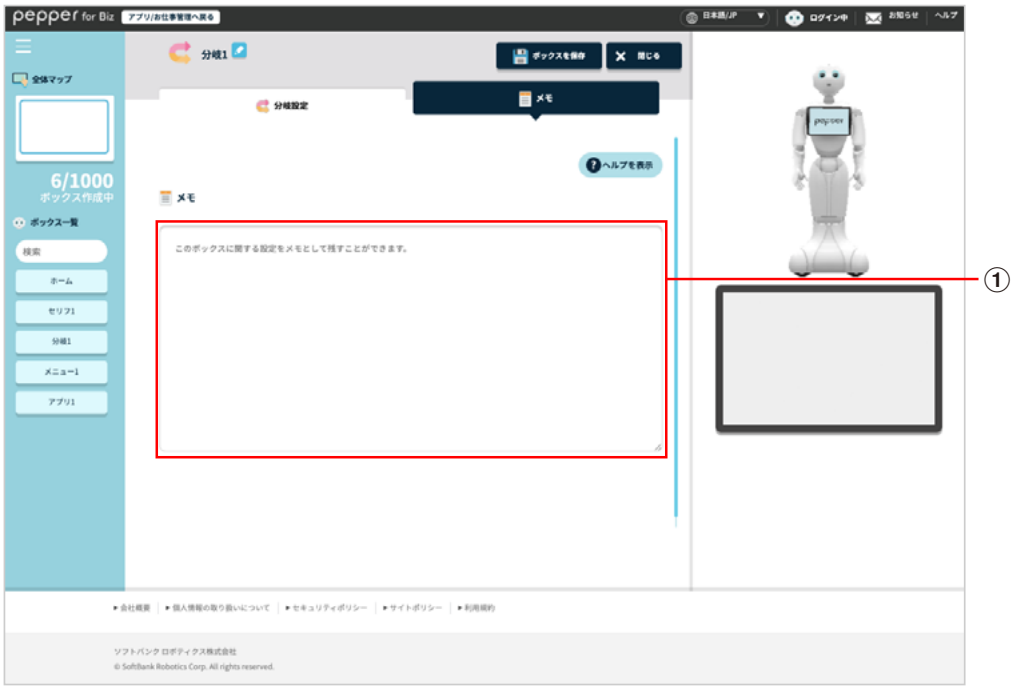


分岐設定画面（ランダムの場合）

番号	説明
①	分岐条件を確率で設定します。 🗑 をクリックすると分岐条件を削除します。※
②	分岐条件を追加します。

※分岐条件が 3 つ以上の場合に 🗑 が表示されます。

■ メモ画面の見かた

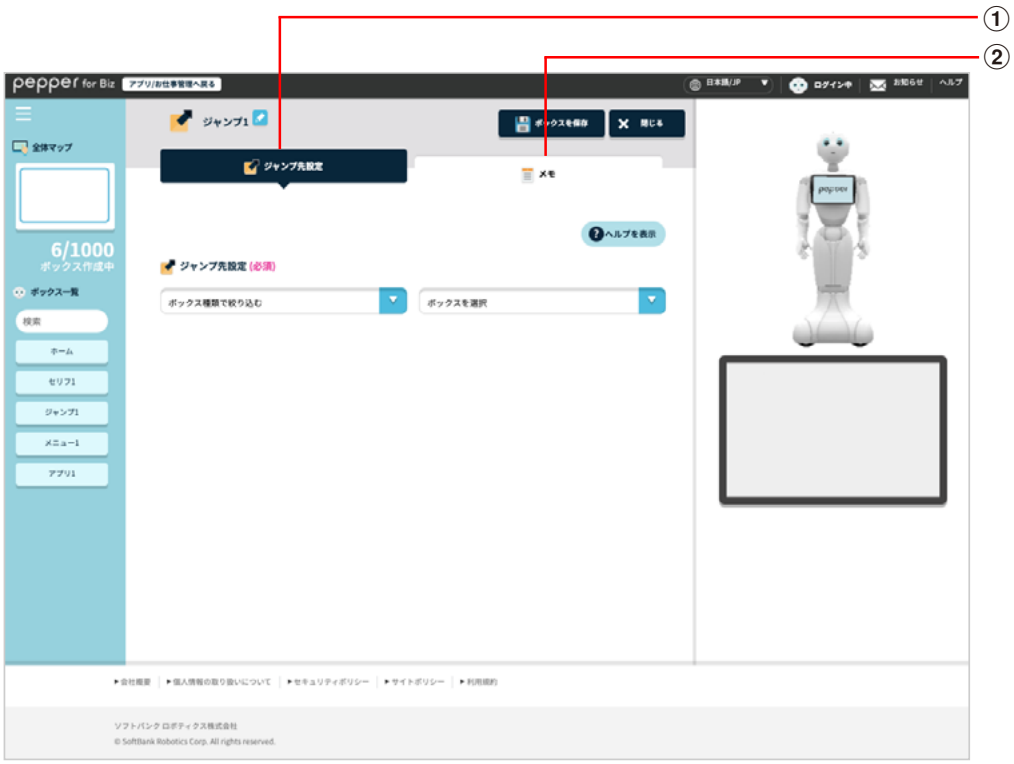


メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-12 ジャンプボックス

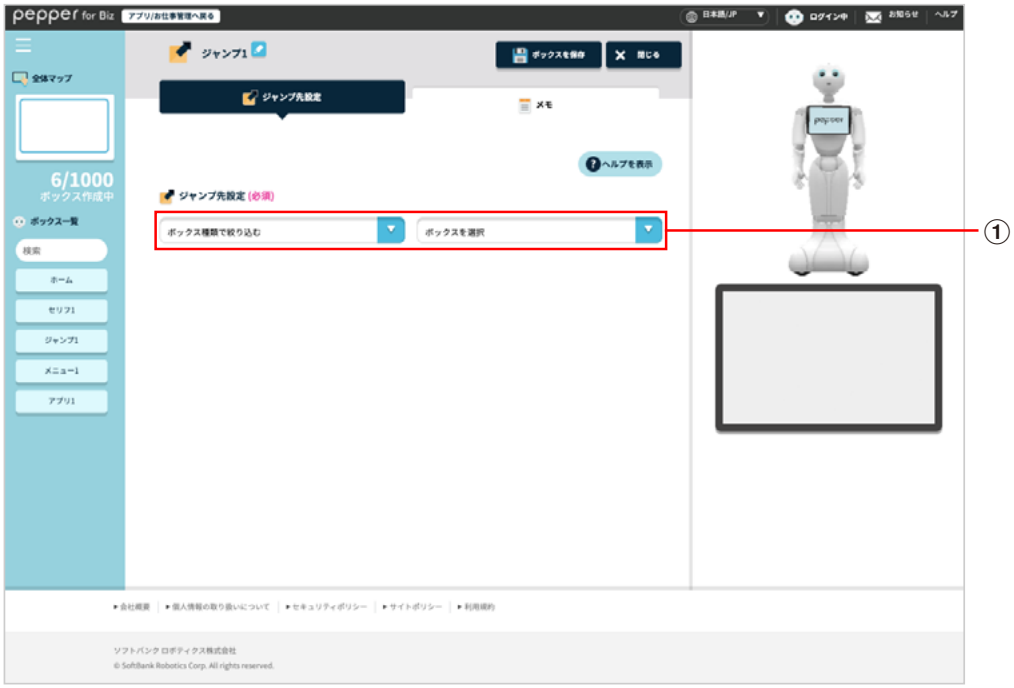
指定したボックスに移動するためのボックスです。例えば、お客様の回答結果を受けてはじめに戻ったり、2つ先のボックスに移動したりすることができます。



ジャンプボックス画面

番号	説明
①	ジャンプ先の設定を行います（「 ジャンプ先設定画面の見かた」230 ページ参照）。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」231 ページ参照）。

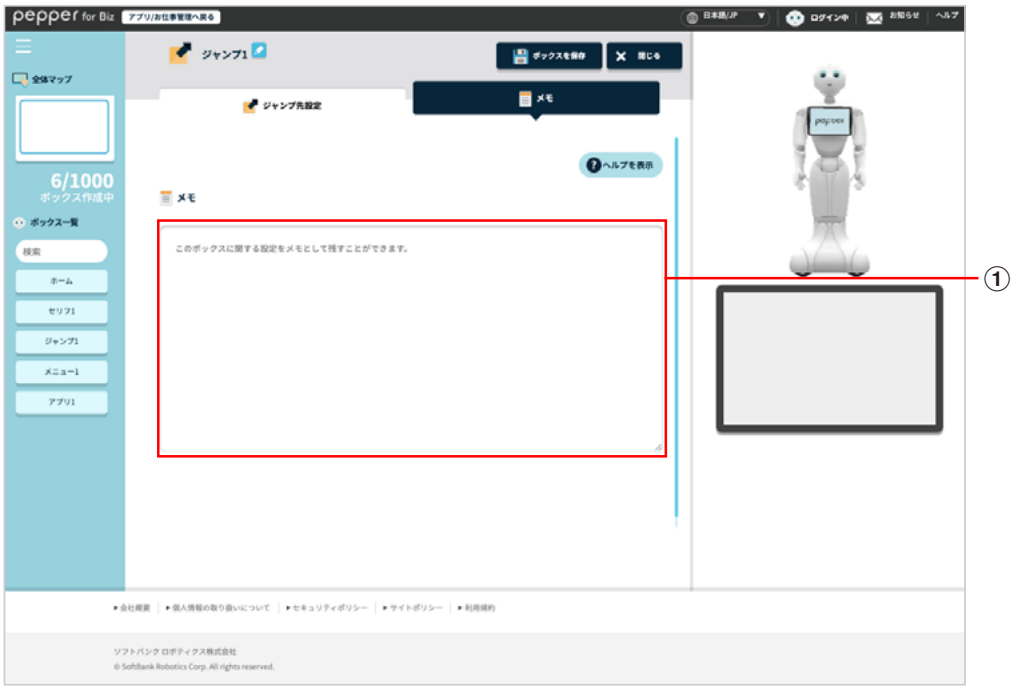
■ ジャンプ先設定画面の見かた



ジャンプ先設定画面

番号	説明
①	ボックスを絞り込んでジャンプ先を設定します。

■ メモ画面の見かた



メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-13 印刷ボックス

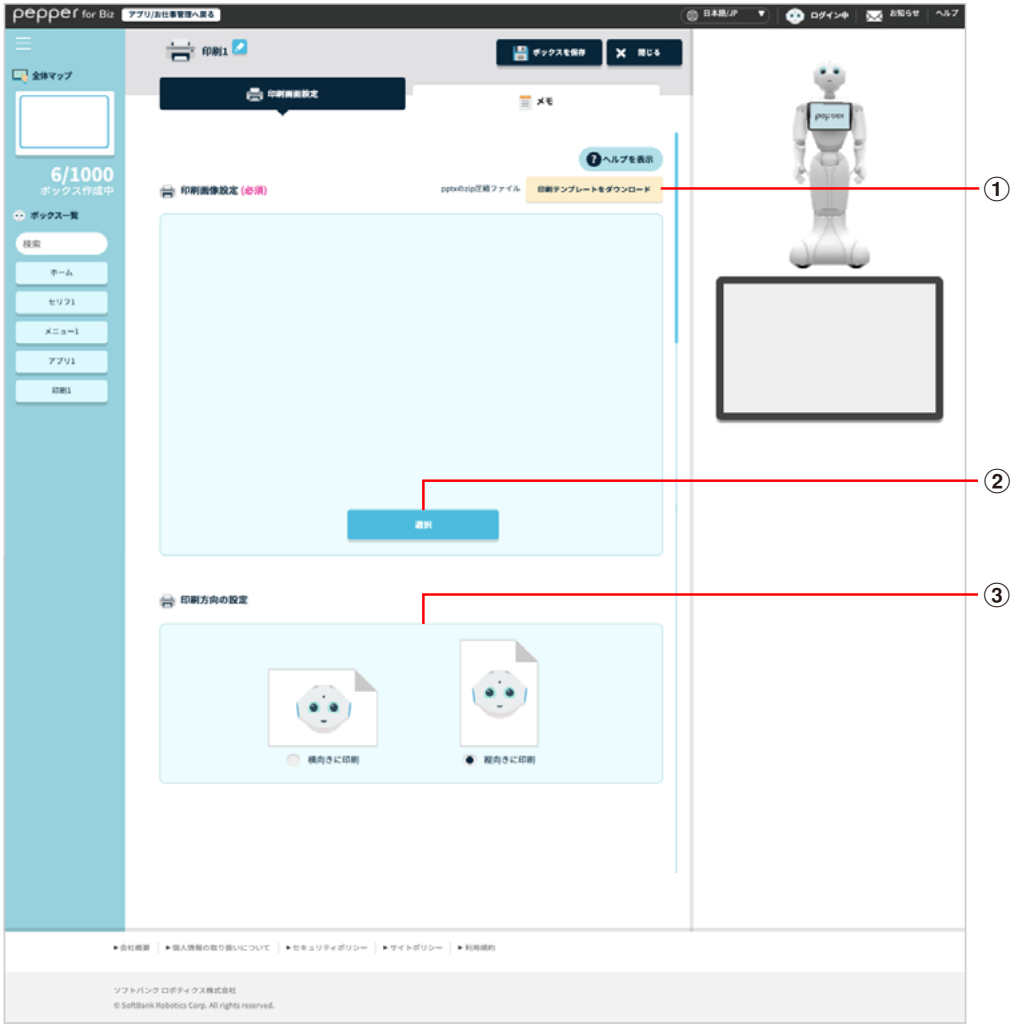
Pepper に登録したプリンタで画像を印刷するためのボックスです。画像はあらかじめ印刷ボックスで設定しておく必要があります。



印刷ボックス画面

番号	説明
①	印刷画面の設定を行います（「 印刷画面設定画面の見かた」233 ページ参照）。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」234 ページ参照）。

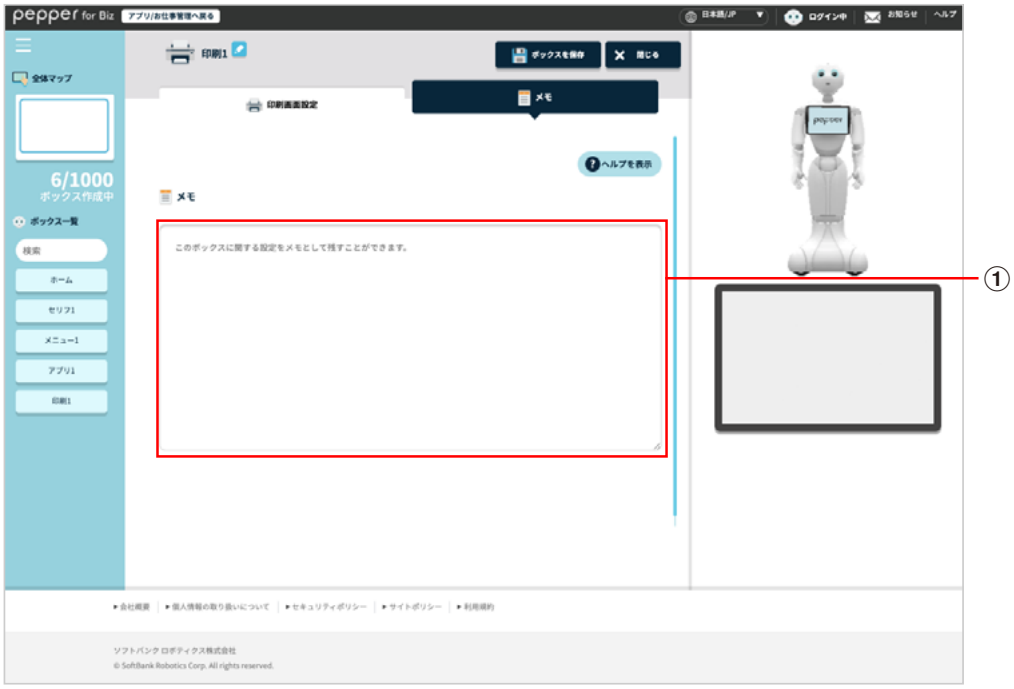
■ 印刷画面設定画面の見かた



印刷画面設定画面

番号	説明
①	印刷テンプレートをダウンロードします。
②	メディアライブラリから印刷する画像を選択します（「7-5-1 メディアファイルを登録する」142 ページ参照）。
③	縦向き／横向きを設定します。

■ メモ画面の見かた

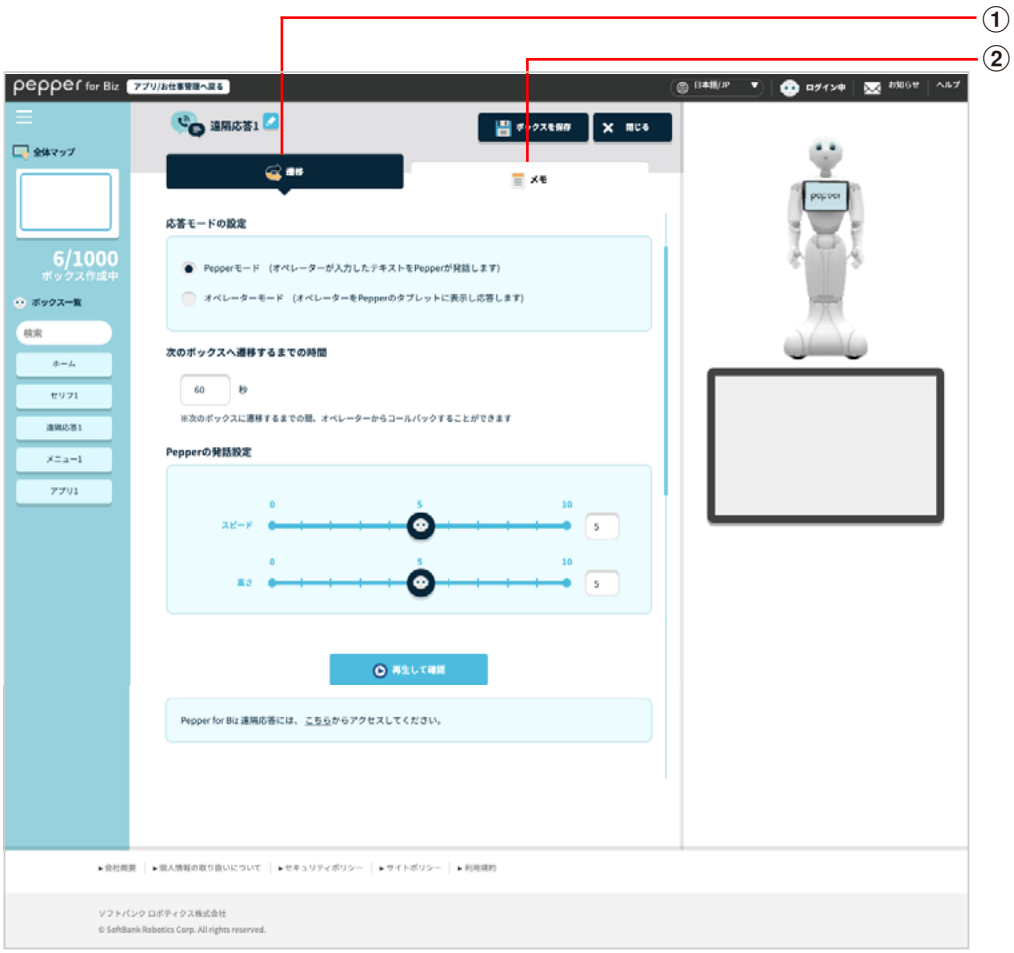


メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-14 遠隔応答ボックス

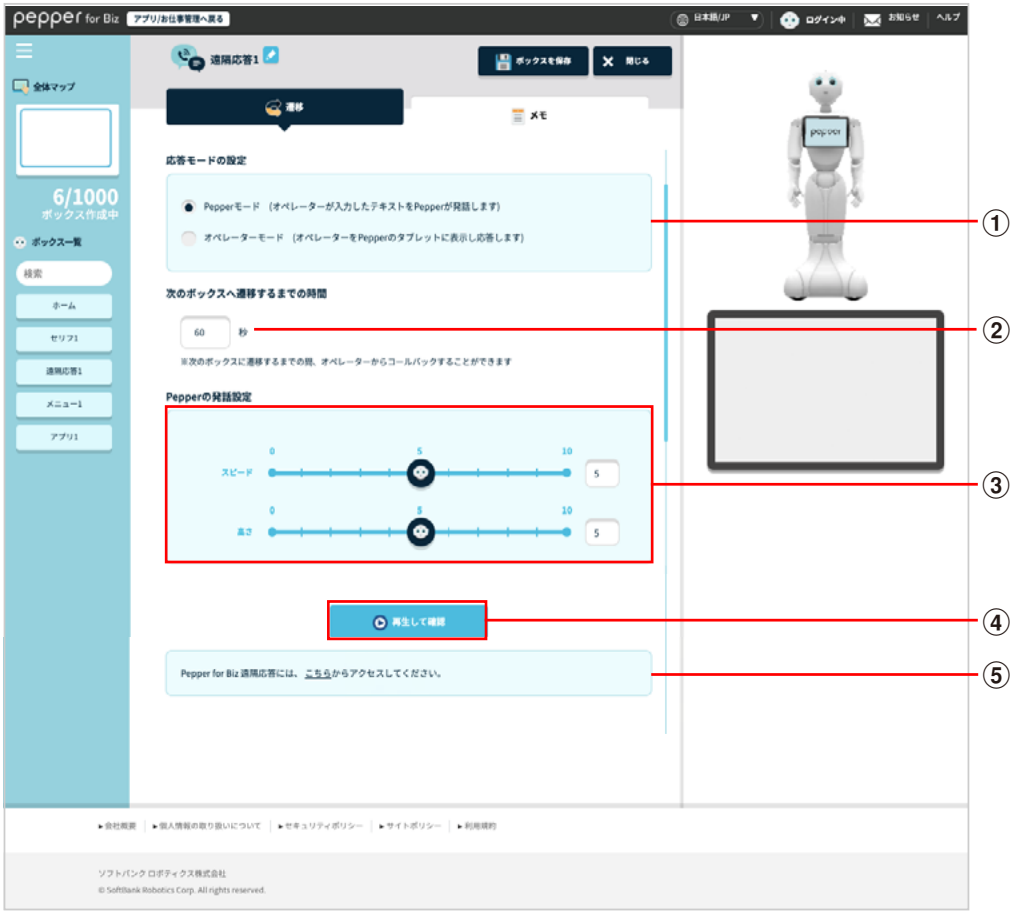
遠隔地にいるオペレータが、Pepper を通じてお客様と通話するための設定をします。お客様の質問が難しいときなど、Pepper では対応できない質問に答える場合などに利用できます。



遠隔応答ボックス画面

番号	説明
①	遷移設定画面を表示します。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」237 ページ参照）。

■ 遷移設定画面の見かた

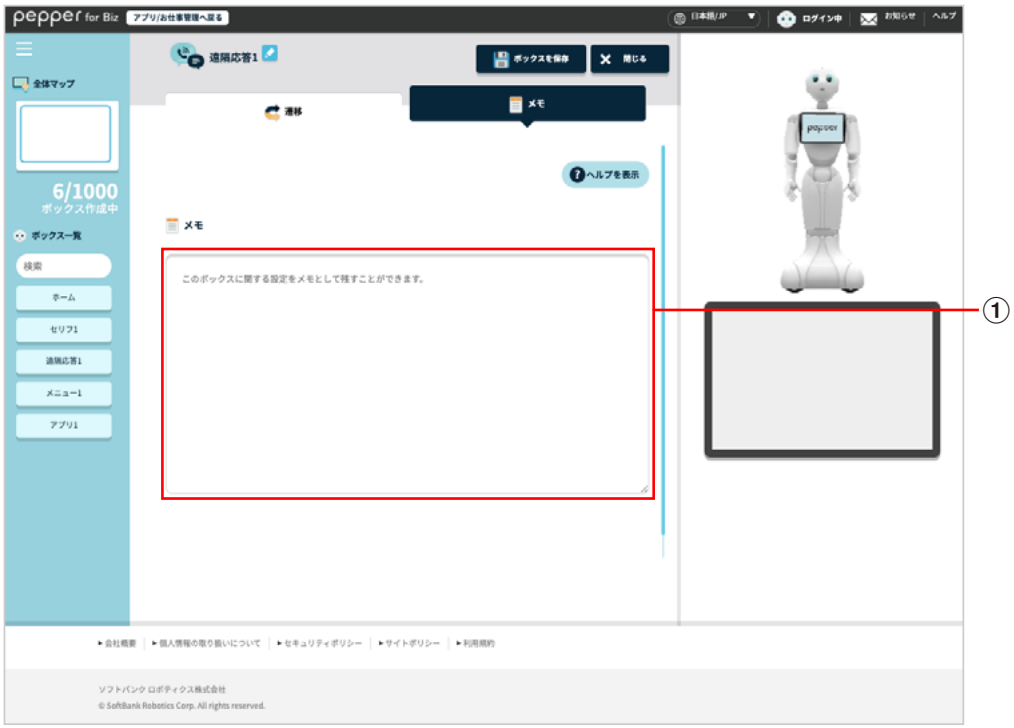


遷移画面設定画面

番号	説明
①	応答モード（Pepper モード、オペレータモード）を設定します。
②	Pepper for Biz 遠隔応答のオペレーター画面を表示します（https://teleop-p4b.softbankrobotics.com）。遠隔応答の操作方法は「Pepper+ 遠隔応答取扱説明書」をご覧ください。
③	Pepper の発話のスピードと高さを設定します。 をクリックしながら左右にスライドするか、0 ～ 10 までの値を入力して設定してください。
④	③で設定したスピードと高さを確認できます。
⑤	Pepper for Biz 遠隔応答のオペレーター画面を表示します（https://teleop-p4b.softbankrobotics.com）。遠隔応答の操作方法は「Pepper+ 遠隔応答取扱説明書」をご覧ください。

- 遠隔応答の動作設定については、お仕事かんたん生成 3.0 では設定できません。
- 遠隔応答ボックスにコンバージョンポイントを設定している場合、オペレーターは 60 秒以内に応答してください。60 秒を経過するとタイムアウトし、Robot Suite（遠隔操作・ヘルスチェック）のインタラクション分析のログが正しく出力されません。

■ メモ画面の見かた

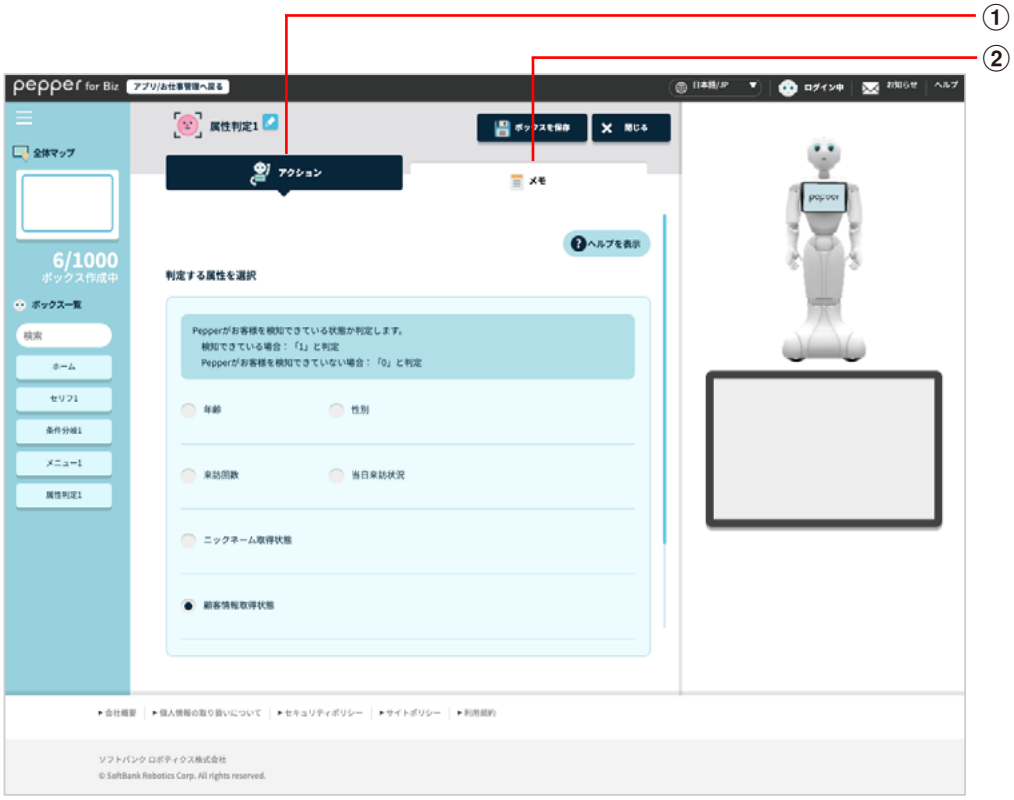


メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-15 属性判定ボックス

Pepper がお客様の顔を認識した際に、顔から取得する情報（年齢／性別／来訪回数／当日来訪状況／ニックネーム取得状態／顧客情報取得状態）を設定します。
属性判定ボックスを作成すると、条件分岐ボックスも自動で作成されます。属性判定ボックスを設定した後に、条件分岐ボックスも設定してください（「7-7-16 条件分岐ボックス」241 ページ参照）。



属性判定ボックス画面

番号	説明
①	顔認識機能で取得する情報（年齢／性別／来訪回数／当日来訪状況／ニックネーム取得状態／顧客情報取得状態）を設定します（「 アクション設定画面の見かた」239 ページ参照）。ここの設定は、条件分岐ボックスにも反映されます（「7-7-16 条件分岐ボックス」241 ページ参照）。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」240 ページ参照）。

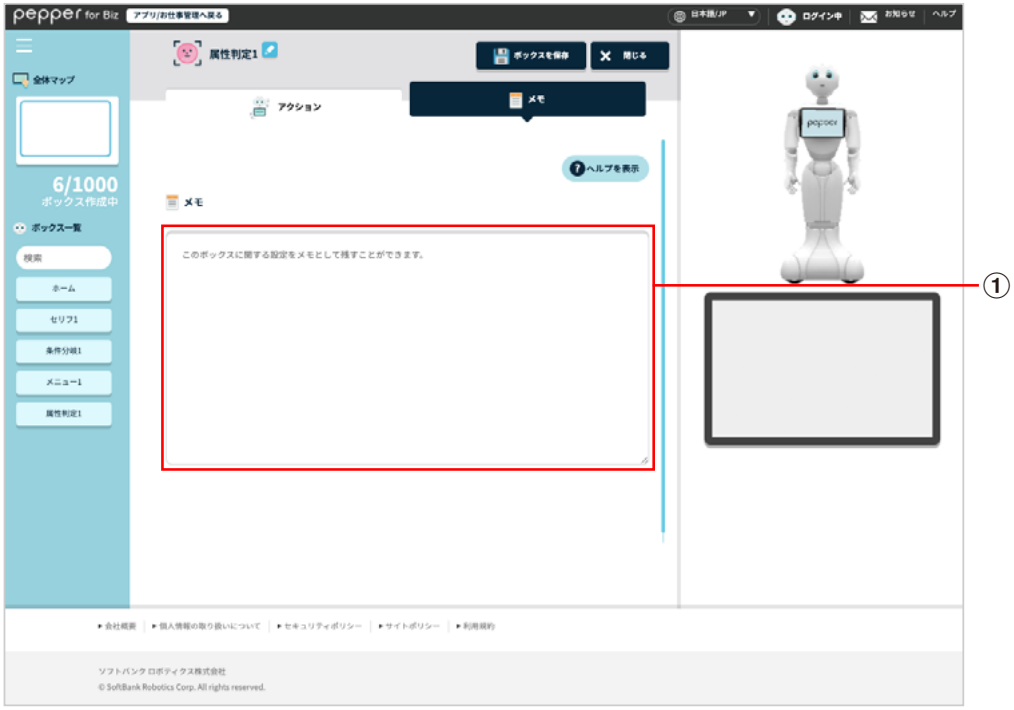
■ アクション設定画面の見かた



アクション設定画面

番号	説明
①	Pepper がお客様の顔を認識した際に、顔から取得する情報を設定します。

■ メモ画面の見かた

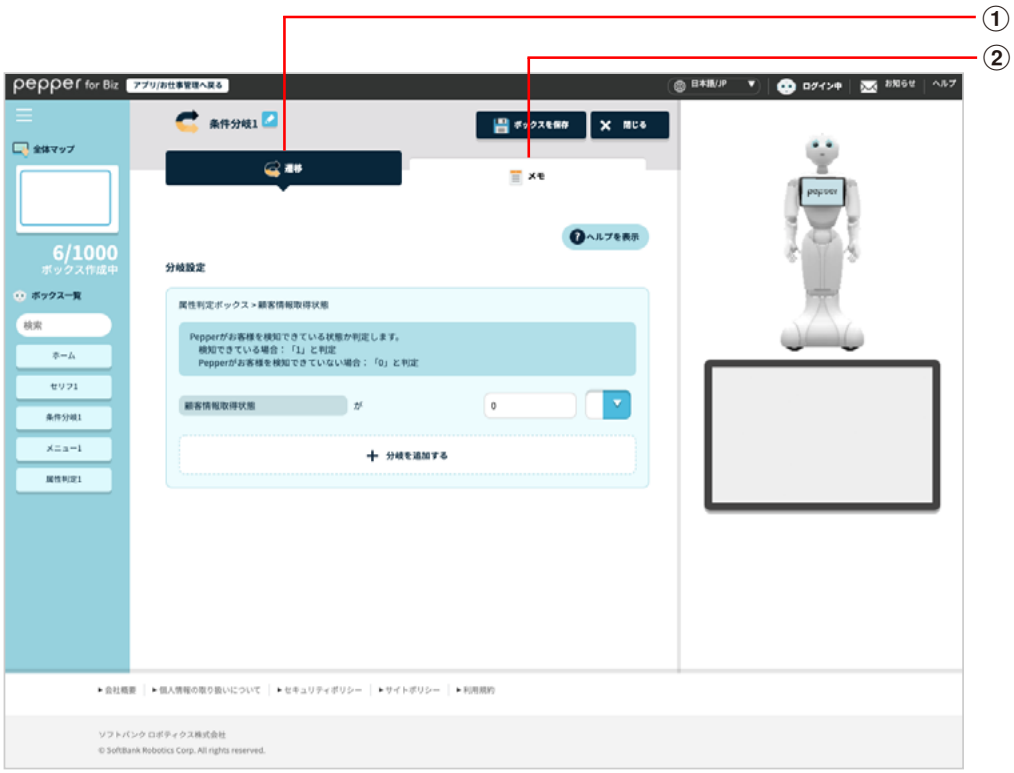


メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-16 条件分岐ボックス

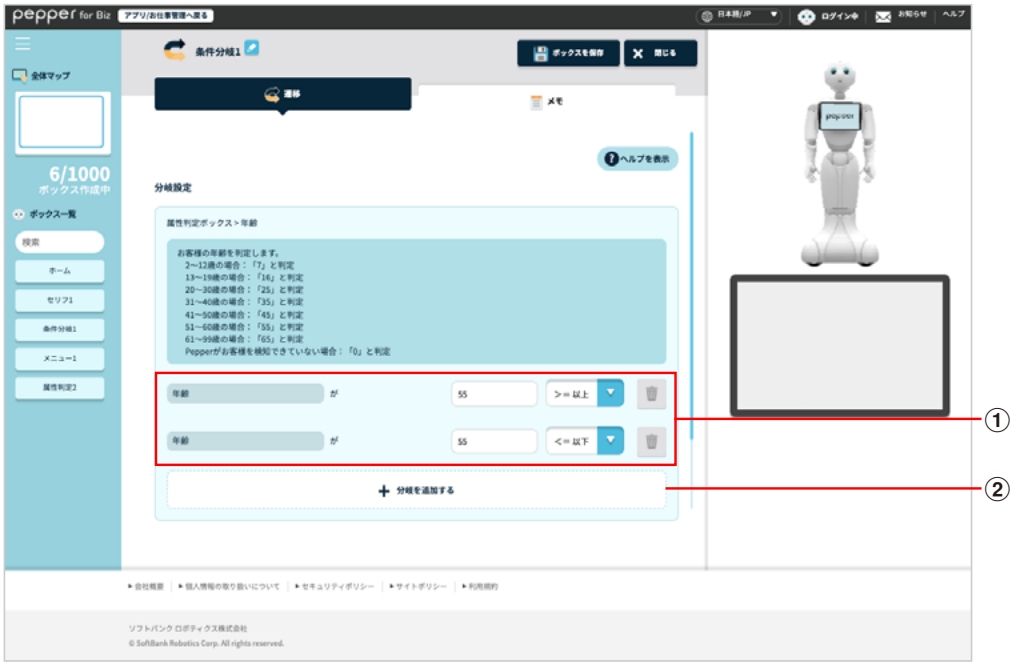
属性判定ボックス（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）で、Pepper の動作を分岐させるためのボックスです。
条件分岐ボックスを作成すると、条件分岐ボックスの前に属性判定ボックスが自動で作成されます。属性判定ボックスを設定した後に、条件分岐ボックスも設定してください。



条件分岐ボックス画面

番号	説明
①	属性判定ボックスで取得した情報による分岐条件を設定します。 分岐条件の属性を変更する場合は、属性判定ボックスの設定を変更してください（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」248 ページ参照）。

■ 遷移設定画面の見かた（年齢の場合）

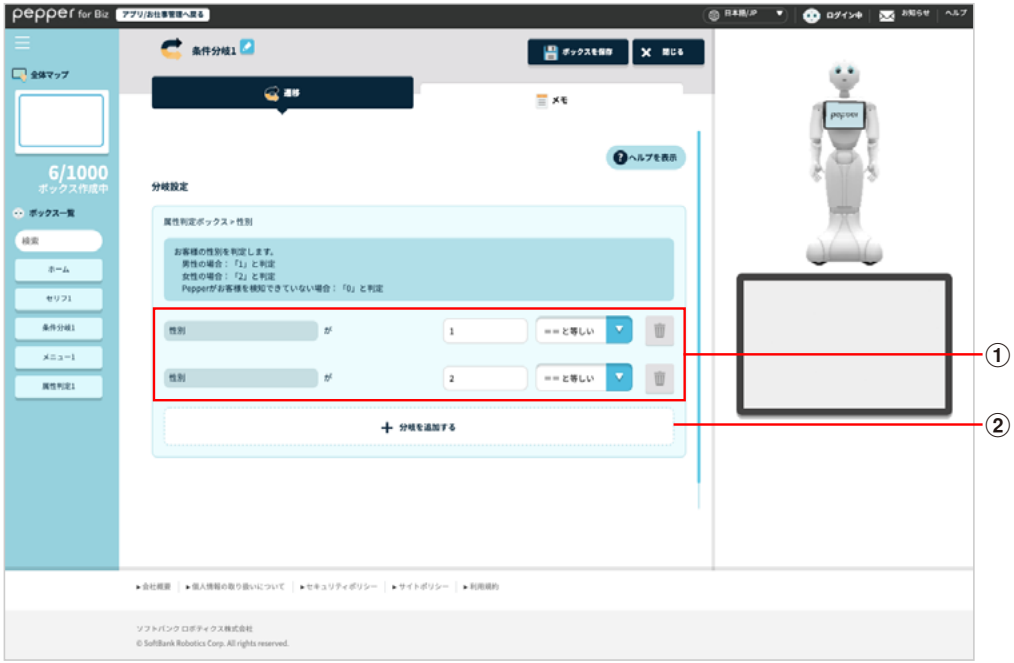


遷移設定画面（年齢の場合）

番号	説明
①	「属性判定ボックス」（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）を「年齢」に設定したときの分岐条件を設定します。 値を入力し、判定条件を一覧から選択します。 値は、お客様の条件によって下記の通りに入力してください。 ■ 2 ～ 12 歳の場合：7 ■ 13 ～ 19 歳の場合：16 ■ 20 ～ 30 歳の場合：25 ■ 31 ～ 40 歳の場合：35 ■ 41 ～ 50 歳の場合：45 ■ 51 ～ 60 歳の場合：55 ■ 61 ～ 99 歳の場合：65 ■ Pepper がお客様を検知できていない場合：0 をクリックすると分岐条件を削除します。※
②	分岐条件を追加します。

※分岐条件が 2 つ以上の場合に が表示されます。

■ 分岐設定画面の見かた（性別の場合）

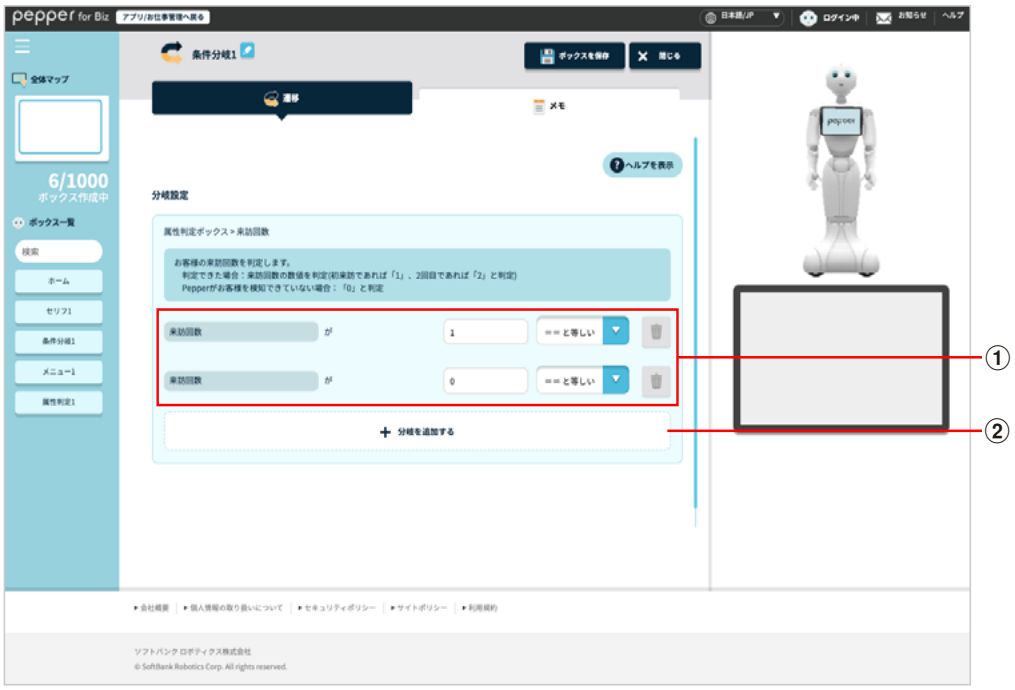


遷移設定画面（性別の場合）

番号	説明
①	「属性判定ボックス」（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）を「性別」に設定したときの分岐条件を設定します。 値を入力し、判定条件を一覧から選択します。 値は、お客様の条件によって下記の通りに入力してください。 ■ 男性の場合：1 ■ 女性の場合：2 ■ Pepper がお客様を検知できていない場合：0 🗑 をクリックすると分岐条件を削除します。※
②	分岐条件を追加します。

※分岐条件が 2 つ以上の場合に 🗑 が表示されます。

■ 遷移設定画面の見かた（来訪回数の場合）

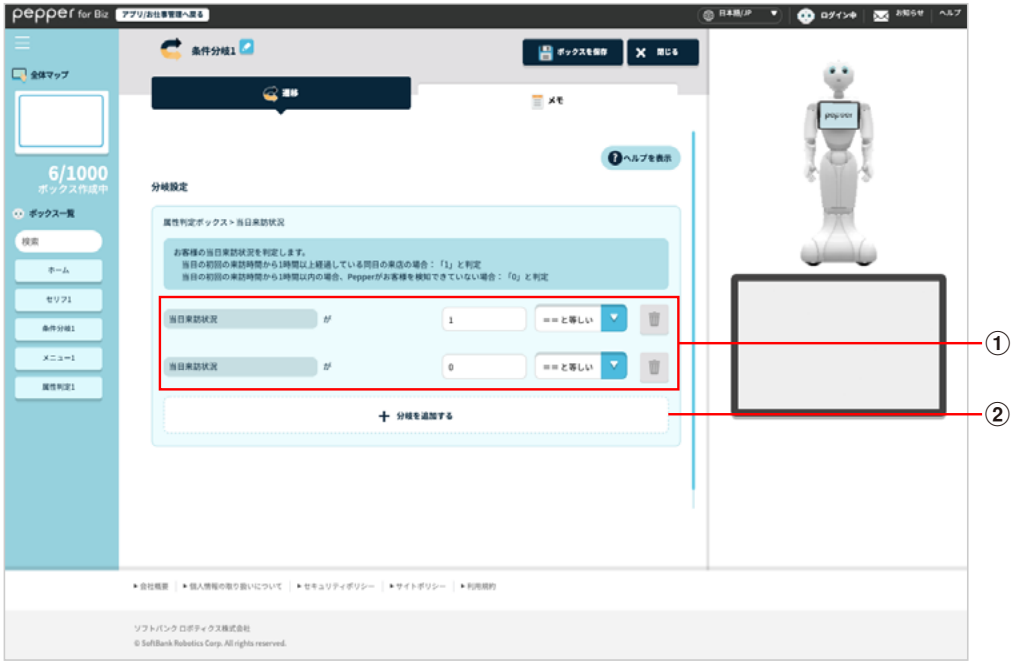


遷移設定画面（来訪回数の場合）

番号	説明
①	「属性判定ボックス」（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）を「来訪回数」に設定したときの分岐条件を設定します。 値を入力し、判定条件を一覧から選択します。 値は、お客様の条件によって下記の通りに入力してください。 ■ 初来訪の場合：1 ■ 2 回目の場合：2 ■ 初回来店や、Pepper がお客様を検知できていない場合：0 をクリックすると分岐条件を削除します。※
②	分岐条件を追加します。

※分岐条件が 2 つ以上の場合に が表示されます。

■ 遷移設定画面の見かた（当日来訪状況の場合）

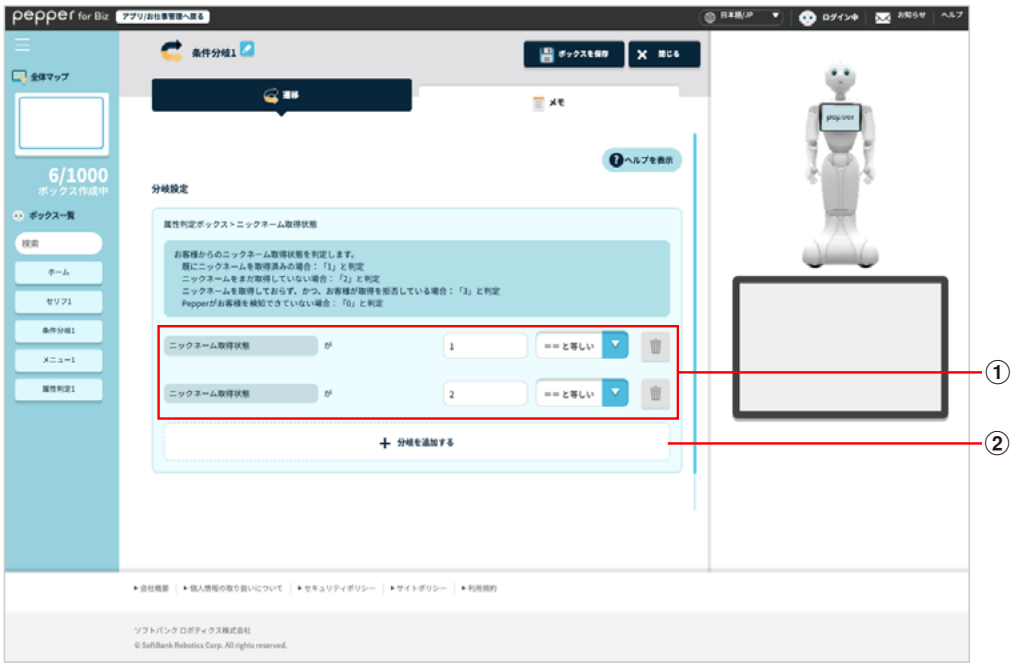


遷移設定画面（当日来訪状況の場合）

番号	説明
①	「属性判定ボックス」（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）を「当日来訪状況」に設定したときの分岐条件を設定します。 値を入力し、判定条件を一覧から選択します。 値は、お客様の条件によって下記の通りに入力してください。 ■ 当日既に来訪済みの場合：1 ■ 当日初来訪や Pepper がお客様を検知できていない場合：0 🗑 をクリックすると分岐条件を削除します。※
②	分岐条件を追加します。

※分岐条件が 2 つ以上の場合に 🗑 が表示されます。

■ 遷移設定画面の見かた（ニックネーム取得状態の場合）

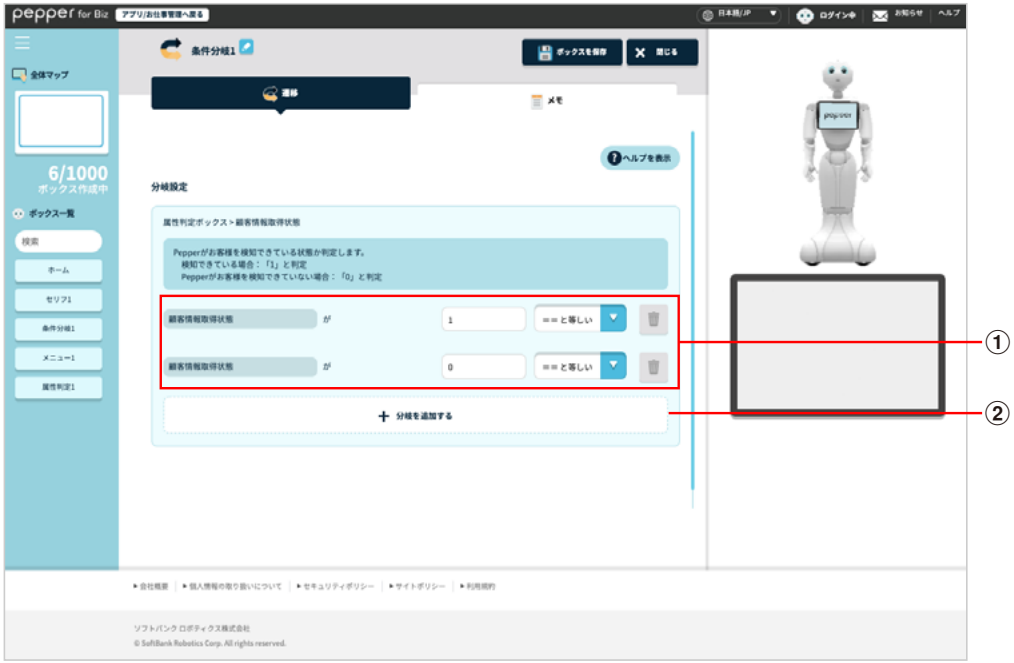


遷移設定画面（ニックネーム取得状態の場合）

番号	説明
①	「属性判定ボックス」（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）を「ニックネーム取得状態」に設定したときの分岐条件を設定します。 値を入力し、判定条件を一覧から選択します。 値は、お客様の条件によって下記の通りに入力してください。 ■ 既にニックネームを取得済みの場合：1 ■ ニックネームをまだ取得していない場合：2 ■ ニックネームを取得しておらず、かつ、お客様が取得を拒否している場合：3 ■ Pepper がお客様を検知できていない場合：0 をクリックすると分岐条件を削除します。※
②	分岐条件を追加します。

※分岐条件が 2 つ以上の場合に が表示されます。

■ 遷移設定画面の見かた（顧客情報取得状態の場合）

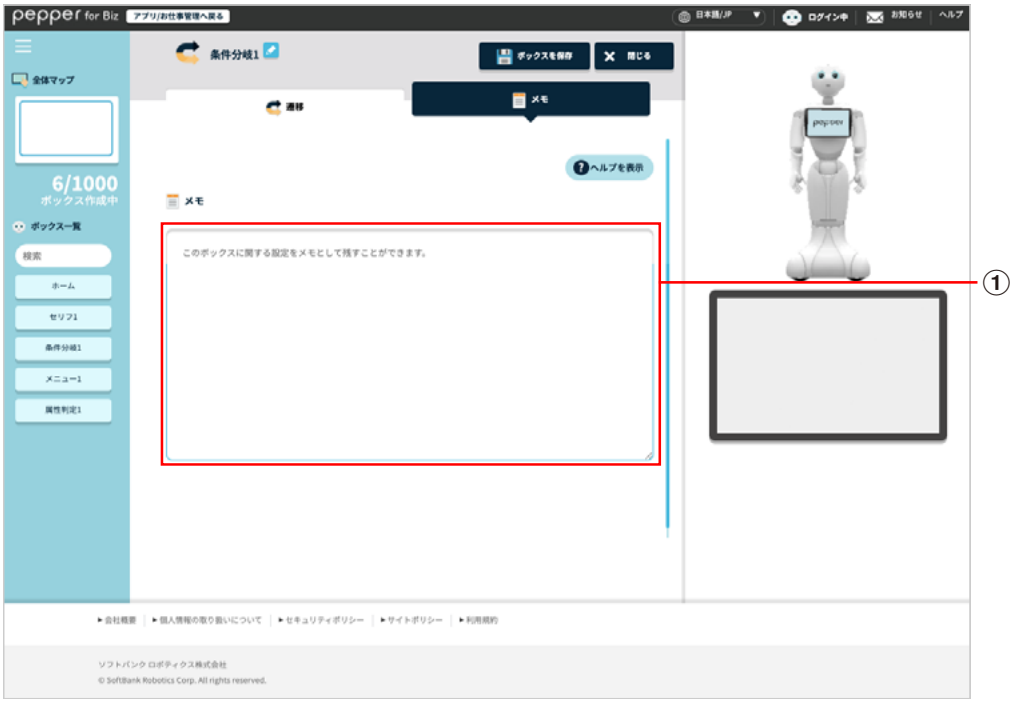


遷移設定画面（顧客情報取得状態の場合）

番号	説明
①	「属性判定ボックス」（「7-7-15 属性判定ボックス」238 ページ参照）を「顧客情報取得状態」に設定したときの分岐条件を設定します。 値を入力し、判定条件を一覧から選択します。 値は、お客様の条件によって下記の通りに入力してください。 ■ お客様を検知できている場合：1 ■ Pepper がお客様を検知できていない場合：0 をクリックすると分岐条件を削除します。※
②	分岐条件を追加します。

※分岐条件が 2 つ以上の場合に が表示されます。

■ メモ画面の見かた



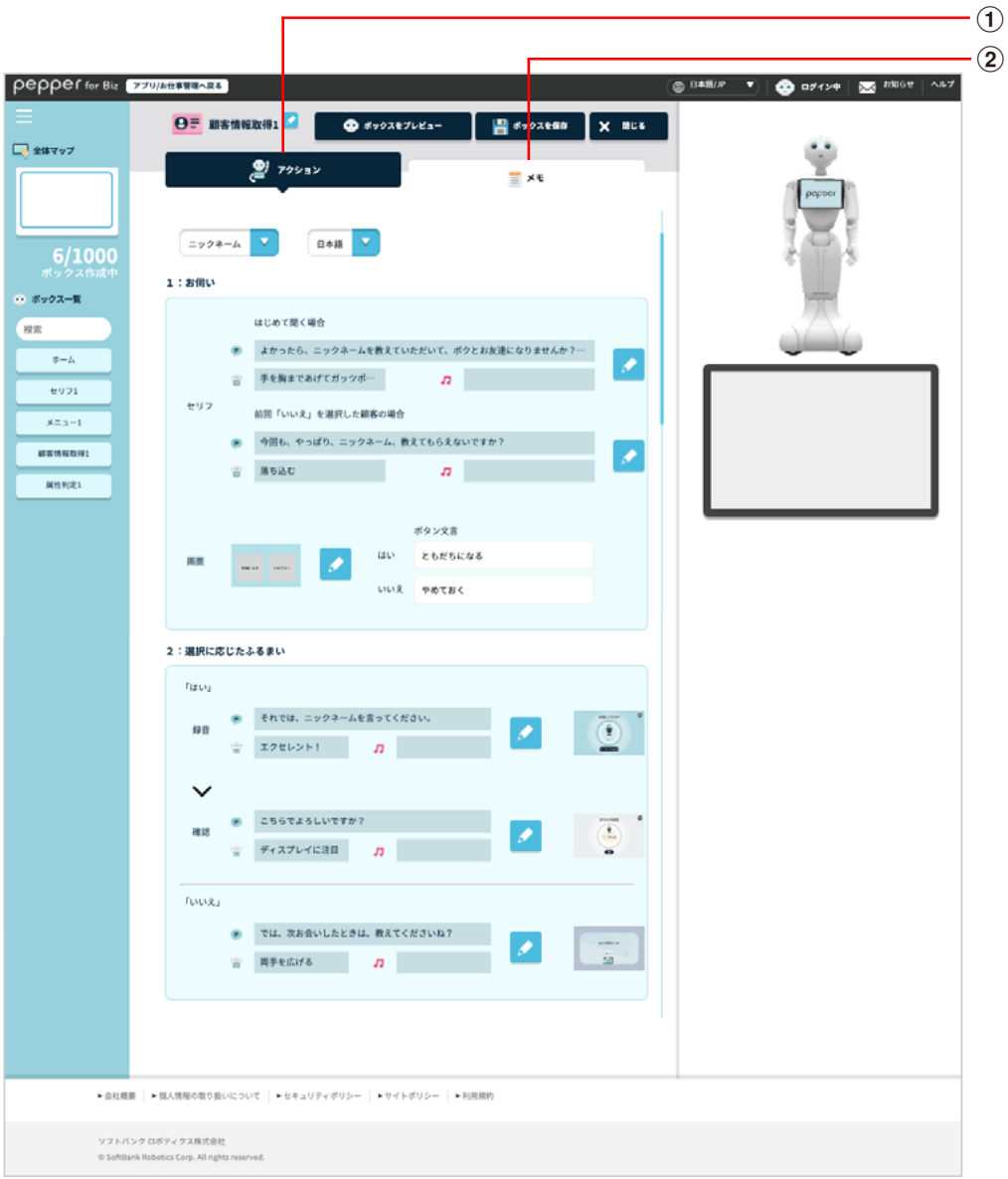
メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-17 顧客情報取得ボックス

お客様にニックネームをお伺いするための設定をします。取得したニックネームは、顔認識機能で取得した顔情報と紐付けされます。ニックネームは、セリフボックスや質問ボックスなど、各ボックスで使用できます。

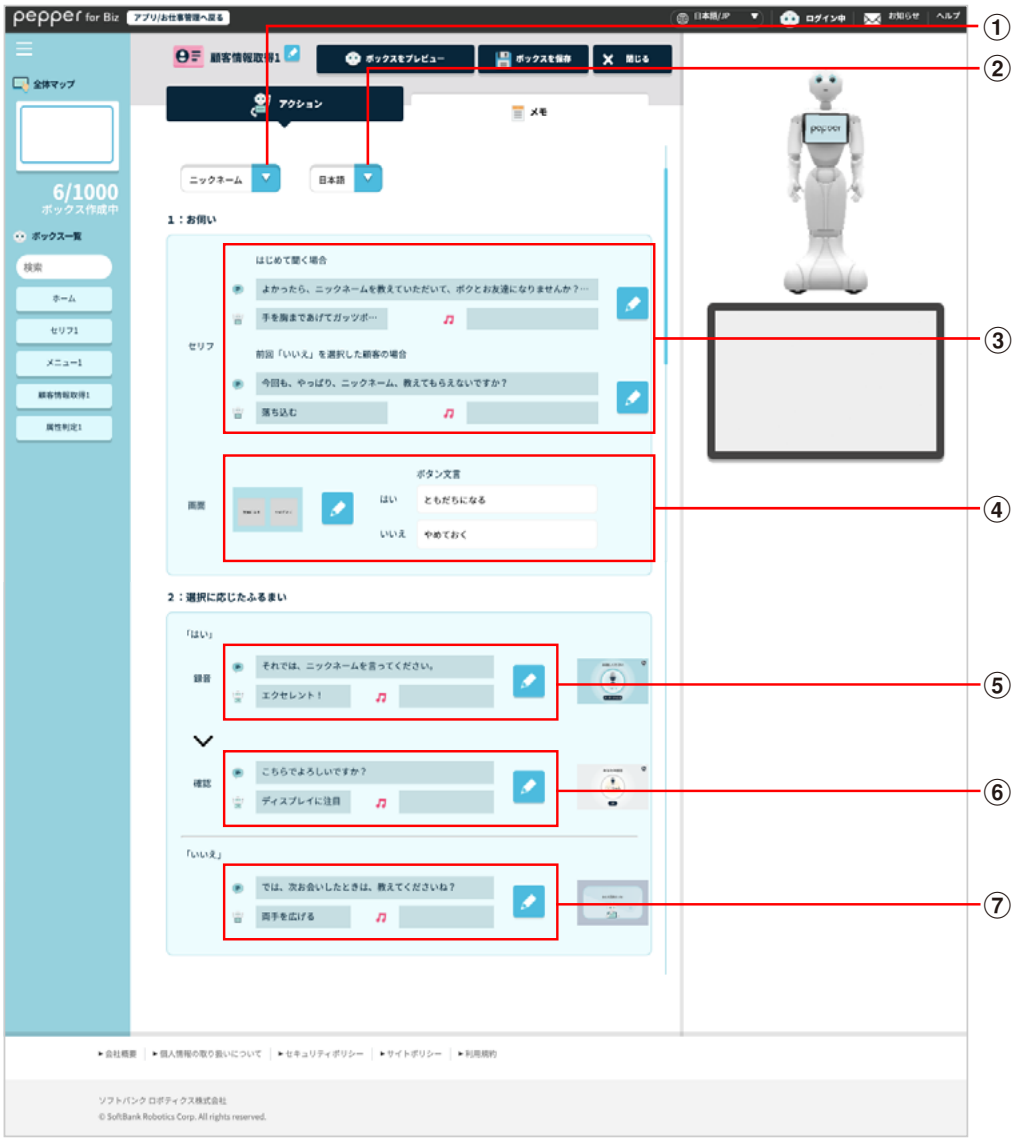
■ ニックネーム取得を中国語で行うことはできますが、中国語によるキーボード入力はできません。



顧客情報取得ボックス画面

番号	説明
①	お客様にニックネームをお伺いするときの、セリフやディスプレイの表示などを設定します（「アクション設定画面の見かた」250 ページ参照）。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」251 ページ参照）。

■ アクション設定画面の見かた

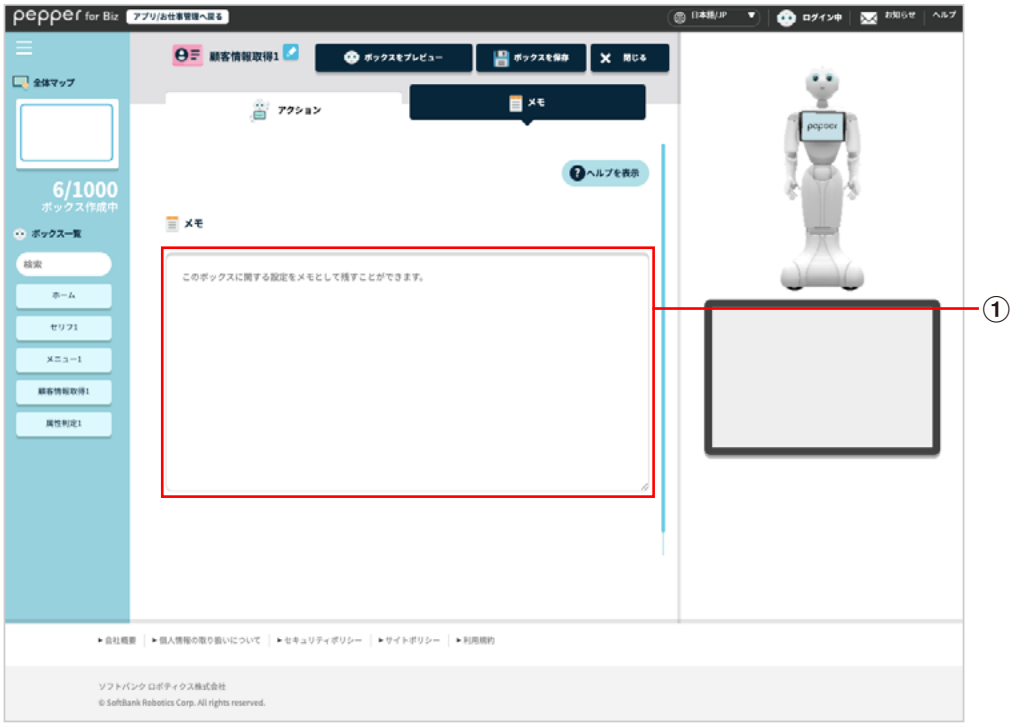


アクション設定画面

番号	説明
①	ニックネームを選択します。
②	言語を選択します。
③	お客様にニックネームをお伺いするときのセリフの一覧が表示されます。 をクリックすると編集できます（「 セリフの追加・編集画面の見かた」 174 ページ参照）。
④	お客様にニックネームをお伺いするときにディスプレイに表示するボタン内の文字を設定します。 をクリックするとボタンの背景を編集できます（「 ディスプレイ設定画面の見かた」 183 ページ参照）。

⑤	お客様のニックネームを取得するときのセリフが表示されます。 をクリックすると編集できます（「 セリフの追加・編集画面の見かた」174 ページ参照）。
⑥	取得したお客様のニックネームを確認するときのセリフが表示されます。 をクリックすると編集できます（「 セリフの追加・編集画面の見かた」174 ページ参照）。
⑦	お客様からニックネームの取得を拒否されたときのセリフが表示されます。 をクリックすると編集できます（「 セリフの追加・編集画面の見かた」174 ページ参照）。

■ メモ画面の見かた

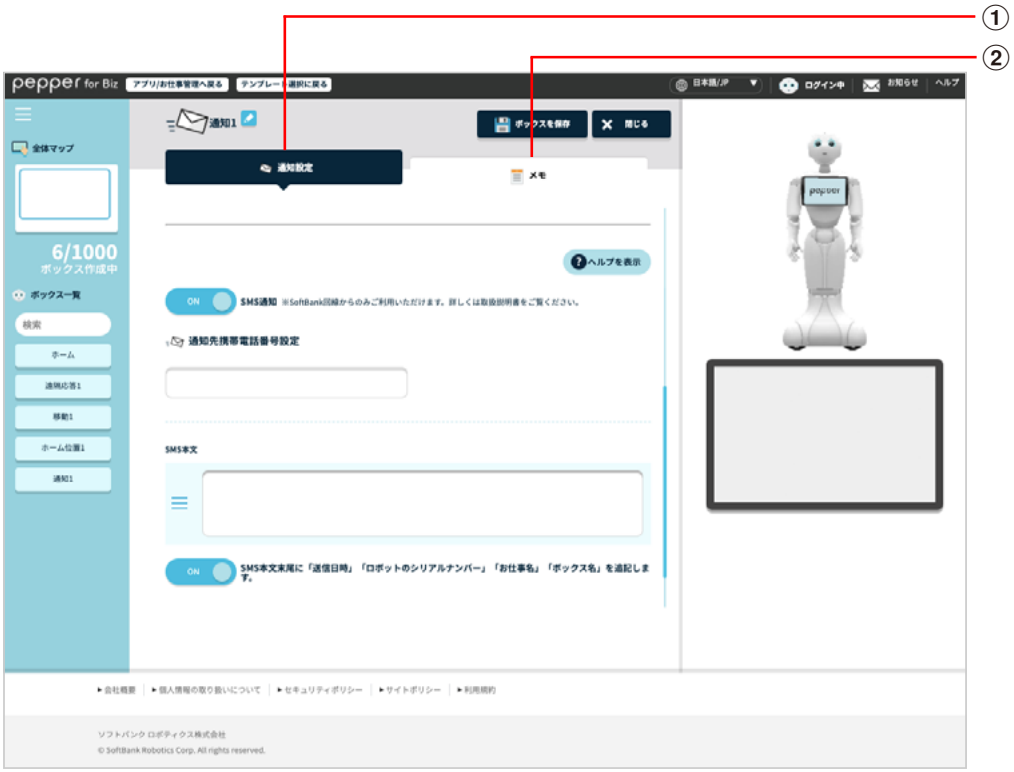


メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-18 通知ボックス

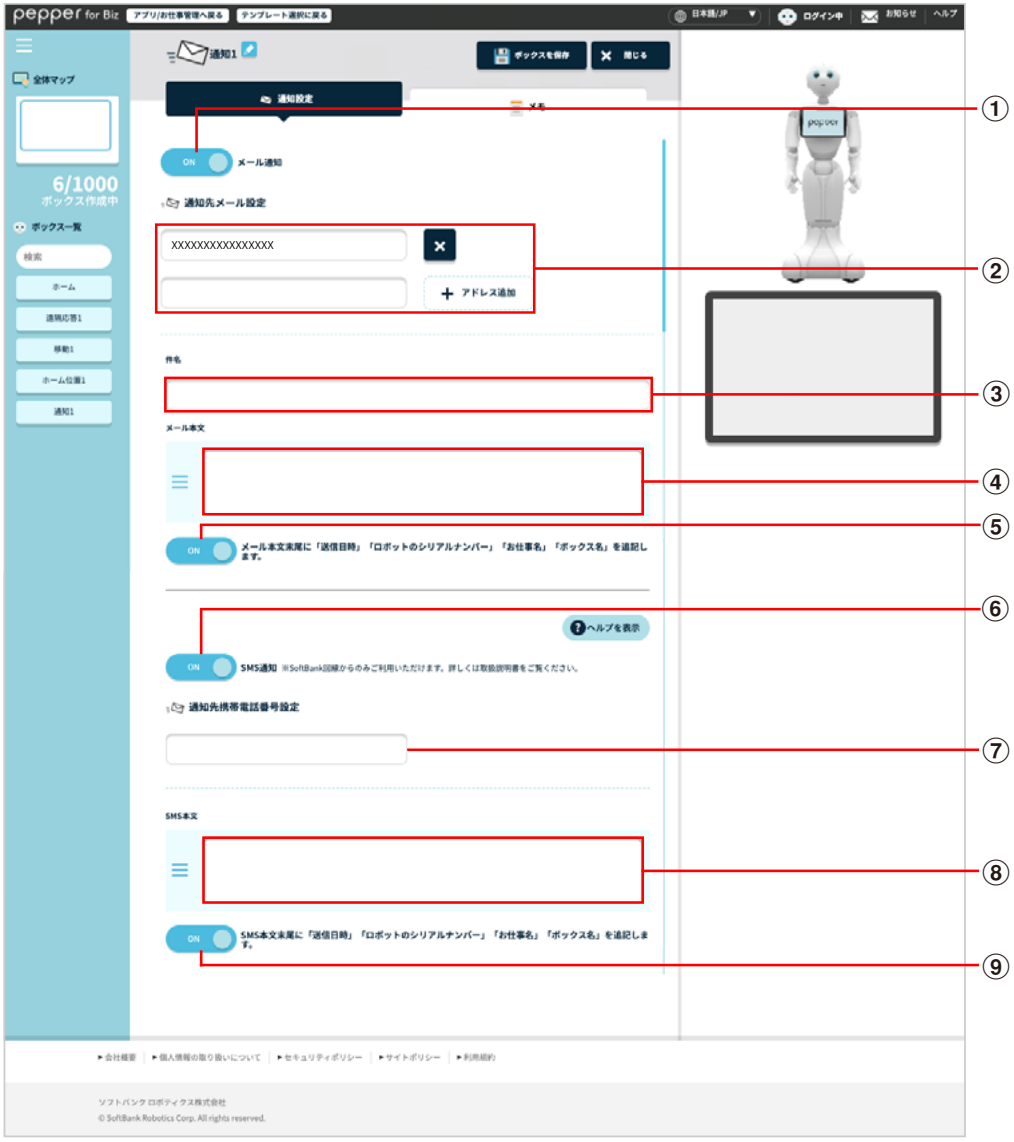
指定したメールアドレス／携帯電話の番号にあらかじめ設定したメールや SMS を送信するボックスです。



通知ボックス画面

番号	説明
①	Pepper からのメール通知の ON ／ OFF の設定や、通知先のメールなどを設定します（「通知設定画面の見かた」253 ページ参照）。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」254 ページ参照）。

■ 通知設定画面の見かた

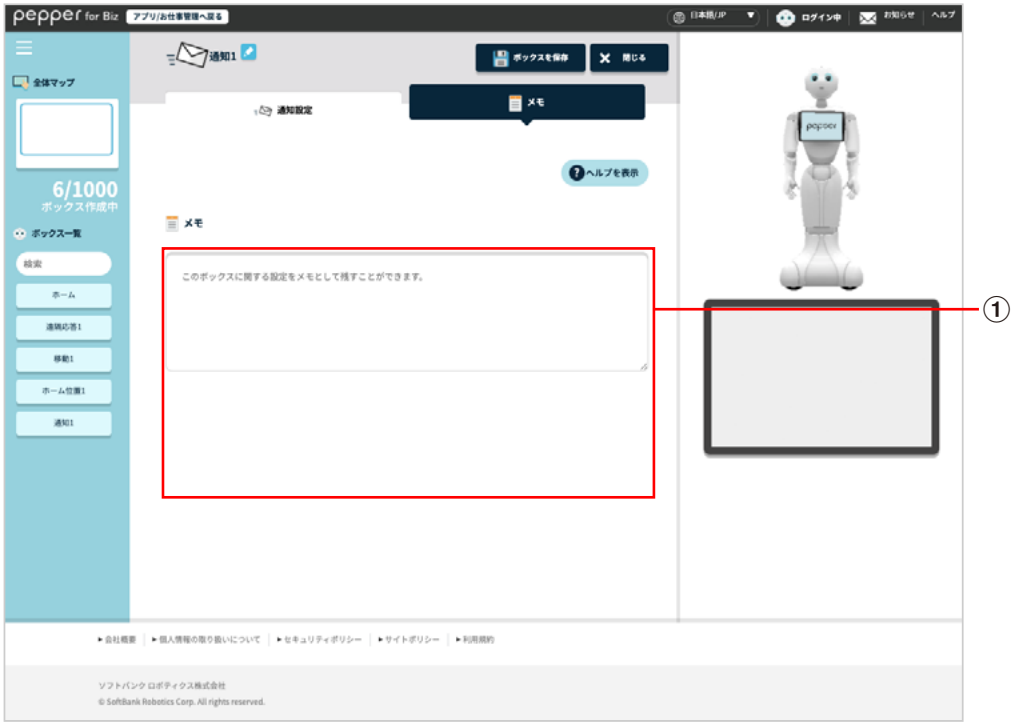


通知設定画面

番号	説明
①	Pepper からのメール通知の ON ／ OFF を設定します。
②	通知先のメールアドレスを入力します。メールアドレスを追加する場合は「+ アドレス追加」、削除する場合は × をクリックしてください。 ※入力できるメールアドレスは最大 50 件です。
③	通知するメールの件名を入力します。 ※入力できる文言は 999 文字以内です。
④	通知するメールの本文を入力します。 ※入力できる文言は 5000 文字以内です。
⑤	通知するメールの本文に、通知元のロボットのシリアルナンバー、ボックス名を追記するか、ON ／ OFF を設定します。

⑥	Pepper からの SMS 通知の ON ／ OFF を設定します。 ■ SMS 通知を使用する場合は、カスタマーサポートまでご連絡ください。 ■ SoftBank 回線からのみ利用できます。
⑦	通知先の電話番号を入力します。番号を削除する場合は × をクリックしてください。 ※入力できる電話番号は 1 件のみです。
⑧	通知する SMS の本文を入力します。 ※入力できる文言は最大 50 文字です。
⑨	通知する SMS の本文に、通知元のロボットのシリアルナンバー、お仕事名、ボックス名を追記するか、ON ／ OFF を設定します。

■ メモ画面の見かた



メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-19 移動ボックス

Pepper をあらかじめ指定した場所に移動させます。

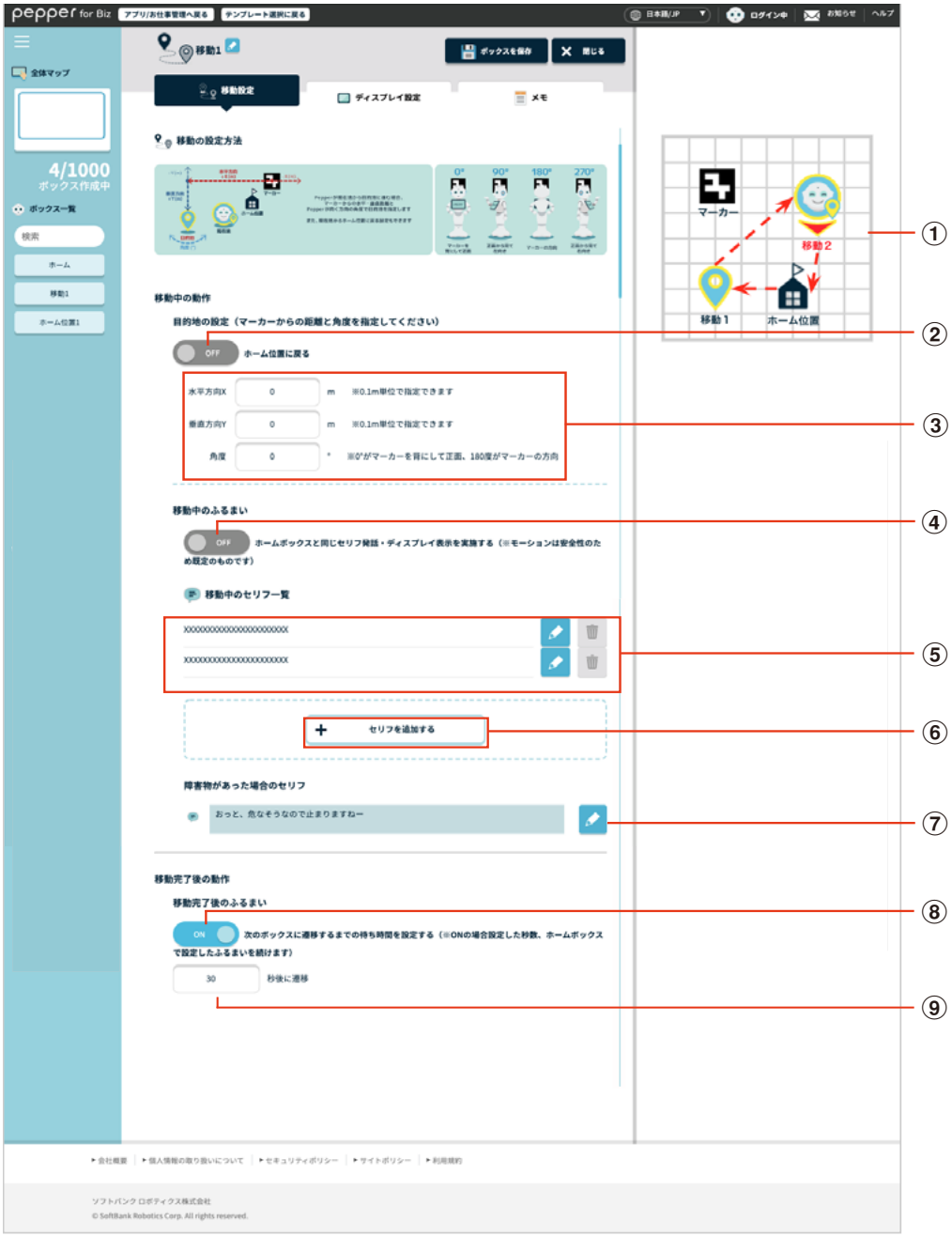
- あらかじめ「移動機能取扱説明書」の「1 移動機能利用時の注意事項について」を確認してから移動ボックスを使用してください。
- 移動ボックスの詳細は、「移動機能取扱説明書」を参照してください。



移動ボックス画面

番号	説明
①	ホーム位置マーカーからホーム位置までの距離と角度の設定や、移動中に Pepper が発話するセリフを編集します（「 移動設定画面の見かた」256 ページ参照）。
②	ディスプレイの設定を行います（「 ディスプレイ設定画面の見かた」258 ページ参照）。
③	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」259 ページ参照）。

■ 移動設定画面の見かた



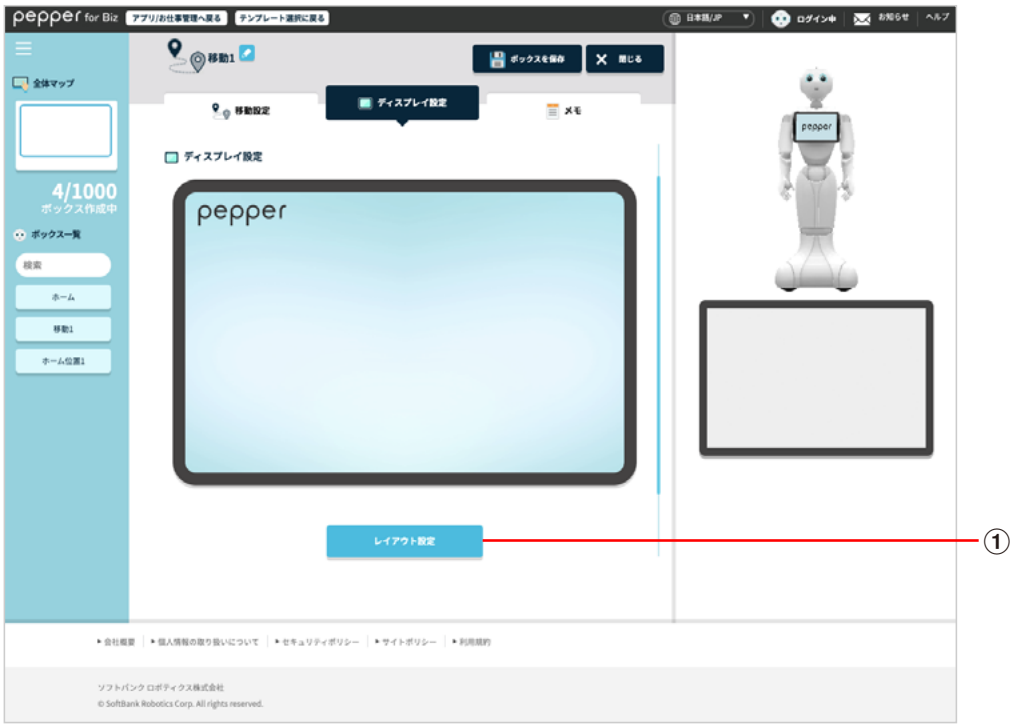
移動設定画面

番号	説明
①	③で入力した数値に合わせたホームマーカー、ホーム位置の配置のプレビューが表示されます。
②	お仕事終了後に Pepper をホーム位置に戻すか ON / OFF を設定します。 ホーム位置に戻す場合は、お仕事の最後に必ず移動ボックスでホーム位置に戻る設定を ON に設定した移動ボックスを追加してください。

③	ホーム位置マーカーからホーム位置までの距離と角度を設定します。 ■ 垂直方向 Y：+1m 以上、-1m 未満の値を入力してください。 ■ 角度：0° ～ 360° の値を入力してください。 ※距離は 0.1m 単位で入力できます。 ※ホーム位置マーカーからの距離が遠すぎたり、垂直方向が負の方向（Pepper がホーム位置マーカーよりも後ろにある状態）では、ホーム位置マーカーを認識しにくくなるためご了承ください。
④	ホームボックスと同じセリフ発話・ディスプレイ表示の実施の ON / OFF を設定します。
⑤	移動中に Pepper が発話するセリフが表示されます。セリフを編集するときは  、削除するときは  をクリックしてください。 ※入力できる文言は 200 文字以内です。
⑥	移動中に Pepper が発話するセリフを追加します。 ※追加できるセリフ数は 20 件までです。
⑦	移動中に障害物を検知したときに Pepper が発話するセリフを編集します。 ※入力できる文言は 200 文字以内です。
⑧	移動完了後の Pepper のふるまいを設定します。 設定が ON の場合：⑨で設定した秒数の間ホームボックスで設定した動作を続けます。 設定が OFF の場合：後続のボックスにすぐに遷移します。
⑨	移動した場所で一定時間ホームボックスで設定した挙動をさせたい場合に設定します。

- 最大稼働時間は満充電の状態で 11 時間までです。充電状態やバッテリーの状態によっては更に短くなる場合があります。
- ホーム位置から水平方向、垂直方向共に最大 20m まで移動が可能です。
- 目的地は 10 ｃｍ単位で設定ができますが、床の材質等によって誤差が生じることがあります。あらかじめご了承ください。

■ ディスプレイ設定画面の見かた



ディスプレイ設定画面

番号	説明
①	レイアウトを設定します。 ※各レイアウトにより推奨の画像サイズが異なるのでご注意ください。 詳細は 199 ページの「レイアウト設定時の画像サイズについて」を参照してください。

■ メモ画面の見かた



メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-7-20 ホーム位置ボックス

ホーム位置マーカーからホーム位置までの距離と角度を設定します。

- あらかじめ「移動機能取扱説明書」の「1 移動機能利用時の注意事項について」を確認してから移動ボックスを使用してください。
- 移動ボックスの詳細は、「移動機能取扱説明書」を参照してください。



ホーム位置ボックス画面

番号	説明
①	ホーム位置マーカーからホーム位置までの距離と角度を設定します（「 ホーム位置設定画面の見かた」261 ページ参照）。
②	メモ機能を利用します（「 メモ画面の見かた」262 ページ参照）。

■ ホーム位置設定画面の見かた

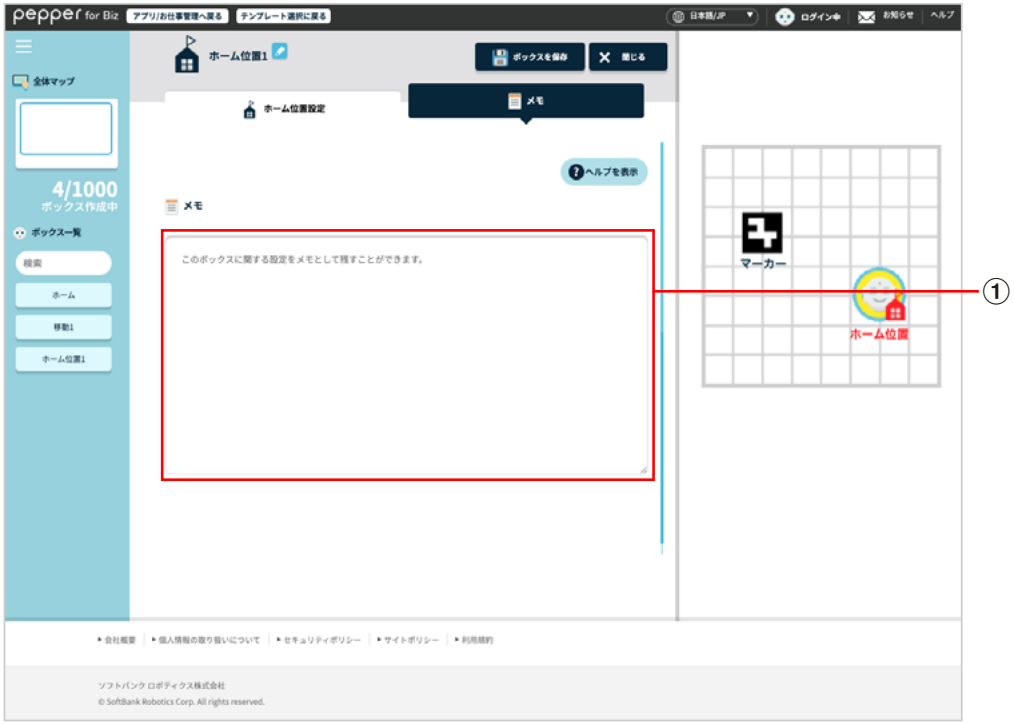


ホーム位置設定画面

番号	説明
①	③で入力した数値に合わせたホーム位置マーカー、ホーム位置の配置のプレビューが表示されます。
②	ホーム位置マーカーを作成したときに指定した ID を入力します。
③	ホーム位置マーカーからホーム位置までの距離と角度を設定します。 ■ 垂直方向 Y：+1m 以上、-1m 未満の値を入力してください。 ■ 角度：0° ～ 360° の値を入力してください。 ※距離は 0.1m 単位で入力できます。 ※ホーム位置マーカーからの距離が遠すぎたり、垂直方向が負の方向（Pepper がホーム位置マーカーよりも後ろにある状態）では、ホーム位置マーカーを認識しにくくなるためご了承ください。

■ Pepper は、お仕事を開始するときにホーム位置マーカーを探してホーム位置を認識します。あらかじめ Pepper をホーム位置マーカーから 1m 程度離れた場所に設置してください。
※ Pepper の顔がホーム位置マーカーの方を向くように設置してください。

■ メモ画面の見かた



メモ画面

番号	説明
①	メモを書けます。ボックスについてのメモなどを残しておくと便利です。

7-8 お仕事の管理

7-8-1 お仕事データをダウンロードする

作成したお仕事のデータをダウンロードすることができます。ダウンロードしたデータは、新しいお仕事作成時にインポートすることができます。

1 お仕事編集画面（「7-6-1 お仕事の編集について」 144 ページ参照）で「高度な操作」をクリック

メニューが表示されます。



2 「お仕事データのダウンロード」をクリック



3 「はい」をクリック



4 画面に従ってファイルを保存する

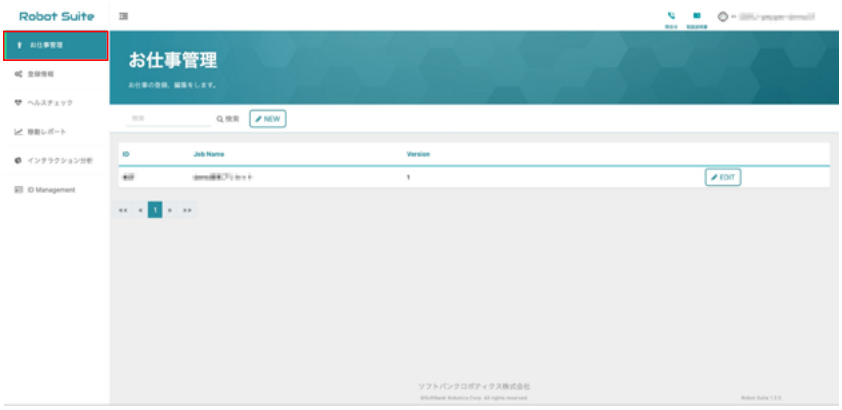
データのダウンロードが完了します。

7-8-2 データをインポートしてお仕事を作成する

ダウンロードしたお仕事の内容をインポートして、新しくお仕事を作成します。

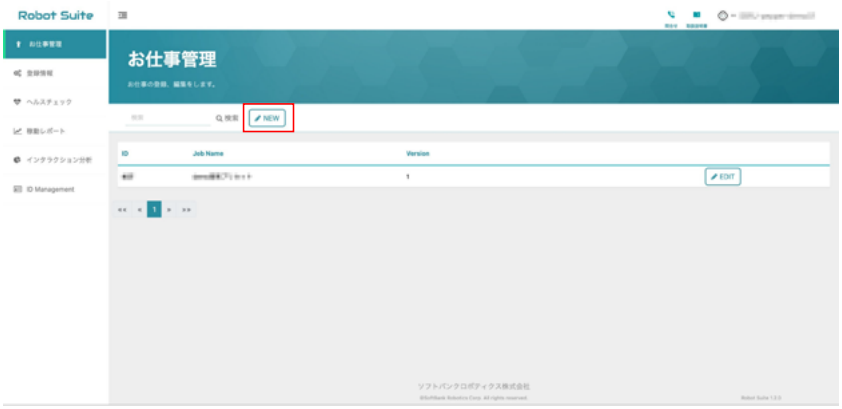
1 Robot Suite で「お仕事管理」をクリック

お仕事管理画面が表示されます。

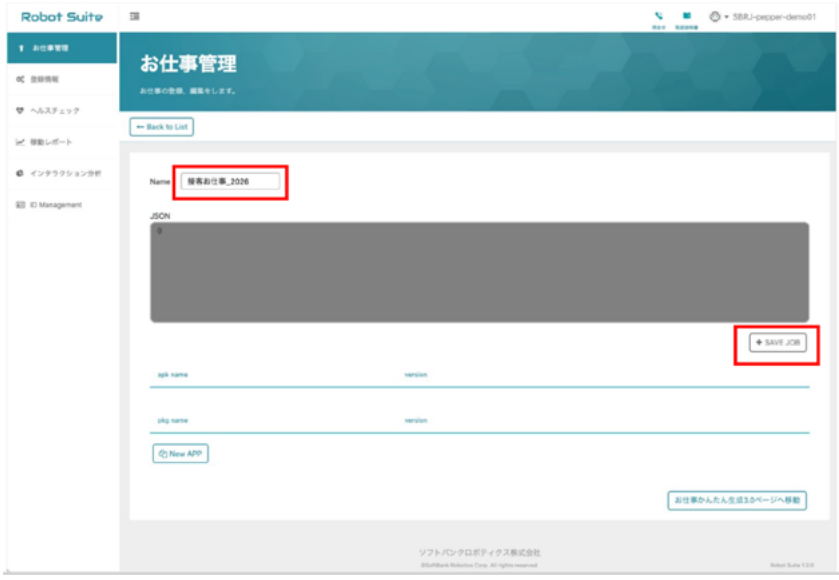


2 「NEW」をクリック

お仕事作成画面が表示されます。



3 Name にお仕事名を入力し、「SAVE JOB」をクリック

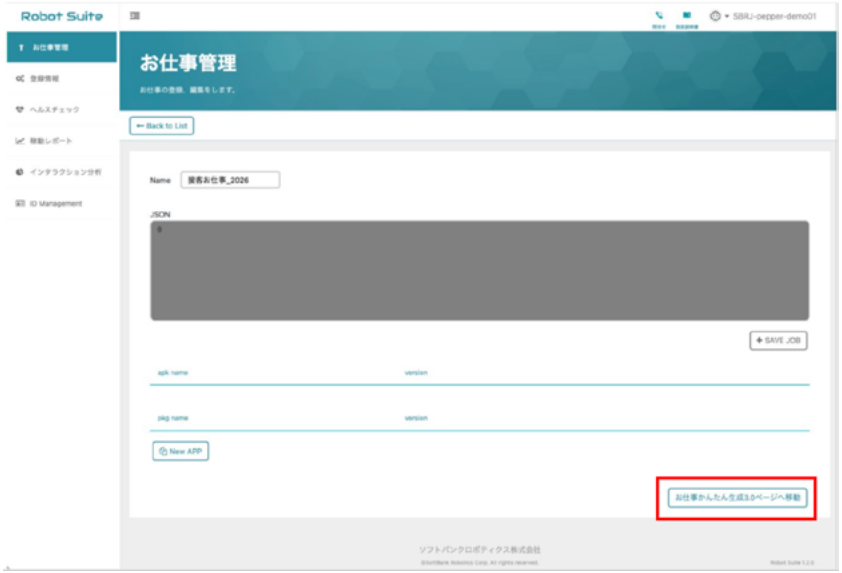


4 確認画面で「OK」をクリック



5 「お仕事かんたん生成 3.0 ページへ移動」をクリック

お仕事かんたん作成 3.0 のトップページが表示されます。



6 「インポートしてつくる」をクリック



7 「ファイルを参照」をクリック



8 ファイルを選択する

9 「インポート」をクリック

インポートが完了し、お仕事編集画面が表示されます。



10 「保存する」をクリック

作成したお仕事が保存されます。



11 「閉じる」をクリック



12 「アプリ / お仕事管理へ戻る」をクリック

Robot Suite へ移動して、ロボットへお仕事の配信を行います。



7-9 Pepper 側でお仕事が更新されるタイミング

Robot Suite で作成したお仕事が更新された場合、Pepper には次のタイミングで反映されます。

- お仕事選択画面でお仕事を選択したとき
- Pepper 起動時に選択済みのお仕事に変更があったとき
- 日付が変わった際に選択済みのお仕事に変更があったとき

7-10 Pepper が実行するアプリ／お仕事の設定

7-10-1 起動時にアプリを実行するように設定する

Pepper 起動時に実行するアプリを設定します。

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「お仕事選択」をタッチ

お仕事リスト設定画面が表示されます。

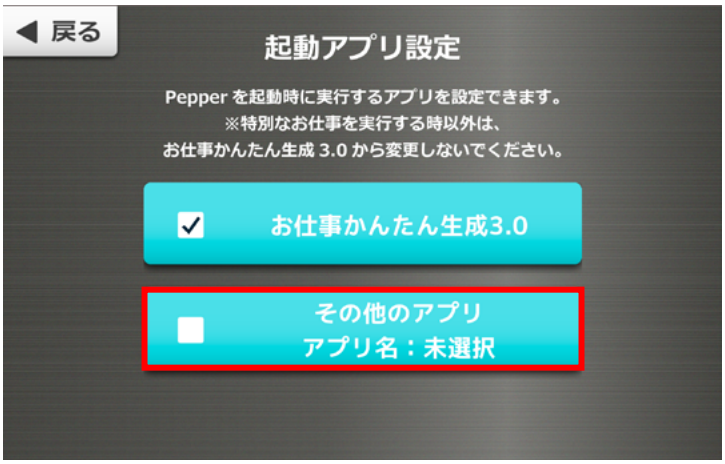


2 「起動アプリ設定」をタッチ

起動アプリ設定画面が表示されます。



3 「その他のアプリ」をタッチ



4 アプリをタッチ

設定が完了します。

■ 続けてアプリを実行する場合は 274 ページの「7-10-4 アプリ／お仕事を実行する」を参照してください。



7-10-2 起動時にお仕事かんたん生成 3.0 でお仕事を実行するように設定する

Pepper 起動時にお仕事かんたん生成 3.0 でお仕事を実行する設定をします。

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「お仕事選択」をタッチ

お仕事リスト設定画面が表示されます。



2 「起動アプリ設定」をタッチ

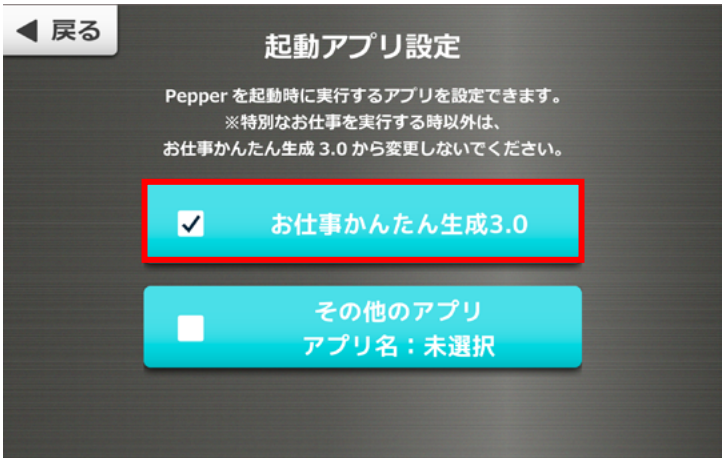
起動アプリ設定画面が表示されます。



3 「お仕事かんたん生成 3.0」をタッチ

設定が完了します。

■ 続けてお仕事を実行する場合は 274 ページの「7-10-4 アプリ／お仕事を実行する」を参照してください。



7-10-3 Pepper が実行するお仕事を設定する

Pepper に割り当てられているお仕事の中から、実行するお仕事を設定します。

■ 必ずネットワークに接続してからお仕事を設定してください。

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「お仕事選択」をタッチ

お仕事リスト設定画面が表示されます。



2 使用したいお仕事をタッチ

タッチしたお仕事がチェックされ、お仕事が設定されます。

■ ネットワーク環境により、お仕事のダウンロードに 10 分～ 30 分程度かかる場合があります。

■ 続けてお仕事を実行する場合は 274 ページの「7-10-4 アプリ／お仕事を実行する」を参照してください。



7-10-4 アプリ／お仕事を実行する

設定したアプリ／お仕事（「7-10-3 Pepper が実行するお仕事を設定する」273 ページ参照）を実行します。選択したお仕事に印刷ボックス（「7-7-13 印刷ボックス」232 ページ参照）が含まれる場合は、お仕事を実行する前にプリンタ設定を行ってください（「4-5-3 プリンタを設定する」62 ページ参照）。

- お仕事が実行されると Pepper は人の検知を行います。検知中に人が Pepper の背後などにいると、Pepper の向きがお仕事を実行する前と変わることがあります。お仕事を実行する前の向きのまま使用する場合は、お仕事を実行する前に充電フラップを開けてください（「2-4-5 充電フラップ」32 ページ参照）。

1 Pepper 本体の管理メニュー画面で「終了」をタッチ



2 「START!」をタッチ

設定したお仕事を開始します。



7-11 利用上のご注意について

「規約・重要事項」については、下記 URL でご確認ください。

■ Pepper+（接客向け）

https://jp.softbankrobotics.com/hubfs/Pepper/pdf/pepper-plus/pepper-plus_terms_of_use.pdf?hsLang=ja-jp

■ Pepper+（介護向け）

https://jp.softbankrobotics.com/hubfs/Pepper/pdf/pepper-plus_care/pepper-plus_care_terms_of_use.pdf

8 Pepper の管理

8-1 Pepper をお手入れする

Pepper は、使用していくうちにほこりや汚れが付着します。定期的にお手入れをしてください。
安全を確保し、Pepper の損傷を防ぐためにも次の手順はしっかりと行ってください。

1 Pepper からすべてのケーブルを取り外す

2 コンセントから充電器を取り外す

3 Pepper の電源を切る（「4-2-2 胸部ボタンを使って電源を切る」46 ページ参照）

4 水を含ませてからよく絞った柔らかい布で、表面に付着したほこりや汚れを拭き取る

- レーザーやカメラ、その他センサーに付着したほこりや汚れも拭き取ってください。ほこりなどが付着していると、Pepper の正常な動作を妨げることがあります

5 柔らかい布で乾拭きする

- Pepper が完全に乾いたのを確認してから、電源を入れてください。
- 研磨剤やアンモニアを含む液体等を使用しないでください。引火性物質を含んでいたり、Pepper の表面を傷付けたりすることがあります。また、Pepper にスプレーをかけたり、水などの液体に Pepper をつけたりしないでください。
- 消毒等でアルコールを使用する際は、イソプロピルアルコールベースの消毒用ワイプを使用し、開口部などから内部に液体が入らないようにご注意ください。
- 分解（Pepper の頭やパーツを取り外すなど）はしないでください。Pepper 内部のお手入れは必要ありません。

■ 充電器をお手入れする

プラグにほこりがついたときは、必ずコンセントから充電器を抜いてから、乾いた布などで拭き取ってください。

8-2 Pepper の移動方法

Pepper を移動するときは、Pepper の損傷を防ぐためにも必ず次の手順に従ってください。電源 ON 時と OFF 時とで手順が異なるので、ご注意ください。

8-2-1 Pepper の姿勢を整える

Pepper をセーフレストの姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）に整えます。Pepper を移動する必要があるとき、転倒したときなどはセーフレストの姿勢に整えてください。
※ Pepper がレスト状態、およびスリープ状態のときは自動的にセーフレストの姿勢になります

1 充電プラグが Pepper から外れていることを確認する

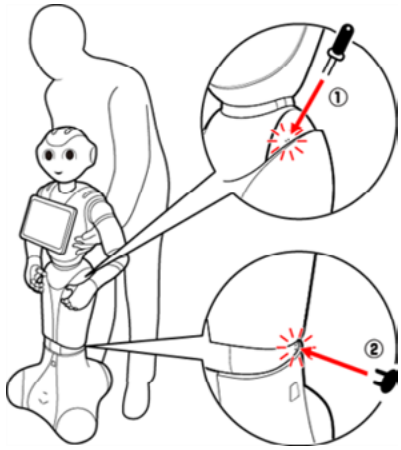
2 Pepper の電源を切る（「4-2-2 胸部ボタンを使って電源を切る」46 ページ参照）

3 緊急停止ボタン（「4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」47 ページ参照）を押す

- Pepper を移動中に誤って胸部ボタンを押してしまう場合に備えて、安全のために緊急停止ボタンを押してください。

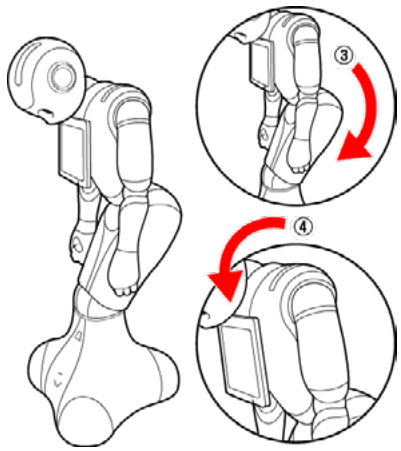
4 Pepper をしっかりと支えながら、腰／ひざのピン（「2-4-9 ピン（腰／ひざ用）」36 ページ参照）を取り付ける（① ②）

- ピンを取り付けた状態は、腰／ひざが自由に動き、転倒する恐れがありますのでご注意ください。Pepper は重いのでしっかりと支えてください。



5 Pepper の姿勢が安定するまで Pepper の腰を後方に引く（③）

6 Pepper の姿勢が安定するまで Pepper の肩を前方に押して、セーフレストの姿勢にする（④）（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）



7 腰／ひざのピンを取り外す（「2-5-1 ピンを取り外す」38 ページ参照）

8 Pepper の首の後ろの柔らかいカバーを開けて、緊急停止を解除する（「4-2-4 緊急停止を解除する」48 ページ参照）

■ ボタンを軽く右に回し、「ポン」と浮くことを確認してください。

9 電源を入れる（「4-2-1 電源を入れる」45 ページ参照）

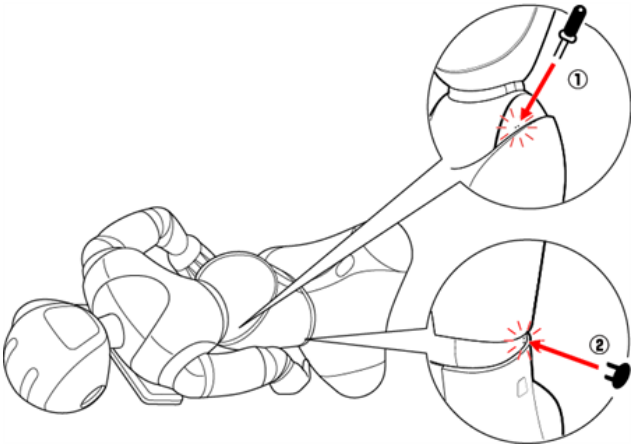
8-2-2 Pepper が転倒した場合

1 柔らかいカバーの上から緊急停止ボタンを押す（「4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」47 ページ参照）

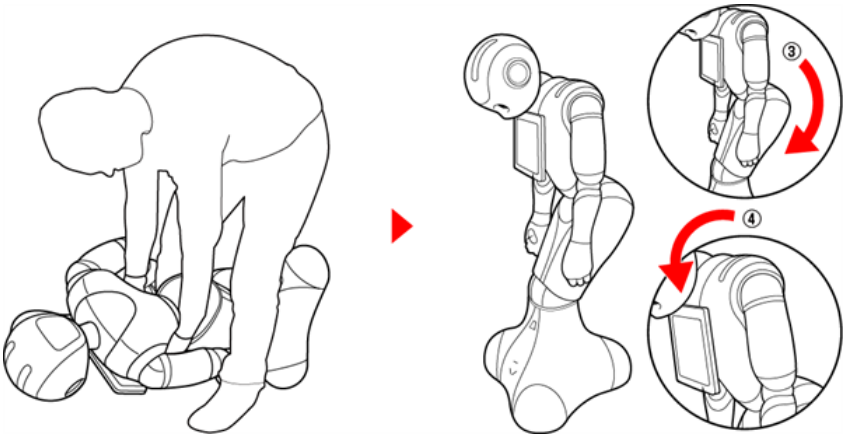
2 充電プラグが Pepper から外れていることを確認する

3 Pepper が倒れている状態で、腰／ひざにピンを取り付ける（① ②）

■ ピンを取り付けると腰／ひざが自由に動くのでご注意ください。Pepper は重いのでしっかりと支えてください。



4 下図のように Pepper をまたぎ、持ち上げてセーフレストの姿勢にする（③ ④）（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）



5 腰／ひざのピンを取り外す（「2-5-1 ピンを取り外す」38 ページ参照）

6 緊急停止を解除する（「4-2-4 緊急停止を解除する」48 ページ参照）

7 電源を入れる（「4-2-1 電源を入れる」45 ページ参照）

8-2-3 Pepper を移動する（電源 ON 時）

1 充電プラグが Pepper から外れていることを確認する

2 胸部ボタン（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）を2回押して、レスト状態にする

■ Pepper がセーフレストの姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）になります。

3 充電フラップ（「2-4-5 充電フラップ」32 ページ参照）を開ける

4 下図のように肩に手を置き、もう一方の手をおしりにあてる



5 Pepper を目的の場所まで押す

6 胸部ボタン（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）を2回押して、レスト状態を解除する

■ Pepper の関節が固定されて基本姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）に戻ります。

7 充電フラップを閉める

■ Pepper の関節が固定されて基本姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）に戻ります。

■ Pepper を持ち上げる必要がある場合は、Pepper を持ち上げる 283 ページの「8-2-5 Pepper を持ち上げる」を参照してください。床に置くときは、静かに下ろしてセーフレストの姿勢にしてください（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）。

8-2-4 Pepper を移動する（電源 OFF 時）

1 Pepper の電源が切れていることを確認する

- 目、耳、肩の LED ランプが消灯していること、Pepper の頭を触っても動かないことを確認してください。

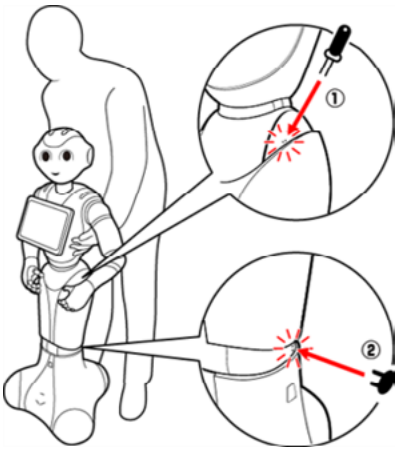
2 充電プラグが Pepper から外れていることを確認する

3 柔らかいカバーの上から緊急停止ボタンを押す（「4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」47 ページ参照）

- Pepper を移動中に誤って胸部ボタンを押してしまう場合に備えて、安全のために緊急停止ボタンを押してください。
- Pepper がセーフレストの姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）にならない場合は手順 4、セーフレストになる場合は手順 8 へ進んでください。

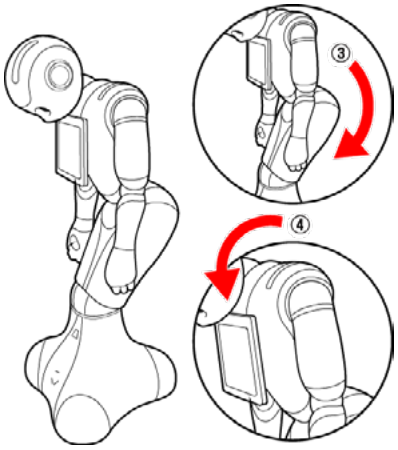
4 Pepper をしっかりと支えながら、腰／ひざのピン（「2-4-9 ピン（腰／ひざ用）」36 ページ参照）を取り付ける（① ②）

- ピンを取り付けた状態では、腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。Pepper は重いのでしっかりと支えてください。



5 Pepper の姿勢が安定するまで Pepper の腰を後方に引く（③）

6 Pepper の姿勢が安定するまで Pepper の肩を前方に押して、セーフレストの姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）にする（④）



7 腰／ひざのピンを取り外す（「2-5-1 ピンを取り外す」38 ページ参照）

8 下図のように肩に手を置き、もう一方の手をおしりにあてる

■ 腰 / ひざのピンを取り外したことを確認してください。



9 Pepper を目的の場所まで押す

10 Pepper の首の後ろの柔らかいカバーを開けて、緊急停止を解除する（「4-2-4 緊急停止を解除する」48 ページ参照）

■ ボタンを軽く右に回し、「ポン」と浮くことを確認してください。

11 電源を入れる（「4-2-1 電源を入れる」45 ページ参照）

■ Pepper を持ち上げる必要がある場合は、Pepper を持ち上げる 283 ページの「8-2-5 Pepper を持ち上げる」を参照してください。床に置くときは、静かに下ろしてセーフレストの姿勢にしてください（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）。

8-2-5 Pepper を持ち上げる

1 充電プラグが Pepper から外れていることを確認する

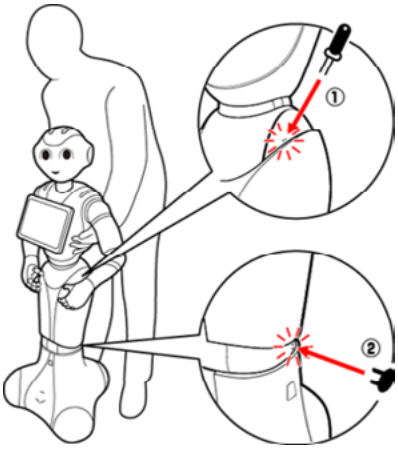
2 Pepper の電源を切る（「4-2-2 胸部ボタンを使って電源を切る」46 ページ参照）

3 柔らかいカバーの上から緊急停止ボタンを押す（「4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」47 ページ参照）

- Pepper を移動中に誤って胸部ボタンを押してしまう場合に備えて、安全のために緊急停止ボタンを押してください。

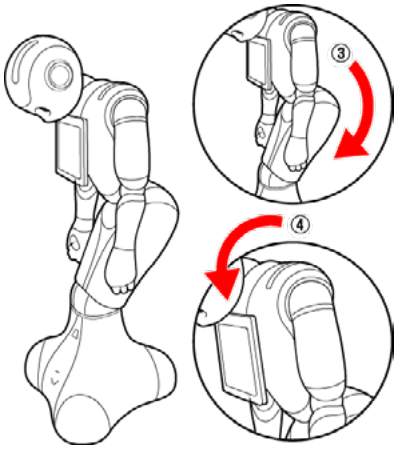
4 Pepper をしっかりと支えながら、腰／ひざのピン（「2-4-9 ピン（腰／ひざ用）」36 ページ参照）を取り付ける（① ②）

- ピンを取り付けると腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。Pepper は重いのでしっかりと支えてください。



5 Pepper の姿勢が安定するまで Pepper の腰を後方に引く（③）

6 Pepper の姿勢が安定するまで Pepper の肩を前方に押して、セーフレストの姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）にする（④）



7 腕の下に手を入れて持ち上げ、移動させる

- 床に置くときは、静かに下ろしてセーフレストの姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）にしてください。

8 腰／ひざのピンを取り外す（「2-5-1 ピンを取り外す」38 ページ参照）

9 Pepper の首の柔らかいカバーを開けて、緊急停止を解除する（「4-2-4 緊急停止を解除する」48 ページ参照）

10 電源を入れる（「4-2-1 電源を入れる」45 ページ参照）

8-2-6 Pepper を梱包する

輸送の必要がある場合などは、次の手順に従って梱包してください。

■ 必要に応じて 2 名で行ってください。

1 充電プラグが Pepper から外れていることを確認する

2 Pepper の電源を切る（「4-2-2 胸部ボタンを使って電源を切る」46 ページ参照）

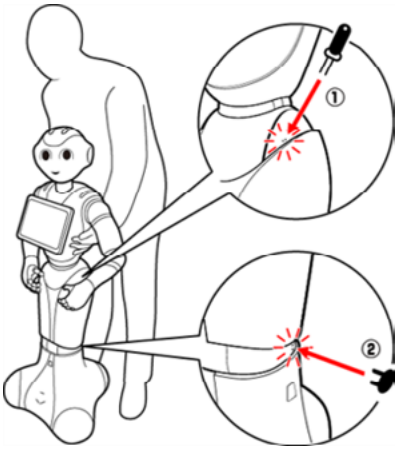
■ 電源が切れると、Pepper は自動的にセーフレストの姿勢になります。

3 緊急停止ボタンを押す（「4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」47 ページ参照）

■ Pepper を移動中に誤って胸部ボタンを押してしまう場合に備えて、安全のために緊急停止ボタンを押してください。

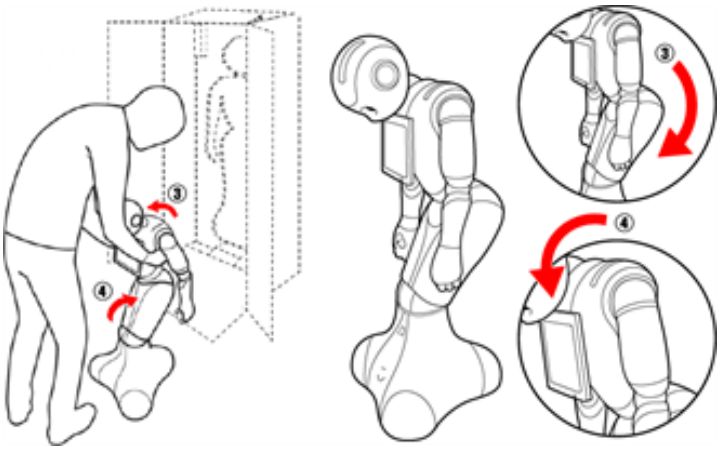
4 Pepper をしっかりと支えながら、腰／ひざのピン（「2-4-9 ピン（腰／ひざ用）」36 ページ参照）を取り付ける（① ②）

■ ピンを取り付けると腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。Pepper は重いのでしっかりと支えてください。



5 Pepper の姿勢が安定するまで Pepper の腰を後方に引く（③）

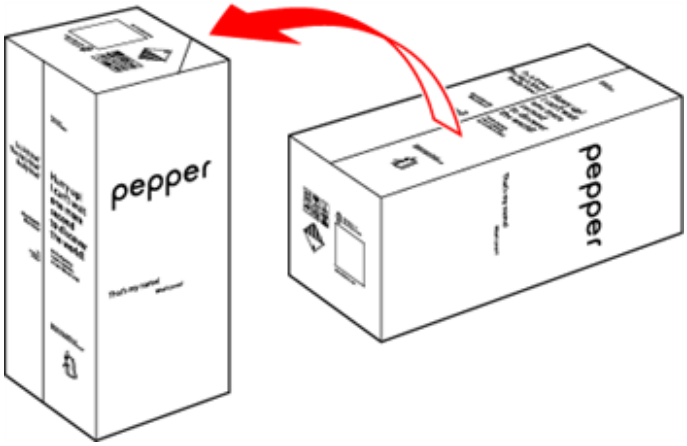
6 Pepper の姿勢が安定するまで Pepper の肩を前方に押して、セーフレストの姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）にする（④）



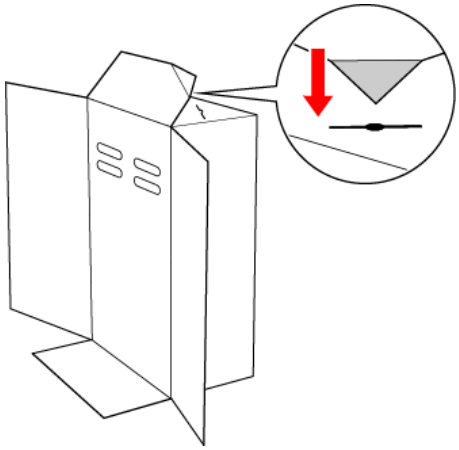
7 充電フラップ（「2-4-5 充電フラップ」32 ページ参照）が閉じているか確認する

8 箱を起こす

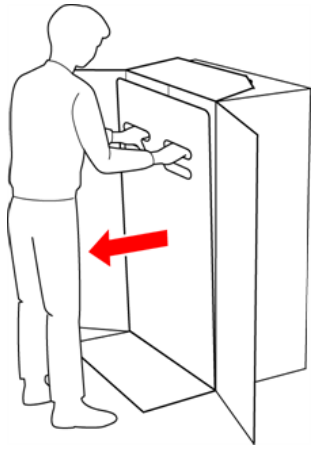
■ 上下の向きが正しいことを確認してください。



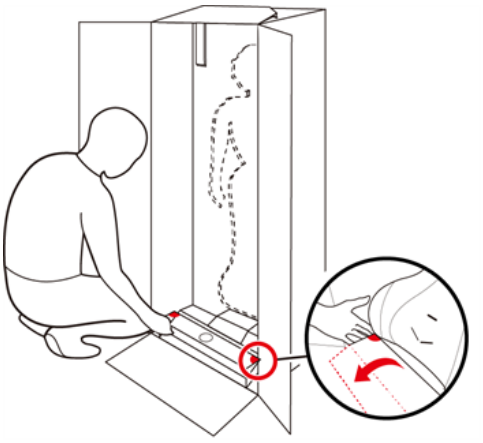
9 箱を開け、上側のふたを箱の上面の切れ込みに差し込む



10 内ぶたを取り外す



11 スロープを広げる



12 Pepper の脇の下から抱きかかえるように持ち上げて、Pepper の底部から箱に入れる

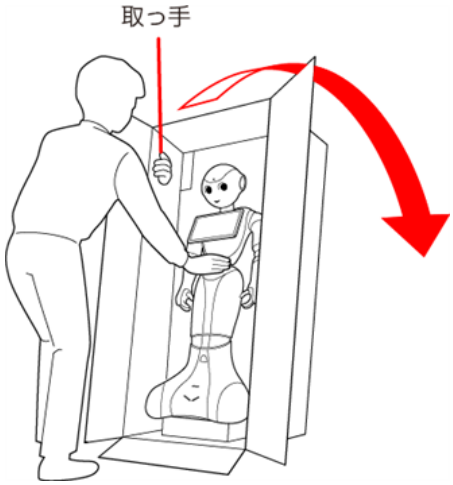
■ 底部が入ったら、脚部、上半身の順に緩衝材の奥に入れてください。



13 スロープをしまう

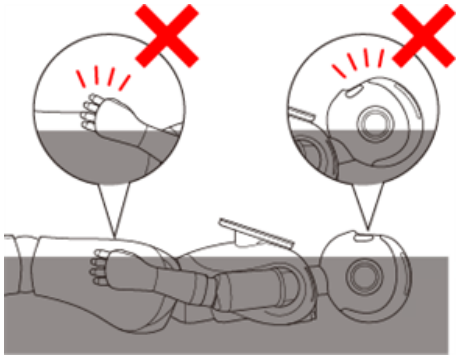
14 取っ手に手を入れ、Pepper を押さえながら箱を倒す

■ 箱を倒す際はけがの無いよう十分注意し、ゆっくりと倒してください。また、勢いよく倒すと Pepper が破損する原因となりますので、注意してください。

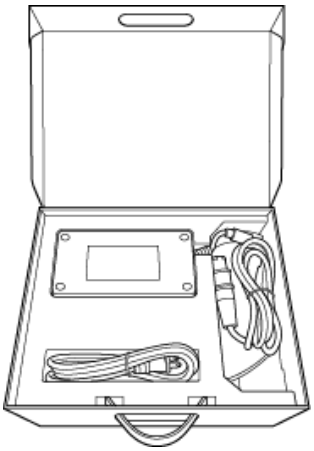


15 頭／腕を緩衝材の奥まで入れる

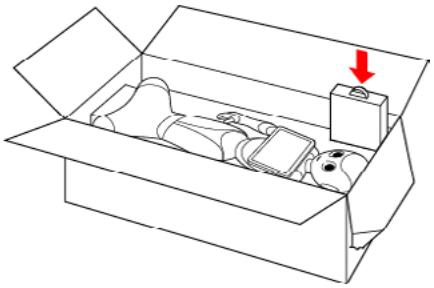
■ 頭／腕が緩衝材に収まるまで、しっかり押し込んでください。奥まで入っていないと正しく梱包されず、Pepper の破損の原因となることがあります。



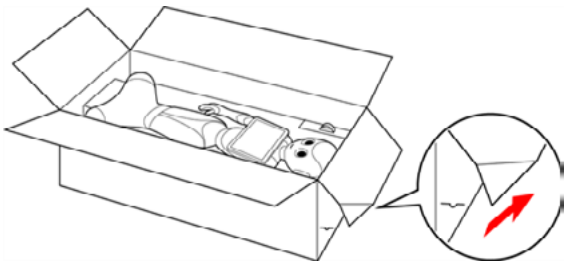
16 充電器をアクセサリーボックスに入れる



17 アクセサリーボックスを箱に入れる

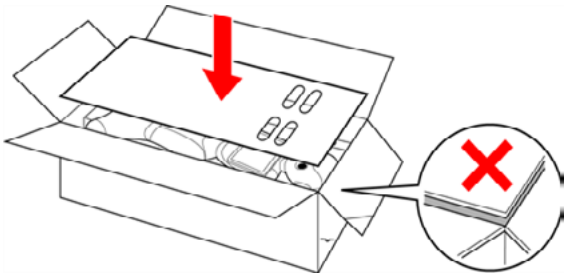


18 箱の上面の切れ込みに差し込んだ上側のふたを元に戻す

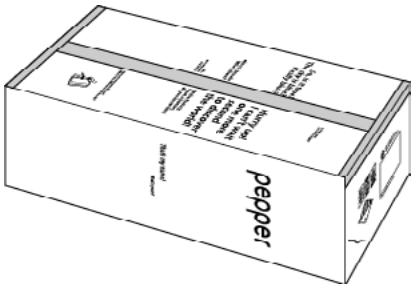


19 内ぶたをかぶせる

■ 内ぶたが箱の上面より浮いていないか確認してください。
内ぶたが浮いているときは、Pepper が緩衝材の奥まで入っていません。Pepper を正しく収納してから、再度内ぶたをかぶせてください。



20 箱のふたを閉めて、梱包用テープを貼る



8-3 Pepper が濡れたとき

Pepper は、水に濡れると感電の恐れがあり、大変危険です。ここでは、Pepper が水に濡れたときの対処方法について説明します。

8-3-1 Pepper の表面が濡れたとき

1. **すべてのケーブルを Pepper から取り外し、充電器をコンセントから取り外す**
2. **緊急停止ボタンを押す（「4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」47 ページ参照）**
3. **乾いた柔らかいタオルなどで、表面に付着した液体を拭き取る**
4. **乾いたことを確認し、緊急停止を解除する（「4-2-4 緊急停止を解除する」48 ページ参照）**

8-3-2 Pepper の内部に液体が入ったとき

1 すべてのケーブルを Pepper から取り外し、充電器をコンセントから取り外す

2 緊急停止ボタンを押す（「4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」47 ページ参照）

3 乾いた柔らかいタオルなどで、表面に付着した液体を拭き取り、自然乾燥させる

4 カスタマーサポートに連絡する

- Pepper 内部に液体が入っている状態で電源を入れると大変危険です。Pepper 内部に液体が入っていないことが確認できない場合は、電源を入れないでください。

8-3-3 充電器が濡れたとき

1 コンセントにつながっているときは、ブレーカーを落とす

2 充電器を Pepper とコンセントから取り外す

3 乾いた柔らかいタオルなどで、充電器に付着した液体を拭き取り、自然乾燥させる

4 カスタマーサポートに連絡する

- 充電器内部に液体が入っていないことが確認できない場合は、充電器を利用しないでください。
- 濡れた手で充電器を接続／接断しないでください。
- 濡れた電源プラグをコンセントから取り外すときは、特に注意してください。
- オーブンやドライヤーなどで乾燥させないでください。
- 液体が Pepper のカバー内部に入ると、回路がショートして故障の原因となります。
- 水濡れによる破損／故障は保証対象外となります。

8-4 Pepper を保管する

安全を確保し、Pepper の損傷を防ぐためにも次の手順はしっかりと行ってください。

8-4-1 Pepper を保管場所に収納する

■ 必要に応じて 2 名で行ってください。

1 充電プラグが Pepper から外れていることを確認する

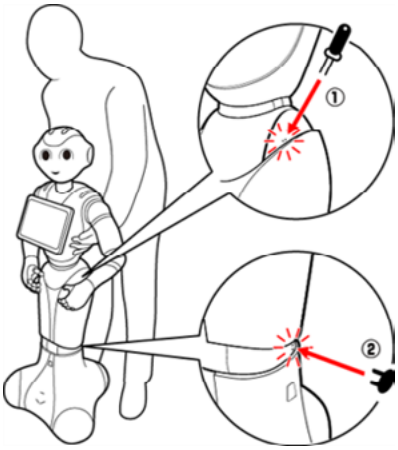
2 Pepper の電源を切る（「4-2-2 胸部ボタンを使って電源を切る」46 ページ参照）

3 緊急停止ボタンを押す（「4-2-3 緊急停止ボタンを使って電源を切る」47 ページ参照）

■ Pepper を移動中に誤って胸部ボタンを押してしまう場合に備えて、安全のために緊急停止ボタンを押してください。

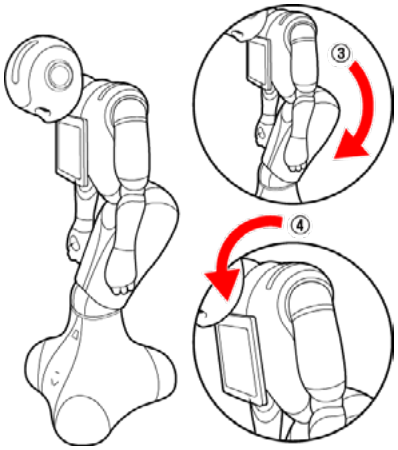
4 Pepper をしっかりと支えながら、腰／ひざのピン（「2-4-9 ピン（腰／ひざ用）」36 ページ参照）を取り付ける（① ②）

■ ピンを取り付けると腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。Pepper は重いのでしっかりと支えてください



5 安定するまで Pepper の腰を後方に引く（③）

6 安定するまで Pepper の肩を前方に押して、セーフレストの姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）にする（④）

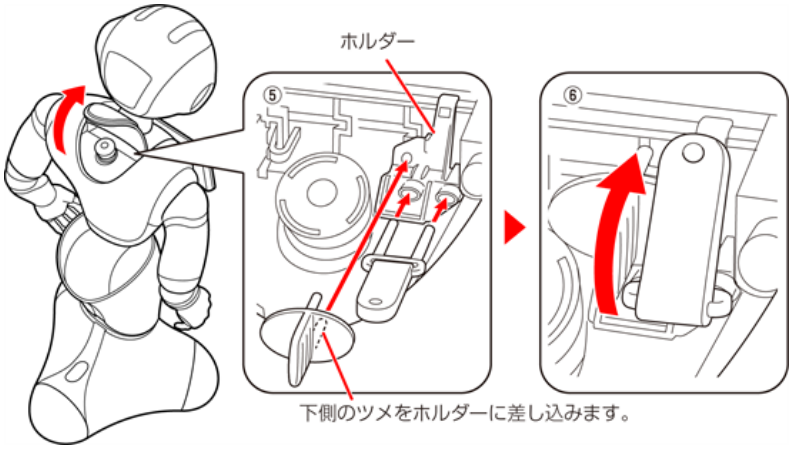


7 保管場所に Pepper を移動する（「8-2-4 Pepper を移動する（電源 OFF 時）」281 ページ参照）

8 腰／ひざのピンを取り外す（「2-5-1 ピンを取り外す」38 ページ参照）

9 Pepper の首の後ろの柔らかいカバーを開け、腰／ひざのピンを収納する

- カバーは柔らかいゴム製です。カバー下部の隙間に指先を入れて下から上に持ち上げてください。
- ピンをホルダーにしっかりと差し込み（⑤）、腰のピン（金属）のタグを上に折りたたんでください（⑥）。



10 Pepper（特に底部のセンサー）にほこりが付着しないように保管する

- Pepper を長期間使用しないときは、周囲温度が 0 ～ 45℃内の、ほこりのない乾燥した場所で保管してください。
- 内蔵バッテリーの安全仕様により、内蔵バッテリーが低電圧になると安全ロックがかかります。安全ロックが一度かかると新しい内蔵バッテリーに交換する必要があります。安全ロックがかかる前に、1 週間を目安に定期的に充電してください。
  また、満充電状態で放置した場合は 3 ヶ月を目安に充電してください。
- 3 ヶ月を超えて放置すると電池が完全放電し、使用できなくなることがあります。
- 完全放電によって安全ロックが掛かった場合は、Pepper の修理・交換が必要となり、有償での対応となります。

8-4-2 Pepper を保管場所から取り出す

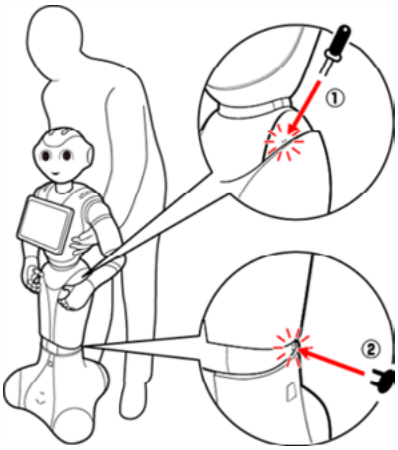
■ 必要に応じて 2 名で行ってください。

1 セーフレストの姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）であることを確認する

■ セーフレストの姿勢になっていないときは、セーフレストの姿勢にしてください。

2 Pepper をしっかりと支えながら、腰／ひざのピン（「2-4-9 ピン（腰／ひざ用）」36 ページ参照）を取り付ける（① ②）

■ ピンを取り付けると腰／ひざが自由に動き転倒する恐れがありますのでご注意ください。Pepper は重いのでしっかりと支えてください。



3 保管場所から使用場所に Pepper を移動する(「8-2-4 Pepper を移動する(電源 OFF 時)」281 ページ参照)

4 腰／ひざからピンを取り外す（「2-5-1 ピンを取り外す」38 ページ参照）

5 Pepper の首の後ろの柔らかいカバーを開け、ピンを収納する

6 緊急停止を解除する（「4-2-4 緊急停止を解除する」48 ページ参照）

9 付録

9-1 仕様

項目	説明
使用温度範囲（Pepper）	5℃～ 35℃
サイズ（高さ）	120cm
重量	29kg
充電器サイズ（奥行き × 高さ × 幅）	204×45×104（mm）
電源ケーブルの長さ	1.75m
充電器重量（電源ケーブル含む）	1.36kg
充電器電源	100 ～ 240V AC
充電器出力電圧	29.2V DC（満充電時）
充電器出力電流	8.0A
使用温度範囲（充電器）	-5℃～ +40℃

9-2 通知情報一覧

LED ランプ（肩）（「2-4-7 LED ランプ（肩）」34 ページ参照）が赤色または黄色に変わったときは、Pepper からお知らせがあります。胸部ボタン（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）を 1 度押すと Pepper からお知らせを聞くことができます。詳細は以下をご確認の上、対処方法をお試しください。

通知番号	通知内容	対策
10	ソフトの更新をキャンセルしちゃいました。ボクのどこかに問題があるようです。 今のバージョンは、◯◯です。	再起動して、もう一度アップデートを実行してください。
11		
100	イエーイ！ソフトの更新に成功しました！ 今のバージョンは、◯◯です。	ー
101	ソフトの更新をキャンセルしちゃいました。何だか、ボクとの相性がよくないみたいです。 今のバージョンは、◯◯です。	再起動してください。
102		
103		
104	ソフトの更新をキャンセルしちゃいました。何だか、ボクとの相性がよくないみたいです。 今のバージョンは、◯◯です。	再起動して、もう一度アップデートを実行してください。
105	ソフトの更新をキャンセルしちゃいました。ボクのどこかに問題があるようです。 今のバージョンは、◯◯です。	再起動してください。 それでも解決しない場合はハードウェアの異常の可能性があるため、カスタマーサポートに連絡してください。
110	ソフトの更新ができませんでした。もう一度、お願いします！	ファイルの書き込みに失敗しました。アップデートして下さい。
111		ソフトウェアの更新に失敗しました。再試行してください。

204	あれ?覚えていたことが、ちょっと思い出せません。記憶力がちょっと低下しちゃってるようなので、ボクを再起動して「シャキッ!」とさせちゃって下さい。	再起動してください。
205	あれ?覚えていたことが、ちょっと思い出せません。記憶力がちょっと低下しちゃってるようなので、ボクを再起動して「シャキッ!」とさせちゃって下さい。	
214	あれ?覚えていたことが、ちょっと思い出せません。記憶力がちょっと低下しちゃってるようなので、ボクを再起動して「シャキッ!」とさせちゃって下さい。	
215	あれ?覚えていたことが、ちょっと思い出せません。記憶力がちょっと低下しちゃってるようなので、ボクを再起動して「シャキッ!」とさせちゃって下さい。	
400	いつものボクじゃないみたいです。どうやら、今のソフトはボクには合わないようです。ボクが使えるソフトに更新してもらえますか?	
401	いつものボクじゃないみたいです。どうやら、今のソフトのバージョンは古いようです。今のボクにピッタリの最新のソフトに更新して下さい!	最新のソフトウェアをダウンロードし、再起動してください。
402	いつものボクじゃないみたいです。どうやら、今のソフトのバージョンはボクには新し過ぎます。今のボクにピッタリのソフトに更新して下さい!	再起動してください。
404	いつものボクじゃないみたいです。ボクを再起動して「シャキッ!」とさせちゃって下さい。	一度電源を切り、胸部ボタンを長押し（5 秒以上）して起動してください。
405	一部のファームウェアを更新しました。ちゃんと使えるようにするためにボクを再起動させてください!	再起動してください。

9-2-1 本機の診断

<table>
<tr><th>通知番号</th><th>通知内容</th><th>対策</th></tr>
<tr><td>500</td><td>あれ?クラウドに接続できなくなっちゃいました。説明書のお問い合わせ先に連絡してもらえませんか?</td><td>カスタマーサポートに連絡してください。</td></tr>
<tr><td>501</td><td>あれ?クラウドに接続できなくなっちゃいました。ネットにつながってるか確かめてから、ボクを再起動させて下さい!</td><td>ネットワーク接続を確認して再起動してください。</td></tr>
<tr><td>600</td><td>このポーズだと危ないので、ボクをサポートしてください。</td><td>姿勢が不安定なので、胸部ボタン（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）を2度押し、一度セーフレストの状態にして下さい。もう一度胸部ボタンを2度押すと、基本姿勢（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）に戻ります。</td></tr>
<tr><td>710</td><td>ごめんなさい。これ以上、動けなくなっちゃいました。◯◯つの部分が調子が悪いみたいです。◯◯。ボクを再起動して「シャキッ!」とさせちゃって下さい。</td><td rowspan="5">一度電源を切り、胸部ボタンを長押し（5 秒以上）して再起動してください。</td></tr>
<tr><td>711</td><td>あれれ?◯◯つの部分が調子が悪いみたいです。◯◯。ボクを再起動して「シャキッ!」とさせちゃって下さい。</td></tr>
<tr><td>712</td><td rowspan="3">あれれ?ボクの体がちょっと、おかしいみたいです。ボクを再起動して「シャキッ!」とさせちゃって下さい。</td></tr>
<tr><td>713</td></tr>
<tr><td>714</td></tr>
</table>

720	◯◯の部分がちょっと疲れてきました。動けなくなっちゃったら、ごめんなさい。	電源を切ってから、30 分以上休ませてください。 それでも解決しない場合は、十分に休ませていない可能性があるため、再度 30 分以上休ませてください。
721	◯◯の部分が疲れてきました。少し、お休みさせてくださいね?	
722	ごめんなさい。これ以上、動けなくなっちゃいました。◯◯の部分が疲れてきました。少し、お休みさせてくださいね?	
723	◯◯の部分がちょっと疲れてきました。動けなくなっちゃったら、ごめんなさい。	
724	ごめんなさい。これ以上、動けなくなっちゃいました。◯◯の部分が疲れてきました。少し、お休みさせてくださいね?	
725	ボクの頭が使い過ぎて、いっぱいいっぱいになっちゃいました。お願いです、ボクを再起動させてもらえませんか?もう一度頑張ってみます。	一度電源を切り、胸部ボタンを長押し（5 秒以上）して起動してください。
726	ボクの頭が使い過ぎて、いっぱいいっぱいになっちゃいました。いらないものを捨ててスッキリさせて下さい!	容量が不足しています。アプリや写真を削除してください。
730	あれ?何だか、熱っぽくなってきました。動けなくなっちゃったら、ごめんなさい。	電源を切ってから、30 分以上休ませてください。 それでも解決しない場合は、十分に休ませていない可能性があるため、再度 30 分以上休ませてください。
731	あれ?何だか、熱っぽくなってきましたー。少し、お休みさせてくださいね?	

9-2-2 バッテリー

通知番号	通知内容	対策
800	あれれ?バッテリーの調子がよくないみたいです。 ボクを再起動して「シャキッ!」とさせちゃって下さい。	再起動してください。それでも改善されなければカスタマーサポートに連絡してください。
801	もうすぐ充電して下さいね?	バッテリー残量が "13%" です。充電してください。
802	ヤバーイ!今すぐ充電して!止まっちゃう!早く早く!	バッテリー残量が "8%" です。充電してください。
803	あーあ、充電がなくなっちゃった。 バイバーイ。	本機のバッテリーが切れて、電源が切れてしまいました。充電してください。
805	よぉぉし!元気いっぱい、充電完了!	ー
806	あれれ?バッテリーの調子がよくないみたいです。バイバーイ。再起動する前に、しばらく休ませてくださいね?	電源を切ってから 2 時間以上休ませてください。

9-2-3 アプリケーション管理

通知番号	通知内容	対策
830	◯◯をインストールしました。	ー
832	◯◯をアップデートしました。	ー
834	◯◯をアンインストールしました。	ー
840	ソフトウェアバージョン◯◯のダウンロードを完了しました。インストールを完了するために再起動してください。	再起動してください。

9-3 ID ／パスワードについて

名称	説明	メモ
Robot Suite アカウント	ご契約時に発行されるアカウントです。メールアドレスと設定したパスワードで、Robot Suite にログインできます。パスワードは 6 文字以上の半角英数字です。管理しているすべての Pepper に Robot Suite アカウントの ID（メールアドレス）とパスワードを設定することで、遠隔から Pepper にアプリ／お仕事の設定をすることができます。	
管理メニューパスワード	Pepper 本体の管理メニューにログインするためのパスワードです。管理メニューパスワードの初期値は「9999」です。	
Head ID	20 桁の ID です。	
Body ID/Robot ID	20 桁の ID です。修理の際に使用します。 Pepper の首の裏のゴム製カバーを開けてください。 2 次元コードの印刷されているシール上に Body ID/Robot ID（AP から始まる 20 桁の英数字）が記載されています。ご購入いただいた時期により、シールや貼付位置が異なりますのでご注意ください。	

9-4 免責事項について

- Pepper は自律的に動く製品であり、周囲の人や家財に損害を与える可能性があります。本書をよくお読みになり、記載の使用方法、及び使用環境下にてご利用ください。
- ソフトバンクロボティクスは、Pepper の使用による間接的あるいは直接的な損害、事故等には責任を一切負いかねます。
- 機種の世代により、Pepper に使用している部品が変更される可能性があります。そのため製造後長期経過した場合、部品欠品により修理をお受けできない場合がございます。
- 海外でのご利用は想定しておりません。海外で使用したことにより発生したすべての事象について、一切の責任を負いかねます。
- 本書に記載した注意事項は、すべての起こり得る事象を網羅したものではございません。

- Pepper に関連する免責事項は、下記の URL から各サービスの規約・重要事項をご確認ください。
- Pepper+（接客向け）

https://jp.softbankrobotics.com/hubfs/Pepper/pdf/pepper-plus/pepper-plus_terms_of_use.pdf

- Pepper+（介護向け）

https://jp.softbankrobotics.com/hubfs/Pepper/pdf/pepper-plus_care/pepper-plus_care_terms_of_use.pdf

10 付録

	用語	読み方	説明
あ	アクセサリーボックス	あくせさりーぼっくす	配送用の箱の中の左上に収納されているボックスです。アクセサリーボックスの中には、充電器が入っています。
	アップデート	あっぷでーと	ソフトウェア（NAOqi OS）を更新することをいいます。
	アプリ	あぷり	様々な機能を持ったソフトウェアです。Pepper にインストールして使用します。
い	インストール	いんすとーる	ソフトウェア（アプリなど）を追加したあと、使用可能にすることをいいます。
	インタラクション分析	いんたらくしょんぶんせき	Robot Suite に紐づく Pepper が取得したデータを、CSV 形式でダウンロードします（「5-7 インタラクション分析」108 ページ参照）。
お	お仕事	おしごと	Pepper が行う業務全体のことです。
か	カスタマーサポート	かすたまーさぽーと	Pepper に問題が生じた場合はカスタマーサポートに連絡してください。
	稼働レポート	かどうれぽーと	Pepper の稼働状況を確認できる機能です。全グループ、またはグループ別に稼働状況を確認できます（「5-6 稼働レポート」100 ページ参照）。
	かんたんセットアップガイド	かんたんせっとあっぷがいど	かんたんセットアップガイドは、納品時に Pepper と同梱されている資料です。 最新版は以下の URL よりご確認いただけます。 https://jp.softbankrobotics.com/pepper-plus/

か	管理メニュー	かんりめにゅー	Pepper の本体管理やお仕事を実行する設定をするメニューです。管理メニューへログインするには、あらかじめ設定したパスワードが必要です（「4-4-1 管理メニューにログインする」51 ページ参照）。
き	基本姿勢	きほんしせい	Pepper が起動中（使用可能な状態であるとき）の姿勢です（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）。
	胸部ボタン	きょうぶぼたん	Pepper の胸部のディスプレイのすぐ下にあるボタンです（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）。Pepper の電源を入れる／切る、通知情報を聞くときに使います。
	緊急停止ボタン	きんきゅうていしぼたん	Pepper の首の後ろの柔らかいゴム製のカバーの下にある大きめのボタンです（「2-4-1 緊急停止ボタン」30 ページ参照）。ボタンを押すと Pepper への電気供給をすべて停止し、電源を即座に切ることができます。Pepper が危険な状態にあるとき、Pepper が周囲に損害を与えそうなときに利用します。
	キーワード	きーわーど	Pepper にセリフを設定するときに使用する定型文です。発話時のイントネーションを細かく調整することができます（「7-4 キーワード」138 ページ参照）。
く	グループ	ぐるーぷ	Robot Suite にロボットを登録する際に設定するグループです。

こ	腰のピン（金属）/ ひざのピン（プラスティック）	こしのぴんきんぞく / ひざのぴんぷらすてぃっく	腰用 / ひざ用のピンです。取り付けると姿勢保持機能が解除され、Pepper が直立できなくなります。腰 / ひざにそれぞれの専用挿入口があります。 ▪ピンを使用するとき ・箱に入れた状態での輸送（「8-2-6 Pepper を梱包する」285 ページ参照） ・Pepper の姿勢を手動で整える（「8-2-1 Pepper の姿勢を整える」277 ページ参照） ・Pepper の保管（「8-4-1 Pepper を保管場所に収納する」293 ページ参照）
	コンバージョンポイント	こんばーじょんぽいんと	お仕事を通じてユーザーに行って欲しい行動目標です。お仕事のボックスに設定すると、お仕事がコンバージョンポイントに至った件数をインタラクション文分析で確認できます（「 コンバージョンポイントの設定について」167 ページ参照）。
し	姿勢	しせい	Pepper の関節の配置状態を指します。主に 2 つの姿勢があります。基本姿勢とセーフレストの姿勢です（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）。
	シリアルナンバー	しりあるなんばー	管理メニューパスワードを変更するときに使用します（「4-4-2 パスワードを再設定する」52 ページ参照）。 シリアルナンバーは機体情報で確認できます（「4-5-1 機体情報を確認する」55 ページ参照）。
	充電ランプ	じゅうでんらんぷ	充電器本体にある LED ランプです。 ■ 緑色の点灯：Pepper に接続していない時 / 満充電時 ■ 赤色の点灯：充電中 ※満充電になっても、Pepper の電源が入っている場合（スリープ状態含む）は、充電ランプは緑色に点灯しません。

し	充電フラップ	じゅうでんふらっぷ	充電スロットを保護しているパーツです。Pepper の脚部にあります（「2-4-5 充電フラップ」32 ページ参照）。開いているとホイールが停止して、Pepper が充電中に不用意に移動することを防ぎます。 充電中以外でも、安全対策として開けておくことが可能です。
	初期設定	しょきせってい	Robot Suite（を使用する前に会社名や業種などのユーザー情報をあらかじめ設定します（「5-3 初期設定をする」80 ページ参照）。初期設定で登録した内容は、あとから登録情報画面で変更できます。
す	スリープ（状態）	すりーぷじょうたい	Pepper を利用しないときに、スリープ状態にすることで電池の消費を抑えられます。LED ランプ (肩) が紫色に点灯して頭部が倒れた状態となり、周りの環境に反応しなくなりますが、Autonomous Life の機能が継続します (電源は切れていません)。
せ	設定画面	せっていがめん	設定画面では Pepper の一部の機能を設定（音量や Wi-Fi ネットワークなど）することができます。
	セーフレストの姿勢	せーふれすとのしせい	腰を後方に、上体を前方に倒して座らせたような姿勢です（「2-4-6 姿勢」33 ページ参照）。Pepper を移動する必要があるとき、転倒したときなどはセーフレストの姿勢に整えてください。 ※Pepperがレスト状態、およびスリープ状態のときは自動的にセーフレストの姿勢となります。
そ	挿入口	そうにゅうぐち	腰および、ひざの左側にあるピンの挿入口です。
た	タッチセンサー	たっちせんさー	Pepper には複数のタッチセンサー（「2-4-4 タッチセンサー」32 ページ参照）があり、その部分に触れることで Pepper が反応します。
つ	通知情報	つうちじょうほう	Pepper は音声と LED ランプ表示で通知があることをお知らせします。通知情報の内容は一般情報、注意事項、警告を含みます。

て	ディスプレイ	でぃすぷれい	ディスプレイは胸部にあり、Pepper の一部となっています。Pepper の基本的な設定（「4-5-5 その他の設定をする」66 ページ参照）や、ネットワーク設定（「4-5-2 ネットワークを設定する」57 ページ参照）が行えます。
	ディスプレイ IP アドレス	でぃすぷれいあいぴーあどれす	ディスプレイの IP アドレスです。 設定画面から確認でき、一部のアプリケーションや開発者が使用します。
	テンプレート	てんぷれーと	各種業務に最適化された機能／フローが組み込まれたさまざまな定型フォーマットです。 お仕事作成時にテンプレートを利用すると、かんたんにお仕事を作成できます（「7-2 お仕事の新規作成」124 ページ参照）。
な	長押し起動	ながおしきどう	プログラムの書き込みの失敗が原因でエラーが出ている場合、長押し起動で改善する可能性があります。長押し起動では通常の起動とは異なり、機械（モジュール）を動かすためのプログラムの再書き込みを行っています。 長押し起動は胸部ボタンを 5 秒ほど押して行う起動です。 5 秒長押しの起動は以下の手順です。 1. 電源を切った状態で胸ボタンを 5 秒長押し 2.LED ランプ（肩）が青く点灯したら胸ボタンから指を離す 3.LED ランプ（肩）が青く高速で点滅していることを確認 ※通常起動と異なりますので、Pepper が起動するまで 10 分ほどお待ちください。
へ	ヘルスチェック	へるすちぇっく	ロボットの健康状態を確認できる機能です（「5-5 ヘルスチェック」92 ページ参照）。健康状態はヘルスチェック結果として緑色・黄色・赤色のステータスで表示されます。

ほ	ボックス	ぼっくす	お仕事中の Pepper させたい動作や、時間指定をして Pepper の動作を分岐させるなどの設定・編集ができるツールです。さまざまな種類のボックスを組み合わせて、用途に応じたお仕事を作成できます（「7-7-1 各ボックスの見かた」171 ページ参照）。
め	メディアライブラリ	めでぃあらいぶらり	お仕事を新規作成したり、ボックスを設定するときに使用する画像や動画、音声データなどの保存場所です。データを保存するときは、保存データの形式やファイルサイズに注意してください（「7-5 メディアライブラリ」142 ページ参照）。
ゆ	ユーザー情報	ゆーざーじょうほう	初期設定で登録する会社名と業種です。ユーザー情報は「登録情報」で編集できます（「5-4 登録情報」83 ページ参照）。
れ	レスト状態	れすとじょうたい	モーターが関節に一切の保持機能を働かせていない状態を指します。
ろ	ロボットグループ	ろぼっとぐるーぷ	ロボットをグループごとに管理するときに作成するグループです（「 グループ情報を編集／削除する」87 ページ参照）。
A	Autonomous Life	おーとのますらいふ	Autonomous Life とは Pepper が人間らしく行動している（呼吸など）とみせるための細かな言動の元となっている機能です。
L	LED ランプ（肩）	えるいーでぃーらんぷ（かた）	Pepper は通知情報を利用してシステムやアプリについての情報を音声と LED ランプ表示でお知らせすることができます。LED ランプ（肩）の色によって、通知内容の重要性を表示しています。 詳細は、（「2-4-7 LED ランプ（肩）」34 ページ参照）を確認してください。
M	MAC アドレス	まっくあどれす	MAC アドレスとは、ネットワーク機器やネットワークアダプタに付いている固有の識別番号です。Pepper 本体で MAC アドレスの確認ができます。

N	NAOqi	なおき	NAOqi はソフトバンクロボティクスが開発した Pepper のオペレーティングシステムです。
	Naoqi バージョン	なおきばーじょん	Pepper のソフトウェア（Naoqi OS）のバージョンです。
P	Pepper IP アドレス	ぺっぱー あいぴーあどれす	Pepper の IP アドレスです。Pepper の管理設定ウェブページにアクセスするときなどに利用します。起動後、胸部ボタン（「2-4-2 胸部ボタン」31 ページ参照）を 1 回押すと、音声で IP アドレスをお知らせします。 ※ Pepper がネットワークに接続している状態で確認してください。
R	Robot Suite	ろぼっとすいーと	複数ある Pepper の管理ツールを一元的に利用することができるポータルウェブアプリです。機能毎（アプリ・お仕事管理／遠隔操作・ヘルスチェック）にそれぞれ 2 つのウェブアプリで構成されています（「5-1 Robot Suite について」73 ページ参照）。
	Robot Suite アカウント	ろぼっとすいーとあかうんと	ご契約時に発行されるアカウントです。Robot Suite へのログインや管理などに必要です。 パスワードは 6 文字以上の半角英数字です。また、管理している Pepper すべてに対して、初期設定時にこの Robot Suite アカウントの ID（メールアドレス）とパスワードを登録することによって、遠隔から Pepper にアプリ／お仕事の設定をすることができます。
S	SSID	えすえすあいでぃー	SSID とは、無線 LAN（Wi-Fi）のアクセスポイントの識別名です。設定画面から、接続するアクセスポイントを設定・変更することができます。
W	Wi-Fi 設定	わいふぁいせってい	利用可能な Wi-Fi ネットワークを選択することができます 57 ページの「4-5-2 ネットワークを設定する」

ソフトバンクロボティクス株式会社